

令和 6 年度

専門職業人材の最新技能アップデートのための
専修学校リカレント教育推進事業

これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業
及びその有効性を確認する実証研究事業

成果報告書

令和 7 年 3 月

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター

本教育プログラムは、文部科学省の教育政策推進事業
委託費による委託事業として、《学校法人敬心学園 教育研
究開発センター》が実施した令和 6 年度「専門職業人材の
最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進
事業」の成果物です。

成果報告書の発刊にあたって

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」にご協力いただいた関係者をはじめ、皆さまに心より感謝申し上げます。

本事業は、医療・介護分野のフロンティアに取り組む専門学校・企業・公的機関などが連携しスキル・知識のアップデートのための実践プログラムの開発、およびそのプログラムに基づく講座等が安定的・持続的に確保できる体制を構築することを目的としています。

現在、日本の高齢化は新しい段階に入っていることが再認識されていると思われませんが、それだけでなく、世界中が高齢化するというグローバル・エイジングという新しい事態に直面しています。この変化に伴って、ケア経済を構築しなければならないと世界機関は提言している状況にあります。世界労働機関(ILO)のいうケアは、高齢者介護だけでなく、チャイルドケア(保育)、教育も入っています。ケア経済の構築に関しては、それを担う人材育成が何よりも大切であると認識されています。

しかし、私たちは、これから職業教育を抜本的に変えなくてはならないという思いは既にあるとしても、具体的にどうするかということに関しては、まだまだこれから学び、取り組まなければならない段階です。

たとえば、専門学校は2026年度からは学年制(1年間に学ぶ時間がフルコースで決まっている方式)から単位制(卒業までにアラカルトでテーマ別の科目単位を取り揃えていく方式)に変わりますが、世界の先進国では、職業教育は、さらに単位制を越えてマイクロクレデンシヤル制(学習内容をより細分化し、細分化されたテーマごとに個別に認証する方式)に変えることが推奨されています。今回取り組まれた各講座のプログラムは、このような教育課程の変化にも対応するように形で、整えていく必要があると思います。

国際的な学生及び研究者の流動性を促進することを目的として、2019年には高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約(通称「東京規約」)が発効しました。アジア太平洋地域において、締約国間が相互に高等教育資格を承認・評定する枠組みを整えようと動きになっているのです。専門学校の中でも「介護系」は最も早くから国際化が進んだ分野なのですが、今後はその職業教育内容に関わって国際的な要件整備が問われることになるでしょう。

例えば、今までは、介護の仕事は、日本独自の介護保険制度という制度で認められたサ

ービスでしか、お金が支払われない労働でした。したがって、旅行支援などは介護保険制度外のサービスとして介護報酬の対象外とされてきました。でも、クライアントが真に望んでいるのであれば、介護保険制度外であっても、自由に、お金が得られて、職業として成り立つ広義のケアの経済をどう構想するかということも大きな課題です。そういう新しい世界に向けて挑戦するという宿題も残っていることを皆さんに知っていただきたいと思います。

これまでの取り組みで明らかになったことについては、これから実装化を目指してまいります。制度内に取り入れられることはできるだけ取り入れ、さらに制度内におさまらないことでも、市場性のある分野は開発して、新しい日本発のケア経済を構築するといった気概を持って、取り組んでいきたいと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

学校法人敬心学園
職業教育研究開発センター センター長
事業代表 小川全夫

令和6年度

専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業

これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる
最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業

目次

I 事業概要

| | |
|------------------------|----|
| 1. 事業名 | 6 |
| 2. 事業の趣旨・目的 | |
| (1) 当該学び直し講座が必要な背景について | 7 |
| 3. 事業計画 | |
| (1) 具体的な取組の全体像 | 12 |
| (2) 本年度の計画 | 14 |
| (3) 本年度の取組に関するスケジュール | 19 |
| 4. 事業の実施体制 | 20 |
| 5. 組織体制 | |
| (1) 教育機関 | 21 |
| (2) 企業・団体 | 21 |
| (3) 行政機関・その他 | 22 |
| (4) 各機関の役割・協力事項について | 23 |
| (5) 事業を実施する上で設置する会議 | 24 |

II 事業報告

| | |
|----------------|-----|
| (1) 事業報告 | 38 |
| (2) 実証報告 | 45 |
| (3) 次年度に向けての課題 | 104 |
| (4) 成果報告会の報告 | 107 |

III 事業評価

外部評価委員会評価報告まとめ

| | |
|----------------|-----|
| (1) 総評 | 116 |
| (2) 本委員会の役割 | 117 |
| (3) 評価方法について総評 | 118 |

| | |
|------------------------|-----|
| (4) 運営企画委員会に対する評価総評 | 118 |
| (5) プログラム開発委員会に対する評価総評 | 119 |
| (6) 実証委員会に対する評価 | 120 |
| (7) 全体を通じての評価 | 121 |
| (8) 全体を通じた外部評価委員会の総評 | 121 |
| (9) 次年度事業への期待 | 122 |
| (10) 事業推進にあたって見直すべき事項 | 122 |
| (11) 本外部評価委員会による評価 | 123 |
| (12) あとがき | 123 |

IV. 事業の振り返り

| | | |
|-------------------|----------------|-----|
| (1) プログラム開発委員会 | 竹下 康平(委員長) | 126 |
| (2) 実証委員会 | 宮本 隆史(委員長) | 127 |
| (3) 新たなるチャレンジへの思い | 小林 英一(事業代表責任者) | 128 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 資料(1) 専門職業人材最新技能アップデート講座 お知らせ | 132 |
|-------------------------------|-----|

| | |
|-----------------------------|-----|
| 資料(2) アンケート結果(受講前/受講後/1か月後) | 136 |
|-----------------------------|-----|

I . 事業概要

I 事業概要

1. 事業名

これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業

2. 事業の趣旨・目的

2025 年問題では、①医療費や介護費の増大 ②現役世代の社会保険料の負担の増大 ③慢性的な人材不足の 3 つが懸念されている。

企業は、特に③の「慢性的な人材不足」への対策を考える必要があり、この問題を乗り切るためには 3 つの課題について取り組む必要があると考えられる。

1 つ目は、DX 推進である。DX を推進する第一歩としてデジタル化が進み、業務の効率化が可能になることで、作業時間の短縮、ヒューマンエラーや業務の無駄が削減され、業務効率や収益向上につながると言われているが、多くは IT 人材を育成し、安定して利用できるシステムの構築が不十分であり、DX を推進できていない。

2 つ目は、幅広い多様な人材確保の他、イノベーションを生み価値創造につながるという考え方に慣れていない企業が多いのが現状である。

3 つ目は、一人ひとりが、リハ職・介護職の専門職としての幅を広げることにより、マルチタスクをこなせる人材を育成し、生産性の向上ができるようになることである。

以上の 3 つの課題を解決するために、医療・介護分野に焦点を当て、最新のことに取り組む企業・専門学校・公的機関などが連携し、スキル・知識のアップデートのための実践プログラムの開発と有効性を確認し、講座等が安定的・持続的に確保できる体制を構築することを目的とする。

【講座に関する基本情報】

| 基本情報 | 内容・目標等 |
|---------------------------------|--|
| 対象とする職業・分野 | 介護職(教育・社会福祉分野) リハビリ職(医療分野) |
| 学習ターゲット、目指すべき人材像 | 現場で活躍する有資格者。 自分のチャレンジしたいことを介護や医療と結びつけることにより更なる視野を広げ専門職としてレベルアップした人材 |
| 対象者のレベル(当該プログラムの内容に関する基礎知識の有無) | 基本的な知識を要することを必須とする |
| プログラム受講後に想定される受講者のキャリア・受講者が目指す姿 | 今のキャリアからステップアップできる人材。現在の組織の中で自分が今よりも成長することで、より組織に貢献し、利用者を支援できる姿 |
| 開発するプログラムの目標受講者数 (1期間あたり) | 450 人 |
| 開発するプログラムの想定総授業時数 (1期間あたり) | 72 時間 最大 12 時間×6 講座(オンデマンド部分は含まない) ＝最大 72 時間 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 開発するプログラムの想定受講期間 (1 期間あたり) | 1 か月(オンデマンド含む) ※講座は 6 つ全てを受講する訳ではなく、6 つのうちから自分が受講したい講座を選択するため基本的に 6 つ受講する受講生は想定していない。 |
| e-ラーニングの実施の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |

(1) 当該学び直し講座が必要な背景について

医療・介護におけるリカレント教育の現状

医療(リハビリ)における資格は、国家資格を一度取得したらその後は個々によって学びの継続をすることが任されているが、実際は個々で学ぶことが出来ておらず、最新の知識にアップデートされていないことが多い。

また、介護分野においては、介護現場で働くためのルートはいくつかあるが、卒業や終了後のフォローアップや新しい知識・技術のアップデートできる環境はまだ整備されておらず、目に見えてスキルアップする職員は非常に少ない。その上、職員一人ひとりが持つ能力や経験もさまざまであり、事業所(マネジメントする側)も施設によってマネジメントに関する理解や学びが浅いため、十分なマネジメントができていない。したがって、人材を育成することもできていない。マネジメントする側はマネジメントする力をつけるためのリカレント教育を行うことで、バランスがとれかつ安定した組織統制が図れる。そのことで一般職の方には状況に応じた学びを提供することができる。だが、このようなプログラムは、現行見えてきていない。

上記のことから、施設を管理する側のマネジメントの学び直しをするためのリカレント教育が重要であり、ダイバーシティにも対応するマネジメントへアップデートすることで、職員一人ひとりにあったリカレント教育も提供ができると考えられる。

浮き彫りとなった課題

当実証研究に必要な背景には大きく分けて 4 つの課題がある。

- ① 介護 4 人材不足による介護業務の増大
- ② ICT/DX 推進の遅れによる業務改善の停滞
- ③ 次世代の介護のニーズに合わせた人材不足
- ④ 現場で利活用できるアフターフォローの体制

以下、これらの課題に至った背景および解決策について記載する。

① 介護人材不足による介護業務の増大

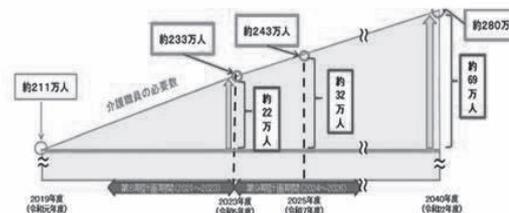
厚生労働省は、令和 3 年 7 月 9 日に第 8 期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を公表した。これによれば、2025 年度には約 243 万人(+約 32 万人(5.3 万人/年))の介護職員を確保する必要があると推計されている。(図 1 参照)また政府は、介護施設の人員配置基準を「入居者 3 人には職員 1 人」と人員配置の基準を緩和する検討をしているが、介護事業者から介護の質の低下や職員の負担増への懸念が広がっている。

加えて、令和 4 年度の公益財団法人 介護労働安定センターが公表した介護労働実態調査によると、介護の労働者における高齢化は年々進んでおり、全体の介護事業所で労働する 65 歳以上は 7

割、外国人労働者の受け入れは全体の 2.6%と受け入れ率が低い結果となっている。

以上の結果より、人材を確保するためには、生産人口の増加が必要であり多様な人材が重要になってくる。しかし、雇手は人材を確保することだけを考え、介護職員の業務が増大しているにもかかわらず処遇を改善する動きが全くないことも理由の一つとして挙げられる。

これらを解決するためには、処遇の改善や新しい人材育成の取り組みが必要である。さらに、介護の魅力を伝えることで生産人口の増加が必要だと考えられる。



(「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について (令和3年7月9日)」別紙1より)

図1)厚生労働省 8期介護保険事業計画に基づく

②ICT/DX 推進の遅れによる業務改善の停滞

労働環境の改善が必要とされる一方で、ICT を導入するコスト面にも問題があるが、介護職の ICT のスキルの低さが問題となっている。

2021年2月に1240の事業所を対象とし、労働局が実施したICT調査では、(図2参照)感染拡大している地域が42.6%。感染が少ない地域では、53.3%とICT導入がされていない事業所が多い結果となっており、なかなかICT導入が浸透されていない現状がある。浸透されない要因としては3つあり、1つ目、介護職が、専門知識以外のスキルを勉強(研修)する機会が少ない。2つ目として挙げられるのは、管理職・介護職の年齢によるICTへの関心・理解がないことである。3つ目として事業者側は、介護の専門職として採用するため、ICTスキルで採用はしないことであり、業務以外の新しいことが、さらに負担と感じる人が多いことも現状である。

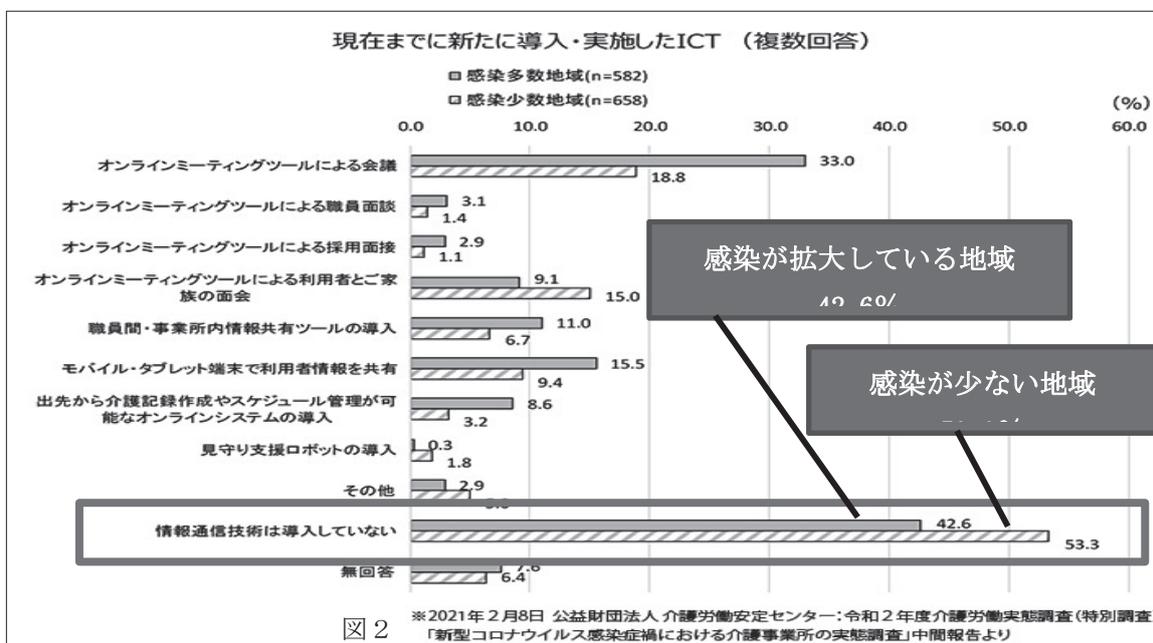


図2 ※2021年2月8日 公益財団法人介護労働安定センター:令和2年度介護労働実態調査(特別調査)「新型コロナウイルス感染症禍における介護事業所の実態調査」中間報告より

また、同調査で、新型コロナウイルス感染症禍での事業所運営において今後重要と思われるものを事業所全体で見ると、(図3参照)「感染予防資材の備蓄・管理」が84.5%、「職員の体温・体調管理」が82.6%と高かったが、ICTの必要性については、オンラインでの会議や家族との面会での重要性が高いという結果になっており、ICTについてはこの部分は必要と感じている事業所が多いが、ICT機器を活用した他の業務に関しては、「ICTによる介護実施記録の作成が全体で36.3%、「ICTによるケアの

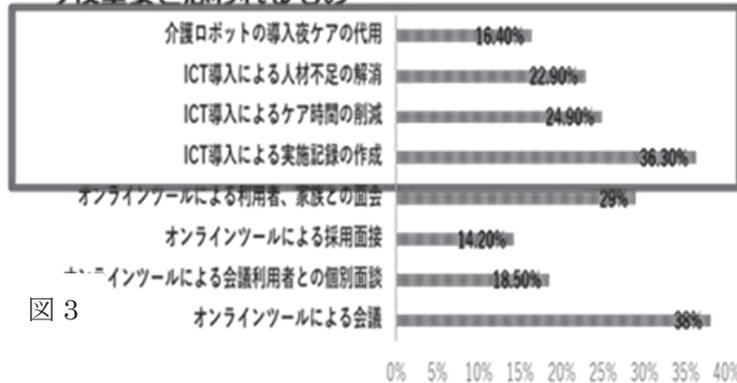
時間の削減」24.9%、そして「ICTによる人で不足の解消」が22.9%とICT導入への抵抗がつよいのか低い結果となっている。

さらに、「介護ロボットの導入によるケアの代用」については、非常に活用意識が低く、16.4%という結果となっている。以上の調査の結果から、管理職・介護職へのICTへの理解が低く、導入の必要性については、必要であると思いつつも、活用方法などの習得に不安を抱き、なかなかICT導入が浸透されていない現状となっていることがわかる。また、現場では、記録、行事

の準備、入浴・食事等の介助の準備、各委員会での書類作成など、直接利用者とかかわる時間以上に他の業務量が多いが、1日平均してどれくらいの専門外の業務をしているかの可視化がされていない。しかし、世間ではICT/DX推進を進めている中で、実際のところ事業所は、業務改善点の具体案がされておらず、ICT/DXを導入した結果、活用のミスマッチが起こり、なかなか活用できない状況にある。これらを解決するためには、ICT/DX活用と同時に活用のミスマッチを起こさずにICTが導入できる知識や活用方法を学ぶ人材を施設ごとに増やすことで活用のミスマッチを起こさずに業務を改善できるのではないかと考える。そのためにも、即現場で活躍できるICT/DXが活用できる人材育成を行う必要があり、これは勤続年数に限らず施設全体で取り組む必要があると考えられる。

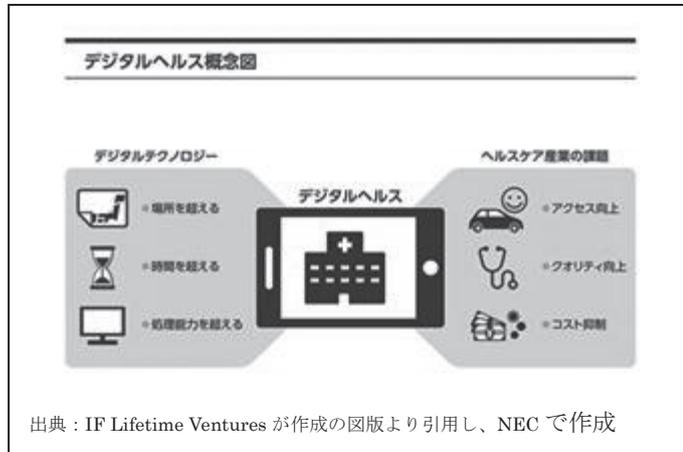
同様に、医療の業界でも今回のコロナ禍で、“ヘルスケアのデジタル化”の遅れと、その必要性があらためて浮き彫りとなっており、厚生労働省は、大規模な健康・医療・介護の分野を有機的に連結したICTインフラを本格稼働させるべく、厚生労働省内に「データヘルス改革推進本部」を設置し、データ利活用の前提となるデジタル基盤整備およびサービス創出の重要度が高まっている。

新型コロナウイルス感染症禍での事業所運営において今後重要と思われるもの



資料出所：2021年2月8日公益財団法人 介護労働安定センター
新型コロナウイルス感染症禍における介護事業所の実態調査結果報告書をもとに作成

図3



③次世代の介護のニーズに合わせた人材不足

2025年団塊の世代といわれる人たちが、80歳を迎え介護が必要になるとき今後この世代に対する支援提供の考え方が異なってくると考えられる。

今後の活力ある超高齢社会の実現にあたっては、知恵やノウハウを豊富に有する「アクティブシニア」が多く存在するようになることを念頭におき、多くの高齢者が可能な限り長く自立して暮らし、年齢を問わず、その知恵や経験を活かして積極的に社会参加できるよう、「健康寿命の延伸」を図ることが重要になってくるため多様なニーズが求められると考えられる。だからこそ、今までのサービスの内容では満足しない利用者も増えてくると考えられる。団塊の世代が、介護が必要になるのはあと10年後とすると、10年先に対応できるサービスを構築していく必要があり、受け身的なサービスではなく、ニーズの先

読みと積極的なサービスの展開が求められてくる。しかし、現状は介護職のキャリアアップのための研修内容が、集団研修ばかりでこれからのニーズに沿った研修や個々のスキルに合わせた研修が少ない。これは、施設側の研修に関する情報や知識の不足、つまり管理者としての人材育成マネジメント力が足りていないことが原因ではないかと考えられる。また、人材不足などにより研修を受講したくても受講できない状況もある。職員の個々のスキルと次世代のニーズに沿った研修を企画・実施することで、利用者に対して満足のいくサービスが提供できるようになり、職員の仕事に対する姿勢も向上し、本来の専門職としてのやりがいや自信につながり離職防止となると考えられる。また、良い人材の育成やキャリアアップができる環境になれば生産性の向上も期待される。

以上のことより当センターでは、マネジメントの立場にある施設長や管理職層が有効な事業運営体制の構築し、次世代の介護ニーズをキャッチアップし、そこに対する情報の提供からスキルを身につけるための学びが提供できるようになることが介護施設経営における課題解決を図る重要な取り組みなのではないかと考えられる。

④現場で学びを利活用できるようにするためのアフターフォロー体制

神奈川県教育福祉振興会 令和4年セミナーアンケート：今後参加したいセミナー53項目を当センターが8つにカテゴリー化し分類した結果、(図4参照)1位は介護基本的知識51%、2位は運営・管理関連12%、3位は職員メンタル・思考・趣味10%。半数以上が、既存の介護分野の知識であることが分かった。

また、多くの知識や技術を身に付ける研修を受けても、学びが一方通行であり、現場で利活用できるフォローアップ体制が整っていないのが現状である。そのため、学びに対する意欲の低下が生まれ、新しいものへ挑戦する意欲も低下してしまう結果になってしまう。

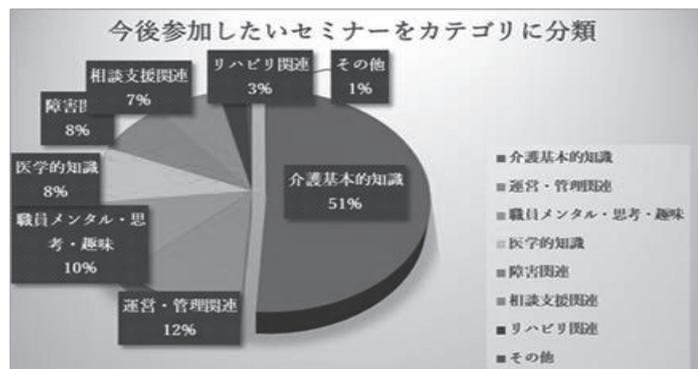


図4 図 神奈川県教育福祉振興会 令和4年セミナーアンケートを基に 職業教育研究開発センター：今後参加したいセミナーカテゴリー分類2023.6.16

レバレッジズメディカルケア株式会社「きらケア介護白書 2022・介護職員調査 (表1参照) 4-6 仕事に求めるもの・価値観」では1位)人間関係を大切に働けること41.5%、2位)生活に必要な収入が得られること37.8%、3位)プライベートを大切にできること36.8%、4位)仕事が楽しくできること32.9%、5位)自分らしい生活

が送れること31.7%となっている。4位の仕事が楽しくできることに着目すると例えば、介護職員の持っている知識及び技術を新しいものにするためのアップデートする環境を整える必要があり、更に既存の資格にプラスαの別の領域の知識と技術を持つことにより、多様化した利用者のニーズや「心身の状況に応じた介護」に役立つのではないかと、またそれを職員自身が選択できる研修プログラムがあれば、「仕事が楽しい」「自分らしい生活」が送れるのではないだろうか。

例えば、アロマを取り入れた介護や身近なお出かけ支援などで、専門的知識の習得により現在の介護分野の幅が広がっていくことに気付き、そこから新しい学びや学び直そうとすることが生涯学習につながると考えるが、雇用する側の理解や介護職員の役職側のマネジメント力も必要となる。介護職員でいえば、経験年数や仕事の力量で役職になることが多いため、マネジメントをしっかりと学んできたわけではないなどの課題がある。

以上の①～④の 4 つの課題について、当センターでは、課題の解決策として(表 2 参照)介護職や医療職(リハビリ)の人材スキル・知識を最新のものにアップデートできるリカレント教育のプログラム(基礎・基本)を開発し、受講後のフォローアップをする体制、そして、これらの研修を行える人材教育アシスタントティーチャーの研修も同時に行うことで、講座等が安定的・持続的に確保できるプログラムを目指したいと考えている。そして、基礎・基本に留まらず、事業終了後もニーズがあれば、応用プログラムの開発にも着手し、さらなる展開をしていくことで、この研究が一過性のものにならぬよう継続的な取り組みとしていきたい。

表

レバレッジズメディカルケア株式会社 きらケア介護白書2022より
5項目を5回に分けてアンケート調査し集計したもの

| 仕事に求めるもの・価値観 | | |
|--------------|-----------------|-------|
| 1位 | 人間関係を大切に働けること | 41.5% |
| 2位 | 生活に必要な収入が得られること | 37.8% |
| 3位 | プライベートを大切にできること | 36.8% |
| 4位 | 楽しく仕事ができること | 32.9% |
| 5位 | 自分らしい生活が送れること | 31.7% |

表 2 【当センターが 4 つの課題に対し打ち出した解決策】

| 課題 | 解決策 |
|---------------------------------|---|
| ①介護人材不足による介護業務の増大 | 介護の魅力を伝えることで、生産人口の増加が見込まれる可能性があると考えられるため、力が発揮できるための改善や新しい人材育成に取り組む。 |
| ②ICT/DX 推進の遅れによる業務改善の停滞 | 勤続年数に制限を設けず施設全体で ICT/DX 種類・活用方法を学ぶことで、業務にあった ICT/DX 導入のミスマッチを起さずに業務改善方法の研修が必要である。同時に、ICT/DX の活用方法がいつでも相談できるサポート体制を構築することで導入の促進を促す。 |
| ③次世代の介護のニーズに合わせた人材不足 | 更に既存の資格にプラスαの別の領域の知識と技術を持つことにより、多様化した利用者のニーズや「心身の状況に応じた介護」に役立つ職員自身が選択できる研修プログラムを開発することで「仕事が楽しい」「自分らしい生活」継続的にアップデートできるリカレント教育の構築実践し対応できる人材を育成する。 そのために、マネジメントの立場にある施設長や管理者層が有効な事業運営を身に付けるための学びの提供をする。 |
| ④現場で学びを利活用できるようにするためのアフターフォロー体制 | 研修内容について、現場での有用性の確認や現場で利活用できるアフターフォローの場を提供することで、研修を受けた人たちがどのように利活用したかの事例を共有する場や、研修講師に相談・質疑応答ができる場を提供する。 |

3. 事業計画

(1) 具体的な取組の全体像

取組の年次計画

令和5年度

① アップデートプログラム開発のための実態調査を行う。

6つの既存のプログラムを活用し、これから介護職となる人材と介護職員向けに活用できるプログラムであるかを調査する。

② 既存のプログラムの実証実施

●対象者

介護施設の職員および介護福祉士養成校の学生、卒業生

●実証調査(10月～12月に実証を予定)

対象となる人数

- ・介護・医療施設 30施設 240人程度
- ・介護福祉士養成校 5校 150人程度
- ・エリア別(1か所20名)3か所 60人程度

●調査方法

次年度のプログラム開発をするため、既存のプログラムが介護職にとって有効的かつアップデートしやすい講座か否かに関するデータを収集する。

調査方法は、講座の内容・受講形態即現場で実践できるかについて、アンケート・インタビューを行い、プログラムの有効性を検証する。

●調査結果まとめおよびデータ分析

(1月～2月に実施予定)

実証調査においてプログラムの有用性があるかどうかについて分析を行う。また、実証とともに受講形態の意識調査も行いその結果をまとめる。

③ 成果報告会の実施

(2月に開催予定)

全国の介護、医療施設、専門学校を招いた成果報告会の実施。

令和6年度

① アップデートプログラムの開発

(6月～9月に予定)

1年目の実証の結果を踏まえ、より現場に活用しやすい教育内容を抽出し、ブラッシュアップを行う。また、受講しやすい受講形態なども考慮した、教育プログラムおよび受講テキストの一部改訂を行う。

② 開発したアップデートプログラムの実証実施

(9月～12月に実証を予定)

●対象者

介護施設の職員および介護福祉士養成校の学生・卒業生

●実証調査 対象となる人数

- ・介護・医療施設 30施設 200人程度
- ・介護福祉士養成校 5校 150人程度
- ・エリア別(1か所20名)5か所 100人程度 *状況により異なる。

●調査方法

次年度のプログラムのブラッシュアップをするために必要なデータを収集する。開発したプログラムについて、即現場で実践できるかのアンケート・インタビューを行いプログラムの有効性を検証する。

●調査結果まとめおよびデータ分析

(1月～2月に実施予定)

実証調査においてプログラムの有用性があるかどうかについて分析を行う。また、実証とともに受講形態の意識調査も行い、その結果をまとめ、次年度のブラッシュアップ検証を行う。

③成果報告会の実施

(2月に開催予定)

全国の介護、医療施設、専門学校、企業を招いた成果報告会の実施。3月に専門学校を卒業し、就職しプログラムを受講した施設職員を調査する。



令和7年度

① アップデートプログラムの完成

(6月～9月を予定)

2年目の調査結果で抽出された課題をもとに内容のブラッシュアップ、教育プログラムおよび受講テキストの一部改訂を行う。また、施設リーダー職、専門学校の教員を対象に、モジュール型のアシスタントティーチャー養成講座マニュアルを作成する。

※提供するプログラムに関しては、最終的に4つのステップに沿って提供することを想定している。

②プログラムの実証およびアシスタントティーチャー養成講座を開催

(9月～1月に実証を予定)

令和5年・6年度の実証の施設のみならず実装化を見据えて、プログラムの有効性を訴求し、公募し実証を行う。アシスタントティーチャーのトライアル講座を開催し、資格制度として制度を作り講座実施後に認定をする。

③調査のまとめ、社会実装化の検討

(1月～2月に実施予定)

次年度に向け、更なる研究の継続やまたは施設や企業とのパートナーシップを図り、事業終了後にどう社会実証化していくのかについて仕組みを検討する。

④最終報告会の実施

(2月に開催予定)

全国の介護、医療施設、専門学校、企業を招いた成果報告会の実施。実装化に向け参加した方へ実装意向調査を行う。

(2) 本年度の計画

【令和6年度の活動】

昨年度、実証調査で得た基礎データを踏まえ、受講しやすい受講形態なども考慮した、教育プログラムおよび受講テキストの一部改訂を行い、そのプログラムの有効性の実証検証を行う。

1. アップデートプログラムの開発について(6月～9月を予定)

昨年度の課題をもとに、課題解決策を3つ設定し、介護職が受講を継続できかつアップデートできるプログラム開発を行う。

- 1) 講座に合わせた受講レベルの設定。
- 2) 受講しやすい受講形態の設定。
- 3) 現場で実践できる活用方法や講座の意義について習得。

① 講座に合わせた受講レベルの設定

内閣府が提唱している介護プロフェッショナルのキャリア段位をベースとして、受講生のレベルに合わせた講座の提供を行う。

「介護プロフェッショナル」のキャリア段位の概要

| レベル | 介護共通 | 介護プロフェッショナルのレベル | | |
|-------|------------------------|--|---|-------------|
| プロレベル | 7 | トッププロフェッショナル | | |
| | 6 | プロレベルのスキル 高度な専門性・オリジナリティ | 多様な生活障害をもつ利用者に質の高い介護を実践・介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善 | |
| | 5 | | | |
| | 4 | 一人前の仕事ができる 段階・チーム内でリーダーシップ | チーム内でのリーダーシップ(例:サービス提供責任者、主任等) 部下に対する指示・指導・本レベル以上が「アセッサー」になれる | レベル4 |
| 3 | 指示等がなくとも、一人前の仕事ができる | 利用者の状態像に応じた介護や他職種の連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践 | レベル3 | 実務者研修修了 |
| 2 | 一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる | 一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践 ・基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践 | レベル2 | レベル1と同様 |
| 1 | エントリーレベル 職業準備教育を受けた 段階 | 初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を習得 | レベル1 | 介護職員初任者研修修了 |

講座に合わせた受講レベルの設定 ←

アップデート講座
 介護予防
 外出支援
 介護ICT/DX
 マネジメント
 多様な人とのかわり
 ナチュラルセラピー

(引用: 内閣府「介護キャリア段位制度の概要」)

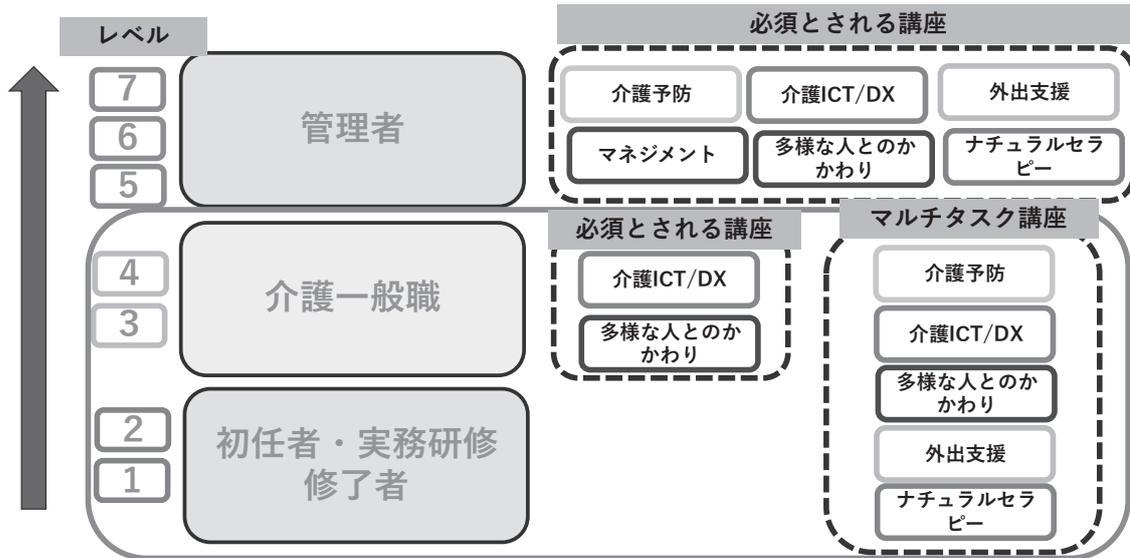
【想定される効果】

- * 実務経験数によるプロフェッショナルの学びがアップデートできる。
- * 受講者自身もキャリア段位を基準にすることで、受講のミスマッチを防ぐことができる。
- * キャリアに合わせた講座を受講することで、仕事のスキルやモチベーションの向上に繋がる。



キャリア段位を用いた講座を開発する。

キャリア段位を用いた講座の提供イメージ



7 段位のレベルを管理者、介護一般職、初任者・実務者研修修了者のキャリアに分け、それぞれのレベルに合わせた講座内容を開発する。また、受講修了後、修了証を発行する。

②受講しやすい受講形態の設定

昨年の調査の結果、受講生が希望する講座について形態は、全体的にオンデマンド・オンラインと対面が良いという回答が多かった。受講しやすい環境という面では、人的にも時間的にも余裕がない介護の現場では、いつでも、自分の空いている時間を使って、出向かなくても学べる環境が受講継続につながるという結果となった。また受講時間や受講回数についても平均して1～4時間、1～3回という短期間で希望するという回答が多かった。しかし、短期間で知識や技術のアップデートでき、現場で実践できるものには限界があるため、このデータをもとに、モジュール式の講座を提供することで、確実に学びの習得につながるのではないかと考えられる。

| 講座名 | 受講定員数 | キャリアレベル | 知識 | オンデマンド | 対面実践・フォローアップ | 修了証 |
|----------------|-------|---------|---------------------------|------------|--------------------|-----|
| A. 介護予防 | 60 | レベル①～⑦ | ①基礎知識 ②予防方法実践 | 30分×5講座を想定 | 3時間程度 活用方法・現場Q&A含む | ● |
| B. 外出支援 | 40 | レベル①⑤⑥⑦ | ①外出支援の基礎 ②交通機関などの車いす実践 | 45分×4講座を想定 | 3時間程度 活用方法・現場Q&A含む | ● |
| C. ICT/DX | 60 | レベル①～⑦ | ①ICTの基本的基 ②ICT/DXの活用 | 30分×3講座を想定 | 6時間程度×2日間 現場Q&A含む | ● |
| D. マネジメント | 40 | レベル⑤⑥⑦ | ①基礎知識 ②ケーススタディー | 45分×6講座を想定 | 6時間程度 現場Q&A含む | ● |
| E. 多様 外国人編 | 60 | レベル①～⑦ | ①基礎知識 ②外国人介護候補生との交流 | 45分×2講座を想定 | 3時間程度 現場Q&A含む | ● |
| E. 多様 知的障害者編 | 60 | レベル①～⑦ | ①基礎知識 ②ケーススタディー | 45分×2講座を想定 | 3時間程度 現場Q&A含む | ● |
| F. ナチュラル アロマ編 | 60 | レベル①⑤⑥⑦ | ①基本の基 ②実践 | 60分×1講座を想定 | 3時間程度 活用方法・現場Q&A含む | ● |
| F. ナチュラル 音楽療法編 | 60 | レベル①⑤⑥⑦ | ①基本の基 ②実践 | 60分×1講座を想定 | 3時間程度 活用方法・現場Q&A含む | ● |

* C・D 以外のキャリアレベル⑤⑥⑦はオンデマンドでの受講のみ可。

③現場で実践できる活用方法や講座の意義について習得

2021年介護報酬改定で、【LIFE】科学的介護情報システムへのデータ入力とフィードバック機能の活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの向上を図ることが求められている加算が新設されている。講座を構築するにあたっては、LIFEとの繋がりのある講座を開発する必要がある。

これを踏まえ、講座の意義や活用方法については、現場Q&Aを設け、講師がファシリテーターとなりグループセッションを開催したいと考えている。また、講座の意義、現場での課題解決のヒントを得る場所を提供することで、より現場での実践効果が期待され、受講後のフォローアップができ、LIFEとの繋がりのある講座になると考えられる。

■提供方法

講座の提供方法

* オンデマンド受講後に、対面またはオンラインによる講座を開催、その後、実践交流会現場Q&Aを設け、講師がファシリテーターとなり、受講後のフォローアップ研修を開催する。

9月～10月 オンデマンド講座開始

↓

10月～11月対面またはオンラインによる講座開催

↓

11月～12月対面またはオンラインによる実践交流会を実施

* 2つの提供先別に分け講座を提供する。

I：施設・養成校を限定し講座を実施。

II：首都圏や地方エリアでオープンな募集をして講座を実施。

2.開発したアップデートプログラムの実証調査の実施(9月～12月に実証を予定)

■調査名 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」

■調査目的

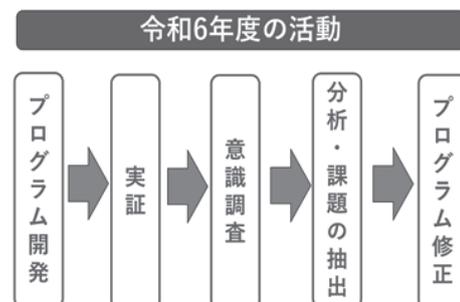
- 1) 開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。
- 2) 講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。
- 3) 提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。

■調査手法

- ・受講前後のアンケート調査
- ・受講後直後のインタビュー調査
- ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査

■調査対象

- ・介護・医療施設の管理職、一般職
- ・養成校学生(2025年卒業見込み2年生)及び養成校の卒業生



■調査実施体制

| | 対面で受講 | オンデマンド オンラインで受講 | <p>■8つの講座の中から希望の講座を1つ選択してもらい受講する。</p> <p>■時間帯・曜日等については、比較調査を検討しているため、実証委員会で検討を行う。</p> |
|-----|--|--|---|
| 1回目 | 東京 | 東京・千葉・神奈川・仙台・福島・大阪・高知・名古屋・北海道・長崎・沖縄・福岡 | |
| 2回目 | 大阪 | * 実証都市が増える可能性あり | |
| 3回目 | 首都圏4か所、北海道、宮城、福島、香川、沖縄の全国9か所の専門学校・介護施設の中からプログラムに合わせて実施する。 * 実証都市が増える可能性あり | | |

■調査項目

- ・受講内容、時間、受講形態
- ・受講後の有効性や利活用について
- ・受講後のフォローアップについて

■分析内容

- ・受講生の講座に対するモチベーション
- ・ミニテストによる知識や技術定着率
- ・施設などの他の研修・セミナーでのフォローアップ体制について
- ・学習のニーズおよび継続するための受講形態に関するニーズ調査
- ・どのようにしたら、地方と都市との差がない、標準化の研修を行えるか？
- ・学習の継続できない理由について、何が不足しているのか？
- ・学習効果の向上について、どのようにしたらアウトプットできるか？
- ・オンデマンドの受講時間はどのくらいが習得でき、継続して受講できるか？

■成果(学び直し講座の開設)

実証調査においてプログラムの有効性があるかどうかについて分析を行う。また、実証とともに受講形態や受講後のフォローアップについて意識調査も行い、その結果をまとめ、次年度のブラッシュアップ検証を行う。

仙台リハビリテーション専門学校との文部科学省事業の連携について

■趣旨・目的等について

仙台リハビリテーション専門学校が取り組んでいる事業は、高等部の知的障がい者を対象とした就業教育の開発であり、本事業が次年度開発するプログラムは、採用側並びに介護職員向けのプログラム開発(知的障がい者とのかかわり方)を予定している。

両校ともに、対象者は異なるものの、介護の現場で戦力になる人財育成という共通の目標があると考えられる。両校が連携しプログラムを提供することで、介護業界の慢性化した人財不足の解消にもつながることが予想されるため、社会実装化できるプログラムをともに開発することを目的としている。

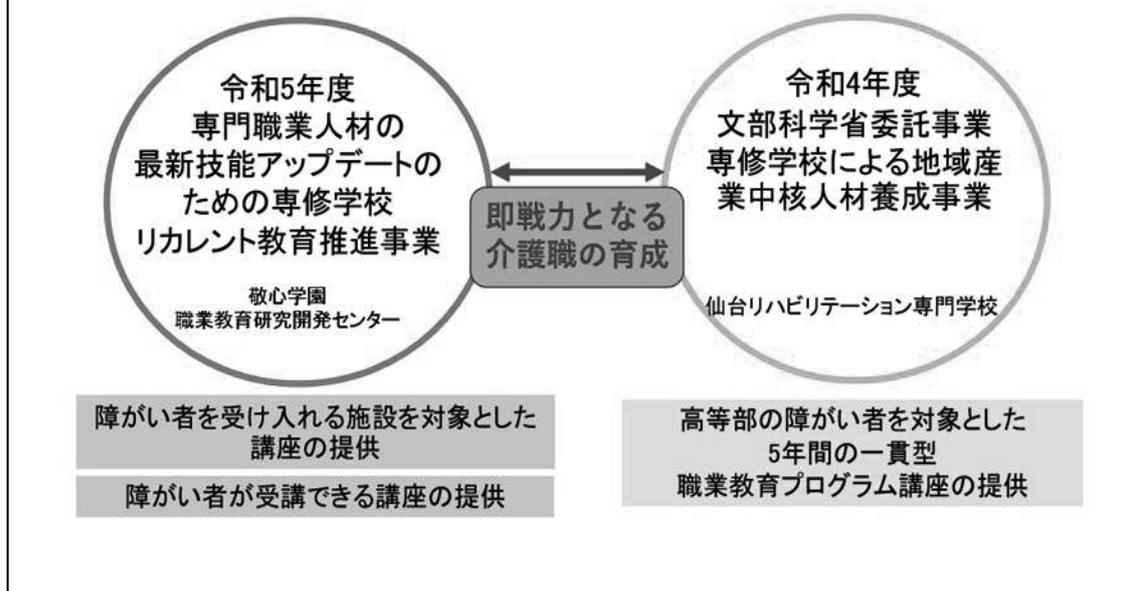
■連携内容

- ①敬心学園 職業教育研究開発センターが開発する知的障がい者とのかかわり方講座内容への助言等。
- ②障がい者が受講できるアップデートプログラムの開発。
- ③仙台リハビリテーション専門学校が開発する介護講座内容への助言等。

■想定される効果

- * 講座の内容が、実践的かつ現場で実践できる内容が提供できる。
- * 採用側並びに介護職への理解がより深まり、知的障がい者への受け入れができるようになる。
- * 知的障がい者の活躍できる業務内容を的確に提示することが出来るため、障がい者が活躍できる場を提供することが出来る。

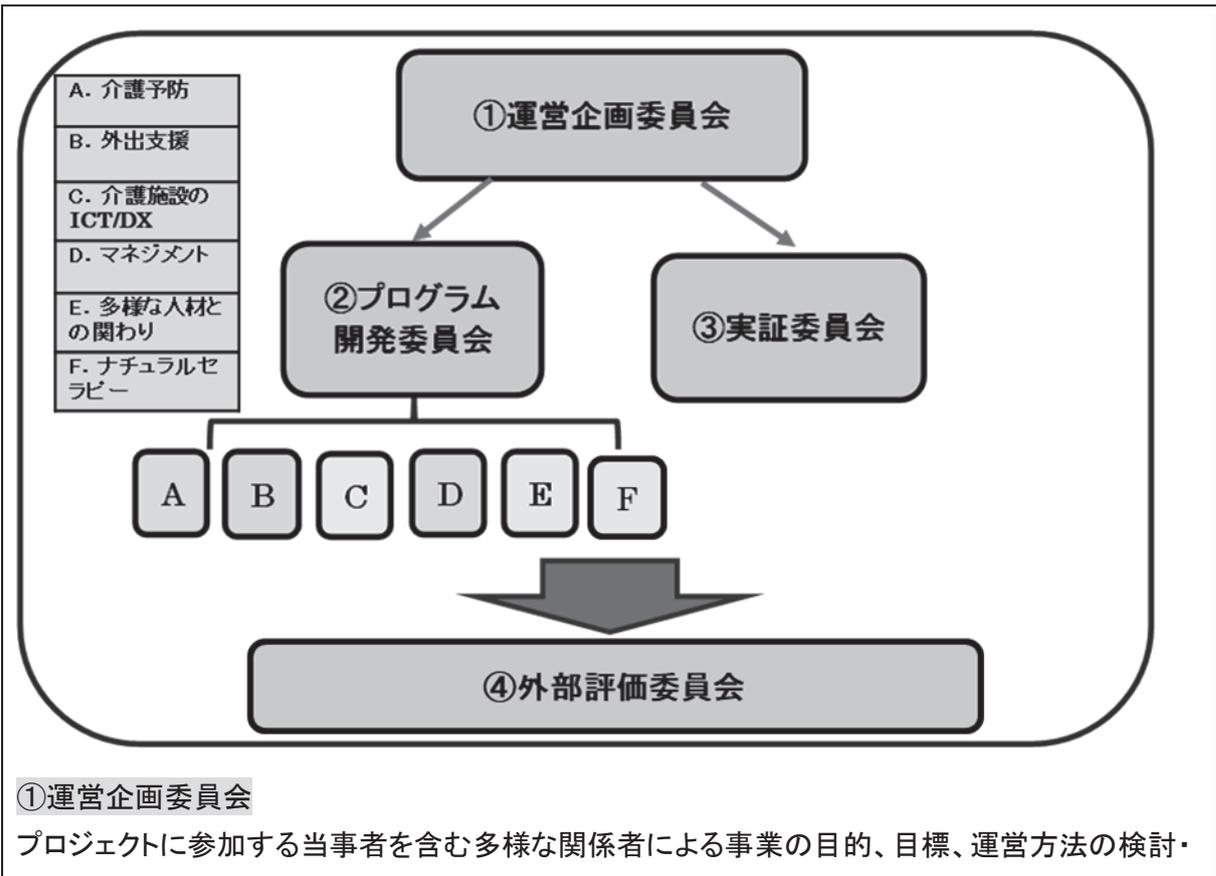
《連携によって想定される効果のイメージ》



(3)本年度の取り組みに関するスケジュール

| | | |
|-----|-----------------------------------|--|
| 6月 | 事業開始 (5月23日) | キックオフミーティング、運営企画委員会同時開催 プログラム委員会開催 実証委員会開催 |
| 7月 | プログラム開発 | プログラム委員会開催および分科会会議開催 実証委員会開催 |
| 8月 | プログラム開発 | プログラム委員会開催および分科会会議開催 実証委員会開催 |
| 9月 | 受講募集開催 (上旬) | プログラム委員会開催および分科会会議開催 実証委員会開催 |
| 10月 | 実証講座開始 (上旬) | 分科会会議開催 |
| 11月 | 実証講座実施 | 分科会会議開催 |
| 12月 | 実証講座実施 | 分科会会議開催 |
| 1月 | 実証講座修了 (中旬) 成果報告会開催 (中旬) | 合同分科会、運営企画委員会同時開催(評価) プログラム委員会開催および6つの分科会会議開催(評価) 実証委員会開催(評価) 外部評価委員会開催 |
| 2月 | | 外部評価委員会開催(評価) 第3者評価終了(上旬) |
| 3月 | 事業終了 | 成果報告書3月3日完成 |

4.事業の実施体制



①運営企画委員会

プロジェクトに参加する当事者を含む多様な関係者による事業の目的、目標、運営方法の検討・共有を行う。各委員会の調整も行う。

②プログラム開発委員会

初年度は、リカレント教育にあった有効と考えられる講座を選定し、2年目以降で、1年目の実証結果をもとに、新規プログラムを開発し、アシスタントティーチャー用のテキストも同時に開発する。また、動画教材に使用する開発も行う。

また、本年度から次年度のプログラム開発を検討する為に講座ごとに6つの分科会を設置し分科会ごとにプログラムの検討を行い、最終的にプログラム開発委員会(全体)で承認する。

③実証委員会

初年度、既存の講座について有効性があるかどうか、また継続して受講できる環境に関するニーズ調査を行う。2年目は、開発されたプログラムを各施設の職員や専門学校の学生を対象に実証し、評価を行う。併せて、各施設や専門学校などで導入を考えている施設の職員や学校の教員のためのアシスタントティーチャー養成講座を実施し、全国の施設や専門学校で実施できるような人材育成を行う。

④外部評価委員会

プログラムの評価測定を担当するとともに、事業全体への総合評価・検証や助言を行う。

5. 組織体制

(1) 教育機関

| | 構成機関(学校・団体・機関等)の名称 | 役割等 | 都道府県名 |
|----|-----------------------------------|--------------------|-------|
| 1 | 学校法人 敬心学園 日本福祉教育専門学校 | 実証協力・実証 | 東京都 |
| 2 | 学校法人 三幸学園 東京未来大学福祉保健専門学校 | 実証協力 | 東京都 |
| 3 | 学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院(金武校) | プログラム開発 | 沖縄県 |
| 4 | 学校法人 仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校 | プログラム開発 | 宮城県 |
| 5 | 学校法人 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 | 実証協力プログラム開発 | 福島県 |
| 6 | 学校法人 穴吹学園 専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ | 実証協力・実証 | 香川県 |
| 7 | 学校法人西野学園 札幌リハビリテーション専門学校 | プログラム開発 実証協力 | 北海道 |
| 8 | 公立大学法人 山梨県立大学 | プログラム開発 | 山梨県 |
| 9 | 学校法人 千葉商科大学 | 外部評価 | 千葉県 |
| 10 | 学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 | プログラム開発 | 千葉県 |
| 11 | 学校法人 駒澤大学 | 外部評価 | 東京都 |
| 12 | 学校法人 早稲田大学 | 運営企画 プログラム開発・実証 | 東京都 |
| 13 | 学校法人 共栄学園 共栄大学 | プログラム開発 | 埼玉県 |
| 14 | 東京慈恵会医科大学 | プログラム開発 | 東京都 |

(2) 企業・団体

| | 名称 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|--------------|--------------|-------|
| 1 | 社会福祉法人 敬心福祉会 | 実証協力 | 東京都 |
| 2 | 社会福祉法人 善光会 | 運営企画・実証 | 東京都 |
| 3 | 社会福祉法人 千歳会 | 実証協力・実証 | 千葉県 |
| 4 | 社会福祉法人 南生会 | プログラム開発 | 千葉県 |
| 5 | 社会福祉法人 梅仁会 | 実証協力・実証 | 長崎県 |
| 6 | 株式会社 ビーブリッド | 運営企画・プログラム開発 | 東京都 |
| 7 | 株式会社 リエイ | 実証 | 千葉県 |
| 8 | 株式会社 やさしい手 | 実証 | 東京都 |

| | | | |
|----|-------------------|--------------|------|
| 9 | 社会福祉法人 伸こう福祉会 | プログラム開発 | 神奈川県 |
| 10 | 社会福祉法人 今山会 | プログラム開発 | 福岡県 |
| 11 | コニカミノルタ株式会社 | 実証 | 東京都 |
| 12 | 株式会社オリーブ | プログラム開発 | 東京都 |
| 13 | 株式会社スタジオ ドード | プログラム開発 | 神奈川 |
| 14 | 株式会社ゆう&あい | プログラム開発 | 愛知県 |
| 15 | 株式会社 B.A.O.V | 運営企画・プログラム開発 | 千葉県 |
| 16 | 株式会社 アライブテック | 実証 | 東京都 |
| 17 | 株式会社 マイナビ | 運営企画・実証 | 東京都 |
| 18 | 合同会社 かいご支援サービス | 実証・実証協力 | 神奈川県 |
| 19 | 公益財団法人 テクノエイド協会 | 実証 | 東京都 |
| 20 | 公益社団法人 全国老人保健施設協会 | 外部評価 | 東京都 |
| 21 | 株式会社ニチイ学館 | 実証 | 東京都 |
| 22 | 株式会社 SPI あ・える倶楽部 | プログラム開発 | 東京都 |
| 23 | 株式会社アイビー | プログラム開発 | 東京都 |

(3) 行政機関・その他

| | 名称 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|--------------------|---------|-------|
| 1 | 川崎市経済労働局イノベーション推進室 | 外部評価委員会 | 神奈川県 |

(4)各機関の役割・協力事項について

各機関の役割

■教育機関

医療・福祉・リハビリ系

(介護福祉士・理学療法士・作業療法士・柔道整復師・鍼灸師)専門学校(7校)

大学 (6校)

- ①既存のコンテンツを使ったプログラムの開発
- ②新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発
- ③それに伴う教材(動画も含む)の作成
- ④アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成
- ⑤アシスタントティーチャー養成講座の参加協力
- ⑥プログラムを使った実証実施の協力
- ⑦効果測定調査実施の協力
- ⑧実証実施後のプログラムの評価・改善提案

■企業・団体

対人援助分野・個人

- ①開発するプログラムに対する現場視点での助言
- ②開発したプログラムの評価
- ③アシスタントティーチャー養成講座マニュアル開発協力
- ④アシスタントティーチャー養成講座の参加協力
- ⑤教育機関同様の実証実施の協力
- ⑥実証の効果測定の方法に関する助言

IT 関係事業者

- ①介護職向けの ICT/DX における使用上の助言
- ②ICT/DX 講座プログラム開発協力
- ③講座で活用する LMS システムについての評価・助言

業界団体

- ①業界全体の状況を踏まえてのプログラムに対する評価・助言
- ②業界の取り組みとのコラボレーションを検討

■行政機関、その他

- ①プログラムの導入に対する評価・助言
- ②プログラムが広く受け入れてもらうための助言
- ③事業全体に対する評価

(5) 事業を実施する上で設置する会議

| | | | |
|------------------|---|------|----|
| 会議名① | 運営企画委員会 | | |
| 目的 ・ 役割 | 本プロジェクトに参加する当事者による事業の目的・目標・計画立案、運営方法の検討を行う。 | | |
| 検討の 具体的内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の企画・運営 ・事業進捗の管理調整 ・事業計画の到達点、評価指標の設定 ・評価基準の確認 ・実証調査・実施・研修会の運営企画 | | |
| 委員数 | 10人 | 開催頻度 | 3回 |

運営企画委員会の構成員(委員)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|-------|--|--|-------|
| 1 | 小林 光俊 | 学校法人敬心学園 理事長 | 運営企画委員会 | 東京都 |
| 2 | 小川 全夫 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発 センター センター長 | 運営企画委員会長 | 東京都 |
| 3 | 小林 英一 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発 センター 研究員 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会副委員 長 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |
| 4 | 竹下 康平 | 株式会社 ビーブリッド 代表取締役 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会委 員長 | 東京都 |
| 5 | 宮本 隆史 | 社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会 ・実証委員会委員長 | 東京都 |
| 6 | 柳沼 亮一 | 社会福祉法人三幸福社会 営業広報部 部長 介護 DX コンサルティングチーム | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会 ・実証委員会副委員長 | 東京都 |

| | | | | |
|----|-------|---|---|-----|
| | | シニアマネージャー 学校法人三幸学園 東京未来大学福祉保育専門学校 介護福祉科 講師 | | |
| 7 | 内田 和宏 | 学校法人早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 講師 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 ・実証委員会 | 東京都 |
| 8 | 吉田 涼平 | 株式会社 B・A・O・V | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会副委員長 ・ICT/DX 講座 | 東京都 |
| 9 | 笹島 慶太 | 株式会社 マイナビ 未来応援事業本部 進学情報事業部 営業統括部 | ・運営企画委員会 | 東京都 |
| 10 | 長坂 愛 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発 センター研究員 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |

| | | | |
|--------------|---|------|----|
| 会議名② | プログラム開発委員会 | | |
| 目的・役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム全体の企画・開発をする。それに伴う教材の企画・開発を行う。 ・6つの講座開発に伴う、プログラムについての最終検討を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | <ul style="list-style-type: none"> ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発の検討 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成の検討 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成検討 | | |
| 委員数 | 21人 | 開催頻度 | 4回 |

プログラム開発委員会の構成員(委員)

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---------|----------------------|----------------------------|-------|
| 1 竹下 康平 | 株式会社 ビーブリッド 代表取締役 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会委員長 | 東京都 |

| | | | | |
|----|-------|---|---|-----|
| 2 | 吉田 涼平 | 株式会社 B・A・O・V | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会副委員長 ・ICT/DX 講座リーダー | 東京都 |
| 3 | 伊藤 健次 | 公立大学法人 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会リーダー | 山梨県 |
| 4 | 菊地 克彦 | 学校法人東京聖徳学園 聖徳大学文学部 教養デザインコース 教授 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 東京都 |
| 5 | 高橋 利明 | TWEC | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・外出支援講座分科会 | 千葉県 |
| 6 | 櫻井 直人 | 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション 専門学校 作業療法学科学科長 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・多様な人とのかかわり方分科会 ・ナチュラルセラピー講座分科会リーダー | 宮城県 |
| 7 | 上江洲 聖 | 学校法人智帆学園 専門学校琉球リハビリ テーション学院(金武 校) 作業療法学科教 員 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 沖縄県 |
| 8 | 中内 英樹 | 学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ 副校長 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 香川県 |
| 9 | 内田 和宏 | 学校法人 早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 講師 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 ・マネジメント講座分科会リーダー | 東京都 |
| 10 | 鳥居 賢一 | 株式会社オリーブ 代表取締役 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座分科会リーダー | 東京都 |
| 11 | 町 亞聖 | フリーアナウンサー | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発委員会 ・外出支援講座分科会 | 東京都 |

| | | | | |
|----|--------|---|---------------------------------------|------|
| 12 | 尾滝 元太 | 株式会社ビーブリッド 経営企画部 新規事業 推進チーム マネージャー | ・プログラム開発委員会 ・ICT/DX 講座分科会 | 千葉県 |
| 13 | 藪中 博章 | 株式会社スタジオドード 代表取締役 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座分 科会 | 神奈川県 |
| 14 | 前田 みどり | 社会福祉法人 伸こう福祉会 クロスハート野七里・栄 施設長 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 神奈川県 |
| 15 | 朝野 愛子 | 社会福祉法人 今山会 理事 一般社団法人 福岡市 老人福祉施設協議会 代表理事 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 福岡県 |
| 16 | 太原 靖一郎 | 学校法人 共栄学園 共栄大学 国際経営 学部 准教授 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 埼玉県 |
| 17 | 光星 きらら | フリーキャリア コンサルタント | ・プログラム開発委員会 ・ナチュラルセラピー講座分科 会 | 沖縄県 |
| 18 | 吉田 あい | 株式会社ゆう&あい 取締役 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座分 科会 | 愛知県 |
| 19 | 角田 大騎 | 学校法人西野学園 札幌リハビリテーション 専門学校 作業療法士科 学科長 | ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 北海道 |
| 20 | 小林 英一 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発 センター 研究員 | ・運営企画委員会副委員長 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |
| 21 | 長坂 愛 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発 センター 研究員 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |

| | | | |
|---------------|---|------|----|
| 会議名③ | 介護予防講座分科会 | | |
| 目的 ・ 役割 | 介護予防プログラムの企画・開発をする。それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | |
| 委員数 | 6人 | 開催頻度 | 5回 |

介護予防講座分科会の構成員(委員)

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|----------|--|-----------------------------------|-------|
| 1 伊藤 健次 | 公立大学法人 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 | ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 リーダー | 山梨県 |
| 2 上江洲 聖 | 学校法人智帆学園 専門学校 琉球リハビリテーション 学院(金武校) 作業療法学科教員 | ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 沖縄県 |
| 3 中内 英樹 | 学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ 副校長 | ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 香川県 |
| 4 角田 大騎 | 学校法人西野学園 札幌リハビリテーション 専門学校 作業療法士科 学科長 | ・プログラム開発委員会 ・介護予防講座分科会 | 北海道 |
| 5 高橋 直人 | 東京慈恵会医科大学附 属柏病院 外科 准教授 | ・介護予防講座分科会 | 千葉県 |
| 6 八子 久美子 | 学校法人 敬心学園 日本福祉教育専門学校 学科 国際教育 特任マネージャー | ・介護予防講座分科会 | 東京都 |

| | | | |
|---------------|---|------|----|
| 会議名④ | 外出支援講座分科会 | | |
| 目的 ・ 役割 | 外出支援プログラムの企画・開発をする。それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | |
| 委員数 | 4人 | 開催頻度 | 3回 |

外出支援講座分科会の構成員(委員)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|-------|-------------------------|-------------------------------|-------|
| 1 | 高橋 利明 | TWEC | ・プログラム開発委員会 ・外出支援講座分科会リーダー | 千葉県 |
| 2 | 町 亞聖 | フリーアナウンサー | ・プログラム開発委員会 ・外出支援講座分科会 | 東京都 |
| 3 | 篠塚 恭一 | (株)SPI あ・える倶楽部 代表取締役 | ・外出支援講座分科会 | 東京都 |
| 4 | 真鍋 圭彰 | 株式会社アイビー 代表取締役 | ・外出支援講座分科会 | 東京都 |

| | | | |
|--------------|---|------|----|
| 会議名⑤ | ICT/DX 講座分科会 | | |
| 目的・役割 | ICT/DX プログラムの企画・開発をする。それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | |
| 委員数 | 2人 | 開催頻度 | 3回 |

ICT/DX 講座分科会の構成員(委員)

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---------|--|--|-------|
| 1 吉田 涼平 | 株式会社 B・A・O・V | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員 副委員長 ・ICT/DX 講座リーダー | 東京都 |
| 2 尾滝 元太 | 株式会社ビーブリッド 経営企画部 新規事業推進 チームマネージャー | ・プログラム開発委員会 ・ICT/DX 講座 | 千葉県 |

| | | | |
|---------------|---|----------|-----|
| 会議名⑥ | マネジメント講座分科会 | | |
| 目的 ・ 役割 | マネジメントプログラムの企画・開発をする。 それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | |
| 委員数 | 5 人 | 開催 頻度 | 5 回 |

マネジメント講座分科会の構成員(委員)

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|----------|---|---|-------|
| 1 内田 和宏 | 学校法人 早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 講師 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 ・マネジメント講座分科会 リーダー | 東京都 |
| 2 菊地 克彦 | 学校法人東京聖徳学 園 聖徳大学文学部 教養デザインコース 教授 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 東京都 |
| 3 前田 みどり | 社会福祉法人 伸こう福祉会 クロスハート野七里・栄 施設長 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 神奈川県 |

| | | | | |
|---|--------|---|-----------------------------|-----|
| 4 | 朝野 愛子 | 社会福祉法人 今山会 理事 一般社団法人 福岡市 老人福祉施設協議会 代表理事 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 福岡県 |
| 5 | 太原 靖一郎 | 学校法人 共栄学園 共栄大学 国際経営 学部 准教授 | ・プログラム開発委員会 ・マネジメント講座分科会 | 埼玉県 |

| | | | |
|---------------|---|------|----|
| 会議名⑦ | 多様な人とのかかわり方講座分科会 | | |
| 目的 ・ 役割 | 多様な人とのかかわり方プログラムの企画・開発をする。 それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | |
| 委員数 | 5人 | 開催頻度 | 5回 |

多様な人とのかかわり方講座分科会の構成員(委員)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|-------|---|---|-------|
| 1 | 鳥居 賢一 | 株式会社オリーブ 代表取締役 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座 分科会リーダー | 東京都 |
| 2 | 吉田 あい | 株式会社ゆう&あい 取締役 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座 分科会 | 愛知県 |
| 3 | 藪中 博章 | 株式会社スタジオドード 代表取締役 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人との関わり方講座 分科会 | 神奈川県 |
| 4 | 櫻井 直人 | 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション 専門学校 作業療法学科学科長 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人とのかかわり方 分科会 ・ナチュラルセラピー講座 分科会リーダー | 宮城県 |

| | | | | |
|---|-------|------------------------|--------------------|-----|
| 5 | 安永 愛香 | 社会福祉法人 どろんこ会 理事長 | 多様な人とのかかわり方 分科会 | 東京都 |
|---|-------|------------------------|--------------------|-----|

| | | | | |
|------------------|---|------|----|--|
| 会議名⑧ | ナチュラルセラピー講座分科会 | | | |
| 目的 ・ 役割 | ナチュラルセラピープログラムの企画・開発をする。 それに伴う教材の企画・開発を行う。 | | | |
| 検討の 具体的 内容 | ① 新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発 ② それに伴う教材(動画も含む)の作成 ③ アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成 | | | |
| 委員数 | 5人 | 開催頻度 | 5回 | |

ナチュラルセラピー講座分科会の構成員(委員)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|--------|---|---|-------|
| 1 | 櫻井 直人 | 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション 専門学校 作業療法学科学科長 | ・プログラム開発委員会 ・多様な人とのかかわり方 分科会 ・ナチュラルセラピー講座 分科会リーダー | 宮城県 |
| 2 | 光星 きらら | フリーキャリア コンサルタント | ・プログラム開発委員会 ・ナチュラルセラピー講座 分科会 | 沖縄県 |
| 3 | 遠藤 靖子 | 門土庵 ソムリエ | ・ナチュラルセラピー講座 分科会 | 福島県 |
| 4 | 村田 詩歩 | 株式会社奏音 発達支援ルームしどれ 児童指導員 音楽療法士 | ・ナチュラルセラピー講座 分科会 | 広島県 |
| 5 | 長坂 希望 | Rhythm in Life 代表取締役 | ・ナチュラルセラピー講座 分科会 | 東京都 |

| | | | |
|---------------|---|------|----|
| 会議名⑨ | 実証委員会 | | |
| 目的 ・ 役割 | 開発した、教育プログラムとそれに伴う教材を使って実証し検証する。 | | |
| 検討の 具体的内容 | <p>以下の項目について実証調査を行う。</p> <p>①開発されたプログラムを活用した講座を希望する福祉施設の介護職及び専門学校 の学生や、卒業生を対象に実施を行う。</p> <p>②習得の効果に関する測定が必要なため、当該講座の試験結果が基本データとなる。 講座後その都度、学習効果の測定を精密化する。</p> <p>③受講生に対して、プログラムの内容がどこまで習得できたか、研修の改善や 継続の有無に関するアンケートおよびインタビュー調査を行う。</p> <p>④今後、開発したプログラムの導入を考えている福祉施設の介護職や専門学校の 教員のためにアシスタントティーチャー養成講座を実施し、全国の福祉施設や 専門学校で実施できるよう人材育成を行う。</p> <p>⑤習得効果測定が基本であるので、講座の修了試験【筆記・実技】で効果が 明確になる評価方法を取る。</p> <p>⑥アシスタントティーチャー養成マニュアルについて、受講したアシスタント ティーチャー候補生の活用能力がどこまで向上したかに関する調査を行う。</p> | | |
| 委員数 | 18人 | 開催頻度 | 4回 |

実証委員会の構成員(委員)

| | 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|---|-------|--|---|-------|
| 1 | 宮本 隆史 | 社会福祉法人 善光会 理事 最高執行責任者 | ・運営企画委員会 ・実証委員会委員長 | 東京都 |
| 2 | 柳沼 亮一 | 社会福祉法人三幸福社会 営業広報部 部長 介護 DX コンサルティングチーム シ ニアマネージャー学校法人 三幸学園 東京未来大学 福祉保育専門学校 介護福 祉科 講師 | ・運営企画委員会 ・実証委員会副委員長 | 東京都 |
| 3 | 内田 和宏 | 学校法人 早稲田大学 人 間科学学術院人間科学部 講師 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 ・マネジメント講座分科会リ ーダー | 埼玉県 |

| | | | | |
|----|--------|---|---------------------------------------|------|
| 4 | 永井 周治 | 社会福祉法人 千歳会 常任理事 | 実証委員会 | 千葉県 |
| 5 | 大本 昇 | 株式会社アライヴテック 代表取締役 | 実証委員会 | 東京都 |
| 6 | 酒井 貴文 | 株式会社マイナビ 医療・福祉エージェント 事業本部 | 実証委員会 | 東京都 |
| 7 | 五島 清国 | 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部 部長 | 実証委員会 | 東京都 |
| 8 | 阿比留 志郎 | 社会福祉法人 梅仁会 理事長 | 実証委員会 | 長崎県 |
| 9 | 岡田 真和 | コニカミノルタ株式会社 FORXAI 事業統括部 QOL ソリューション事業部 | 実証委員会 | 東京都 |
| 10 | 坂手 百子 | 株式会社リエイ 取締役管理本部長 | 実証委員会 | 千葉県 |
| 11 | 香取 幹 | 株式会社やさしい手 代表取締役 社長 | 実証委員会 | 東京都 |
| 12 | 次田 芳尚 | 合同会社 かいご支援サービス 代表社員 | 実証委員会 | 神奈川県 |
| 13 | 千石 友明 | 株式会社ニチイ学館 人財開発事業部 | 実証委員会 | 東京都 |
| 14 | 吉田 智哉 | 学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 事務次長 | 実証委員会 | 東京都 |
| 15 | 比嘉 美香 | 合同会社クリエイト LaBo 沖縄 代表社員 | 実証委員会 | 沖縄県 |
| 16 | 田島 利子 | 「Re-think」代表 | 実証委員会 | 神奈川県 |
| 17 | 小林 英一 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター 研究員 | ・運営企画委員会副委員長 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |
| 18 | 長坂 愛 | 学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター 研究員 | ・運営企画委員会 ・プログラム開発委員会 ・実証委員会 | 東京都 |

| | | | |
|---------------|--|------|----|
| 会議名⑩ | 外部評価委員会 | | |
| 目的 ・ 役割 | <p>【目的】 外部評価委員会は直接点検・評価を行うことはせず、各プロジェクトが行う自己点検・評価の結果を総合評価実施することで、評価の有効性、適切性について第三者の立場から客観的のある評価を行う。</p> <p>【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画段階において、目標が明確か、目標を達成したことを測定する評価指標は適切か、事業がスムーズに進み大きな成果が得られるように助言する。 ・プログラムの評価効果測定を担当するとともに、事業全体への評価・検証を行う。 | | |
| 検討の 具体的内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画・運営に関する助言 ・事業運営と成果に関する評価と検証 ・開発した教育プログラムそれに伴う教材の検証 | | |
| 委員数 | 4人 | 開催頻度 | 3回 |

外部評価委員会の構成員(委員)

| 氏名 | 所属・職名 | 役割等 | 都道府県名 |
|----------|---------------------------------------|---------|-------|
| 1 末繫 泰弘 | 川崎市経済労働局イノベーション推進室 ウェルフェアイノベーション担当 | 外部評価委員会 | 神奈川県 |
| 2 原田 啓一郎 | 学校法人 駒澤大学 法学部 教授 | 外部評価委員会 | 東京都 |
| 3 光山 誠 | 公益社団法人 全国老人保健施設協会 人材対策委員会 | 外部評価委員会 | 大阪府 |
| 4 和田 義人 | 学校法人 千葉学園 千葉 葉商科大学人間社会学部 教授 | 外部評価委員会 | 千葉県 |

II. 事業報告

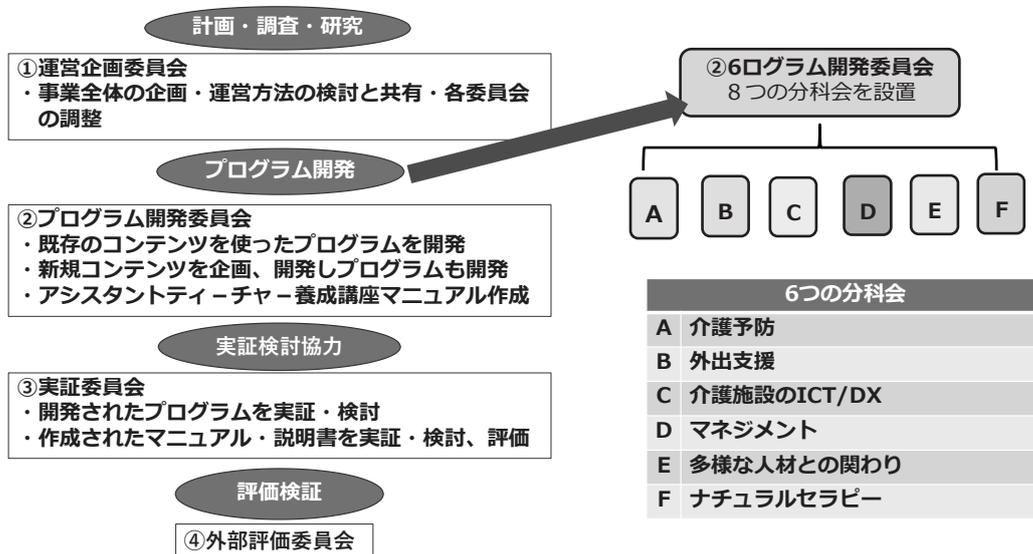
(1) 事業報告

本研究の目的



介護職や医療職の人材スキル・知識を最新のものにアップデートできるリカレント教育のプログラム（基礎・基本）を開発し、受講後のフォローアップをする体制、そして、これらの研修を人材教育アシスタントティーチャー（以下、AT）の研修を同時に行うことで、講座等が安定的・持続的に確保できるプログラムを開発し、実証研究を行いその効果検証を実施する。

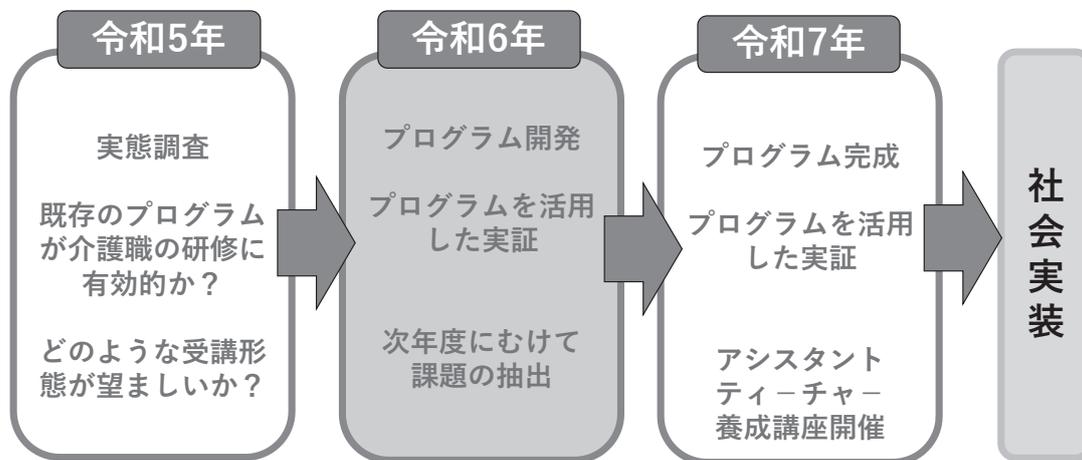
事業実施体制図



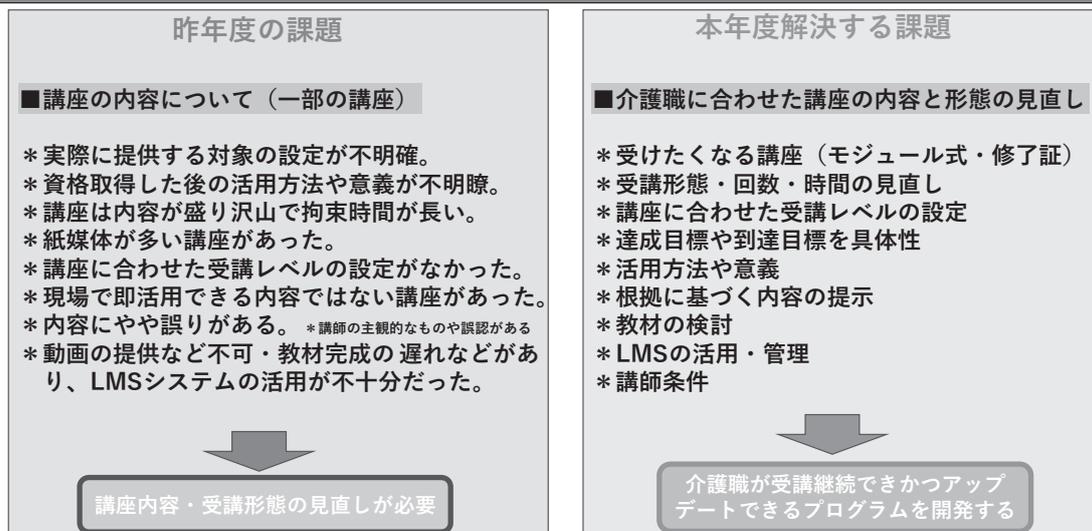
本事業の実施体制は、①運営企画委員会②プログラム開発委員会③実証委員会④外部評価委員会の4つの委員会を設置して実施した。

また、合同会議を実施し、各委員会が本年度実施する計画について情報共有を行った。

3年間の計画



昨年度の課題と本年度解決する課題



本年度は、昨年の課題をもとに 8 つのプログラムの開発に取り組んだ。

介護プロフェッショナルのキャリア段位の概要

| 介護プロフェッショナルのキャリア段位の概要 | | |
|-----------------------|----------------------------|--|
| レベル | 介護共通 | 介護プロフェッショナルのレベル |
| プロレベル | 7 | トッププロフェッショナル |
| | 6 | 多様な生活障害をもつ利用者に対する高い介護を実践・介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善 |
| | 5 | プロレベルのスキル 高度な専門性・オリジナリティ |
| | 4 | チーム内でのリーダーシップ（例：サービス提供責任者、主任等） 部下に対する指示・指導・本レベル以上が「アセッサー」になれる |
| 3 | 一人前の仕事ができる 段階・チーム内でリーダーシップ | 利用者の状態像に応じた介護や他職種の連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践 |
| 2 | 指示等がなくとも、一人前の仕事ができる | 一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践 ・基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践 |
| 1 | エントリーレベル 職業準備教育を受けた 段階 | 初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を習得 |

(引用：内閣府「介護キャリア段位制度の概要」)

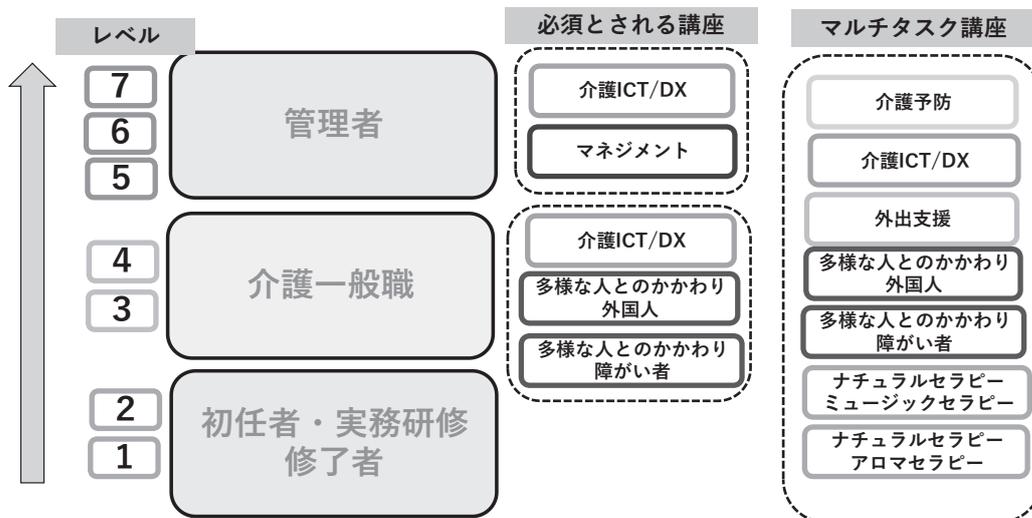
講座に合わせた受講レベルの設定



| | |
|------|---|
| レベル4 | 介護福祉士であること(国家試験合格) ※介護福祉士養成施設卒業生について、国家試験の義務付け前においては、介護福祉士養成課程修了によりレベル4とする |
| レベル3 | 介護福祉士養成課程又は実務者研修修了 ※介護職員基礎研修修了でも可 |
| レベル2 | レベルと同様 |
| レベル1 | 介護職員初任者研修修了 ※ホームヘルパー2級研修又は1級研修修了も含む |

- 介護予防
- 外出支援
- 介護ICT/DX
- マネジメント
- 多様な人とのかかわり
- ナチュラルセラピー

本年度のレベル別プログラム キャリア段位を用いたレベル別表



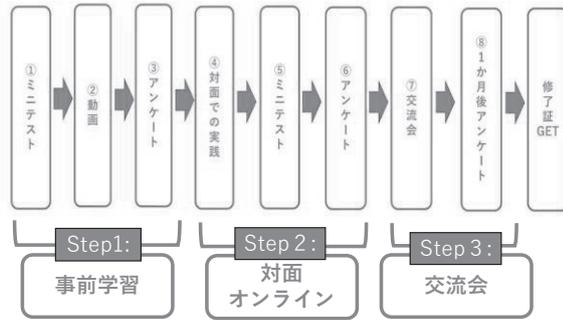
厚生労働省が提唱している、介護プロフェッショナルのキャリア段位を用いたプログラムを開発した。受講者の対象レベルを3つに分け、さらに、必須とされる講座とマルチタスク講座としてのレベルも受講できる講に分け、プログラムを開発した。

本年度のレベル別プログラム



| 講座名 | 事前学習 | 実践 |
|------------------------|------|---------|
| A 介護予防 | 動画 | 対面3H |
| B 外出支援 | テキスト | 対面5H |
| C 介護ICT/DX | 動画 | オンライン6H |
| D マネジメント | 動画 | 対面6H |
| E 多様な人とのかかわり (外国人) | 動画 | オンライン3H |
| E 多様な人とのかかわり (障がい者) | — | 対面2H |
| F ナチュラルセラピー アロマセラピー | 動画 | 対面2H |
| F ナチュラルセラピー ミュージックセラピー | 動画 | 対面2H |

オンデマンド・実践・振り返りなどを含む
8工程で受講

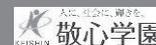


受講者募集のためにチラシを作成した。(別紙資料1)

募集方法については、Web 広告や委員の紹介、ダイレクトメール等で受講生を募集した。

また、講座の受講方法についてはLMSシステムを活用して、3つのStepに沿って受講できる仕組みを作り実証を実施した。

実証実績



| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|------|------|----------|------|
| 1 | 対面 | 北海道 | 学生 | 45 |
| 2 | 対面 | 大阪 | 介護従事者・教員 | 3 |
| 3 | 対面 | 東京 | 介護従事者・学生 | 12 |
| 4 | 対面 | 香川県 | 学生 | 41 |
| | | | | 101 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|------|------|----------|------|
| 1 | 対面 | 大阪府 | 介護従事者 | 1 |
| 2 | 対面 | 東京都 | 介護従事者・学生 | 22 |
| | | | | 23 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|------|------|-----------|------|
| 1 | 対面 | 大阪府 | 管理者・介護従事者 | 2 |
| 2 | 対面 | 東京都 | 管理者・介護従事者 | 10 |
| | | | | 12 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|-------|------|-----------|------|
| 1 | オンライン | 大阪府 | 管理者・介護従事者 | 11 |
| 2 | オンライン | 東京都 | 管理者・介護従事者 | 12 |
| 3 | オンライン | 福島県 | 学生 | 23 |
| | | | | 46 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|-----------------------|-------|-----------|------|
| 1 | オンデマンド オンライン 対面 | 大阪・東京 | 管理者・介護従事者 | 3 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|-------|------|-------|------|
| 1 | オンライン | 大阪府 | 介護従事者 | 3 |
| 2 | オンライン | 東京都 | 介護従事者 | 1 |
| 3 | 対面 | 東京都 | 教職員 | 8 |
| | | | | 12 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|------|------|-----|------|
| 1 | 対面 | 福島県 | 学生 | 121 |
| 2 | 対面 | 埼玉県 | 学生 | 34 |
| | | | | 155 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 利用者数 | 受講者数 |
|----|--------|------|------------|------|------|
| 1 | 対面 | 宮城県 | 利用者・職員・学生 | 60 | 18 |
| 2 | 対面 | 福島県 | 利用者・職員・学生 | 60 | 7 |
| 3 | 対面 | 東京都 | 利用者・小学生・職員 | 22 | 1 |
| 4 | 対面 | 千葉県 | 利用者・職員 | 20 | 9 |
| 5 | オンデマンド | | 介護従事者・その他 | | 3 |
| | | | | 162 | 36 |

| No | 開催方法 | 開催都市 | 対象者 | 受講者数 |
|----|------|------|-------|------|
| 1 | 対面 | 埼玉県 | 学生 | 14 |
| 2 | 対面 | 大阪府 | 介護従事者 | 2 |
| 3 | 対面 | 東京都 | 介護従事者 | 11 |
| 4 | 対面 | 香川県 | 学生 | 41 |
| | | | | 68 |

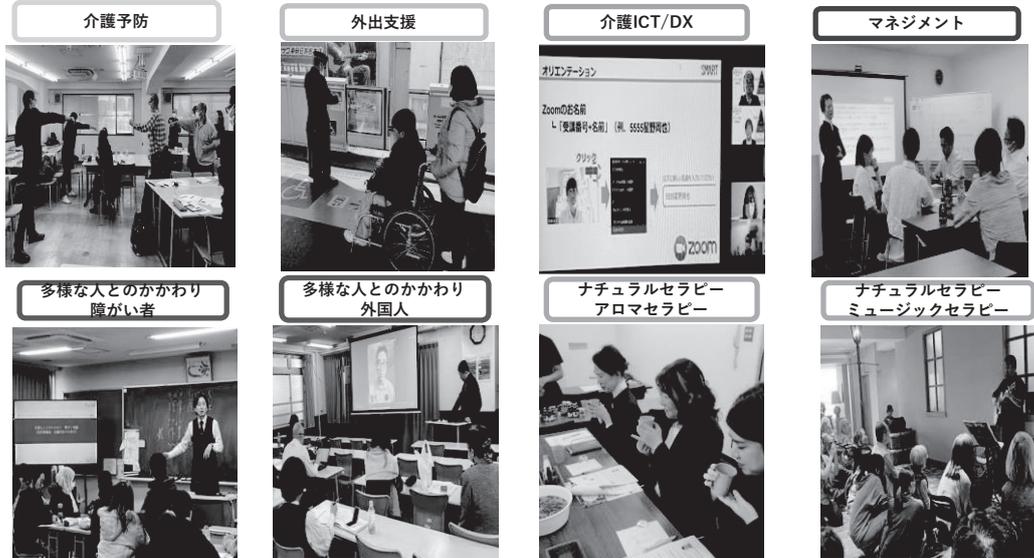
総申込数：682名(内モニター・利用者数含む)
受講総数：456名(モニター含まない)

実証期間：令和6年12日(土)～令和7年1月17日(金)

総申込数：682名

受講総数：456名

実証の様子



今回の研修開催は、東京、大阪 2カ所で実施。また、2025 年度卒業見込みの養成校の学生に対しても、能動的に学ぶことのできる(リカレント教育)の講座の提供を、札幌、仙台、郡山、埼玉、香川の養成校にて実施した。その他、ミュージックセラピーについても、計 4 か所の高齢者施設で実施した。

実証総数:12 か所

ミニテスト結果報告

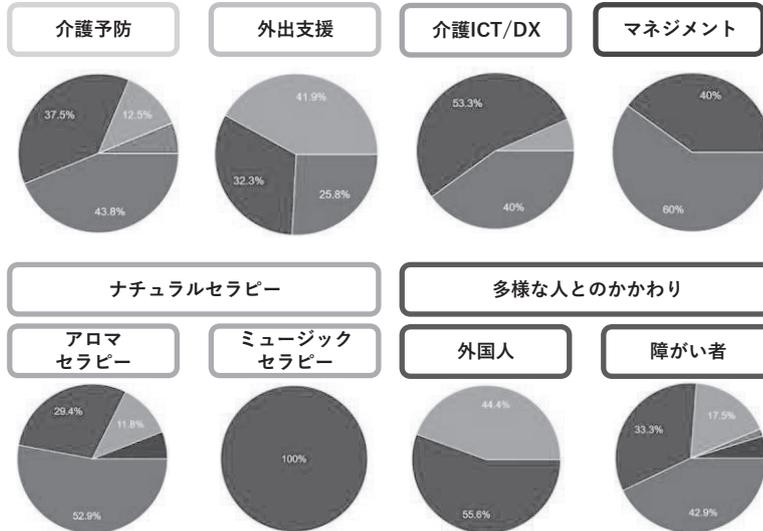
| | 事前テスト (人数) | 事後テスト (人数) | 事前事後受験者 (人数) | 事前テスト (平均点) | 事後テスト (平均点) | 事前アンケート (人数) | 事後アンケート (人数) |
|----------------------------|---------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| マネジメント | 16 | 10 | 8 | 6.00/10 | 7.25/10 | 14 | 10 |
| ナチュラルセラピー (アロマセラピー編) | 68 | 67 | 58 | 7.64/10 | 8.26/10 | 14 | 17 |
| ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー編) | 26 | 21 | 21 | 7.67/10 | 8.00/10 | 4 | 1 |
| 多様な人とのかかわり (外国人編) | 13 | 7 | 7 | 9.00/10 | 9.43/10 | 10 | 9 |
| 多様な人とのかかわり (障がい者編) | 103 | 94 | 91 | 4.83/10 | 5.79/10 | 68 | 63 |
| 介護予防 | 64 | 19 | 17 | 3.50/10 | 4.88/10 | 51 | 13 |
| 外出支援 | 19 | 15 | 15 | 7.33/9 | 7.67/10 | 20 | 19 |
| 介護ICT/DX | 17 | 13 | 11 | 7.73/10 | 8.09/10 | 17 | 15 |

ミニテストでは、すべてのプログラムに学習効果が見られたとの結果となった。

アンケート結果報告

現場で実践できるか

- ① 学んだ内容を現場でとても実践できると思う
- ② 学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③ どちらともいえない
- ④ 学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤ 学んだ内容を現場で全く実践できないと思う



アンケートの結果では、現場で実践できるかの問いに対し、講座によってすぐに実践できるもの、できないものがあった。

受講生の声

| | |
|---|--|
| <p>介護予防</p> <p>■専門学校 介護福祉士 業務主任 事前学習もある点など、本当にすぐ使えるもので指標にもなるようなものについての学生に伝えやすいなと思ったのでそれを持ち帰りたいと思っています。</p> | <p>外国人</p> <p>■専門学校 教務 留学生を受ける側として、送り出し機関がどのようなことをしているのかわからなかったが、実際に現地の学生の思いや、受け入れ側の思いが伝わりとても参考になった。</p> |
| <p>外出支援</p> <p>実際に電車に乗ってまちなかを歩けたのがよかった。悪かった点は、実際に外出してみることがあるということ、講義の内容が分からなかったもので、どうい内容の講義があるのかを前もって知らせていただけたとよい。</p> | <p>障がい者</p> <p>障害がある人も他の人と一緒に働く場所があることを知ることができて、将来一緒に働くことがあることを身近に感じられた。障害があってもなくても、みんな仕事で一緒になるため、専門学校において知っておくことが大切だと思う。</p> |
| <p>介護ICT/DX</p> <p>最初にイメージしていたよりも、講座内容が事業所運営側寄りだったかなという印象で、もっと現場よりの情報が欲しかった。例えば、実際に使っているスタッフの様子や感想がもう少し知りたかった。</p> | <p>アロマセラピー</p> <p>時間が短かったので、質問したかったところもあったが、さらに学んでいく意欲が芽生えた。現場で実践できると感じた。ハンドマッサージはすぐにもできると思う。</p> |
| <p>マネジメント</p> <p>介護業界でマネジメントは大きな課題で、自法人ではなかなかできないことを学んだので、今日学んだことを活かしていきたい。</p> | <p>ミュージックセラピー</p> <p>今回のようなレクはハードルが高いかもしれないが、なぜ音楽レクが必要なのか理解した職員が実践し、利用者様の心身の向上につながることは大いにすべきだと思う。</p> |

インタビューでも、現場で実践できるかの問いに対し、講座によってすぐに実践できるもの、できないものがあった。

本年度の課題と次年度に向けての解決策



【講座集客について】

- ・内容や日時の記載等講座案内の説明不足。
- ・無料で受講するための条件の周知徹底不足。
- ・受講生の職歴・役職のばらつき。

▶ 募集の方法などを
受講者目線で見直す。

【講座について】

- ・動画の完成延滞に伴う事前学習開始の延滞。
- ・事前学習の周知徹底ができなかった。
- ・動画視聴時間が長すぎるものがあった。
- ・講座の目的、その後活躍方法の説明不足。
- ・アシスタントティーチャー養成ができる講座できない講座があった。

▶ 周知の方法についてメール
だけではなく別の方法も検討。

▶ 動画やスライドで実践できる
講座のみを再検討。

【LMSシステムについて】

- ・ミニテスト・アンケートの回答率が低かった。

▶ 実施方法の見直し。

上記の、課題の解決策として、次章(3)で説明をする。



講座の8工程終了した受講生へは修了証を発行する。

(2)実証報告

実証日程一覧

| No | | 開催都市 | 実証施設・実証校 |
|----|------------------------|------|--|
| 1 | 10月12日(土) | 宮城県 | 特別養護老人ホームリズムタウン仙台 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校 |
| 2 | 10月13日(土) | 福島県 | 医療法人社団 平成会 健康倶楽部館 ファンコート郡山 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| 3 | 10月28日(月) | 東京都 | 千田福社会館 |
| 4 | 11月1日(金) | 北海道 | 学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 |
| 5 | 11月8日(金) | 福島県 | 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| 6 | 11月18日(月) | 千葉県 | 株式会社リエイ |
| 7 | 11月23日(土) 11月24日(日) | 大阪府 | リファレンス大阪駅前第4ビル23階 |
| 8 | 12月13日(金) | 埼玉県 | 学校法人明星学園 関東福祉専門学校 |
| 9 | 12月14日(土) 12月15日(日) | 東京都 | 学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 |
| 10 | 1月10日(金) | 香川県 | 学校法人穴吹学園 穴吹パティシエ福祉カレッジ |
| 11 | 1月15日(水) | 福島県 | 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| 12 | 1月17日(金) | 香川県 | 学校法人穴吹学園 穴吹パティシエ福祉カレッジ |

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|--|
| ■実証実施日 | 令和6年10月12日(土)・10月13日(日) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1) 開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2) 講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3) 提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー入門編) |
| ■実証会場 | 10月12日(土)特別養護老人ホームリズムタウン仙台 学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校 10月13日(日)医療法人社団 平成会 健康倶楽部館 ファンコート郡山 学校法人東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| ■受講人数 | 利用者 60名 作業療法学科2年生 18名 利用者 50名 職員 3名 郡山健康科学介護福祉学科 4名 |
| ■実証担当者 | 櫻井直人、千石友明、八子久美子、小林英一、渡邊みどり |
| ■講座提供 | 窪 隆史氏 |

【実証スケジュール】

| | |
|-----------|---------------------|
| 10月12日(土) | |
| 12:00 | 実証先到着 講座準備・実証の打ち合わせ |
| 12:50 | 実証開始 |
| 13:30 | 利用者・職員へのインタビュー |
| 15:30 | 仙台リハビリテーション専門学校へ移動 |
| 16:00 | 実践編 学生へのインタビュー |
| 16:15 | 実践編学生へのインタビュー終了撤収 |
| 17:30 | 仙台から郡山へ新幹線で移動 |
| 18:00 | 実証終了 |

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 10月14日(日) | |
| 9:00 | ホテルチェックアウト 郡山健康科学専門学校へ移動打ち合わせ |
| 12:00 | 実証到着 講座準備・実証の打ち合わせ |
| 13:00 | 実証開始 |
| 15:30 | 利用者、職員へのインタビュー |
| 16:00 | 実証終了 |
| 16:30 | 郡山健康科学専門学校にて 介護福祉学科の学生へのインタビュー |
| 17:00 | インタビュー終了 撤収 |

インタビュー

10月12日(土)仙台リズムタウン

●利用者からのインタビュー

- ・知っている歌は、歌った。
- ・手拍子が心地よかった。
- ・歌で涙が出た。荒城の月、親を思い出した。昔を思い出した。
- ・また来てほしい。
- ・このようなイベント、やってほしい。
- ・職員さんにもやってほしいです。

●職員さんにはインタビュー

- ・普段リアクションの少ない利用者様が、手拍子したり、口ずさんだりする姿を見て驚いた。
- ・音楽は人を元気にする力があると感じた。
- ・時間がない中でどのようにやれるかだか、楽しめる音楽レクをしてみたいと思った。

●仙台リハビリテーションの学生2名(女性)

- ・すごかった、楽しい。笑ってしまった。
- ・盛り上げ方がすごく、自分も現場で出来たらよいと思った。
- ・レクリエーションの中で、音楽を取り入れたことができるといいと思う。

10月13日(日)ファンコート郡山

●利用者インタビュー

この施設は音楽療法士による音楽レクやカラオケが行われている。

職員さんが決めていた利用者インタビューする。(女性 認知症なし、この施設での歌姫と言われている方)

- ・いつも音楽レクはあるが、ものまねは大したもんだと興奮気味に語る。
- ・楽しいね
- ・歌を聞いて、懐かしい気持ち、親を思い出した。

●職員さんへインタビュー(女性)

- ・音楽療法、うつでも行っているけど、また違った刺激、利用者への大きな刺激となった。

午前中の利用者の表情と、このイベントに参加後の利用者の表情が明らかに変化した。(活性化された)

- ・認知症の方の反応がいつもと違い、自分の気持ちをはっきり相手に伝えたり、認知機能が高まったような言葉がきかれたので、驚いた。

うちには音楽療法を説教的に取り入れているので、これからの利用者の方への刺激を継続していきたい。

- ・介護職としてできることを考えていきたい。

●参加した学生へのインタビュー(介護学科1年生男子4人)

*質問1:音楽レク、何が難しかったか

- ・目の前にいる利用者への声掛け
- ・手拍子のタイミング
- ・コミュニケーションの取り方
- ・どのようなリアクションを取ったら盛り上がるのか、間の取り方

*質問2:難しかったことをどうしたらできるようになると思うか

- ・利用者の動きをよく見て行動する。
- ・わかりやすい説明
- ・経験を積む
- ・利用者へお願いする形で進めていく。

■実証委員の所感

多くの人は次のような効果があったようである。感覚からの刺激で感情への働きかけにより心や体が動くこと(笑う、泣く、手拍子、歌う)が回想・連帯感・脳への活性化につながると実感した。介護職がマルチタスクを身に付け自分も楽しめる音楽レクの実践ができるように講座のブラッシュアップが必要と感じた。

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年10月28日(月) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。 特に、ミュージックセラピーの効果について利用者への検証を行う。</p> <p>■調査手法</p> <p>・受講後直後のインタビュー調査</p> |
| ■実証講座名 | ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー入門編) |
| ■実証会場 | 千田福社会館 |
| ■受講人数 | 利用者 22名 小学生 14名 職員 1名 |
| ■実証担当者 | 小林英一(事務局) 渡邊みどり(コーディネーター) |
| ■講座提供 | 窪 隆史氏 |

【当日のスケジュール】

| 10月28日(月) | |
|-------------|------------------------------|
| 12:30 | 千田福社会館に到着 |
| 12:30~13:00 | 打ち合わせ・準備 |
| 13:00~14:30 | ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー入門編) |
| 14:30~15:00 | 利用者へのインタビュー |
| 15:00~16:00 | 講座の振り返り・片付け・終了 |

インタビュー

●参加した利用者へのインタビュー

- ・毎日同じメンバーがこの施設に通ってきており、ここが自分たちの居場所になっている。このような場の提供は自分たちのハリにもなり大いにこれからもしてほしい。
- ・物まね芸人さんの歌も良かったが、自分達も一緒に前に出て歌いたかった。
- ・施設長が、飛び入り参加してくれて会が盛り上がり楽しかった。
- ・歌は、私たちの活力の源にもなっているので、是非今後もこのような講座を広めてほしい。

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年11月1日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | 介護予防 |
| ■実証会場 | 学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科・作業療法学科 45名 |
| ■実証担当者 | 角田大騎 介護予防分科会委員 内柴 祐基 介護予防分科会コーディネーター 小林英一(事務局) 渡邊みどり(コーディネーター) |

【当日のスケジュール】

| 11月1日(金) | |
|-------------|---------------------------|
| 10:00 | 内柴氏札幌医学技術福祉歯科専門学校に到着 |
| 10:00~13:00 | 打ち合わせ・準備・昼食 |
| 12:50 | 小林氏・渡邊到着 |
| 13:00~16:00 | 介護予防 介護福祉学科・作業療法学科 45名 |
| 16:10~16:40 | 学生へのインタビュー |
| 16:40~17:00 | 講座の振り返り・片付け・終了 |

| 11月2日(土) | |
|-------------|---------------------------------------|
| 10:00 | 内柴氏札幌リハビリテーション専門学校に到着 |
| 10:00~15:40 | 角田氏と振り返りおよび次回の実証講座のシュミレーションを行う授業案作り準備 |
| 15:40~16:00 | 片付け・終了 |

講座の振り返り

■日時:2024年11月2日(水)10:00~12:00

■参加者: 角田大騎 介護予防分科会委員

内柴 祐基 介護予防分科会コーディネーター

■場所:西野学園 札幌リハビリテーション専門学校

1)実証実験の振り返り

・40名の人数で、想定していた時間配分で遂行できたことは良い点であった。これ以上人数が増えると運営上は難しいかもしれない。(角田)

・外国人(留学生)の方も、CWやOTのサポートの下で取り組んでいた。様々な職種を混ぜて行うことで、多角的な視点やチーム医療を学ぶ上では、良い形態であった。(内柴)

・事前に会場などのレイアウト図などの大まかな準備が必要であった。(角田)

・内容が場合によっては、学生向けに寄りすぎているかもしれない。今後の実証でその点がどのような反応か精査する必要がある。(角田)

・CWの方が現場で、どのように活用するのかの具体例などを挙げる必要がある。(内柴)

・今後は、物品の準備(特に握力計)などを事前に検討しておく必要がある(内柴)

・前半の実技時間に関しては、可能な範囲でスピーディーに対応して、後半の症例検討とグループワークで時間を多くとる方が良い印象を受けた。(角田)

2)今後について

・現場の介護予防への認識や実践度の現状を踏まえながら、内容や難易度に関する変更が必要

・症例検討に関しても、今後はより現場に近い提示ができるように、情報収集を行っていく

次回開催の講座シュミレーション

■90分×2コマ

■受講人数:最大40名 最小10名

■グループ:最大40名:4人×10組 最小10名 3~4人×3組

【1コマ目】

| 時間 | 内容 | 進行・準備物 |
|----------|-------------------------|---|
| 開始 10 分前 | グループで着席し。ミニテスト・アンケートを実施 | LMS ログイン方法を受講生へ伝える ・PPT資料配布 ・ワークシート配布 ・プロジェクター ・PC ・ミニコマシラバス |
| 10 分 | 導入 | PPTを使ってミニコマシラバスを説明する。 |
| 5 分 | 計測について説明 | PPTを使ってこれから行う内容を説明する。 |
| 30 分 | 3つの計測の実施 | グループで行い、10分ごとに入れ替わる ・タイムウオッチ ・握力測定器 ・椅子 |
| 5 分 | 評価についての説明 | PPTを使ってこれから行う内容を説明する。 |
| 20 分 | 評価についてまとめる作業をグループで実施 | 行った計測の評価をグループで行い発表する。 *人数が多い場合は、2グループの発表とする。 |
| 10 分 | グループごとに発表・感想 | |

【2コマ目】

| 時間 | 内容 | 備考 |
|----------|----------------|--|
| 開始 10 分前 | グループで着席する。 | ・PPT資料 ・ワークシート ・プロジェクター ・PC |
| 10 分 | 事例・計画について説明 | PPTを使って説明する。 |
| 30 分 | 計画書作成 | グループで行い、ワークシートに記入する。 |
| 30 分 | グループごとに発表する。 | 計画書をもとにグループで考えた内容を発表する。 * 人数が少ない場合は、計画作成に時間を回す。 |
| 10 分 | まとめ | ミニコマシラバスを使ってまとめをする |
| 10 分 | ミニテスト・アンケートを実施 | LMS ログイン方法を受講生へ伝える ・PPT資料 ・ワークシート ・プロジェクター ・PC |

インタビュー

●参加した学生へのインタビュー

■(介護福祉学科1年生留学生)

動画にもルビを振るなどしてほしかった。介護予防という言葉は聞いたことがあるが、学習したいないので今回このような授業が受けられて知識として学ぶことが出来た。

■(介護福祉学科1年生)

介護職が考える介護予防計画は、とても新鮮な学びにつながったと思う。是非、自分も実習の時に実践してみたいと思った。このような、即実践に繋がる学習は、是非今後も取り入れてほしいと思った。

■(作業療法学科1年生)

動画が長すぎた。実践では、多職種連携で取り組む授業となり、とても実践的だった。

是非、カリキュラムとして入れてほしい。

■(作業療法学科1年生)

動画では、普段耳にしない言葉も多く学び内容としては良かったが、もう少し短くても良いと思った。

実践では、リハビリ=介護予防がよく分かる授業だった。また、作業療法士、介護福祉士としてそれぞれに行う専門性が異なることも確認でき良い経験となった。

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年11月8日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | 多様な人とのかかわり(障がい者編) プレ実証: バランスボール |
| ■実証会場 | 学校法人東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科2年 34名 理学療法士1年 40名 作業療法学科1年 14名 こども未来学科1年・2年 30名 国際日本語学科 14名 |
| ■実証担当者 | 安永愛香(多様な人とのかかわり(障がい者編)分科会委員) 宮本隆史(実証委員長) 吉田智哉(実証委員) 小林英一(事務局) 渡邊みどり(コーディネーター) |

【当日のスケジュール】

| | | |
|-------------|--|--|
| 11月8日(金) | | |
| 13:00 | 郡山健康科学専門学校に到着 | |
| 13:00~14:00 | 打ち合わせ・準備 | |
| 13:00~14:10 | 【プレ実証】 運動やさいさんベジガールズ 医療・福祉向けのバランスボール運動 | 介護福祉学科2年 34名 理学療法士1年 20名 こども未来学科 2年 24名 国際日本語学科 14名 |
| 14:10~14:20 | 学生移動 | |
| 14:20~14:30 | ミニテスト・アンケート実施 | |
| 14:30~15:30 | 文部科学省委託研修事業 多様な人とのかかわり ～障害がある人との協働～ | 介護福祉学科2年 34名 理学療法士1年 20名 作業療法学科1年 14名 |

| | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| | 多様な人とのかかわり(障がい者編)分科会委員 安永愛香氏・櫻井直人氏 | |
| 15:30～15:40 | ミニテスト・アンケート実施 | |
| 15:40～15:50 | 学生移動 | |
| 15:50～17:00 | 【プレ実証】 運動やさいさんベジガールズ 医療・福祉向けのバランスボール運動 | 理学療法士1年 20名 こども未来学科 1年 15名 |
| 17:00～17:20 | 学生へのインタビュー | |
| 17:20～18:00 | 片付け・終了 | |

インタビュー

多様な人との関わり 障がい者編

●参加した学生へのインタビュー

■(介護福祉学科2年生)

障がい者についての制度や障害の特性について理解はしていたが、あらためて、共に協働する仲間として利用者ではなく仲間として意識することが必要なことを学んだ。

■(理学療法学科1年生)

障がい者についてはあまりかかわりがないが、ダイバーシティヲ意識してはいけないとこの講座を聞いていて感じた。共に働く仲間として、何ができるかこちらが受け入れる姿勢を持っていないとダメだと思った。

■(作業療法学科1年生)

実践的な授業で面白かった。普段学習しないような現実の話聞いて、今後自分の回りを意識していこうと感じた。私たちが受け入れることがこれからの社会にとって必要だと学んだ。

プレ実証 バランスボール

■(介護福祉学科1年生)

歌と運動を一緒に行うことで、介護予防につながると思った。もっと施設の利用者が出来る運動を知りたいと思った。

■(理学療法学科1年生)

道具を使ったリハビリはあるが、ボールを使ったリハビリ運動を学ぶのは初めてだった。とても新鮮で、リハビリの手段や対象の患者さんなどを想定しながら学ぶことが出来た。

■(作業療法学科1年生)

生活機能のリハビリを主に学んでいたが、音楽と運動を併せることで、こんなに楽しく運動が出来ることを学んだ。色々な可能性がバランスボールにはあることを知ることができた。

■(こども未来学科1年生)

とても新鮮だった。ボールを使ってハビリや運動を授業で学ぶ機会が少なかったなので、とても良い経験が出来た。

■(国際日本語学科)

初任者研修を修了した後に、リハビリで楽しく運動が出来ることを知った。もっと前にこのような運動について勉強したかった。

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年11月18日(月) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。 特に、ミュージックセラピーの効果について利用者への検証を行う。</p> <p>■調査手法</p> <p>・受講後直後のインタビュー調査</p> |
| ■実証講座名 | ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー入門編) |
| ■実証会場 | コンシェル舞浜(有料老人ホーム) |
| ■受講人数 | 利用者 20名 職員 5名 |
| ■実証担当者 | 遠藤靖子(ナチュラルセラピーアロマ分科会)渡邊みどり(コーディネーター) 講師提供:窪 隆史氏 |

【当日のスケジュール】

| | |
|-------------|------------------------------|
| 10月28日(月) | |
| 17:00 | コンシェル舞浜に到着 |
| 17:00~18:30 | 打ち合わせ・準備 |
| 18:30~19:30 | ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー入門編) |
| 19:30~20:00 | 利用者へのインタビュー |
| 20:00~20:30 | 片付け・終了 |

インタビュー

●参加した利用者へのインタビュー

【今回のイベントはいかがでしたか？】

- ・日々毎日暮らしていると、何も刺激がないのでこんな催しものはとても刺激になる。
- ・普段口数が少ない夫が、【この曲知っている】【歌がうまい】とコメントをしたことに驚いた。
- ・自分達も一緒に前に出て歌いたかった。

【職員さんがこのような音楽レクをやることについてどう思うか】

- ・刺激があって参加者も増えると思う。
- ・年齢層が幅広いかもしれないが、是非やってほしいと思う。

●職員へのインタビュー

【職員さんがこのような音楽レクをやることについてどう思うか】

今回のようなレクはハードルが高いかもしれないが、なぜ音楽レクが必要なのか理解した職員が実践し、利用者様の心身の向上につながることは大いにすべきだと思う。

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | | |
|--------|---|--|
| ■実証実施日 | 令和6年11月23日(土)・11月24日(日) | |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 | |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 | |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 | |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 | |
| ■実証講座名 | <p>■11月23日(土)</p> <p>マネジメント ナチュラルセラピー(アロマセラピー編) 多様な人とのかかわり (外国人編)</p> | <p>■11月24日(日)</p> <p>介護予防 外出支援 介護 ICT/DX</p> |
| ■実証会場 | リファレンス大阪駅前第4ビル 23階 2024/11/23(土) 大阪第4ビル 2310 2024/11/23(土) 大阪第4ビル 2313 | リファレンス大阪駅前第4ビル 23階 2024/11/24(日) 大阪第4ビル 2313 2024/11/24(日) 大阪第4ビル 2315 |
| ■受講人数 | マネジメント 2名(委員モニター3名) ナチュラルセラピーアロマセラピー編 2名(委員モニター3名) 多様な人とのかかわり (外国人編) 3名 | 介護予防 3名 外出支援 1名 介護 ICT/DX 11名 |
| ■実証担当者 | <p>■マネジメント</p> <p>菊地克彦 内田和宏 朝野愛子 太原靖一郎</p> <p>■ナチュラルセラピー(アロマセラピー)</p> <p>遠藤靖子</p> <p>■多様な人とのかかわり (外国人編)</p> <p>鳥居賢一 吉田愛</p> <p>■実証 柳沼亮一</p> <p>■事務局 小林英一 渡邊みどり</p> | <p>■介護予防</p> <p>内柴祐基 伊藤健次 八子久美子</p> <p>■外出支援</p> <p>高橋利明 真鍋 圭彰</p> <p>■事務局</p> <p>小林英一 渡邊みどり</p> |
| ■講座提供 | <p>■ナチュラルセラピー(アロマセラピー編)一般社団法人自然セラピスト協会 大塚氏</p> <p>■特定非営利活動法人日本トラベルヘルパー協会トラベルヘルパー協会講師 1名</p> <p>■介護 ICT/DX 株式会社善光総合研究所 星野氏</p> | |

【実証スケジュール】

| ■11月23日(土) | | | ■11月24日(日) | | |
|------------------|---------------------------------|----------------|-----------------|------------------------|-----------------------------------|
| 9:00 ~ 9:30 | 会場到着 会場準備 | | 9:00~ 9:30 | 会場到着 会場準備 Zoom 立ち上げ | |
| 9:30 ~ 10:30 | 受講生受け入れ 講座最終打ち合わせ | | 9:30~ 10:00 | 受講生受け入れ 講座最終打ち合わせ | |
| 10:00 ~ 17:30 | ナチュラルセラピー (アロマセラピー編) 実証開始 | マネジメント 実証開始 | 10:00~ 16:00 | 介護予防 実証開始 | 外出支援 実証開始 介護 ICT/DX 実証開始 |
| 17:30~ 18:00 | インタビュー・後片付け | | 16:00~ 17:00 | インタビュー・後片付け | |
| 18:30 | 実証終了 | | 17:00 18:30 | 車いす返却 実証終了 | |

【インタビュー】

■マネジメントインタビュー

Q1 基本情報

女性 A 53 歳 管理栄養士

男性 B 52 歳 学校法人 事務部長 資格なし

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

A:会社から案内があって、管理者として受講する必要があるということだったため受講した。

B:マネジメントを勉強したいと思って受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

A:人数が小人数で先生もすごく近くにいたため、分からないことを都度教えてくれた。悩んでいることに対しても、回答してくれたことが非常に良かった。悪かった点については特にはないが、もうちょっと深掘りして、いろんなこと教えていただけたらよかった。ちょっと時間が短かったのではないと思った。

B:人数が少なかったので、色々フランクに楽しくできた。悪かった点とは言わないが、もっと人数がたくさんいたら逆にどうなっていたのかなというのと思った。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

A:介護現場のマネジメントのことを勉強して、職員面談 1 つにして、目標管理にしても、自分の立場として、どういったことをやらなきゃいけないかということを改めて知る機会になった。職員面談についても、今ちょうど人事考課をやっているため、すぐに実践できそうなところが良かった。

B:私もコミュニケーション不足がすごく自分の中に刺さったため、帰ってすぐ実践したいと思っている。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

A:こういった勉強は、日頃忙しすぎて時間がなくてやりたいと思っててもやれていないが、今回会社の方で受けなさいということによって受けることが出来た。悩んでいるところが、全部ではないが、一部解決できそうなため、また仕事をする意欲につながった。モチベーションとしては変化があったと言えると思う。

B:色々実践してみたいなという風に、モチベーションが上がった。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

A:今回学んで、また深掘りしたいと思った。こういったことを学ぶことは、常にスキルアップにつながるし、常に学んでいかないと変化していく時代に追いつけない。施設の中で決められたメンバーで仕事しているよりも、外部の講師の先生たちと交流することによって、もっともっと勉強したいという気持ちになった。今後も、こういった企画があるのであれば、是非ご紹介していただきたい。

B:違う講座に対しても、参加したいと思っている。

Q7 受講形態に関してどうですか？

A:2日間の研修は、2日休むというところが業務上難しい。かといって半日だと短すぎて研修した感じもないので、ちょうど1日でこのぐらいの時間で終わるところはいいかなと思った。場所もちょっと今回名古屋から参加しているが、大阪は1時間以内で来られるところなので、無理なく来ることができた。講座形態についても、ZOOMだとどうしても、だれちゃうため対面でよかった。

■外出支援インタビュー

Q1 基本情報

女性53歳 介護福祉士 役職なし

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

外出支援をしたことがないので、どういったものなのかということと、どういったところに問題があるかを知りたくて受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

実際に電車に乗ってまちなかを歩けたのがよかった。悪かった点は、実際に外出してみることがあるということ、講義の内容が分からなかったので、どういう内容の講義があるのかを前もって知らせていただけるとよい。

他に気が付いた点

前もって勉強しておいてとあったが、直前まで資料が来なかった。仕事をしているので時間がとりづらいので、前もって資料を送ってもらおうとよい。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

今の職場で使うことはないかもしれないが、利用者からこのような希望があったときには提案できるかもしれない。今の職場では外出する機会はないが、利用者からの希望があれば検討できそうである。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

仕事に活かせるようにはしていきたい。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

デイサービスでばかり働いてきたので、同じ介護職でも色々な仕事内容があり、そういうことを学ぶという意味では、もっといろいろ知っていききたい。

Q7 受講形態に関してどうですか？

外に出ることもあって、実践型でよかったと思う。

色々なシチュエーションを複数回行うのもよいと思うが、受講者は仕事をしている人が多いと思うので、今日みたいな単発の形式が受講しやすいと思う。

Q8 今後受けたい研修について

どういう研修があるのかわからない。学んでいきたいが、内容が想像つかず、よくわからないので、わかりやすいようにしていただけたらよいと思う。プログラムの中からであれば、ICTを受けてみたい。

■介護予防インタビュー

Q1 基本情報

- | |
|-----------------------------|
| A 女性 48 歳 専門学校 介護福祉士 介護教員 |
| B 男性 40 歳 専門学校 介護福祉士 業務主任 |
| C 女性 48 歳 デイサービス 介護福祉士 介護職員 |

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

- ①動画等の中でも解説していた、日常に身近にいる方に介護予防とか転倒っていうようなところを自分が学んで、私は現場に行く学生に教える立場なんですけれども、そういう勉強の一環として受講させていただきました。
- ②私も学生に伝えるために何か、いいものがあればいいなと思って受講しました。
- ③パンフレットを見て、介護予防という文言を見て、実際に自分の今の仕事で、活かせたらいいなと思いました。介護予防に関して、あんまりわかってない部分も多いので、それで何か役に立てたらいいなと思っています。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

- ①今日帰って、もし対象の方がいればすぐに活用できるってところで、本当にすぐに実践できるってところが大変良かったと思います。
悪かったところですかね実践が一緒に対面でできて良かったのですけれども、できればもう1時間ぐらいちょっと先生から学ぶような時間があつたら、より深めれたと思います。
- ②良かった点は、事前学習もある点など、本当にすぐ使えるもので指標にもなるようなものっていうのを学生に伝えやすいなと思ったのでそれを持ち帰りたいと思っています。
悪かった点を特にはないです。
- ③良かった点は、今回点転倒予防も含まれているというところで、動画とか見て、そこに関連する筋肉の使い方とか、どこを鍛えたらいいのかというのがわかったので、良かったです。
悪かったところは、特にはないです。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

- ① 本当に実践もすぐできると思います。
- ② 根拠があるので、より使えると思いました。
- ③ 実践できると思います。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

- ① モチベーションとしては、もうすぐ活用できるっていうところで、すごく上がっているっていうところと、今回学んだものっていうのは、自分が動作や伝え方を準備すれば、すぐに使えるっていうところで、良いと思います。
- ② とてもモチベーション上がりました。
- ③ 私もモチベーションがアップしました。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

- ① 自分が授業をする中でのスキルとして、活用できる点で、スキルアップできています。
- ② 引き出しがとても増えたので、とても勉強になりました。
- ③ もっと知識を身につけたいなと思いました。

Q7 受講形態に関してどうですか？

- ① 特にありません。
- ② 特にありません。
- ③ 特にありません。

→土日の開催の方がうれしい。入所の方は、早めに知らないといけないかもしれない。

Q8 今後受けてみたい研修

- ① マットを使用した高齢者の体操
- ② 栄養について
- ③ 認知症について

アロマインタビュー

Q1 基本情報

女性 20代 ヨガインストラクター

Q2 なぜプログラムを受講したのか？

まず、最初に事務局からお話をいただいて、こういうプログラムがあるということを知りました。

なぜ受講したのかというと、ヨガの講師を持っていて、その講師でアロマのヨガとかもできるかなと思って受講しました。

Q3 このプログラムの良かった点悪かった点について

良かった点は、実際にオイルとかも作れて、自分の目と耳と鼻と全部五感を使って学ぶことができたところが良かったと思います。悪かったっていうのは別にないです

Q4 学んだ内容が現場で実践できそうか？

もしできたらアロマヨガシニアヨガとかもやってるので、アロマを焚きながらヨガとかもできるかなと思って実践できそうです。

Q5 学んだことによって仕事へのモチベーションに変化はありますか？

アロマを使うことにより、もっともっとリラックスできるようなヨガを提供できるのではないかなと思って、モチベーションが高くなりました。

Q6 スキルアップへのモチベーションになりましたか？

今度、アロマコンシェルジュという資格のお話もあったので、もしできそうだったらそれも受けてみたいと思いました。

Q7 受講形態はどうでしたか？

大阪で駅前ですし、場所も開催も土日にしていただけますし、1回で終わりましたので、良かったです。

Q8 今後受けたい研修などありますか？

シニアヨガとかあれば、介護施設でも役に立つのかなと思います。

実証の様子

マネジメント講座



アロマセラピー講座



多様な人とのかかわり(外国人編)講座



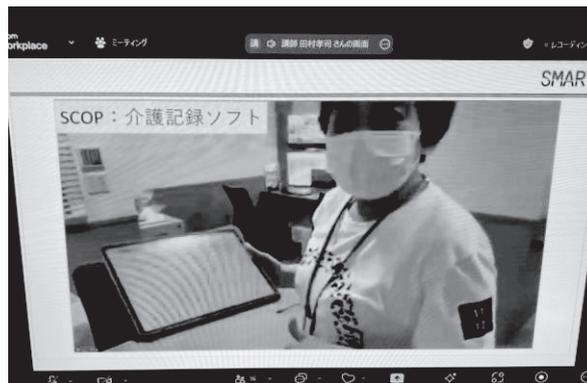
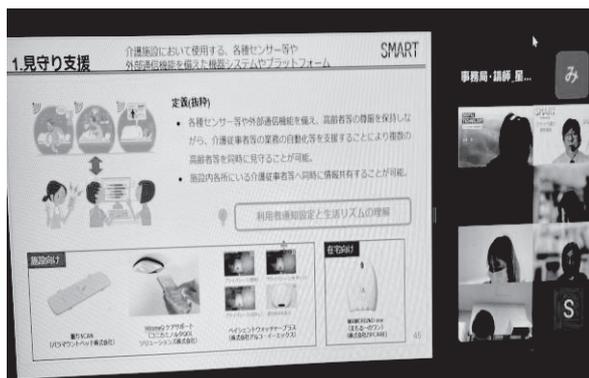
介護予防講座



外出支援講座



介護 ICT/DX 講座



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年12月13日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | ナチュラルセラピーアロマセラピー 多様な人とのかかわり(障がい者編) |
| ■実証会場 | 学校法人明星学園 関東福祉専門学校 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科2年生 14名 介護福祉学科1年生 34名 |
| ■実証担当者 | 櫻井 直人(多様な人とのかかわり(障がい者編)・ナチュラルセラピー(アロマセラピー)分科会委員 光星 きらら(ナチュラルセラピー(アロマセラピー)分科会委員 遠藤 靖子(ナチュラルセラピー(アロマセラピー)分科会委員 渡邊みどり(コーディネーター) |
| ■講師 | 講師:大塚久子氏 櫻井 直人 |

【当日のスケジュール】

| | | |
|-------------|---------------------------------------|-------------------------------|
| 12月13日(金) | | |
| 12:30 | 専門学校に到着 | |
| 12:30~13:00 | 打ち合わせ・準備 | |
| 13:00~14:10 | ナチュラルセラピーアロマセラピー 多様な人とのかかわり(障がい者編) | 介護福祉学科2年生 14名 介護福祉学科1年 34名 |
| 14:10~14:20 | ミニテスト・アンケート実施 | |
| 14:20~15:00 | インタビュー | |
| 15:30 | 片付け・終了 | |

インタビュー

■多様な人講座インタビュー

●参加した学生へのインタビュー

Q1 基本情報

A 性別:男 30歳 所属:介護福祉学科 1年 前職:事務職

B 性別:女 43歳 所属:介護福祉学科 1年 前職:製造職

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

- ・掲示板のチラシで知った。チラシは障害者に対してのこのことのみで内容はわからなかった。
- ・内容まではわからなかったが、受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

- ・良かった点は、障害について簡潔で分かりやすかった。グループワークをすることで、よく考えることが出来た。悪かった点は、座学ではなく自分たちで考えるグループワークがほとんどだったため、理解が深まったかという疑問が残る。
- ・良かった点は、障害がある人も他の人と一緒に働く場所があることを知ることができて、将来一緒に働くことがあることを身近に感じられた。障害があってもなくても、みんな仕事で一緒になるため、専門学校において知っておくことが大切だと思う。

Q4 授業へのモチベーションへの変化はありましたか？

- ・やるとやらないとでは認識は違うと思う。
- ・楽しく授業を受けることが出来た。

Q5 印象に残ったことはありましたか？

- ・否定をしないこととできることを伸ばしていくことを学んだ。

Q6 受講形態に関してどうですか？

- ・特に不都合はなかった。

Q8 今後受けてみたい研修

- ・外出支援を受けてみたい。
- ・漏れないオムツの当て方研修など。

■アロマ講座インタビュー

Q1 基本情報

A 性別:男 32歳 所属:介護福祉学科 2年

B 性別:女 52歳 所属:介護福祉学科 2年

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

- A: 掲示板のチラシで知った。
B: 授業の一環と担任から言われた。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

- A: 良かった点は、普段触れないアロマについて、介護の現場で実践できると思った。悪かった点は、もう少し座学があってもよかったと思う。

B: アロマに興味があったが、なかなか勉強する機会がなかったため、アロマのオイルによってストレスやリラックスできることが学べた。

Q4 授業へのモチベーションへの変化はありましたか？

A: 普段学ぶことのない学生同士でできる実践的なものだった。

B: 即介護職が実践できることが学べた。

Q5 印象に残ったことはありましたか？

A: セルフケアハンドマッサージ

B: アロマの種類

Q6 受講形態に関してどうですか？

A: 問題なく受講できた。

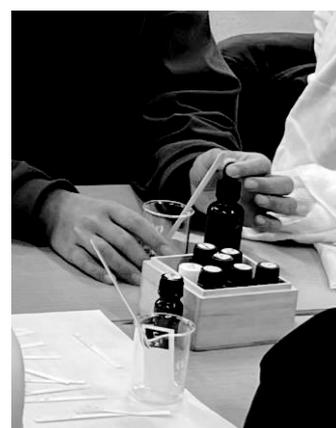
B: 問題ない。

Q8 今後受けてみたい研修

A: すぐに実践できる講座

B: 福祉用具やトラベルヘルパーの講座

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | | |
|--------|---|---|
| ■実証実施日 | 令和6年12月14日(土)・12月15日(日) | |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 | |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 | |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 | |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 | |
| ■実証講座名 | <p>■12月14日(土)</p> <p>マネジメント ナチュラルセラピー(アロマセラピー編) 多様な人とのかかわり (外国人編)</p> | <p>■12月15日(日)</p> <p>介護予防 外出支援 介護 ICT/DX</p> |
| ■実証会場 | 学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 224・225 教室 | |
| ■受講人数 | <p>マネジメント 9名(三菱総研1名)</p> <p>ナチュラルセラピーアロマセラピー編 11名</p> <p>多様な人とのかかわり (外国人編) 1名</p> | <p>介護予防 12名</p> <p>外出支援 22名</p> <p>介護 ICT/DX 12名</p> |
| ■実証担当者 | <p>■マネジメント</p> <p>菊地克彦 内田和宏 朝野愛子 太原靖一郎</p> <p>■ナチュラルセラピー(アロマセラピー)</p> <p>遠藤靖子・光星きらら・櫻井直人</p> <p>■多様な人とのかかわり (外国人編)</p> <p>鳥居賢一 吉田愛</p> <p>■事務局</p> <p>小林英一 渡邊みどり</p> | <p>■介護予防</p> <p>内柴祐基 伊藤健次 八子久美子</p> <p>■外出支援</p> <p>真鍋 圭彰 町 亞聖</p> <p>■事務局</p> <p>小林英一 渡邊みどり</p> <p>■各講座のサポート</p> <p>光星きらら 櫻井直人</p> |
| ■講座提供 | <p>■ナチュラルセラピー(アロマセラピー編)一般社団法人自然セラピスト協会 大塚氏</p> <p>■特定非営利活動法人日本トラベルヘルパー協会トラベルヘルパー協会講師3名</p> <p>■介護 ICT/DX 株式会社善光総合研究所 星野氏</p> | |

【実証スケジュール】

| ■12月14日(土) | | | ■12月15日(日) | | |
|------------------|---------------------------------|----------------|-----------------|------------------------|-----------------------------------|
| 9:00 ~ 9:30 | 会場到着 会場準備 | | 9:00~ 9:30 | 会場到着 会場準備 Zoom 立ち上げ | |
| 9:30 ~ 10:30 | 受講生受け入れ 講座最終打ち合わせ | | 9:30~ 10:00 | 受講生受け入れ 講座最終打ち合わせ | |
| 10:00 ~ 17:30 | ナチュラルセラピ ー(アロマセラピー 編)実証開始 | マネジメント 実証開始 | 10:00~ 16:00 | 介護予防 実証開始 | 外出支援 実証開始 介護 ICT/DX 実証開始 |
| 17:30~ 18:00 | インタビュー・後片付け | | 16:00~ 17:00 | インタビュー・後片付け | |
| 18:30 | 実証終了 | | 17:00 18:30 | 車いす返却 実証終了 | |

【インタビュー】

■マネジメント講座インタビュー

Q1 基本情報

| |
|----------------------------|
| A :女性 所属:デイケア 役職:介護主任 |
| B :女性 所属:訪問介護 役職:サービス提供責任者 |

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

- タダカヨから案内があり、主任以上で学べると思って応募した。
- タダカヨから案内があり、面白そうだと思って受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

- 良かった点は、オンデマンド学習があって、自分のペースでできた。悪かった点は、アロマ動画について最後が切れているものがあつたので、最後まで流してほしい。管理者コースはこのようにやって欲しいということが詳しい説明があつた方がよかった。
- 動画研修があって、効率よく、自分のタイミングで見ることができた。また対面もあってよかった。課題をやっている人とやっていない人がいたので、参加者にずれがあつた。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

- 管理者との面談がない状況で、その提案ができると思う。サービス提供責任者なので現場の職員向けにコミュニケーションやエゴグラムなどはできそうだと思った。
- チームで動くことが多く、人手不足なので、すぐにできるかわからないが面接等については頑張りたいが、出来るか不安である。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

- 自法人で管理職のキャリア研修がないので、無料で講座を受けられたのはよかった。
- 無料がよかった。小さい法人で研修制度がないため、少しでも外に出て学んで、自分の職場に還元できればよいと思う。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

- ・自分次第だと思うが、あげるために来てるのであげていきたい。
- ・介護業界でマネジメントは大きな課題で、自法人ではなかなかできないことを学んだので、今日学んだことを活かしていきたい。

Q7 受講形態に関してどうですか？

なし

Q8 今後受けてみたい研修

- ・引き続き、介護福祉士のうへの段階のマネジメントが少ないので、そういう研修があれば参加したい。
- ・処遇改善加算の要件の、キャリアパスの仕組みづくりをやってはいるが、机上のものになっているので、体系的なことを自法人で行えるものが必要であると思う。

■アロマ講座インタビュー

Q1 基本情報

A 性別:女性 51歳 所属:元社会福祉法人職員 役職:福祉人事

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

- ・職員についての健康について勉強していたため、アロマを使った職員の健康について学びたかった。それを通して利用者さんにつながればよいと思って受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

- ・アロマオイルを具体的にどのように活かしたほうがよいかを学ぶことが出来たところがよかった。希釈したり、クリームにしたり、掃除にも使えることがわかり、深く学ぶことが出来て、実践につなげていきたいと思った。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

- ・時間が短かったので、質問したかったところもあったが、さらに学んでいく意欲が芽生えた。現場で実践できると感じた。ハンドマッサージはすぐにでもできると思う。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

- ・新たに職員に伝えられそうなことを学べたため、現場でやれることが増えたため、よかった。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

- ・スキルアップや幅を広げるために学び続けることは重要だと思った。

Q7 受講形態に関してどうですか？

- ・場所はよかった。もう少し長い時間でもよかった。

Q8 今後受けてみたい研修

- ・座ったままできる体操や、認知症の人向けのアロマなど学んでいきたい。

Q1 基本情報

A 性別:男性 所属:株式会社(有料老人ホーム) 役職:施設長

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

会社自体が敬心学園と繋がりがあり、プログラムについて紹介された。そこで介護予防に興味があったため。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

良かった点:講師がOTの先生だという点がすごく来て良かったなと思った。専門職の方が講師をやってくれると、根拠とか理由がはっきり伝えてくれるので、納得がいくものであった。

また、研修の内容も実際に基づいたものとか、実際に提供できるものであったため、現場に戻ったときには使えるなと思った。

悪かった点:研修に行って、似たようなレベルの方と話ができればよかった。

例えば、介護福祉士を持って、3年以上とか、経験の状況によって分けて、対応することも重要。

Q4 学んだ内容で、介護現場で実践できそうですか？

実践できると思う。

Q5 学んだことによって、仕事へのモチベーションへの変化になりましたか？

知識が増えた。また、先生の言葉の“理解なくして支援なし”とか、当たり前の言葉だけれども、それをもう1回思い出して、初心に戻ることもできた。その点で、モチベーションが上がっている。

Q6 学んだことでスキルアップへのモチベーションに変化がありましたか？

機能訓練についても理解もできていますし、より介護予防を現場で実施しながら学びたいと思う。

Q7 受講形態に関してどうですか？

学ぶときには、対面がいいなと感じました。時間も、3時間だから参加しやすかったです。オンデマンドも含めて、ちょうどいいぐらいだと思う。

Q8 今後受けてみたい研修

認知症の知識や認知症のケア。

新しい介護について(介護技術の研修)

実証の様子

マネジメント講座



アロマセラピー講座



多様な人とのかかわり(外国人編)講座



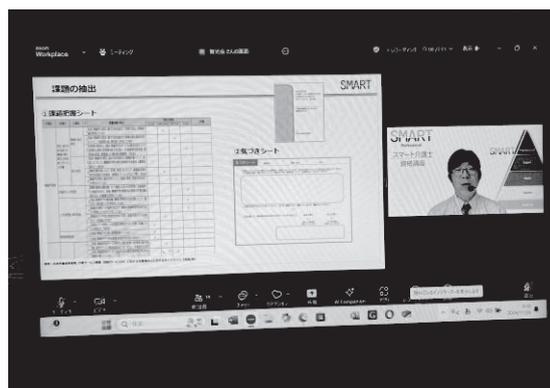
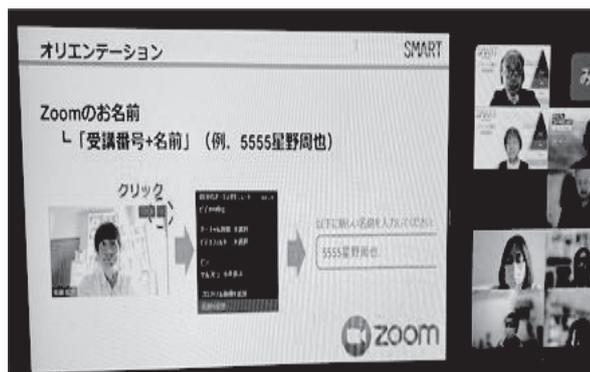
介護予防講座



外出支援講座



介護 ICT/DX 講座



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年12月20日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <p>・受講前後のアンケート調査</p> |
| ■実証講座名 | 多様な人とのかかわり(外国人編) 教員向けの研修 |
| ■実証会場 | 学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 |
| ■受講人数 | 教職員 8名 |
| ■実証担当者 | 鳥居 賢一(プログラム開発・多様な人とのかかわり(外国人編)分科会委員) 吉田 あい(プログラム開発・多様な人とのかかわり(外国人編)分科会委員) |

【当日のスケジュール】

| | | |
|-------------|-------------------|--------|
| 12月13日(金) | | |
| 13:30 | 専門学校に到着 | |
| 13:30~14:20 | 打ち合わせ・準備 | |
| 14:20~16:10 | 多様な人とのかかわり(障がい者編) | 教職員 8名 |
| 16:10~16:30 | ミニテスト・アンケート実施 | |
| 16:40 | 片付け・終了 | |

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和7年1月10日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1か月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | ナチュラルセラピー(アロマセラピー) アシスタントティーチャープレ実証 |
| ■実証会場 | 学校法人穴吹学園 穴吹パティシエ福祉カレッジ様 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科1年 41人 |
| ■実証担当者 | 小林英一、渡邊みどり |
| ■講座提供 | 講師: 大塚ひさ子氏 |

【実証スケジュール】

| | | |
|----------|-------------|------------------------|
| 1月10日(金) | 講座名:アロマセラピー | * 事前にミニテスト・アンケート・動画を視聴 |
| 12:40 | 講師打ち合わせ | |
| 12:50 | 講座資料・教材確認 | |
| | 参加者の出席確認 | |
| 13:00 | 実証開始 | 実証後にミニテスト・アンケートを実施 |
| 15:00 | 実証終了 | |
| | インタビュー学生 | |
| | インタビュー教員 | |
| | インタビュー施設担当者 | |
| | 講師フィードバック | |
| 17:30 | 後片づけ・終了 | |

インタビュー

ナチュラルセラピーアロマセラピー

●参加した学生へのインタビュー

■(介護福祉学科1年生)

A:インドネシア 男性

B:インドネシア 女性

問1: 今回の講座の内容は、就職先など現場で活用できると思いますか。

A:いろいろな勉強しました。いろいろな香りがストレスやリラックスできる香りがあることを知ることができた。

ハンドマッサージは自分でも利用者にしてできると思った。

B:普段の授業と比べ、グループで相談してオイルを作ったりすることが楽しかった。ハンドマッサージや手浴・足浴は自分でもできると思った。

問2:このような、講座を専門学校の授業として受けたいと思いますか。

A:自分で考えたり、グループでできるのが授業として受けたいと思う。

B:施設で試せる内容だと思いました。アクティビティのような授業は楽しいのでぜひ授業として受けたいです。

問3:他に専門学校の授業で実施してほしい講座があれば教えてください。

A:レクリエーションはテキストでしか勉強ができないので、やり方のイメージがつかないので、レクリエーションの勉強がしたい。

B:日本の歌とか、遊びを勉強したいです。利用者さんとのコミュニケーションが言葉だけでは難しいため。

●アシスタントティーチャーのプレ授業をした教員へのインタビュー

■介護福祉学科教員 女性

問1:アロマ講座を受けたきっかけ(目的)

昨年の実証から参加をさせてもらい、現場で様々な資格があるがなかなか授業の中に取り入れれたり、即実践することが難しい資格ばかりだった。アロマ講座で学んだ内容は、学生の自信につながるハードルが高すぎなく学べ、実践できる風景が目に見え授業で取り入れたいと思った。

問2:今回、授業をしてみてどうだったか。(教材の活用ができていたか・伝えてほしいポイントが伝えられていたか環境(人数・部屋・人員等)整っていたか。改善点など。)

結果として、教材がそろっていたので最後までトラブルもなくできたと思う。

【環境面】

ただし、40名という受講者を1人ではサポートがなければいけないと思った。

1名で行うとしたら、受講人数の設定が必要かもしれないと思った。

【教材】

アシスタントティーチャーとしてどこまで伝えればよいかわからなかった。

伝えるポイントが明確ではなかったため、授業展開表みたいに、授業の進行や役割が明確なものがあればよいと思った。

【改善点】

- ・受講人数の設定
- ・講座進行表と教材の作成
- ・グループワーク等を加えた授業内容

●参加した外国人留学生受け入れ施設担当者へのインタビュー

■有料老人ホーム 施設長 男性

問 1: 学生の受け入れ国

インドネシアの学生を多く受け入れており、第 1 期が今年 4 月から入職している。

問 2: 受け入れる際に、どんな理由で選んだか。

文化的にインドネシアは、いろいろな、経済状況であったり、勤勉さや明るさ、あとはリターンしない可能性があるため。

問 3: 実際に働いている学生さんと、実際に学んでいる姿の学生さん見て、どんなふう感じたか。

勉強している姿と、働いてる姿の差は、ほとんどないということが確認できて安心した。学生の表情とか、受け答えに関しても、学生の学ぶ姿勢が変わらないので逆にこのような機会に来れたことを感謝している。

問 4: 今回の講座の内容は、就職先など現場で活用できると思いますか。

内容的にうちの施設は、自然に恵まれているため、季節ごとにイベントをしていることが多い、またオリーブが特産のため利用者さんの手にクリームを塗るなどをして、ボディタッチを図りながら対話作りを(言葉の壁の解消)指導している。今回のアロマに関しても違和感がなく、ハンドケアは取り入れられる内容だったと思う。

問 5: 実際に現場で取り入れる必要がある講座や研修はありますか。

言葉の壁で言えば、専門用語医療的などところ。こころとからだのしくみやいろいろな制度についての理解不足で現場でたびたび混乱しているため。言葉の壁があるがそこをクリアできたら学生たちのモチベーションにもつながると思う。

実証の様子





令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」

実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和7年1月15日(水) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 |
| ■実証講座名 | 介護 ICT・DX 講座 |
| ■実証会場 | 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科2年生 24名 |
| ■実証担当者 | 渡邊みどり(コーディネーター) |
| ■講師 | 講師:株式会社善光総合研究所 星野氏 |

【当日のスケジュール】

| | | |
|-------------|----------------------------|---------------|
| 1月14日(火) | | |
| 9:00 | 専門学校に到着 | |
| 9:00~10:00 | 打ち合わせ・準備 | |
| 10:40~12:10 | 事前学習 動画およびミニテスト、アンケート実施 | 介護福祉学科2年生 24名 |
| 12:00 | 終了 | |
| 1月15日(水) | | |
| 9:00 | Zoomでの入室および開催のあいさつ | |
| 9:10~16:10 | スマート介護士講座 *1H 昼休憩 | 介護福祉学科2年生 24名 |
| 16:10~16:20 | ミニテスト、アンケート実施 | |
| 16:20~16:30 | インタビュー | |
| 16:30~16:40 | 片付け・撤収 | |
| 16:40 | 終了 | |

インタビュー

■介護 ICT・DX 講座

●参加した学生へのインタビュー

Q1 基本情報

A 性別:男 21歳 所属:介護福祉学科 2年

B 性別:女 21歳 所属:介護福祉学科 2年

Q2 なぜこのプログラム受講したのか？

A・担任の先生から、就職する前に ICT のスキルを身に付けたほうが良いといわれた。

B・内容まではわからなかったが、とにかく就職に役立つと聞いて受講した。

Q3 今回のプログラムの良かった点、悪かった点について

A・良かった点は、介護現場になぜ ICT が必要なのかが理解できた。悪かった点は、内容が盛りだくさんだったので受講時間が長いのが気になった。

B・良かった点は、介護現場で働くにあたって、ICT や DX が必須になることがわかった。悪かった点は同じく、受講時間が長すぎた。

Q4 授業へのモチベーションへの変化はありましたか？

A・やるとやらないとでは認識は違うと思う。

B・自分は ICT が苦手だが、就職する先でどのような ICT や DX が使われているのか調べてみようと思った。

Q5 印象に残ったことはありましたか？

A・普段自分が使っている LINE も仕事に活用していることが知れた。

B・介護業界では、ICT や DX を介護現場に導入することで、業務量の改善し、その分の時間を質の高いケアを目指して生産性向上をしていくということがわかった。

Q6 受講形態に関してどうですか？

A・特に不都合はなかった。紙ベースではないので手軽に受講できた。

B・特に不都合はなかった。次に何をやるかの説明があってわかりやすかった。

Q8 今後受けてみたい研修

- ・介護技術野向上(移乗)
- ・認知症の対応

実証の様子



令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」実証報告書

| | |
|--------|---|
| ■実証実施日 | 令和7年1月17日(金) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| 調査名 | 「開発したアップデートプログラムの有効性を検証する実証調査」 |
| 調査目的 | <p>■調査目的</p> <p>1)開発したプログラムについて、即現場で実践できるか検証する。</p> <p>2)講座の受講形態について受講しやすい形態か検証をする。</p> <p>3)提供した受講後のフォローアップ体制の有効性について検証する。</p> <p>■調査手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート調査 ・受講後直後のインタビュー調査 ・1ヶ月後の経過アンケート・インタビュー調査 |
| ■実証講座名 | 介護予防講座 アシスタントティーチャープレ実証 |
| ■実証会場 | 学校法人穴吹学園 穴吹パティシエ福祉カレッジ様 |
| ■受講人数 | 介護福祉学科1年 43人 |
| ■実証担当者 | 中内 英樹(プログラム開発委員会・介護予防講座分科会) 角田 大騎(プログラム開発委員会・介護予防講座分科会) 内柴 佑基(コーディネーター) |

【実証スケジュール】

| | | |
|------------|----------------------------|------------------------|
| 1月17日(金) | 講座名:介護予防講 | * 事前にミニテスト・アンケート・動画を視聴 |
| 12:00 | 講師打ち合わせ | |
| 12:50 | 講座資料・教材確認 | |
| | 参加者の出席確認 | |
| 13:00 | 実証開始 | 実証後にミニテスト・アンケートを実施 |
| 16:10 | 実証終了 | |
| | インタビュー学生・教員 | |
| | インタビュー施設担当者 | |
| | 講師フィードバック | |
| 17:30 | 後片づけ・終了 | |
| 1月18日(土) | | |
| 9:00~11:00 | 介護予防プログラム実証の振り返り | |
| | 来年度に向けて(アシスタントティーチャー養成)の課題 | |

インタビュー

介護予防

●参加した学生へのインタビュー

■(介護福祉学科1年生)

問1: 今回の講座の内容は、就職先など現場で活用できると思いますか。

非常に現場で活用出来る内容であったと思います。

介護予防の中でも、転倒リスクに関係することでしたので、これまでに行かせていただいた実習先は、デイサービスにショートロングⅢ特別養護老人ホームであり、どの施設でも実際に歩かれている方がおられました。移動介助もありましたので、その内容を学校の講義の中に組み込んで行うことは、介護予防、転倒予防にはすごく役立つと感じました。

問2: このような、講座を専門学校の授業として受けたいと思いますか。

引き続き、受けたいですし、貴重な機会でした。

実際に就職されている職員の皆様方や施設の方から、無料で受けさせていただけるとは、すごく特別な対応ですので、とてもありがたいことではないのかと思っております。

問3: 他に専門学校の授業で実施してほしい講座があれば教えてください。

学校の講義で、生活支援技術などの移動・移乗を介助方法や、更衣の着脱なども教えてはいただけますが、実際は詳細に、もっと高度なボディーメカニクスなどに則って対応などもしていたので、技術支援の実際を知れる機会も必要だと感じました。また、レクリエーションのバリエーションについても研修とか詳しく教えていただけると、とてもあります。

●アシスタントティーチャーのプレ授業をした教員へのインタビュー

■介護福祉学科教員 男性

問1: 介護予防講座を受けたきっかけ(目的)

中内先生からのご紹介があったのと、学生たちに介護予防をしっかり教えていきたいというのもあったので、お受けしたという形です。

問2: 今回、授業をしてみてどうだったか。(教材の活用ができていたか・伝えてほしいポイントが伝えられていたか環境(人数・部屋・人員等)整っていたか。改善点など。)

【環境面】

とてもスムーズに進められたと思います。TUGのときはもう少し広い部屋の方が良かったかもしれません。

【教材】

動画においては、留学生には難しかったというのが一言かなと思います。やはり専門用語が多いので、聞き取るのが大変だった点があったと思います。

また、今日内容の中にも、明日から使えるものがいっぱいあったので、評価をするということプラス、先生からの運動も直接あったので、とても良かったと感じました。

【改善点】

介護福祉士を目指す学生なので、より介護の現場でどのようなことを行うのかを落とし込めることができるとより良いと思いました。

●参加した外国人留学生受け入れ施設担当者へのインタビュー

問1: 今回の講座の内容は、就職先など現場で活用できると思いますか。

弊社は訪問介護をメインにやっております、サービスの時間帯が1対1になるのでスタッフがどれだけご入居者の変化に気づけるかということはずごく大事だと思っております。留学生さんは、2年間の間に、アルバイトを弊社の施設でさせていただいており、その時も必ず小さなことでも何か変化があれば言ってねということは伝えてあります。今回の授業では、例えば、脳梗塞のサインでというのが、本人たちもこうやって見たらよいのかというのが理解できたのかと思うので、こういう授業はありがたいです。活かせると思います。

新卒で介護の勉強されてない方が半分くらいなので、初任者研修を受けたばかりの方などに、ぜひ受けてほしいと思います。

問2: この講座でもう少しとりいれてほしい内容があればお聞かせください。

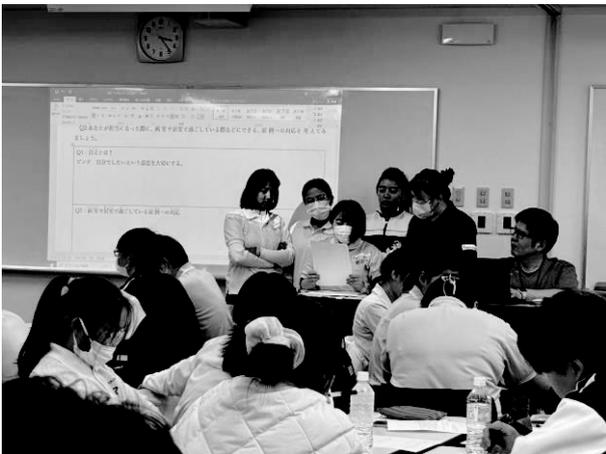
若手にどんどんリーダーになってほしいというのが 弊社の方針でありまして新卒の方も数名はやっぱり施設長 若いうちに施設長になってマネジメントしたいという気持ちがある方が 数名はいるんですけども やっぱりリーダーの仕事も 具体的にイメージできるかっていうと そうではない方の方が多んじゃないかなってのが 弊社の課題でもあるんですけど なのでマネジメントに携われるように キャリアアップしていくにはこういう技術とか こういう目線が大事だよってのを 教えていただけるような機会があったら 若手が割と多い職場でいいんじゃないかなってのがありますね

問3: 現場で働きながら 研修に受けに行くことは実際あるのか?

なかなかない。施設ごとに月に1回研修とかはあるが、外部の研修はほとんどない。

時間的な問題もあるし 費用的な問題もある。介護の方ってどうしても 今はだいぶ処遇改善とかで 少し給料も上がってきてたと思うんですけど、そう少し勉強をした方には、プラスアルファで加算が取れるみたいなものに 最終的にこうなればいいなと思っています。質のケアとか担保できるためにも、ちゃんと勉強して、いろんなことをできる方が、将来的には差別化で切ることが重要だと思います。認定介護士もありますが、それにかかる費用も、ものすごく高額だったり、時間もかかるので、もう少し簡単にキャリアアップのための、今までの介護のプラスアルファで、何か勉強できるコンテンツが必要だと思います。業務ごとのクオリティを高めるような、資格が今はないと思います。介護福祉という一つの資格においても、かなり差があると思うので、ちゃんと知識・技術を持っている方が、希少価値を高められるような仕組みがあればすごくいいと思います。

実証の様子



介護予防本年度の振り返り、アシスタントティーチャープレ実証振り返り

■日時:2025年1月11日(土)9:00~11:00

■参加者:中内、角田、内柴

1. 本年度の振り返り

- ・期間が短い中での、準備ではあったが、大きな滞りなく進めることができた。
- ・養成校の学生に対しては、養成校の教員にフォローをしてもらいながら、進められた。
- ・大阪・東京会場においては、社会人の参加が少ない現状であり、講座の認知や告知などの課題がある。
- ・講座内容の浸透度を伺う上でも、対面での講義は必要

2. アシスタントティーチャープレ実証振り返り

- ・滞りなく行っており、教材をうまく活用しながら行っていた。
- ・事前に、講義での伝えるポイントを伝えることや事前に講座参加してもらうことで、スムーズであった。
- ・実践編の際の評価は、専門士(PT,OT)での対応の方が良い。

3. 課題

- ・事例検討のバリエーションを増やすことも良いのでは？
→実習や就職受け入れ施設などの協力を得て、症例情報を提供して頂き、行う
- ・ビギナー向けの内容であるので、もう少し上級者向けのコンテンツも検討の余地がある
- ・リスク管理などにおいても、気づけるようなコンテンツの追加も必要

4. 次年度に向けて

- ・受講者負担が少ない(時間的制約を出来るだけ制限した)コンテンツ内容の検討
- ・KYTなどのリスク管理などの点に関しても、コンテンツ内に導入
- ・ATを行いやすいような、動画や説明指標の作成
- ・小テスト内容の見直し

交流会報告

講座終了後、交流会を行い受講生が交流できる場の提供をした。

【方法】

11月に行った大阪会場と12月に行った東京会場の2回を設定し、各講座別を実施した。

【開催結果】

受講生の予定が開催日程と合わず、開催を1回に設定した講座があった。

多様な人とのかかわり(外国人編)は実践がないため、交流会は開催していない。

ナチュラルセラピーミュージックセラピーについては、今回はプレ実証のため開催はしていない。

| No | 日程 | 講座名 |
|----|------------------|------------|
| 1 | 12月16日(月) 大阪会場 | 介護予防 |
| 2 | 12月20日(金) 大阪会場 | 介護ICT/DX講座 |
| 3 | 1月17日(金) 東京会場 | 介護ICT/DX講座 |
| 4 | 1月20日(月) 東京・大阪会場 | マネジメント講座 |
| 5 | 1月20日(月) 東京会場 | 介護予防講座 |
| 6 | 1月21日(火) 東京・大阪会場 | 外出支援講座 |
| 7 | 1月22日(水) 東京・大阪会場 | アロマセラピー講座 |

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| | |
|---------------------|---|
| ■実証実施日 | 令和6年12月16日(月) 16:00～17:00 |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| ■講座名 | 介護予防講座 |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 |
| ■参加人数 | 受講生2人 介護予防講座座分科会 内柴佑基(コーディネーター) 角田 大樹(プログラム開発委員会・介護予防講座分科会) 事務局 小林英一(事業責任者)、渡邊みどり(コーディネーター) |
| 16:30 ～ 17:30 | 開始のあいさつ テーマに沿って受講生へ質問をする。 まとめ |
| ■交流会の様子 | 交流会については以下の内容で進行した。 介護予防の実践と改善 事務局より、介護予防事業の目標と将来的な展望について説明し、参加者に学んだことを職場で活用することを促した。 受講者より、専門学校生への実証だったが、とても効果的であり、即授業で実践できるだった。 根拠がしっかりとしているため、介護過程と結びつけるとさらに学習効果があがると思った。 今回は、留学生が多かったため、北海道もそうであったが、ルビ付き対応を資料のみお願いしたが、できれば動画も同じようにルビ付きにしてもらおうと自宅学習などに活用できると思う。 本プログラムへの介護養成校の期待 会議では、学生数の減少や留学生の増加に伴い、学校の魅力づくり、実践的な教育内容などが主な問題として挙げられ、これから教員、学校全体が取り組まなければならない重要課題ということが議論された。 次年度に向けて、アシスタントティーチャ養成をすることを提案し、専門学校の教員が授業で出来る講座を提供することを提案した。 |

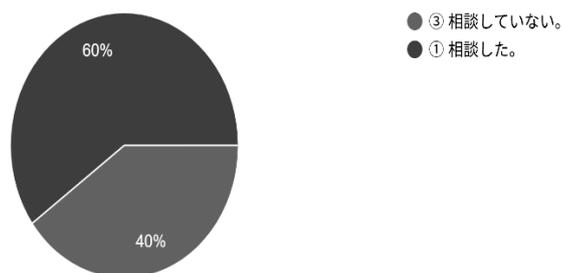
令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| ■実証実施日 | 令和6年12月20日(金) 16:00～17:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|------|----|----|---------------|---|-----|-------------|---|-----|------------|---|----|------------------|---|----|------------------|---|----|
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■講座名 | 介護 ICT/DX 講座 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■参加人数 | 受講生4人 介護 ICT/DX 講座分科会 吉田 涼平(運営企画委員会・プログラム開発委員会副委員長・ICT/DX 講座分科会リーダー) 尾滝 元太(プログラム開発委員会 介護 ICT/DX 分科会委員) 渡邊みどり(コーディネーター) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:00 | 開催の挨拶 テーマに沿って受講者へ質問をする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:30 | 導入に当たって | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | まとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 | 終了 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■交流会 | <p>事前にアンケートを実施</p> <p>問1：あなたの職場にICTやDXを導入したいと思いますか？ 5件の回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 是非、導入したいと思う</td> <td>2</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>② 導入したいと思う。</td> <td>3</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>③ どちらでもない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④ あまり導入したいと思わない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤ 全く導入したいとは思わない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>問2. 問1の回答で、③④⑤を回答した方へ、回答した理由をお聞かせください。 0件の回答 この質問にはまだ回答がありません。</p> | 回答内容 | 件数 | 割合 | ① 是非、導入したいと思う | 2 | 40% | ② 導入したいと思う。 | 3 | 60% | ③ どちらでもない。 | 0 | 0% | ④ あまり導入したいと思わない。 | 0 | 0% | ⑤ 全く導入したいとは思わない。 | 0 | 0% |
| 回答内容 | 件数 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 是非、導入したいと思う | 2 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 導入したいと思う。 | 3 | 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ どちらでもない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ あまり導入したいと思わない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 全く導入したいとは思わない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |

問3. 受講後にICT・DXの導入について上司に相談しましたか？

5件の回答



問4. 問3の回答で、②③を回答した方へ、回答した理由をお聞かせください。

2件の回答

導入に向けての動きがあるため

会社自体古い体質のため

交流会については以下質問を受講生へ質問し現場でのICT/DXの課題を共有した。

■問1: 講座を受けた感想

* 講座は面白かった。最後の試験が良かった。

* 最初にイメージしていたよりも、講座内容が事業所運営側寄りだったかなという印象で、もっと現場よりの情報が欲しかった。

例えば、実際に使っているスタッフの様子や感想がもう少し知りたかったです。

* 仕事しながらの参加が出来てよかった。

* 情報収集の段階で参加した。介護の新しい施設の紹介とかで使っていけそうなものを情報収集している。

■問2: 現場でのICT化は進んでいると思いますか？

* 結構進んでいる。

コロナ禍で作ったテレワークのケアマネだから、そもそもICT化前提で進んでいる。

* まだまだ、ほぼないです。連絡がLINEくらいです。

* 介護記録の電子化や見守りカメラも導入している。機能は沢山あるが使いこなせていない。

* 現場で使える機能に即していない。一般的には使えるかもしれないが、施設ならではの文化を変えたくない人がいる。

■問3: どんな点がもっと進むといいなと思いますか？

* 音声の文章化、ですね体を動かしている時間と別に、記録をする時間が後々必要になる点

* インカムも利用しているが、会話しているものが文章になっていたり、そのまま記録になったりするものがほしい。

* 端末に入力すること自体が難しい人(外国人など)、今黒板に書いてることをもう一度書くのが手間。

■問4: 導入のネックになるのはどこか？

* 講習自体が少ないことICTが苦手だけど解消したい人が学ぶ場が少ない。

| | |
|--|---|
| | <p>横のつながりができて、理解が進んでいる。 生産性向上＝ICTではないのに、ICT化から入ると間違えてしまう。 ICTを入れることが目的化してしまっているため、適した危機を導入することが重要。</p> <ul style="list-style-type: none">* 上の抵抗感、なくても今できているじゃない。という現場との温度差。働き手全体としてICTへの苦手意識がある。* 現場は新しいことに拒否的に思う人多い、経験則でやる方が多い。 ボトムアップが良い。「やりたいからやらせて！」というモチベーションである。* 今のままで出来ているという認識があるから進まない。“施設の方は忙しすぎる。他の会社だとシステム部門などがある。 |
|--|---|

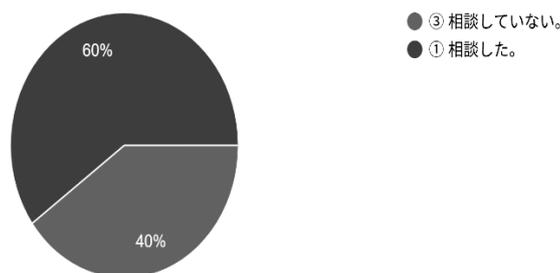
令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| ■開催実施日 | 令和7年1月17日(金) 16:00～17:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|-----|----|----|---------------|---|-----|-------------|---|-----|------------|---|----|------------------|---|----|------------------|---|----|
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■講座名 | 介護 ICT/DX 講座 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■参加人数 | 受講生 11人 介護 ICT/DX 講座分科会 吉田 涼平(運営企画委員会・プログラム開発委員会副委員長・ICT/DX 講座分科会リーダー) 尾滝 元太(プログラム開発委員会 介護 ICT/DX 分科会委員) 小林 英一(事業責任者) 渡邊みどり(コーディネーター) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:00 | 開催の挨拶 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:30 | テーマに沿って受講者へ質問をする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 | 導入に当たって まとめ 終了 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ■交流会 | <p>事前にアンケートを実施</p> <p>問1：あなたの職場にICTやDXを導入したいと思いますか？ 5件の回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 是非,導入したいと思う</td> <td>2</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>② 導入したいと思う。</td> <td>3</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>③ どちらでもない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④ あまり導入したいと思わない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤ 全く導入したいとは思わない。</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>問2. 問1の回答で、③④⑤を回答した方へ、回答した理由をお聞かせください。 0件の回答 この質問にはまだ回答がありません。</p> | 回答 | 件数 | 割合 | ① 是非,導入したいと思う | 2 | 40% | ② 導入したいと思う。 | 3 | 60% | ③ どちらでもない。 | 0 | 0% | ④ あまり導入したいと思わない。 | 0 | 0% | ⑤ 全く導入したいとは思わない。 | 0 | 0% |
| 回答 | 件数 | 割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 是非,導入したいと思う | 2 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 導入したいと思う。 | 3 | 60% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ どちらでもない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ あまり導入したいと思わない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 全く導入したいとは思わない。 | 0 | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | |

問3. 受講後にICT・DXの導入について上司に相談しましたか？

5件の回答



問4. 問3の回答で、②③を回答した方へ、回答した理由をお聞かせください。

2件の回答

導入に向けての動きがあるため

会社自体古い体質のため

交流会については以下質問を受講生へ質問し現場でのICT/DXの課題を共有した。

■問1: 講座を受けた後に変化があったこと

- ・委員会の立ち上げをしているところ。
- ・見守り機器やインカムの導入を進めている。
- ・講座内容の取り入れを進めている
- ・訪問介護のサービス提供責任者 記録は手書き。取り組みをはじめた。やってみるという考え。LINE ワークスで情報共有からはじめた。有料への稟議。小さい事業所から法人に伝えていきたい。
- ・老健のリハ施設 LINE ワークスの導入進めている。
- ・沢山のツールを知った。どのツールから導入するかを検討している。
- ・インカムがようやく導入される。
- ・本社部門であるが、進んでいる方ではない。
- ・特別養護老人ホームで手書きだった。進んでいないと感じた。導入の経費ハードルが高いと感じた。
- ・チャットワークと悩んだ。LINE を使い慣れているところがよかった。”
- ・LINE ワークス導入手前。
- ・見守り機器の使用頻度が高い。眠りスキャンなど、前日の眠りの状況をチェック。記入はどこもPCであった。使いこなしていた。
- ・ICTの進み具合は、進んでいる。活用できていない。見守りセンターが最も重要。使わない世界は考えられない。
- ・インカムは見守りセンターが鳴るので耳に付けていないことが多い。

■問3: どんな点がもっと進むといいなと思いますか？

- ・大浴場で忘れ物をした際にすぐにお願ひできる。集まる必要がなく、よかった。
- ・“新潟で災害が多くて、1月1日で感じたのは「連絡手段」であった。
- ・使いやすさと費用を考える。看護記録を補助金でやっている。チャットワークから

LINE に変更。会議議事録のツールを入れる予定。

・夜勤ならではのリスクを考える。“インカムを導入したい。

■問 4: 導入のネックになるのはどこか？

・介護報酬も下がっている。最低賃金があがっているが、報酬が下がっているので、会社の経営が。

・法人が大きいため、補助金を特養が使ってしまったから訪問介護に回ってこない。

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| | |
|---------------------|--|
| ■実証実施日 | 令和7年1月20日(月) |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| ■講座名 | マネジメント講座 |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 |
| ■参加人数 | ・受講生3人 ・マネジメント講座分科会 菊地克彦(プログラム開発委員会・マネジメント講座分科会) 内田和宏(運営企画委員会・プログラム開発委員会・マネジメント講座分科会リーダー・実証委員会) 朝野愛子(プログラム開発委員会・マネジメント講座分科会) 太原靖一郎(プログラム開発委員会・マネジメント講座分科会) ・事務局 小林英一(事業責任者)、渡邊みどり(コーディネーター) |
| 16:00 ～ 17:00 | 開会のあいさつ 1. 「自己紹介と対面研修で学んだこと」についての共有 2. 「実際に現場で実践してみてどうだったか」についての共有 3. 「今後の課題」についての共有 4. 閉会のあいさつ |
| ■交流会の様子 | 交流会について、以下の振り返りが行われた。 1. 自己紹介と対面研修で学んだこと ・ 対面では、マネジメントの行動セルフチェック表が自分を振り返る上で効果的だった。上司・部下との面談ができればよいと思うが、上司に面談してくれとは言えないが、部下に使っていきたい。目標管理は、特定事業所加算を目標にして、準備を進めている。ICTを活用して、LINEワークスを導入するようにした。訪問介護事業所から初めて法人全体に広げていききたい。上司となかなか面談ができないため、セルフチェック表を活用して自分を評価して、自己理解していききたい。 ・ ユニットリーダーをしていたが、目標を立てることが出来ていなかった。自分の出来ているところと出来ていないところが明確になった。すぐにできることとして、傾聴などすぐに実践してみた。 ・ 自分の腕組みの癖が一番印象的であった。自分の無意識な癖を自覚できた。すぐにできることとして、自分が話すのではなく、相手の話を聞くことを大事に面談できることを客観的に気づくことが出来た。 2. 実際に現場で行ってみてどうだったか ・ 職員の面談と行動計画書をもとにした実践ができた。早速、部下と1対1で |

面談をおこなった。なんでそのように行動するのか、ということを考えられるようになった。自分の目標を明確にできていなかったため、部下の目標管理も出来ていなかった。また、面談する際の環境づくりも実践することが出来た。部下も普段話していないことも聞くことができた。職員のヒヤリハットについて、出してくれたらご飯に連れていくということをしたら、毎月 10 件程度だったのが、30 件程度に増えた。

- ・ 質問: 事前に聞きたいことは作成したのか? → 時間は 15 分予定だったが、30 分くらい話をするようになった。2~3 ヶ月くらいごとに実施していきたい。8 人のメンバーと定期的に面談していきたい。ユニットリーダー同士で内容を共有して、今後上司に報告する。
- ・ 面談の距離感を、気を付けるようになった。腕組みをしないようにした。キャリアアップをしたくない若者が多く、上司の自分自身の行動を振り返ることが増えるようになった。決めつけた意見の発言や姿勢に気を付けるようになった。上司をみながら、あんな風になりたいと思うようなリーダーになれるように、考えて話をするようになった。昔行っていた面談も、プラスになった面談だったのか振り返るようになったし、チャレンジを応援するような姿勢になった。個人の目標の面談を年 3 回程度行っている。目的を達成するために伴走していくのではなく、評価することが面談の目的になった。目標管理がキャリアパスにつながっている。全体目標になると、人の得意不得意が出てしまうので、マネジメントコースとプロコースでキャリアを分けるようにしている。事務とケアのプロで得意なところを伸ばすようなキャリアパスを作っている。
- ・ 登録ヘルパーが 10 名程度いる。60 代以上の人が多い。人材確保が難しいことになってきている。特定事業所加算を目標にする前に、人材確保をしていかないといけない。若い世代と高齢世代の差として、金銭的に稼ぐためにはヘルパーを選ばないような気がする。障害を担当する事業所については、若い人もいることが多い。

3. 今後の課題

- ・ 人がいないと回らない。施設の取り組みの魅力をどう発信していくのが課題である。インスタや現場のつらいことも発信していくことが大事ではないか。分野を超えて魅力を発信していくことが必要になる。
- ・ DX の補助金も特養に取られていくので、小さい事業所にはなかなか下りてこない。自分の事業所や施設を出て話を聞くことが必要だし、業界として交わっていくことが必要なのではないか。
- ・ 取り組み始めたことを継続していくのか。大きな目標を立てずに、コツコツしていきたい。特に、上司とどのようにコミュニケーションを取っていくのが大事になる。現場の状況を上司に理解を促して、小さいことから事業所に広げていきたいと思っている。

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| | |
|---------------------|---|
| ■実証実施日 | 令和7年1月20日(月) 16:30～17:30 |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| ■講座名 | 介護予防講座 |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 |
| ■参加人数 | 受講生2人 介護予防講座分科会 内柴佑基(コーディネーター) 八子久美子(介護予防講座分科会) 角田 大樹(プログラム開発委員会・介護予防講座分科会) 事務局 小林英一(事業責任者)、渡邊みどり(コーディネーター) |
| 16:30 ～ 17:30 | 開始のあいさつ 介護予防プログラムの振り返り テーマに沿って受講生へ質問をする。 まとめ |
| ■交流会の様子 | 交流会については以下の内容で進行した。 介護予防の実践と改善 事務局より、介護予防事業の目標と将来的な展望について説明し、参加者に学んだことを職場で活用することを促した。 受講者より、体力測定の正確な実施方法を学び、実践していると報告し、受講者よりは施設の繁忙期と感染症の影響で学んだことを実践できていないと述べる。参加者の経験を聞き、介護予防の視点を取り入れた業務改善の可能性について議論した。 介護施設の労働力不足 会議では、介護施設での人手不足が主な問題として挙げられ、これがケアの質と職員の意欲に悪影響を与えていることが議論された。 受講生より、人手不足により基本的なケアが削られ、機能維持や向上に取り組む時間が不足していると指摘した。解決策として、効率的な支援方法の検討、リカレント教育の重要性、他施設との情報交換の機会が提案された。 分科会委員より、現場の介護職員がこのような研修に参加する重要性を強調した。 |

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| | |
|---------------------|---|
| ■実証実施日 | 令和7年1月21日(火) 16:00~17:00 |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| ■講座名 | 外出支援講座 |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 |
| ■参加人数 | 受講生 6人 外出支援講座分科会 高橋 利明(プログラム開発委員会・外出支援講座分科会リーダー) 真鍋 圭彰(外出支援講座分科会) 日本トラベルヘルパー協会 事務局 小林英一(事業責任者)、渡邊みどり(コーディネーター) |
| 16:30 ~ 17:30 | 開始のあいさつ 外出支援プログラムの振り返り テーマに沿って受講生へ質問をする。 まとめ |
| ■交流会の様子 | 交流会については以下の内容で進行した。 【外出支援プログラムの振り返り】 ・介護予防の体操を指導している。全く知らない世界でとても学びになった。テキストがわかりやすく即、インプット、アウトプットができた。 ・車いすの外出についての実践で、難しさ大変さを感じた。あらためて気づきの学びになった。 ・通常気にしなかったことを専門職として気にしなければならないことが実践で行えた。最近では、バリアフリーなどの環境を気にするようになり学びの成果があった。 ・事前の資料がわかりやすかった。車いすを押すことが初めてだったため、実際に車いすに乗り、利用者さんの気持ちを体感できた。資格を取得しても、しっかりとしたスケジュールや事前の下調べ等十分に行わないと安全なサービスが提供できないと思った。先日親族の介助で、車いすでのコーナーの曲がりのテクニクが即実践できた。 ・外出支援は初めて勉強する機会となったが、実際に実践を通して外室支援の難しさを知ることができた。 ・自分の周りに車いすを使用する人がいないため、想像はしていたが実際に体験をしてみて、外出さきでの不便を知ることができた。 |

外出に特化した資格について説明をした。

同行援護、行動援護

トラベルヘルパー協会より、トラベルヘルパーの役割についての説明をした。

要介護支援者をサポートする仕事。トラベルヘルパーの役割としては、旅行の準備・旅行中のサポートがある。また、今後のキャリアアップの紹介をした。

【今後の実践や可能性について】

・この資格でさらに学びを深めることで、様々な障害をもつ方への支援が広がると思った。自分の仕事でも室内での対応が多いが、これを機会に外へ出かけるという支援を働きかけていきたいと思う。

・知的障がい者の支援のお手伝いをしているので、同行援護など興味があるが旅行まではいかないかもしれないが、ちょっとした日常の外出のお手伝いが出来たらいいと思う。

・まだ、現場で働くことがまだ先ではあるが、外出できないきっかけになる提案だったり、実践だったりすることに、今回の学びを生かしていきたいと思う。

・利用者から遠方への外出の希望を聞くことがある、今回の学びを通して、自分たちがいけない場合に利用できるサービスとして提案していきたいと思う。

・車いすに乗っている方々の気持ちになり、環境や身体状況の把握について事前にしっかり準備していこうと思う。

・この学びをきっかけに、まだまだ知らない資格があることがわかった。自分が興味がある者についてまずは調べてみたいと思った。

【まとめ】

外出支援は、利用者にとって非日常的な事かもしれないが、利用者の想いに沿ったサービスだと思っている。

その想い対して、私たちは個別のアセスメントを計画し安全に外出を楽しんでいただくことを常に考えている。

また、外出が目的となることで、介護過程と同様、利用者も目標に向かってリハビリなどの身体の向上などを目指すきっかけとなることもこのサービスのメリットかと思う。

外出支援はインフォーマルなサービスだか、これからの介護職は自分の得意なことを介護サービスに生かせる介護職になることが必要だと思う。

令和6年度 文部科学省委託事業

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」交流会報告書

| | |
|---------------------|--|
| ■実証実施日 | 令和7年1月22日(水) 16:00~17:00 |
| ■委託事業名 | 令和6年度 文部科学省委託事業 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング)推進事業」 |
| ■事業名 | これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業 |
| ■講座名 | ナチュラルセラピーアロマセラピー講座 |
| ■実施形態 | Zoomによるオンラインでの実施 |
| ■参加人数 | 受講生4人 介護予防講座座分科会 光星 きらら(プログラム開発委員会・ナチュラルセラピー講座分科会) 遠藤 靖子(ナチュラルセラピー講座分科会) 自然セラピスト協会 事務局 小林英一(事業責任者)、渡邊みどり(コーディネーター) |
| 16:30 ～ 17:30 | 開始のあいさつ アロマセラピープログラムの振り返り テーマに沿って受講生へ質問をする。 まとめ |
| ■交流会の様子 | 交流会については以下の内容で進行した。 【アロマセラピープログラムの振り返り】 ・アロマについては興味があり、実際に自己流で学んでいたが、この講座を受けて身近なもので対応できることを知ることができ驚きの発見だった。 ・精油以外に、・ハーブなども活用できるなど様々な活用方法があることを学んだ。実際に現場で利用者、職員に対してリラックス効果が出るものと確信をしたので実践していきたいと思っている。 ・わかりやすく楽しい講座だった。マッサージオイルを作ったが、祖母の施設面会の時に持参して手に付けて喜んでもらった。ハンドマッサージはまだハードルが高いが、次回はチャレンジしたいと思っている。 ・アロマは馴染みがなかったが、今回講座を受講し、身近なものだと実感した。最近乾燥がひどいので、作ったオイルをマスクにつけている。オイルの効果を知ること、実践効果があることに喜びを感じたまずは周りの人に対して進めていければと思っている。保育の中でも遊びながら広めていきたいと思う。 ・昨年と今年度と2回受講をしている。介護の未来ということで、即実践ができるものを探していた。実際に香りや手浴・足浴など授業にも取り入れることができた。 【事前セラピスト協会】 体感してもらうことが重要だと思う。この研究を通していろんな人が介護現場で |

のアロマの実践に興味を持ってもらい意味のある講座になっていると思う。今回の講座で、外国人留学生への講座を提供したが、世界中で全く基準が違うということもまた、発見となった。

アロマは敷居が高いとイメージする人が多いが、手に塗る、においを提供することで、実際に自分の母親は寝たきりだが7年間褥瘡ができていない。衣料的なことではできないが、触れることでコミュニケーションが生まれることがこれからの介護には必要ではないかと思う。これからも、アロマが介護の未来に結びついてもらうように広めていきたいと思っている。

【介護現場で取り組んでいる事例を紹介】

株式会社リエイより、実際に現場から中継をしてもらい、事例の紹介をした。

- ①ロイヤルセラピー概要のご説明。
- ②サービスの提供場所や方法をリアルタイムで紹介。

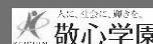
【まとめ】

介護の未来にアロマを導入していく必要性が伝わったと思う。

次年度は、この講座を伝えられるアシスタントティーチャを養成していくことになる。身近なもので、誰でもコミュニケーションの手段としてアロマの効果を伝えていきたいと思う。

(3)次年度に向けての課題

本年度の課題と次年度に向けての解決策



【講座集客について】

- ・内容や日時の記載等講座案内の説明不足。
- ・無料で受講するための条件の周知徹底不足。
- ・受講生の職歴・役職のばらつき。

▶ 募集の方法などを
受講者目線で見直す。

【講座について】

- ・動画の完成延滞に伴う事前学習開始の延滞。
- ・事前学習の周知徹底ができなかった。
- ・動画視聴時間が長すぎるものがあった。
- ・講座の目的、その後活躍方法の説明不足。
- ・アシスタントティーチャー養成ができる講座できない講座があった。

▶ 周知の方法についてメール
だけではなく別の方法も検討。

▶ 動画やスライドで実践できる
講座のみを再検討。

【LMSシステムについて】

- ・ミニテスト・アンケートの回答率が低かった。

▶ 実施方法の見直し。

① 本年度の振り返りと次年度に向けて 分科会別

介護予防:

・施設で働いている介護福祉士さん向けに、転倒予防・フレイル予防について中心に、プログラムを展開した。様々な職種の方々に協力いただきながら、多角的な角度でプログラム構成したことで、より多くの知見が示せたと感じている。

来年度に向けて、プレでアシスタントティーチャーの展開も実施し、養成校や新人教育の場面での活用も検討中である。来年度は、コンテンツの中身の精査していきたい。

外出支援:

トラベルヘルパーを事前学習教材として学んでいただいた方に、実践して頂くという講座であった。具体的に外出する準備・計画と実際に外出して実践するところまでメンバーと実施した。実証に参加された方からは、外出支援を今まで経験したことがない方が多く、実際に、町に車椅子で出かけ、食事をして帰ってくるという内容が、非常に良いと評価をいただいた。一方で、働きながら学んでいくためには、なかなか時間が取れないということも課題であった。

今後もさまざまな対象の方に対応することを念頭に、していきたい。

座談会では、外出支援というのが一つのその形が、より良く生きるための手段として学びたいというようなニーズがあったと思う。今後も、スキルアップにつながる良い講座開発に繋げていきたいと考えている。

介護 ICT/DX:

介護現場は、ICT や DX に関して、対応が遅れているのが現状である。

その中で、どうやって前に進めていこうかっていうのがこのプロジェクトになっており、まずは初歩の初歩の ZOOM の使い方や入り方みたいのところから講座展開を行っていった。そのよ

うな点から進めることで、受講者にとって、プラスになったと感じた。本プログラムで非常に良かったなと思った点が、交流会を設けて、情報交換することで大きな学びになったと思う。具体的には、介護現場では、ラインワークスというコミュニケーションツールが流行っており、導入のしやすさが需要の高さであることがよくわかった。そのような、現場にマッチしている講座や展開をどんどん作っていきたいと思う。次年度は、ICT や DX の良さを知ってもらえたため、その次のステップを対応できるようにしていきたいと考えている。

マネジメント:

今回は、人的資本マネジメントに焦点を当ててプログラムを実施した。

目標管理や上司や部下とのコミュニケーションという点で、自身の施設や事業所の理念に基づいて、個人として、また事業所としての目標を立て、その目標を達成するためには、実際にどのようにすればよいのかを考えるということ。また、運営している中で、周りとのコミュニケーションを取っていくというところで、プログラムを作り、オンデマンド、対面、交流会を実施した。課題は、各々のモチベーションや動機付けに対して、喚起していくことを考えて、取り組んでいきたい。

多様な人とのかかわり 外国人:

・作成した動画は、今後も活用が可能である内容であった。対面での講座では、養成校の教員の方と参加型で行うことができた。様々なリアルなケーススタディーを行い、対応策を提示することで、参加者も得るものが多かったというコメントも聞かれた。

次年度は、国籍による是々非々ではなく、誰でも受け入れられるような対応ができるように続けていかなければいけないと思う。また、外国人と働く日本人に関してのサポートに関しては、やや薄いと思うので、その方々の意見も抽出しながら、課題や利点を模索したい。

多様な人とのかかわり 障がい者:

兼ねてより、特別支援学級の高等科及び高等学園の介護(初任者研修)を学ぶ方に対して、支援を行っていた。今回は、軽度の障がいを持つ方と共に働くことへの可能性や共有を行っている。

次年度は、障がいを持つ方と共に働く現場の方や当事者に対して困りごとに関して、現場に行き、ヒアリングして、どのような対応が必要であるかを検討していく。

ナチュラルセラピー ミュージックセラピー:

・物まね芸人の方を招いて、特別養護老人ホームの高齢者を対象にミュージックセラピーを実施。物まねの笑いの力や歌や音楽自体の癒しの力を非常に感じた。音楽を通して、楽しむ・能動性を引き出すといった点を大切にしながら、次年度以降はミュージックをうまく使って、“音楽レク”という形で展開できればと考えている。

ナチュラルセラピー アロマセラピー:

・留学生や老若男女問わず、参加されていた。アロマを作成したものを持参して、現場ですぐに活用できるので、現場での汎用性も高い印象を受けた。振り返り会では、実際にアロマを

活用して、ハンドマッサージを親族に実施しているコメントも聞かれた。

アロマコンシェルジュを展開している大塚先生の講座を基に、アシスタントティーチャーのプレ実証を養成校にて実施し、対応が出来ていたため、来年度はその点の適応も行えるようにしていきたい。

② 次年度に開発するプログラム講に向けてキャリア段位及び山脈型を用いた対象コース

厚生労働省が提唱している、これからの介護職に求められる多様なキャリアパスにおいて富士山型から山脈型への変換が必要となるため、山脈型とキャリア段位制度をうまくミックスさせ、日本型の介護+α講座にしていこう。

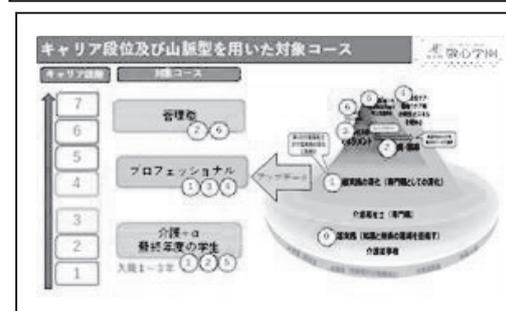
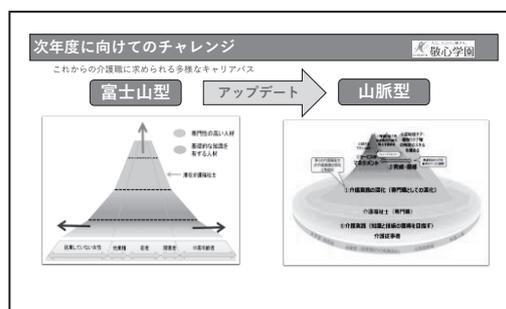
【講座提供イメージ】

3つのコース別に分け、アップデートできる介護講座を提供する。

①養成校学生と入職1-3年目の職員の方(介護予防、外出支援、ナチュラルセラピー、アロマセラピー、ミュージックセラピー)、②プロフェッショナル(排泄ケア、介護ICT/DX professional、外出支援2級)、③管理職(介護ICT/DX、多様な人との関わり 外国人編・障がい者編、マネジメント+ICT/DXを活用したマネジメント)に分けて、展開する予定。

③ 次年度に向けた課題の解決策

1. 募集の方法などを受講者目線で見直し
2. 募集周知の方法の再検討
3. 動画やスライドで実践できる講座を再検討
4. 実施方法の見直し



| キャリア段位 | 対象コース | 講座 |
|--------|--------------|---|
| 7 | 管理職 | 介護ICT/DX 多様な人とのかわり 外国人編・障がい者編 マネジメント+ICT・DXを活用したマネジメント |
| 6 | 管理職 | |
| 5 | プロフェッショナル | 排泄ケア 介護ICT/DX Professional 外出支援 準2級 |
| 4 | プロフェッショナル | |
| 3 | 介護+α | 介護予防 外出支援 |
| 2 | 介護+α 最終年度の学生 | ナチュラルセラピー アロマセラピー ミュージックセラピー |
| 1 | 介護+α 最終年度の学生 | |

上記の、課題の解決策として、1. 2については、集客に向けに、まなびフェス(仮タイトル)を開催し、いろんな講座を体験して、興味がある講座について実証で深く学んでいただくというstep や全国の学校などで実証して、それぞれの地域でこのプログラムを活用していく。

3.4 については、講座ごとに教材の見直しを行い、実施方法についても受講生が受けやすい方法を再度検討し、講座が円滑に提供できるような仕組みを作る。

また、アシスタントティーチャー養成プログラムの開発では、アシスタントティーチャーの適応が必要なため、講座ごとに適応か否かの分別を行い、プログラムを開発していく。

次年度は、社会実装化となる仕組みづくりも行うため、企業とのコラボの可能性についても検討をしていく。

(4)成果報告会の報告

令和7年1月31(金)、令和6年度文部科学省委託事業「専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発」における「これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究」の成果報告会が、対面およびオンラインにて同時開催された。参加者は、関係者含む対面名 30 名、オンライン 16 名、計 46 名であった。元日本テレビアナウンサー(プログラム開発委員)の町亞聖氏の進行で、成果報告会がスタートした。

1)開催のご挨拶

当学園の理事長より、開会のあいさつをした。
マルチタスク型の介護士への求められることが多くなってきており、今回の事業の介護+αという部分では、非常に親密度を感じます。このプログラムが最終的には、専門学校や施設への研修制度につながり、新しい学びを広め、1 人でも多くのマルチタスク型の介護職を輩出して欲しいと思う。

。

2)実証の成果報告

本年度の実証報告

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター プログラム開発コーディネーター 渡邊 みどり

本年度の事業目的、事業計画、事業実施体制、実証の様子、アンケート結果報告、本年度の課題と次年度の課題について報告を行った。

■目的

アップデートプログラム開発のための実態調査を行う。6つの既存のプログラムを活用し、これから介護職となる人材と介護職員向けに活用できるプログラムであるか調査する。

■対象者

介護施設の職員及び介護福祉士養成校の学生・卒業生

■実証調査

令和6(2024年)年10月～令和7(2025年)年1月

■調査方法

- ①次年度のプログラム開発をするために必要なデータを収集する。
- ②既存のプログラムについて、即現場で実践できる



について、アンケート・インタビューを行い、プログラムの有効性を検証する。

■調査結果まとめおよびデータ分析

実証調査においてプログラムが有用性のあるかどうかについて分析を行う。また、実証とともに受講形態の意識調査も行いその結果をまとめる。

■実証報告

総受講生数 456 名

■本年度の課題と次年度に向けた課題

【本年度の課題】

■講座集客について

- ・内容や日時の記載等講座案内の説明不足。
- ・無料で受講するための条件の周知徹底不足。
- ・受講生の職歴・役職のばらつき。

■講座について

- ・動画の完成延滞に伴う事前学習開始の延滞。
- ・事前学習の周知徹底ができなかった。
- ・動画視聴時間が長すぎるものがあった。
- ・講座の目的、その後活躍方法の説明不足。
- ・アシスタントティーチャー養成ができる講座できない講座があった。

■LMS システムについて

- ・ミニテスト・アンケートの回答率が低かった。

【次年度に向けた課題】

- ・募集の方法などを受講者目線で見直し
- ・募集周知の方法の再検討
- ・動画やスライドで実践できる講座のみを再検討
- ・実施方法の見直し

各講座の振り返り

介護予防:

・施設で働いている介護福祉士さん向けに、転倒予防・フレイル予防について中心に、プログラムを展開した。様々な職種の方々に協力いただきながら、多角的な角度でプログラム構成したことで、より多くの知見が示せたと感じている。

来年度に向けて、プレでアシスタントティーチャーの展開も実施し、養成校や新人教育の場面での活用も検討中である。来年度は、コンテンツの中身の精査していきたい。



外出支援:

トラベルヘルパーを事前学習教材として学んでいただいた方に、実践して頂くという講座であった。具体的に外出する準備・計画と実際に外出して実践するところまでメンバーと実施した。

実証に参加された方からは、外出支援を今まで経験したことがない方が多く、実際に、町に車椅子で出かけ、食事をして帰ってくるという内容が、非常に良いと評価をいただいた。一方で、働きながら学んでいくためには、なかなか時間が取れないということも課題であった。

今後もさまざまな対象の方に対応することを念頭に、していきたい。

座談会では、外出支援というのが一つのその形が、より良く生きるための手段として学びたいというようなニーズがあったと思う。今後も、スキルアップにつながる良い講座開発に繋げていきたいと考えている。

介護 ICT/DX:

介護現場は、ICT や DX に関して、対応が遅れているのが現状である。

その中で、どうやって前に進めていこうかっていうのがこのプロジェクトになっており、まずは初歩の初歩の ZOOM の使い方や入り方みたいのところから講座展開を行っていった。そのような点から進めることで、受講者にとって、プラスになったと感じた。本プログラムで非常に良かったなと思った点が、交流会を設けて、情報交換することで大きな学びになったと思う。具体的には、介護現場では、ラインワークスというコミュニケーションツールが流行っており、導入のしやすさが需要の高さであることがよくわかった。そのような、現場にマッチしている講座や展開をどんどん作っていききたいと思う。次年度は、ICT や DX の良さを知ってもらえたため、その次のステップを対応できるようにしていきたいと考えている。

マネジメント:

今回は、人的資本マネジメントに焦点を当ててプログラムを実施した。

目標管理や上司や部下とのコミュニケーションという点で、自身の施設や事業所の理念に基づいて、個人として、また事業所としての目標を立て、その目標を達成するためには、実際にどのようにすればよいかを考えるということ。また、運営している中で、周りとのコミュニケーションを取っていくってところで、プログラムを作り、オンデマンド、対面、交流会を実施した。

課題は、各々のモチベーションや動機付けに対して、喚起していくことを考えて、取り組んでいきたい。

多様な人とのかかわり 外国人:

・作成した動画は、今後も活用が可能である内容であった。対面での講座では、養成校の教員の方と参加型で行うことができた。様々なリアルなケーススタディーを行い、対応策を提示することで、参加者も得るものが多かったというコメントも聞かれた。

次年度は、国籍による是々非々ではなく、誰でも受け入れられるような対応ができるように続けていかなければいけないと思う。また、外国人と働く日本人に関してのサポートに関しては、やや薄いと思うので、その方々の意見も抽出しながら、課題や利点を模索したい。

多様な人とのかかわり 障がい者:

兼ねてより、特別支援学級の高等科及び高等学園の介護(初任者研修)を学ぶ方に対して、支援を行っていた。今回は、軽度の障がいを持つ方と共に働くことへの可能性や共有を行っている。次年度は、障がいを持つ方と共に働く現場の方や当事者に対して困りごとに関して、現場に行き、ヒアリングして、どのような対応が必要であるかを検討していく。

ナチュラルセラピー ミュージックセラピー:

・物まね芸人の方を招いて、特別養護老人ホームの高齢者を対象にミュージックセラピーを実施。物まねの笑いの力や歌や音楽自体の癒しの力を非常に感じた。音楽を通して、楽しむ・能動性を引き出すといった点を大切にしながら、次年度以降はミュージックをうまく使って、“音楽レク”という形で展開できればと考えている。

ナチュラルセラピー アロマセラピー:

・留学生や老若男女問わず、参加されていた。アロマを作成したものを持参して、現場ですぐに活用できるので、現場での汎用性も高い印象を受けた。振り返り会では、実際にアロマを活用して、ハンドマッサージを親族に実施しているコメントも聞かれた。

アロマコンシェルジュを展開している大塚先生の講座を基に、アシスタントティーチャーのプレ実証を養成校にて実施し、対応が出来ていたので、来年度はその点の適応も行えるようにしていきたい。

3)本年度の振り返り 教育プログラム開発委員会委員長

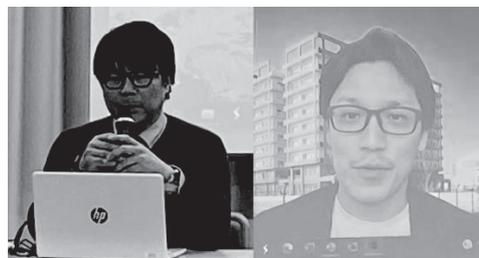
非常に重要な点があり、初年度は既存のプログラムを活用して、どのような課題があるかを検証し、本プログラムの2年目は、0ベースから作りあげて、受講者数も450名という目標に対して、概ね近い数字まで近づけた点は、大きな成果であったと感じる。

今回出た多くの課題に関しては、3年目は完成形に近づけることが必要であると感じる。

来年度は、2025年問題に差し掛かり、後期高齢者が増え、人口は減少していく社会において、施設においては、利用者が増え、働く担い手が減るという現実が、ほぼ確実に起きてしまう。

これからの福祉の現場で働き活躍するためには、既存の介護の技術やコミュニケーションの技術などだけでは、到底足りないと感じている。一方で、本事業の最新機能アップデートを、ひとりひとりの職員方々が、知識と能力をフル活用して、新しい福祉のサービスのあり方をこれから作っていく、要の年になってくと思う。逆説的に言えば、この国難において、アップデートがないと、人口減社会を突破できないと思う。

今回のこの取り組みにおいては、課題は出たが、まだまだアップデートができると思っている。来年度にそれらの課題をプログラム開発に、しっかりと繋げていきたいと思う。



4)本年度の振り返りと来年度に向けて 実証委員会委員長

全国各地、この事業の実証にご協力いただいた、多くの皆様のおかげで、様々なデータを収集することができまして、次年度に向けての課題も見つけることができた。

実証という点では、今回プログラムが8つあるということで、管理や運用含めて、事務局の皆さんにも非常に多く汗をかいていただいたという印象。先ほどアンケート結果等も示された中で、内容やコンテンツによって、受講者の方たちがどう役に立つのかというところが、出来た点と出来なかった点が、一部あるというふう感じた。この点の反省を活かして、次年度に結び付けていきたいと思う。三年目になり、一番最適化についても求める必要があるが、研究事業において、実際に試してみて、エビデンスを収集している段階であるが、最終的には社会実装をしていかなければいけないと考えている。他国との相対的な比較では、日本人は学生時代に学び社会に出たら、学び直す機会がなかったと言うことがよく指摘をされている。2025年問題について、現時点で必要なサービスやサービスの質など、国をあげて成果があったかという、良い成果が得られたわけではないと、私自身も反省点として多くあるが、今後、生産年齢人口の減少に伴い、現在とは大きくかけ離れた、介護サービスを提供していかなければいけない未来が必ず来ると思っている。

また、労働人口が減少して、介護サービスを提供する際には、最終的には介護が必要な方に、介護が行き届かなくなることにも繋がっていくと思う。既存の方法での対応では、人口動態的にも、非常に困難であるため、未来に向けてのエビデンスを作っていくながら、介護が必要な方が介護を受けられる日本を作っていくことや、国民の皆さんが年を取っていくことに不安にならないような、そういった社会を作っていかなければいけないと思っている。

更に、一人当たりの生産性をもっと高めていかなければいけないと思う。その人が持っている力、技術を高めていながら、より良いサービスをより最適な形で提供していけるような世の中になっていかなければいけない、そのためには、学びから始まるところが非常に多くあり、また学びの仕方も形を変えていかなければいけないと思う。

5) 成果報告会の座談会 現場で求められる介護実践力と介護+ α の可能性

実証に協力した4つの専門学校の教員を招き、現場で求められる介護実践力と介護+ α の可能性についてディスカッションした。

テーマ1: 学校で実践したい教育とは

1. 現場での実践力と応用力の育成

→ 国家試験対策に偏ってしまい、卒後の教育に時間を要す傾向になっている。卒後のフォローも含めて、教育公演など通じて、フォローしていきたい。

2. 多職種連携教育の不足(IPE)

→ 国家試験においても出段頻度は低く、まだまだ認識も低い。

臨床現場において、リハビリの単位数を求めてしまい、多種職との連携が不足することも多々あるため、制度上の問題も含めて、てこ入れが必要であると思う。

3. 地域密着型のリハビリテーションの教育の必要性

→ 地域に密着した教育が不足している。多種職で認知症ケア研究会を立ち上げて、講演やスーパーでの相談会、学生とRUN 伴(とも)などの活動も行っている。

また、学生のうちに学会発表に取り組めるようにしており、成果が出てきている。



テーマ2:このプログラムを行ってみてどうだったか?

実際に行ってみて、方法は良かったと思う。事前の動画、テスト、実際の対面で参加者の様子や困っていることも聞ける点、交流会にて現場での意見を抽出して、来年度の課題と出来た点が成果であった

参加した養成校の学生からも、現場で実施にどのように行うのかをリハ職種から直接聞けるのは、実践力として養えて、楽しく、自身でレクレーションなども企画するなどまでできたのが好印象であったようです。また、今回の経験から、今後学生自身がどのようなことを行っていきたいかなどを考えるきっかけになり、養成校としても導入していきたいと思いました。

留学生に関しても、体験を通して、自身の経験とリンクしながら、学びになっているコメントが聞かれた。

テーマ3:来年度の介護+αへの学校から見える期待について

マルチタスク型に関しては、現場で確実に活用出来るものであるとともに、様々な学びを通して、学生のキャリア形成やキャリアの棚卸においても、強みを見つける点にもつながっていくと感じた。

介護+αの取捨選択においては、講座内容の明確化を行ったうえで、学生が教育を選択できるようにしていくようにすることも重要である。

テーマ4:アシスタントティーチャーを行って

介護予防:日頃から、学生に自立支援を考えた介護の視点を伝えており、今回は根拠を基に展開されていたので、学生の臨床的な思考の変革にもなって良い機会であった。

動画教材においては、留学生にとっては、読解をするのには厳しい状況であった。今後としては、講義の中で動画を活用しながら、教員がフォローを行う(アシスタントティーチ)していくような形も考えていきたい。

ナチュラルセラピー:生活支援技術の手浴・足浴の部分でハーブなどの香りを取り入れることなど、講義で取り入れやすい内容であった。留学生においても、母国の香りなどを教えてくれる方もいて、自身も学びになった。アシスタントティーチャーにおいては、責任があるので、しっかりとした知識が必要であるので、自身のスキルアップが必要であると感じた。

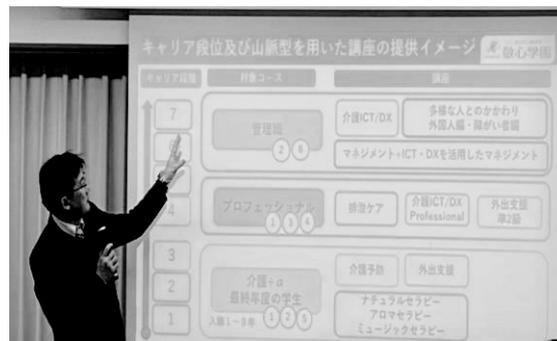
来年度においては、現場で働く卒業生に対して、今回学んだ内容を提供できる機会が作れればと思います。

6)事業責任者からの振り返り 新たなるチャレンジへの思い

当事業の事業責任者より次年度に向けてのチャレンジを説明した。

これからの介護職に求められる多様なキャリアパスにおいては、富士山型から山脈型への変換が必要である。この事業アップデートであるからこそ、まさに富士山型から山脈型への変革が必要である。私たちとしては、山脈型とキャリアラインをうまくミックスさせて、日本型の介護を+αの講座にしていこうという狙いがあります。まず大きなくくりで行くと、キャリア外では、介護現場に出る前の学生さんたち、そして介護の現

場に出たばかりの人たちが、自信持てるような内容の作成を行い、来年度は、プロフェッショナルを育成しようという狙いがある。一つは、大手企業さんとコラボした、排泄ケアのプロフェッショナルの講座を実施したいと考えており、そういったところを山脈型のキャリア形成と紐付けながらやっていきたいと思う。そして管理職の人たちは、マネジメントの講座も含めて、外国人や障害のある方達をどう支援していくかを学んでいただきたいと考えている。



今後の提供イメージとしては、3段階あり、①養成校学生と入職 1-3年目の職員の方(介護予防、外出支援、ナチュラルセラピー、アロマセラピー、ミュージックセラピー)、②プロフェッショナル(排泄ケア、介護ICT/DX professional、外出支援 2級)、③管理職(介護 ICT/DX、多様な人との関わり 外国人編・障がい者編、マネジメント+ICT/DXを活用したマネジメント)に分けて、展開する予定である。

アシスタントティーチャーに関しても、適応しやすい講座の吟味が必要であるため、もう1回検証していきたいと考えている。アシスタントティーチャーの適応に関しては、介護学生向けであり、学んだことをすぐ活かせるものは、アシスタントティーチャーに出来ると事務局で考えているので、来年も更に検証していきたい。専門性が必要なものは、再来年度にアシスタントティーチャーにどのように組み込めるのかを考えている。来年度の予定としては、5・6月より文科省から、スタートの連絡いただけると想定をして、アシスタントティーチャー養成のプログラムを作りながら、まなびフェスみのような形で10~15分間でいろんな講座を体験してもらおうという形を、東京と東北にて、実証する予定としている。

それらを受けた方々が、実証で深く学んでもらう step や全国の学校などで実証して、それぞれの地域でこのプログラムを活用してもらいたいと思う。

文部科学省事業で、大事だと思うことは、社会実装であるため意識してやっていきたいと思う。社会実装においては、企業や他の文科省事業とのコラボレーションをして実施していきたいと思っている。そして、再来年については、既存の仕組みを介護事業者の中で利用しているシステムとコラボしようと思っている。2つ目は資格とのコラボで、色々な民間資格や企業主催とコラボして展開していこうと考えている。最後に3つ目として、大手企業とのコラボを考えており、いくつかのメーカーとコラボするということを、承諾を得て、我々の事業に参画するように進めている。

このような形で社会実装を前提とした研究を進めていき、知識を学生、そして留学生に還元して行きたいと思っている。

7)閉会のあいさつ

当事業の事業代表者より閉会のあいさつをした。

日本の高齢化についても、いろんな新しい時代になってるということは改めて再認識されたと思うが、世界中も高齢化しているという、グローバルエイジという新しい事態に直面している。それに合わせて、ケア経済にならざるを得ない状況である。ケアの中には、高齢者だけではなく、チャイルドケア、教育というのも入っており、こういうケアの経済をどう構築するかということに関しては、人材の育成が何よりも大切だということを変更して実感したと思う。

しかし、これから抜本的に今までの教育の仕組みを変えなければならないという思いはあるが、具体的にどうするかに関しては、これから取り組まなければいけない現状だと思っている。

世界では、マイクロプレデンシャルという形で『学ぶ』という形が推奨されている。このような形で、今回取り組まれたプログラムもさらにブラッシュアップをしていく必要があると思う。

今までは、介護保険制度という保険がみの形でしか、お金が出ない社会であったが、それを超えて。自由な形で、お金が得られて職業になるという世界をどう考えていくかっていうのを一つの大きな課題です。そのような、新しい世界に向けて挑戦するという宿題も残っているということを皆さんに知っていただきたいと思う。これまでの努力をこれからは形を整えて、制度にできるだけ寄せながら、新しい日本初のケア経済を構築するといった、使命を持って、取り組んでいただきたいと思う。



以上

Ⅲ. 事業評価

外部評価委員会評価報告まとめ

(1)総評

当事業は、「専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発」である。これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業である。

当該年度においては、計画書でも触れているが、事業の主旨・目的としては以下の通りである。目前に迫っている「2025年問題」においては、①医療費や介護費の増大、②現役世代の社会保険料の負担の増大、③慢性的な人材不足といった3つの問題が懸念されている。さらにその先にある2040年問題を迎えるにあたっては、具体的に機能を果たす地域共生などの施策を早々に整備する必要性に迫られることも予見される。

①については、医療や介護の給付費が2025年度にはGDP規模で、645.6兆円(2040年度は790兆円を超える)とされており、国家予算の約6倍規模となる。団塊の世代全員が75歳になる2025年、20～64歳の現役世代が大幅に減少する2040年に向けて、介護分野の社会保障給付は増大していく傾向があり、限られた資源(人材や環境、経営ノウハウ等)を活用し、継続的な運営を図る必要に迫られる。

②においては、少子高齢化社会、就業人口減、生産人口減といった状況からも分かる通り、いわゆる「現役世代」が高齢者を支える構図がこれまで以上に負担の大きいものとなることも十分に予見される。今後の日本経済の維持成長を図る上では、③の「慢性的な人材不足」への対策を考える必要があり、この問題を乗り切るためには上記の3つの課題について考え、対策を講じる必要があると考えられる。福祉業界は特に、経営資源＝「人材」として捉えられることも多い。一方で、人材確保や育成、定着においては、前述の就業人口減、生産人口減といった状況の中、近い将来、福祉業界はおろか、サービス業全体、全産業においても人材確保が困難な状況となることも予見される。限られた資源(ヒト・モノ・カネ)にてサービス提供を図る上で、一つの方策として、DX推進が挙げられる。DXを推進する第一歩としてデジタル化のさらなる普及、「生産性向上」「業務効率化」を図ることでサービスの質維持・向上に役立つとされているが、ITリテラシーを高める必要があり、その為の人材確保や育成、安定して利用できるシステムの構築などが十分でないといった課題もある。また、②については、少子高齢化社会、就業・生産人口の減少に伴い、政府財政への圧迫といった点も懸念とされる。

③については、②と同様に、就業人口減少、このことは全産業に言えることであるが、サービス業、とりわけ福祉業界においては顕著である。今後、限られた資源の中で、これまで通り、福祉現場においてサービスを提供する為には、経営者や管理者、スタッフひとり一人の意識変革と同時に、デジタル化の推進を図り、「ムダ・ムリ・ムラ」をなくした業務遂行が求められる。さらには、「介護人材不足による介護業務の増大」、「ICT/DX推進の遅れによる業務改善の停滞」、「次世代の介護のニーズに合わせた人材不足」、「現場で利活用できるアフターフォローの体制」といった課題が背景には存在し、それらを解決する為には、経営者の中長期の

健全な経営計画の策定と同時に、そこで働くスタッフの学びが必要となる。

これまでの事業報告でも述べられてきたが、現場における ICT/DX の活用においては、利便性や有効性を訴求することも必要であるが、実際に機器等を使用するスタッフに対して、情報提供やトレーニングなどの教育が不可欠である。すなわち現場スタッフが「理解と納得」を持ってもらい、サービス提供の一助として機器を活用するといった認識が必要となる。ICT/DX 推進のほか、介護人材を量と質の両面から確保する為、国と地域が二人三脚で、「参入促進」「資質の向上」「労働環境・処遇の改善」を進めるための対策(介護人材確保に向けた対策)^{注1}に総合的・計画的に取り組むことも必要となる。

本事業は、令和5年度より、令和7年度までの3カ年にかけて、実態調査・実証、プログラム開発、プログラム実証、プログラムの完成、人材養成、調査まとめ、最終報告を予定しており、各年度の事業計画案に基づいて遂行する。3カ年の事業計画に基づき、各委員会を構成し、年度ごとの成果を果たすべく活動を行っている。本事業においては、こうした課題や懸念の解決策として各委員会委員の尽力のもと、策定を行っている。

実施体制においては、①運営企画委員会 ②教育プログラム開発委員会 ③実証委員会 ④外部評価委員会 にて実証結果において、多角的な視点から課題抽出、問題提起、助言等を行っている。外部評価委員会においては、①②③が行う検証結果を客観的な視点から評価を行うことが目的となっている。また、委員会横断連絡会議を設置し、各委員会の活動を共有するとともに、各委員会へ報告事項に対しての助言や提案などを行っている。

本年度の活動については、限られた期間の中、各委員会及び事務局の尽力により無事、事業遂行が出来たと評価をしている。一方で、各委員会及び成果報告会においても、各委員より建設的な意見が呈され、次年度の事業遂行に活かす所存である。

注1 「介護人材確保に向けた対策」は厚生労働省の施策として、「介護に関する入門的研修」「人材育成等に取り組む介護事業者の認証評価制度」「介護現場における多様な働き方導入モデル」「介護の仕事の魅力発信などによる普及啓発」「介護人材確保地域戦略会議」などがある。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02977.html

(2)本委員会の役割

【目的】

外部評価委員会は直接点検・評価を行うことはせず、各プロジェクトが行う自己点検・評価の結果を総合評価実施することで、評価の有効性、適切性について第三者の立場から客観的のある評価を行う。

【役割】

- ・計画段階において、目標が明確か、目標を達成したことを測定する評価指標は適切か、事業がスムーズに進み大きな成果が得られるように助言する。

・プログラムの評価効果測定を担当するとともに、事業全体への評価・検証を行う。

【検討の具体的な内容】

- ①事業の企画・運営に関する助言
- ②事業の運営と成果に関する評価・検証
- ③開発した教育プログラムそれに伴う教材の検証

(3)評価方法について

各委員会の遂行した事業において、評価項目に基づいて評価を行う。当該年度においては、以下の5つの項目について、エビデンスを元に評価を行った。

- ①事業計画に基づき、各委員会それぞれの活動計画(年次計画・研究調査計画等)を立案できたか
- ②各委員会で立案したそれぞれの計画に基づき、予定通り遂行できていたか
- ③事業計画書・各活動計画と実施された内容は合理的に適合していたか
- ④各委員会が、それぞれの活動実績について適切に振り返りを行っていたか
- ⑤各委員会で行った振り返りに基づく次年度計画は妥当性があるか(現実的か、目標と行動計画が合致しているか)

(4)運営企画委員会に対する評価

外部評価委員会として、運営企画委員会において以下の評価を行った。運営企画委員会の設置目的は、本プロジェクトに参加する当事者を含む多様な関係者による事業の目的、目標、運営方法の検討・共有を行い、各委員会の調整も行うことにある。その意義と観点から①～⑦について評価を行った。

- ①事業全体の企画・運営・事業進捗の管理調整が出来たか。
⇒企画・運営が出来ている。初回に本事業の意義と各委員会座長からの目指すゴールについて言及があり、事業遂行の為にベクトル合わせが出来た。
- ②事業進捗の管理調整が出来たか。
⇒管理調整が出来ている。
- ③事業計画の到達点、評価指標の設定が出来たか。
⇒いずれも出来ている。具体的な実施計画についても初回で触れることが出来ており、参加委員の理解も深まった。
- ④評価基準の確認が出来たか。
⇒基準の確認が出来ている。
- ⑤実証調査が出来たか。
⇒限られた時間ではあったが、年度内の目標については到達出来た。
- ⑥実施出来たか。
⇒同上。実施出来た。

⑦研修会の運営企画が出来たか。

⇒運営企画が出来ている。短期間での実施となった為、実施回やエリアによっては差異が生じたものの、参加人数は一定数あり、実施が出来ている。

(5)プログラム開発委員会に対する評価

外部評価委員会として、プログラム開発委員会において以下の評価を行った。

プログラム開発委員会の設置目的は、プログラム全体の企画・開発をする。それに伴う教材の企画・開発を行うこと、6つの講座開発に伴う、プログラムについての最終検討を行うことである。委員会では、以下の項目①～②について、評価を行った。

①プログラムの企画・開発する。それに伴う教材の企画・開発を行う。

⇒多岐に渡った企画であったが、特にデジタル活用は昨今の人材不足、サービスの低下を懸念する現場においては、支援の一助となるものとして認識されつつあり、ICT・DX 推進の必要性を持って行っていることが理解できた。十分に実施されている。

②6つの分科会に分かれ、分科会ごとにプログラム開発を行いプログラム開発委員会全体会にて最終検討を行う。

⇒年々、現場で求められる知識は多様化している。プログラムは多岐に渡るが必要であり、十分に議論がなされ、検討されたことが理解できた。

以降、計5回のプログラム開発委員会では、各委員からこれまでの経験や実績から多くの示唆があった。カリキュラムの再構築については、目標設定を置き、内容とその結果・検証を見越した体制づくりを構築できている。この委員会では、受講生からのアンケート結果など、本事業にて求められる結果に限らず、今後の介護業界のゆくえや本質について議論をされたと思う。

尚、それぞれ、A～Fまでの分科会を設置している。

A. 介護予防講座分科会

B. 外出支援講座分科会

C. 介護施設のICT/DX講座分科会

D. マネジメント講座分科会

E. 多様な人材との関わり講座分科会（外国人編・障がい者編）

F. ナチュラルセラピー講座分科会（アロマセラピー・ミュージックセラピー）

また、A～Fまでの分科会では以下の内容を検討している。尚、プログラム開発委員会委員は、それぞれが2～4つの分科会に属し、企画に携わっており、それぞれの経験や専門性を生かした関わりがなされていた。

○既存のコンテンツを使ったプログラムの開発

○新規コンテンツ企画、開発、プログラム開発

- それに伴う教材(動画も含む)の作成
- アシスタントティーチャー養成講座マニュアルの作成

(6)実証委員会に対する評価

外部評価委員会として、実証委員会において以下の評価を行った。

実証委員会の目的は、開発した教育プログラムと、それに伴う教材を使って実証し、検証することにある。委員会では、実証の内容と進め方、検証方法、協力体制の確認など、以下の項目①～⑥について、評価を行った。

①開発されたプログラムを活用した講座を希望する福祉施設の介護職及び専門学校の学生や、卒業生を対象に実施を行う。

⇒限られた時間ではあったが概ね実施出来た。

②習得の効果に関する測定が必要なため、当該講座の試験結果が基本データとなる。講座後、その都度、学習効果の測定を精密化する。

⇒実施出来た。受講生の層や数にバラツキがあり、データの精緻化については課題がある。

③受講生に対して、プログラムに内容がどこまで習得できたか、研修の改善や継続の有無に関するアンケートおよびインタビュー調査を行う。

⇒受講生の生声が盛り込まれており、実施する側やプログラムを提供する側との意識の違いに気付かされた。

④今後、開発したプログラムの導入を考えている福祉施設の介護職や専門学校も教員のためにアシスタントティーチャー養成講座を実施し、全国の福祉施設や専門学校で実施できるよう人材育成を行う。

⇒知識を身に付けることはこれまでの生活で経験がある(学校生活や仕事などを通じて)が、「教え方を学ぶ」ことは本質的に難しい。知識を身に付けて、同時に教え方やこういった反応に対しては、こうした対応が望ましいなどケーススタディを入れて育成に目を向けるようにしていきたいので、次年度以降、さらに期待をしたい。

⑤習得効果測定が基本であるので、講座の修了試験【筆記・実技】で効果が明確になる評価方法を取る。

⇒筋道や具体的な方策については議論を尽くしたと思う。実施に次年度以降、効果測定やフィードバックの内容などを確立する必要がある。

⑥アシスタントティーチャー養成マニュアルについて、受講したアシスタントティーチャー候補生の活用能力がどこまで向上したかに関する調査を行う。

⇒最終的には客観的な指標が必要となり、調査方法や実施時期などが決まれば実装においては慎重に実施する必要がある。調査の目的と記載をするモチベーションを加味した内容とする必要がある。

(7)全体を通じての評価

介護業界を取り巻く環境は厳しいものがある。「2025年問題」やその先の「2040年問題」など、現場の備えだけではサービスの質を向上はおろか、維持することも困難となる。限られた資源(ヒト・モノ・カネ)を最大限に活用し、同時に「業務改善」と「生産性向上」を推進する必要があり、経営者や管理者、現場スタッフ一人一人の意識変革をはかり、ICT/DX推進をはかることが求められる。

本事業では、3カ年の事業計画に基づいて複数の委員会で構成され、実証研究と教育プログラム開発や検証が行われている。各委員会から前向きな提言(意見)が議事録を通じて共有され、教育現場と開発チーム、各委員会がハイレベルな検証が図られることを期待したい。実証に参加した受講生の年代や立場は様々で、得られる情報やデータは今後多様な人材の参入を促す意味でも大変意義のある内容となっている。一方で、今年度の活動によって浮かび上がった課題についても検証と議論を継続し、DX等のリカレント教育推進の為の支援体制の強化を図っていくことが肝要である。

(8)全体を通じた本外部評価委員会の総評

本事業に限ったことではないが、事業推進にあたっては、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大悪化への影響は小康状態にはなったものの、いまだに懸念した活動となっており、制約があったことも推察できる。各委員会及び協力頂いた教育機関においては、心より謝意を申し上げる次第である。そうした想いのなか、本事業への期待を込めて各外部評価委員からは、全体を通じて次のような意見があったことから、次年度事業の参考としていただきたい。

- ・介護現場の課題としては、「人材」(＝確保・育成・定着)に基づくものが多く見受けられる。
- ・また、稼働率等の経営戦略についても、課題としては大きなウェートを占めており、長い目で見たときはそういったテーマも経営層や上級管理層に限らず、一般スタッフにおいてもDXや現場で役立つ専門スキルと一緒に学ぶ必要があると思っている。
- ・短期間の中で、事業実施体制を具体的に構築し、事業開始にまでこぎ着けたことは高く評価できる。また、今年度は具体的な活動が実施でき、一定の成果と次年度に向けた課題が得られており、着実な事業実施の進捗状況が伺える。
- ・次年度は、今年度明らかになった各プログラムの課題を踏まえ、事業計画・次年度計画に沿ったプログラム開発を進めることが望まれる。
- ・各委員会の進捗状況、課題、スケジュールの情報共有がきちんと行われ PCDA サイクルがうまく回っており事業については、高く評価できる。ただし、新たな課題も散見されるので、次年度に向け、各委員会にて、振り返りと反省を行い、最終年度となる次年度に向け、更なる進化と発展(質的な向上)に期待したい。
- ・多様なプログラムが組まれている点がよかった。
- ・受講の方式も3Step に分け、オンライン形式や対面形式など、受講者の要望に応じて変え

ることができるなど工夫がされていた。特に、現在の生産性向上の促進の観点から介護 DX、さらに外国人介護人材の急増から多様なかわりについての講座もあり、興味を引くものであった。

- ・今後、介護報酬に、このような施策にも対応できるプログラムになると、さらによりプログラムになるのではないかと考える。

(9) 今後の事業への期待

介護や障害の現場に限らず、サービスの提供や価値はもちろん、「学び方」や「働き方」についても大きな変革をもたらした。とりわけ学びの場においてはオンラインが加速度的に普及した。昨今の少子高齢化社会、就業人口減、といった問題があり、今後も現場の介護スタッフをはじめとした人材確保や育成不足が予見される。また、専門学校の学びが大きく変化しており、国家資格を取得する事が、目標＝卒業となり、従来の現場実践力を身に着けた学生を社会へ輩出することが目標＝資格取得にならなければならないと思われる。実践できるプログラムをアップデートする場があることで、活躍できる専門食を養成することで、離職者軽減にもつながるのではないかと考えられる。

学びは重要であり、経験をもとに獲得した知識や技術は大変有益であると思われる。一方、現場で通用する実践的な内容についてのニーズも高いこともあり、出来る限り多くの対処事例やケーススタディを取り入れ、体験型かつ習得が出来る内容を検討することも必要と思われる。

次年度の展開として期待したいことは、現場での事例をより多く盛りこみ、課題解決のプロセスを入れることが望ましい。医療・福祉・介護の現場に限らないが、管理職やリーダーになりたくないといった若年層も少なくないとも言われており、マネージャー層を対象とした「リーダーシップ」や法人における「事業計画の策定」などをワークショップ等で学べる内容なども検討を頂きたい。また、介護・障害・子育ての現場の離職理由は人間関係が上位で挙げられることも、リーダー養成において改善できることも期待しており、コンテンツの内容充実も図る一方で、是非とも実施して頂きたい。

(10) 事業推進にあたって見直すべき事項

全体的な工程、進捗はスムーズに進んでいるように思われる。それぞれの委員会に参加された委員各々が、これまでの経験や実績を存分に発揮し、事業を遂行した成果もあり、年度の目標については達成できたと思われる。

アンケート結果においても概ね高評価を得ているが、参加者のモチベーションが高く、現場で実践できるという回答も多かったと思われる。関係者が参加にあたって事前に意識付けを行った成果もあったかと思うが、継続するためには、その学びが学校や施設に戻った時、以降についてもアップデートするための継続方法について検証する必要がある。今年度と同様に学んだあとの変化や具体的な改善できた点についても追跡調査が出来れば良い。

また、実証については比較的好意的、協力的に受け入れて頂いたが、実際の現場で活用する際は、負担が生じることも想定される。負担感を感じさせることなく、参加をしてもらうように、受講生の環境にも配慮した提供が望ましい。また、この講座の趣旨を説明し、講座提供の目的を受講生に理解してもらうことも踏まえ講座がスムーズに進行できるように進めてほしい。

(11)本外部評価委員会による評価

以上を踏まえ、本外部評価委員会において、本事業が適切に執行され、実施されたことを確認した。各委員会、委員及び事務局の尽力により、多くの関係団体の協力を得られて、内容の濃い事業を展開できたと思われる。

今後、事業を継続するにあたっては、介護現場にて提供されるサービスの質維持・向上を目的とした実用的な講座の企画と実証が必要だと思われる。現場の切実な声としては、人材不足の中でも、マネジメント層の育成や確保が難しいといった内容が見受けられる。特に経営資源となる人材の育成やマネジメントに注力した講座の企画や具体的な事例を多く取り入れた演習形式の講座の開講を通じて、どう変化したか、新たな課題は何かなどを見出せる内容となることを強く祈念する。参加者に関心を持ってもらい、継続性を維持出来る内容の実証が出来たと評価する。

(12)あとがき

全産業について言及すべきことであるが、サービス業、とりわけ介護業界においては人材の確保や育成が困難な状況になることは想定できる。人材の確保が困難な状況が今後もしばらくは続くものの、状況に甘んじることなく、経営層や管理者層ばかりが思案することなく、全スタッフが一緒に考え、ベクトルを合わせることが諸問題の解決手段につながるのではないかと。

様々な価値観は尊重しながらも、「利用者のため」「仲間のため」といった認識を共有する仕組みづくりや、人的資源に限りがあるのであれば、「生産性向上」や「業務改善」を図るべく、ICT/DXの活用を検討し、その検証についても施設や事業所、法人全体で取り組むことが必要ではないか。但し、あくまでも施設や事業所、法人における課題の解決ツールの1つとしてのICT/DXの活用であることは前提である。

外部評価委員会

IV 事業の振り返り

IV事業の振り返り

(1)プログラム開発委員会 本年度事業の振り返り

プログラム委員会を代表しまして、本事業に多大なるご協力をいただきました、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

本年度は、3年を予定する本プログラムの中でも最も重要な年度でありました。と言いますのも、初年度は既存のプログラムを活用し実証を進める事で、プログラム運営にどのような課題があるかを検証する事が目的であり、プログラム開発は次年度に繋げる設計が主の活動でありました。つまり、本プログラムの2年目である今年度こそ、前年度の学びを基に0ベースから作りあげるというプログラム開発そのものの活動でした。

各プログラム開発の分科会の皆様の試行錯誤の末、大変ながらも予定通り8つの講座を開発することが出来ました。また、受講者数も450名という目標に対して、概ね近い数字まで近づけた点は、大きな成果であったと感じております。

2年目である今年もプログラム開発そのものや、講座を運営したことにより新たな課題が多く見つかった事も大きな成果であったと思います。最終年度を予定する3年目は、新たに発見した課題を解決し、完成形に近づけることが必要であると思っております。

足元では2025年問題と言われた年に突入し、団塊の世代のすべてが後期高齢者となりました。後期高齢者が増え続ける一方で、生産年齢人口が減少していく社会において、今後介護や福祉サービスの利用者は増え、職員は減り続ける時代に突入します。

これからの介護と福祉の現場は所謂少数精鋭化が求められる事となり、現場で活躍するためには、既存の介護の技術やコミュニケーションの技術などの教育だけでは、備えるべき知識に到底及ばないと考えております。本事業で生み出されるプログラムを活用して知のアップデートを図り、学びを得た皆様が介護と福祉の新しいサービスの在り方を創って行けるように、まだまだプログラムの改善が必要です。

前述の通り今年度も多数課題は出ましたが、来年度はそれらの課題をプログラム開発にしっかりと繋げ、より良いプログラムに深化させたいと思っておりますので、分科会の皆様、リーダーの皆様、そして実証実験のご協力をいただく各事業所の皆様や専門学校の皆様におきましては、まだまだ多大なお力添えを頂きたく、来年度も引き続きよろしく願いいたします。

プログラム開発委員長
株式会社ビーブリッド
代表取締役
竹下康平氏

(2)実証委員会 本年度事業の振り返り

実証委員を代表しまして、関係者の皆様、並びに実証へご協力をいただきました施設様、学校様へ、多大なるご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

また、本年度は8つのプログラムを開発し、管理や運用含め、事務局並びに委員の皆様にご尽力いただきましたことを重ねて感謝申し上げます。

本年度の実績報告の中で、講座の内容やコンテンツによって、受講者の方々が現場で実践できた講座と実践ができていない講座が一部あるという結果となりました。この課題を踏まえ、次年度は、円滑に講座の提供が行え、かつ受講生が、学びのきっかけの場となるよう改善をしていきたいと思っております。本来は講座の最適化についても求める必要がありますが、本研究事業において、一番重要なのは効果検証であり、実際に試し、エビデンスを収集し、改善をしていくという工程を踏み、最終的に講座の最適化を目指していきたいと考えております。

近年、学びに対する、他国との相対的な比較では、日本人は学生時代に学び社会に出たのち、学び直す機会がなかったと言うことがよく指摘をされています。2025年問題について、現時点で必要なサービスやサービスの質など、国をあげて成果があったかという点、十分な成果が得られたわけではないと、私自身も反省すべき点があります。今後は、生産年齢人口の減少に伴い、現状より多くの介護サービスの提供が必要な未来がやってきます。また、労働人口が減少して、介護サービスを提供する際には、最終的には介護が必要な方に、介護が行き届かなくなることにも繋がり、既存の方法では、人口動態的にも、非常に困難であるため、未来に向けてのエビデンスを作っていくながら、介護が必要な方が介護を受けられる日本を作っていくこと、国民の皆さんが年を取っていくことに不安にならないような、社会を作っていくかなければならないと思っております。

一人当たりの生産性をもっと高めていくことで、その人が持っている力、技術を高めていきながら、より良いサービスを、より最適な形で提供していける世の中になればいけないと思っております。そのためには、学びの仕方も形を変えていかなければなりません。

来年度は、いよいよ最終年度となり社会実装化に向けて取り組む予定ですが、より良い講座の提供ができるよう引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。

実証委員会委員長
社会福祉法人善光会 理事
最高執行責任者
統括施設局長
《株式会社善光総合研究所》
代表取締役社長
宮本 隆史

(3) 新たなるチャレンジへの思い

はじめに、この研究にご尽力いただきました関係者様、実証校の皆様にご心より感謝申し上げます。

来年度については、厚生労働省が提唱している、これからの介護職に求められる多様なキャリアパスにおいて富士山型から山脈型への変換が必要となります。この事業のキーワードはアップデートですから、まさに富士山型から山脈型への変革が必要であると考えられます。

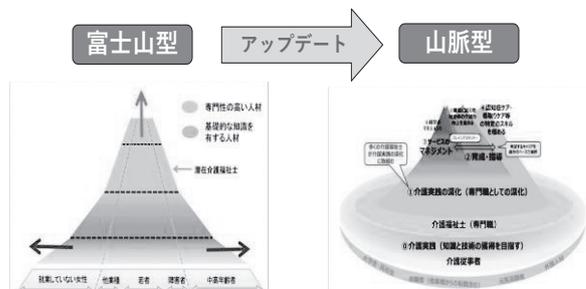
私たちとしては、山脈型とキャリア段位制度をうまくミックスさせ、日本型の介護+α講座にしていこうという狙いがあります。まず、大きなくくりで考えるとキャリアについては、介護現場に出る前の学生さんたち、そして介護の現場に出たばかりの人たちが、自信持てるような内容のプログラムの開発を行い、その上で、来年度は、プロフェッショナルを育成しようという狙いがあります。一つの例としては、大手企業さんとコラボし、排泄ケアのプロフェッショナルの講座を実施したいと考えており、そういったところを山脈型のキャリア形成と紐付けながらやっていきたいと考えております。

また、管理職の人たちは、マネジメントの講座も含めて、外国人や障害のある方達をどう支援していくかを学んでいただきたいと考えております。

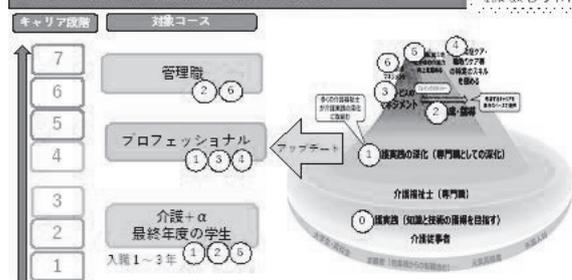
今後の提供イメージとしては、3段階あり、①養成校学生と入職 1-3 年目の職員の方(介護予防、外出支援、ナチュラルセラピー、アロマセラピー、ミュージックセラピー)、②プロフェッショナル(排泄ケア、介護 ICT/DX professional、外出支援 2 級)、③管理職(介護 ICT/DX、多様な人との関わり 外国人編・障がい者編、マネジメント+ICT/DXを活用したマネジメント)に分けて、展開する予定で考えております。また、アシスタントティーチャーに関しても、適応しやすい講座かどうか吟味する必要があるため、もう 1 回検証していきたいと考えています。

アシスタントティーチャーが講義を行うことに関しては、介護の学校での教員による展開など、割とすぐに活かせるものは、アシスタントティーチャー制度が出来ると事務局で考えていますので、来年も更に検証していきます。専門性が必要なものは、再来年度にアシスタントティーチャーにどのように組み込むのかを考えております。来年度の予定としては、5・6月より文科省から、スタートの連絡いただけると想定をして、アシスタントティーチャー養成のプログラムを作りながら、まなびフェスみたいな形で 10~15 分間でいろんな講座を体

これからの介護職に求められる多様なキャリアパス 敬心学園



キャリア段位及び山脈型を用いた対象コース 敬心学園



キャリア段位及び山脈型を用いた講座の提供イメージ 敬心学園



験してもらおうという形を、東京と東北にて、実証になるかと思っています。それらを受けた方々が、実証で深く学んでいただくというステップや全国の学校などで実証して、それぞれの地域でこのプログラムを活用していただきたいと思っています。

文科省事業で、大事だと考えてるのは、社会実装です。そこは常に意識してやっていきます。

社会実装においては、企業や他の文科省事業とのコラボレーションをして実施していきたいと思います。再来年については、まず、既存の仕組みを介護事業者の中で利用しているシステムとコラボしようと思っています。2 つ目は資格とのコラボで、色々な民間資格や企業主催とコラボして展開していこうかと考えています。最後に 3 つ目として、大手企業さんとのコラボを考えており、大手のおむつメーカーさんとコラボするというのを、承諾を得て、我々の事業に参画していただくことになっております。

こういう形で社会実装を前提とした研究を進めていき、知識を学生さん、そして留学生に還元して行きたいと思っています。今年度で止まらず。来年度も、皆さんのお力添えをいただければと思っていますので、よろしく願い致します。

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター
事業責任者 小林 英一

資料 1

専門職業人材最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育(リ・スキリング) 推進事業
介護現場で利活用できる実践力をつけてマルチタスク型介護職へ!

5年後10年後の
ミライを見据えて



受講料無料
(定員に達し次第終了)



プログラム期間 2024 **10/1** 火 ~ 2025 **1/15** 水

会場 (対面・オンライン)
大阪 11/23 (土) ~ 24 (日) リファレンス大阪駅前第4ビル23階(梅田駅)
東京 12/14 (土) ~ 15 (日) 日本福祉教育専門学校 高田校舎(高田馬場駅)
※オンデマンド(基礎編)受講後、実践編を対面で行う会場となります。

対象
●介護・医療施設の管理職および介護職の方
●養成校学生(2025年3月卒業見込み)および養成校を卒業した卒業生の方

プログラム内容
介護・医療分野の現場で利活用できる最新技能アップデートのための実践プログラム6種類(8講座)の中から、自分の受講したい講座が選択できます。

プログラム修了までの流れ



※オンデマンド形式…ご自身の空いている時間で動画を視聴する受講形式です。

お問合せ



1 高齢者の転倒を基礎から学び、予防したい方におススメです!

介護予防 各会場 30名

受講申し込み



施設で生活する利用者を対象とした“転倒”を予防するために、転倒に関連する筋肉、メカニズム、評価方法を学びます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

2 介護現場を2～3年経験し慣れてきた外国人を含む方におススメです!

外出支援 各会場 30名

受講申し込み



施設、デイサービスの人が外に出る不安を解消する知識を学び、外出時のリスクを知り、安全に外出を実践できる知識を身につけます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証、トラベルヘルパー3級受験資格

3 ICT（情報通信技術）に苦手意識があるが、より良いサービスを提供したい現場担当者におススメです!

介護 ICT/DX 定員 60名

受講申し込み



ICT/DX の興味を持ち、介護の生産性向上の必要性を学びます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証、スマート介護士受験資格

4 管理職1～3年の方におススメです!

マネジメント 各会場 30名

受講申し込み



現場で生かせる人材育成や組織づくり、マネジメントに関する知識とスキルを学びます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

5 **ナチュラルセラピー** 各会場 30名

アロマで介護を必要とする全ての方をリラックスさせる知識を習得したい方におススメです!

受講申し込み



5A アロマセラピー編
アロマセラピーの基礎、介護現場で活用する方法を学び、広めたい香り作りを行います。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

介護現場で音楽を用いたいと思っている方におススメです!

受講申し込み



5B ミュージックセラピー入門編
音楽が高齢者や私たちの身体や心にもたらす力について学びます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

6 **多様な人とのかかわり** 定員 60名

日本人介護職員および管理者の方、現在日本で3年以上勤務している外国人の方におススメです!

受講申し込み



6A 外国人編
外国人材の受け入れに関するポイントを理解し、日本人・外国人の相互理解を深めます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

介護職員として3年目くらいで職員の直接指導に関わる方、障がい者雇用や職員としてのかかわり方を知りたいと思っている方におススメです!

受講申し込み



6B 障がい者編
なぜ障がい者を受け入れるのか、入職前にどのような勉強をしているかを理解し、現場での共働・共生を実例を交えて学びます。

受講形態：基礎編（オンデマンド）+実践編（対面・オンライン）+実践交流会
講座受講で得られるもの：修了証

主任クラス以上の方 対象

管理職育成 コース

受講申し込み



日程など詳細はHPでご確認ください



申し込み方法

QRコードでお申し込み
上記それぞれのQRコードから講座開始の10日前までにお申し込みください。（定員に達し次第終了となります）

事務局よりご連絡
受講の流れやオンデマンドの情報をメールでご案内します。

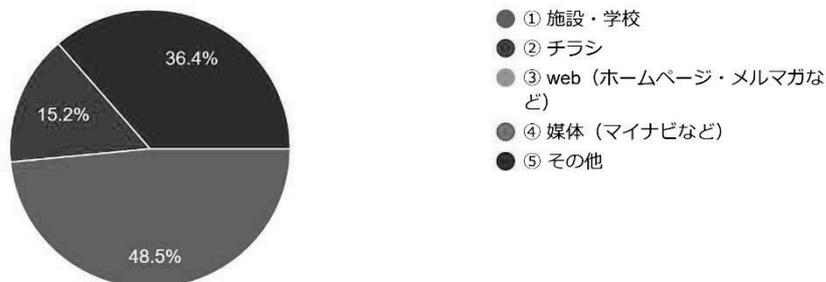
受講
各講座を受講ください。

資料 2

介護予防 事前アンケート(回答数33件)

問1：あなたは受講する研修をどのように知りましたか。

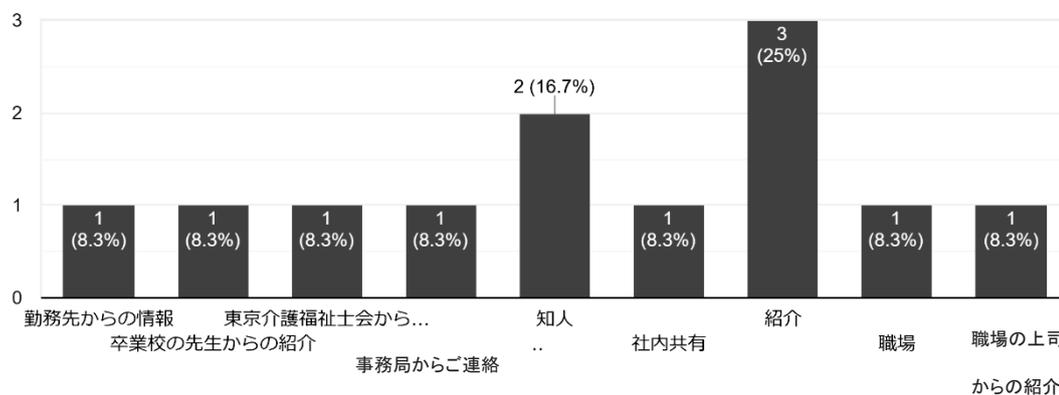
33件の回答



問2：問1で「⑤

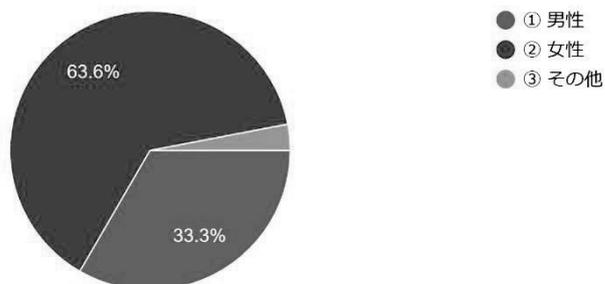
その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

12件の回答



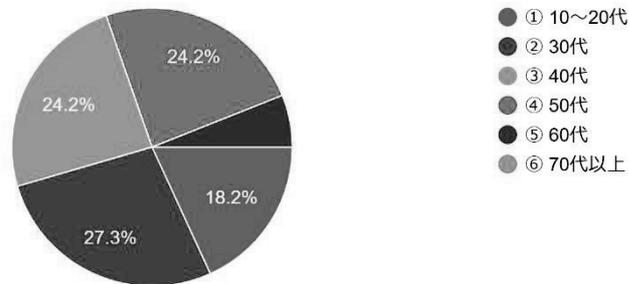
問3：性別を教えてください。

33件の回答



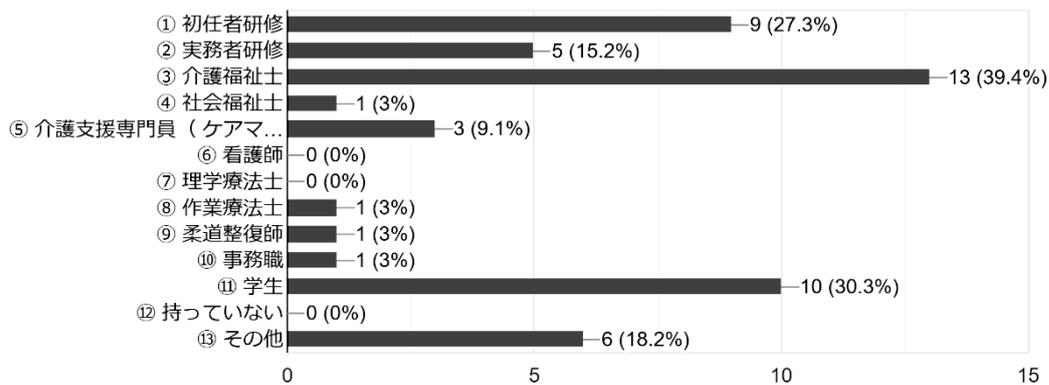
問4：あなたの年齢を教えてください。

33件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。（複数回答可）

33件の回答



問6：問5で「⑬ その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

ヨガ講師

キャリアコンサルタント 2

精神保健福祉士

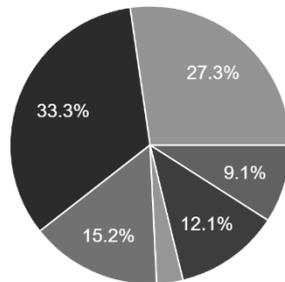
介護事務

保育士

あん摩マッサージ指圧師

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

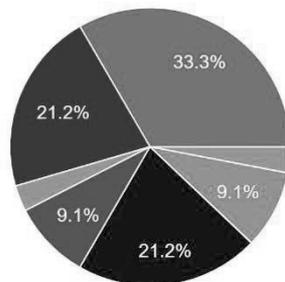
33件の回答



- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上～5年未満
- ④ 5年以上～10年未満
- ⑤ 10年以上
- ⑥ なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

33件の回答



- ① 特別養護老人ホーム
- ② 介護老人保健施設
- ③ 介護医療施設 (介護医療院、療養...)
- ④ 有料老人ホーム
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥ 訪問介護事業所
- ⑦ 訪問看護事業所
- ⑧ 訪問リハビリ事業所

▲ 1/2 ▼

問9：問8で「⑮ その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

労働局 公共職業安定所

新潟青陵大学

株式会社ニチイ学館

介護福祉士養成校

専門学校

介護部門一般事務

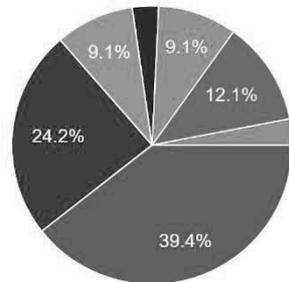
本社 管理部門

放課後等デイサービス、看多機

訪問マッサージ

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

33件の回答



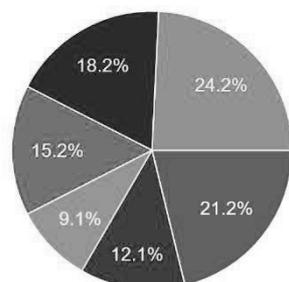
- ① 正職員
- ② パート・アルバイト
- ③ 契約社員・委託社員
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 自営業
- ⑥ 離職中
- ⑦ 学生
- ⑧ その他

問11：問10で「⑧ その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

任期付き

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

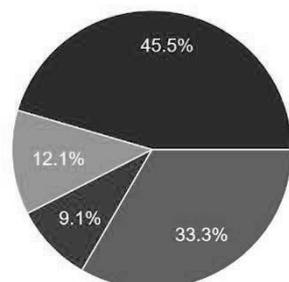
33件の回答



- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上～5年未満
- ④ 5年以上～10年未満
- ⑤ 10年以上
- ⑥ なし

問13：あなたの役職を教えてください。

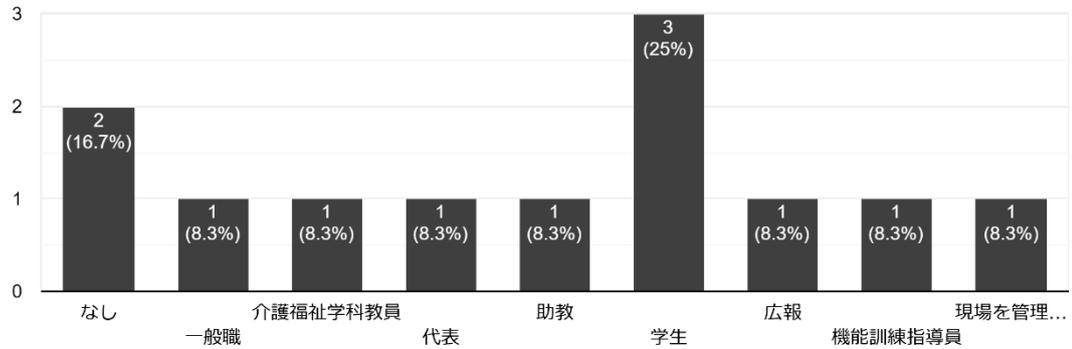
33件の回答



- ① 介護一般職
- ② 介護主任(チームリーダー)
- ③ 介護管理職
- ④ 介護施設長
- ⑤ その他

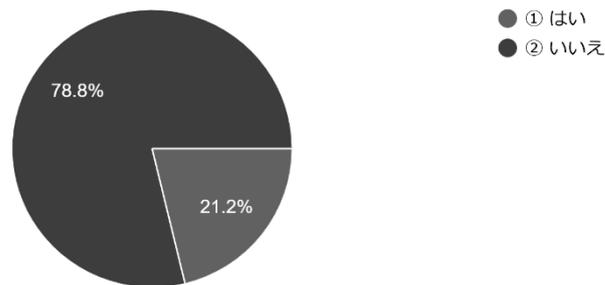
問14：問13で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

12件の回答



問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)

33件の回答



問16：問15で「① はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

ICT、トラベルヘルパー

スマート介護士

ICT 介護技術

初任者研修

初任者研修受講中

問15を「いいえ」と答えましたが、以下必須項目のため、空欄では回答を送信できませんでした。そのため、「どちらともいえない」もしくは「その他」を選びました。

知的障害者に関する支援専門員

重度訪問介護

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。

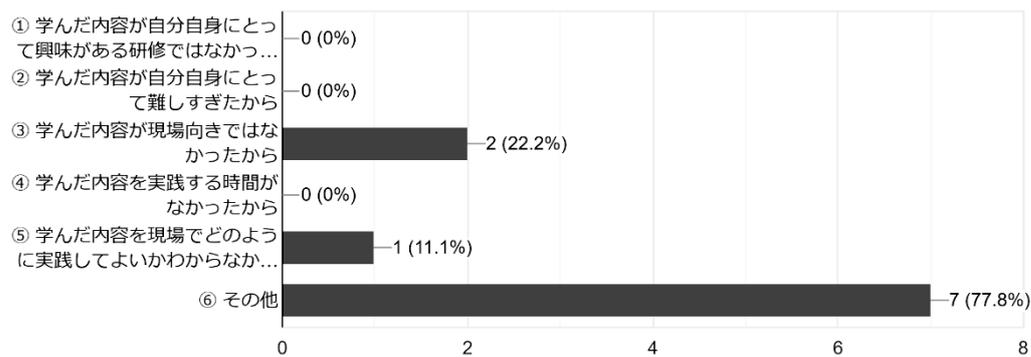
18件の回答



問18：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。「...ですか。該当するものを2つ選択してください。

9件の回答



問19：問18で「⑥ その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

ICT は機器導入が進んでいないから。トラベルヘルパーは訪問介護事業では活用の機会がないから

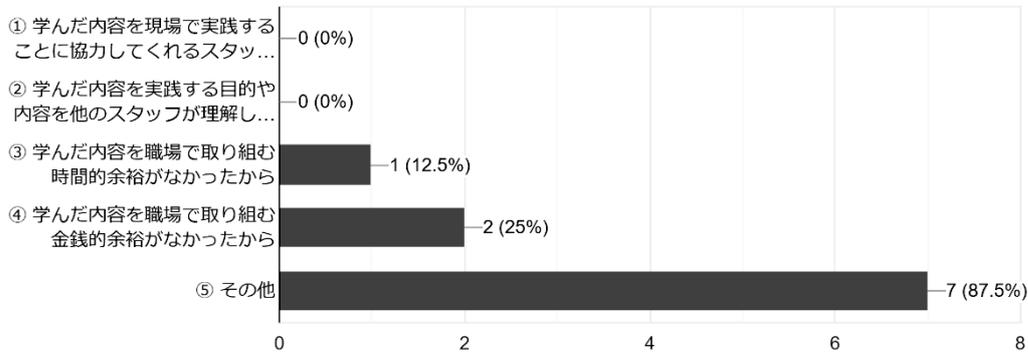
受講していないため

受けてない

問20：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

8件の回答



問21：問20で「⑤ その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

受講していないため

受けてない

問22：これから受ける研修についての自分自身のモチベーションについてお聞かせください。

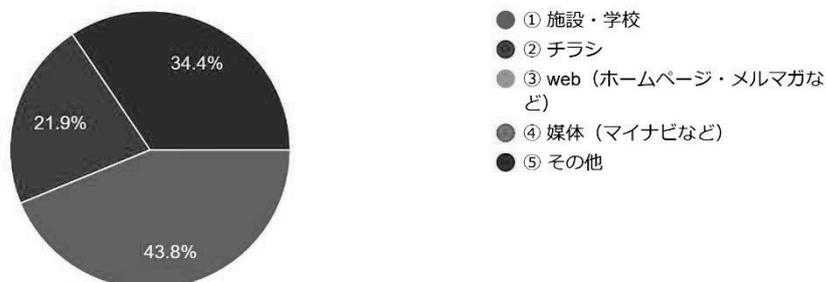
33件の回答



介護予防 事後アンケート(回答数 32 件)

問1：あなたは受講する研修をどのように知りましたか。

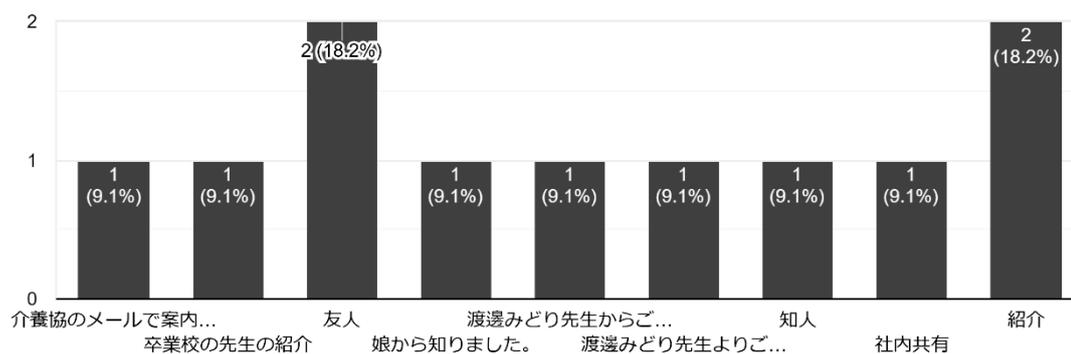
32 件の回答



問2：問1で「⑤

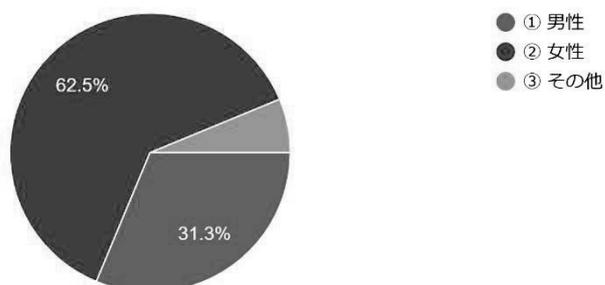
その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

11 件の回答



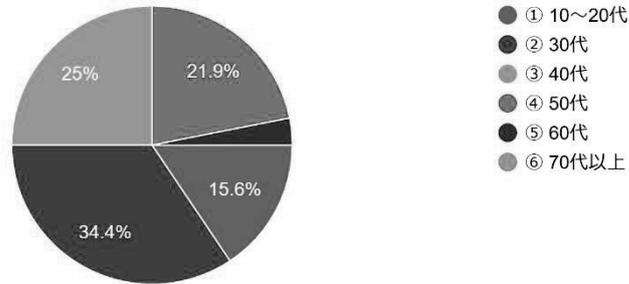
問3：性別を教えてください。

32 件の回答



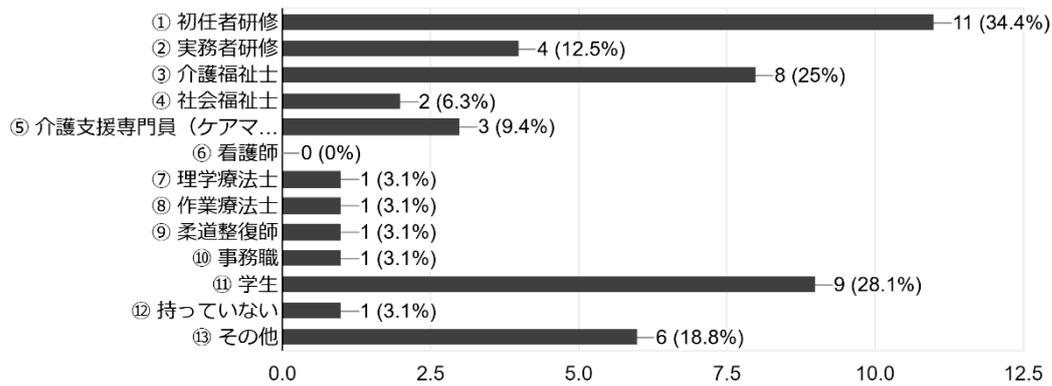
問4：あなたの年齢を教えてください。

32件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

32件の回答



問6：問5で「⑬ その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

精神保健福祉士

キャリアコンサルタント 2級技能士(現在)、保育士、幼稚園教諭 2級資格

あん摩マッサージ指圧師 鍼灸師

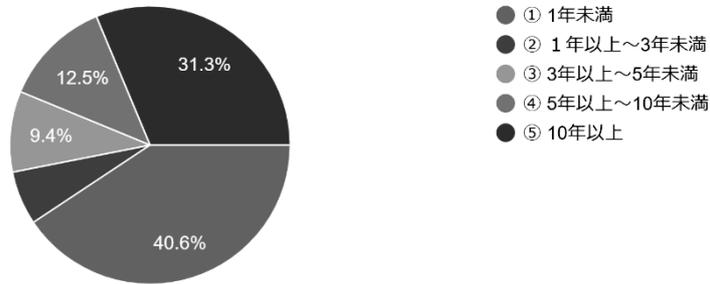
ヨガ講師

介護事務

あん摩マッサージ指圧師

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

32件の回答



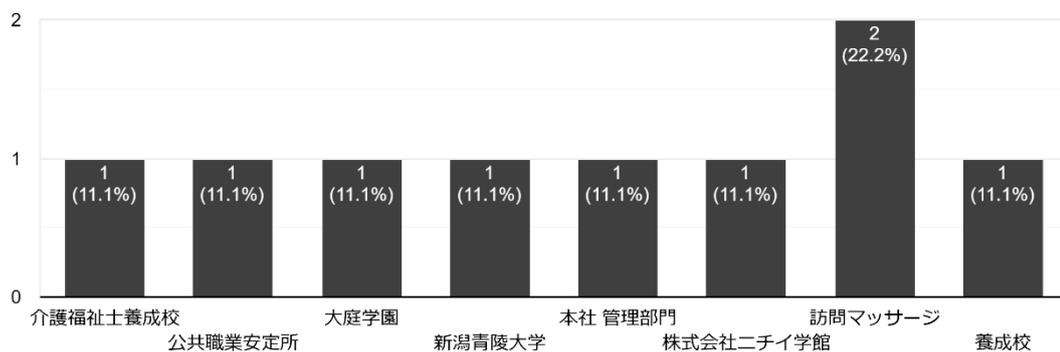
問8：あなたの所属先を教えてください。

32件の回答



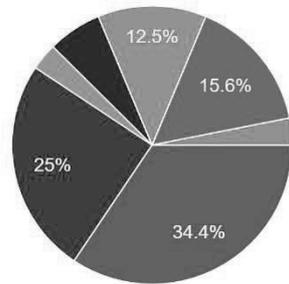
問9：問8で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

9件の回答



問10：あなたの雇用形態を教えてください。

32件の回答



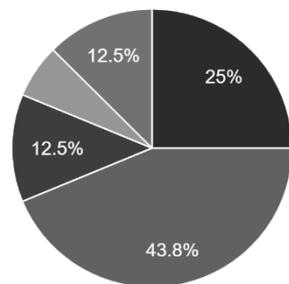
- ① 正職員
- ② パート・アルバイト (非正規職員)
- ③ 契約社員・委託社員
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 自営業
- ⑥ 離職中
- ⑦ 学生
- ⑧ その他

問 11：問 10 で「⑧ その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

任期付き

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

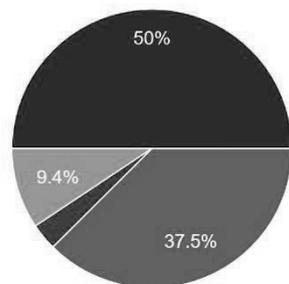
32件の回答



- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上～5年未満
- ④ 5年以上～10年未満
- ⑤ 10年以上

問13：あなたの役職を教えてください。

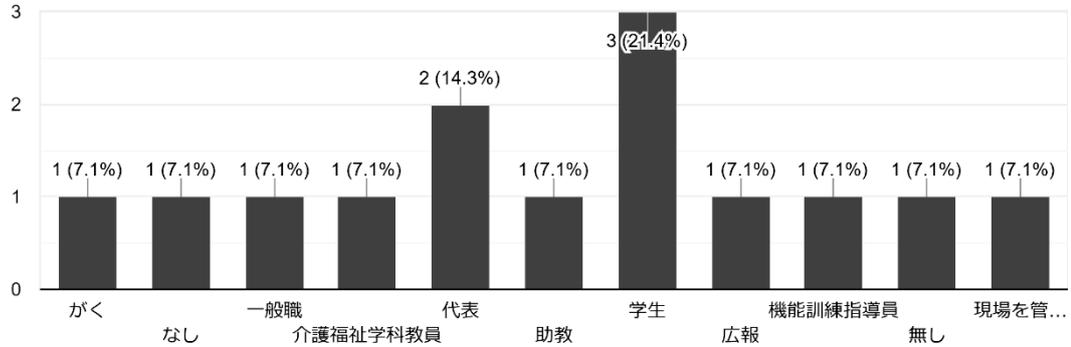
32件の回答



- ① 介護一般職
- ② 介護主任(チームリーダー)
- ③ 介護管理職
- ④ 介護施設長
- ⑤ その他

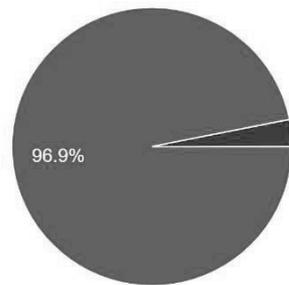
問14：問13で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

14件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

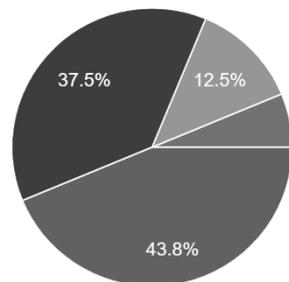
32件の回答



- ① 介護予防
- ② 外出支援
- ③ 介護ICT/DX
- ④ マネジメント
- ⑤ ナチュラルセラピー
- ⑥ 多様な人とのかかわり

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

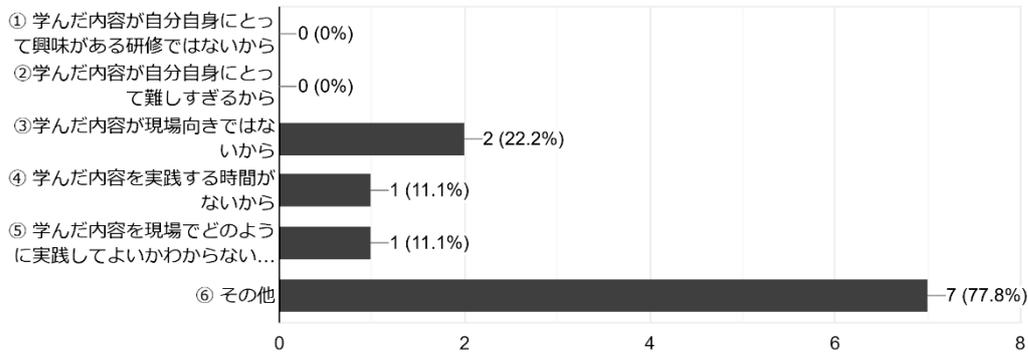
32件の回答



- ① 学んだ内容を現場でとても実践できると思う
- ② 学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③ どちらともいえない
- ④ 学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤ 学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問17：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。
9件の回答



問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

出来ないと思ってないけど、選ばないといけないみたい

業務内容

問16で④⑤を選択していませんが、回答必須のため「その他」を回答しました。

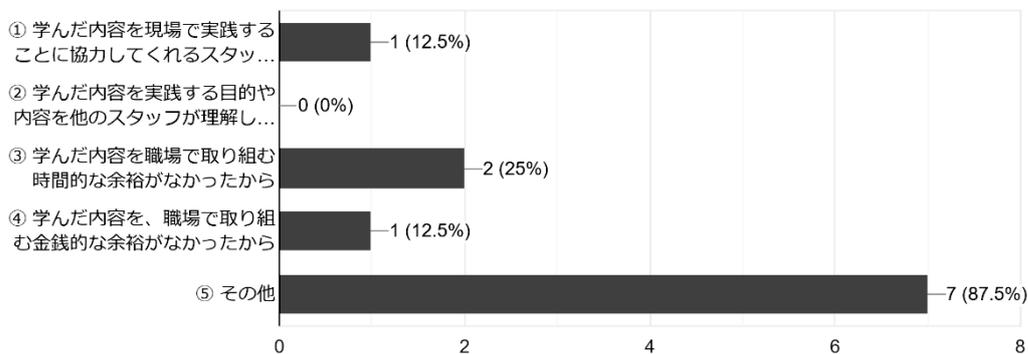
離職中のため

実践できると思ったから

選択肢が必須になっているの、選ばざるを得ない

問19：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。
8件の回答



問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

出来ないと思ってないけど、選ばないといけないみたい

現在、就労支援に携わっていますので業務では実践できないと思いますが、シニア層のまわりの方々に広めていきたいと思います。

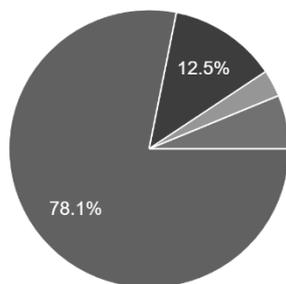
問16で④⑤を選択していませんが、回答必須のため「その他」を回答しました。

離職中のため

実践できると思ったから

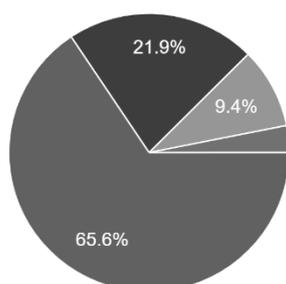
選択肢が必須になっているの、選ばざるを得ない

問21：この研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションは変化はありましたか。
32件の回答



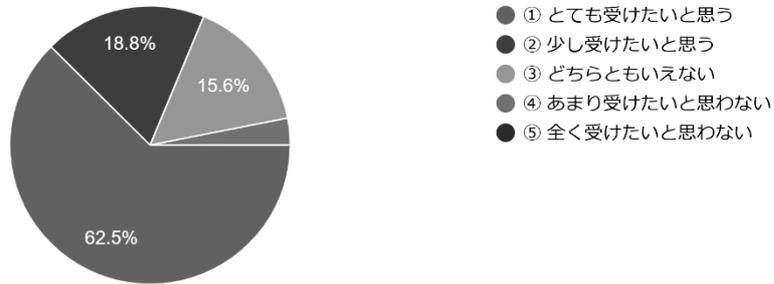
- ① とても前向きな気持ちになれた
- ② 少し前向きな気持ちになれた
- ③ 変わらない
- ④ あまり前向きになれなかった
- ⑤ 全く前向きになれなかった

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションは変化はありましたか。
32件の回答

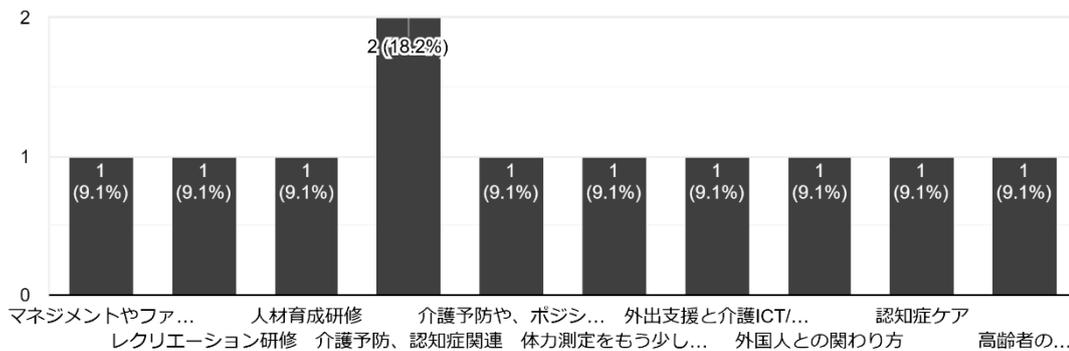


- ① とても前向きな気持ちになれた
- ② 少し前向きな気持ちになれた
- ③ 変わらない
- ④ あまり前向きになれなかった
- ⑤ 全く前向きになれなかった

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
32件の回答



問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答し...先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。
11件の回答

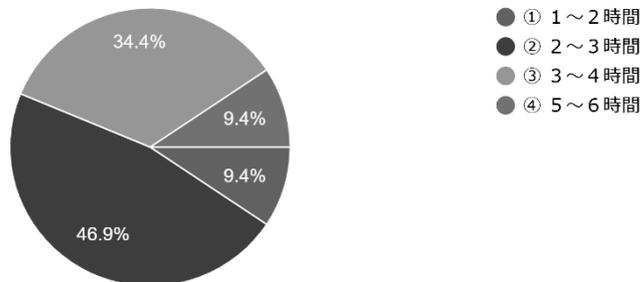


問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。
32件の回答



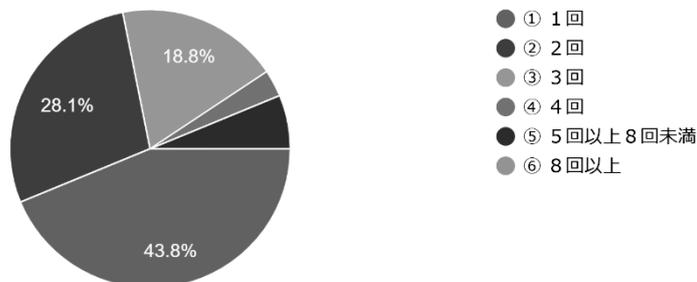
問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えて下さい。

32件の回答



問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

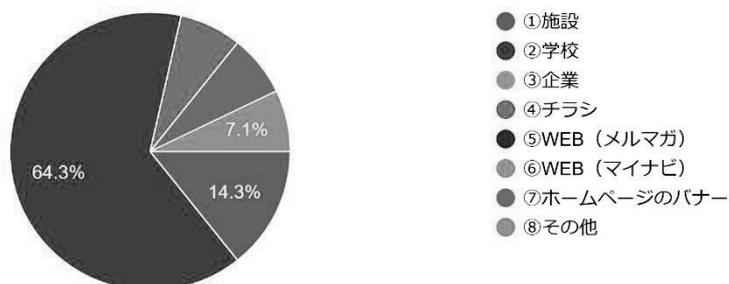
32件の回答



介護予防 1か月後アンケート(回答数14件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

14件の回答

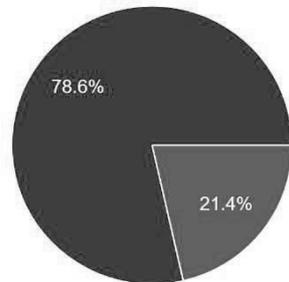


問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

- ・リュウ ケイ エイ
- ・タダカヨ

問3：性別を教えてください。

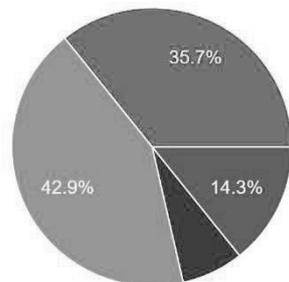
14件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問4：あなたの年齢を教えてください。

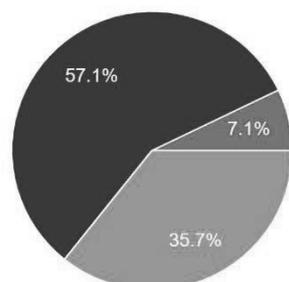
14件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

14件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師

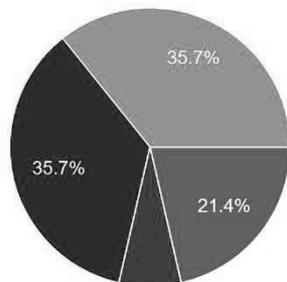
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

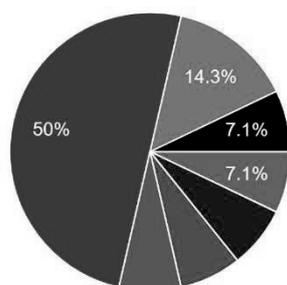
14件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

14件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

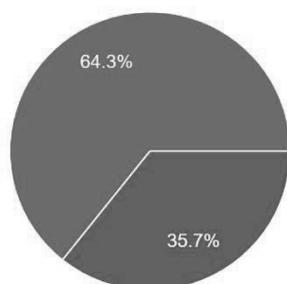
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

14件の回答



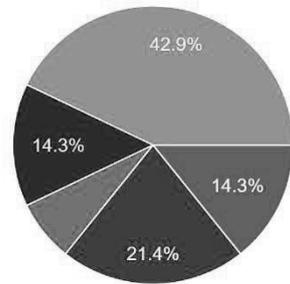
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

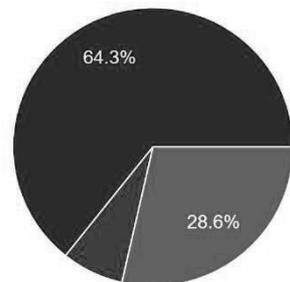
14件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

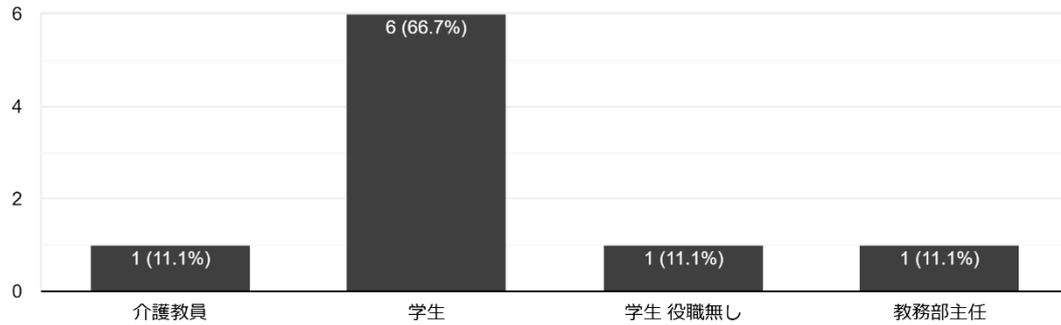
14件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

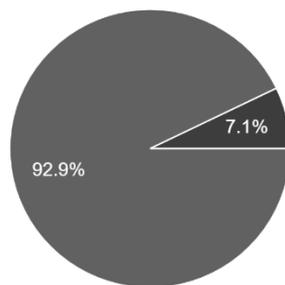
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

9件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

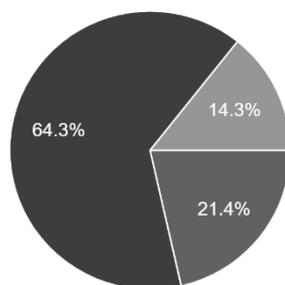
14件の回答



- ① 介護予防
- ② 外出支援
- ③ 介護ICT/DX
- ④ マネジメント
- ⑤ ナチュラルセラピー (アロマセラピー編)
- ⑥ ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー編)
- ⑦ 多様な人とのかかわり (外国人編)
- ⑧ 多様な人とのかかわり (障がい者編)

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

14件の回答

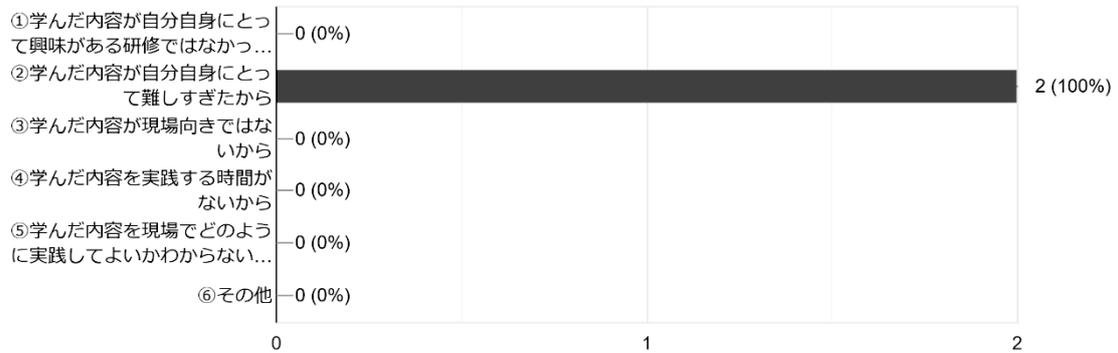


- ① 学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ② 学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③ どちらともいえない
- ④ 学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤ 学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問17：問16で「④⑤

できていないと思う」と回答した方に質問です。...ですか。該当するものを2つ選択してください。

2件の回答



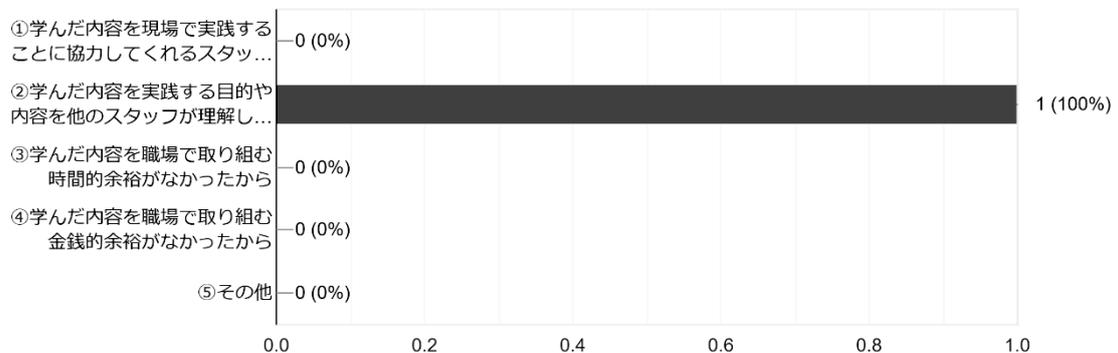
問 18：問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

問19：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

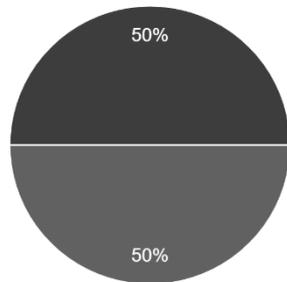
1件の回答



問 20：問 19 「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

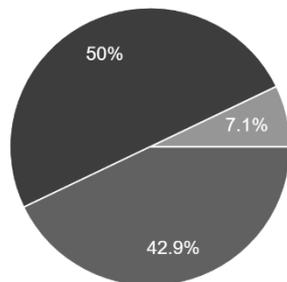
0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。
14件の回答



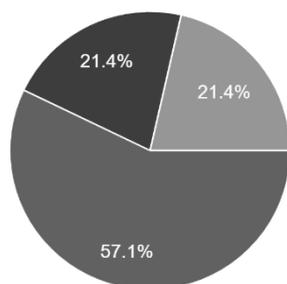
- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。
14件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
14件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問 24：問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

外出支援

介護予防

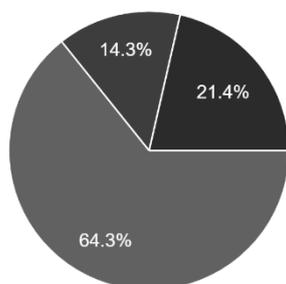
認知用についての講座

介護予防資格

認知症に関する研修

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

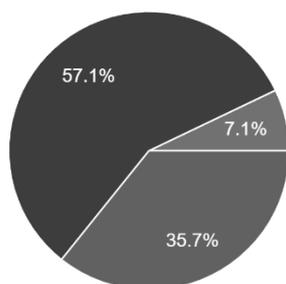
14 件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

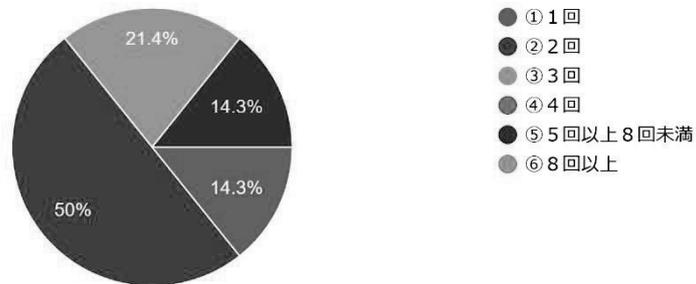
14 件の回答



- ① 1～2 時間
- ② 2～3 時間
- ③ 3～4 時間
- ④ 5～6 時間

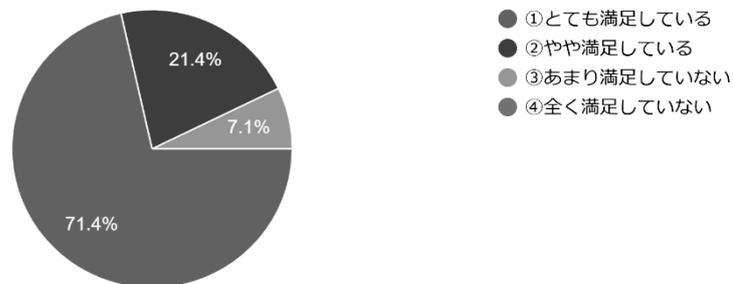
問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

14件の回答



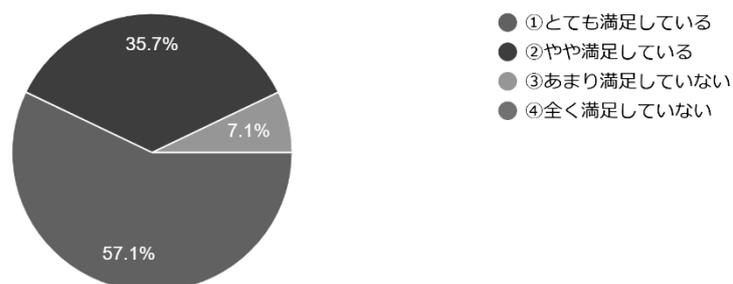
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

14件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

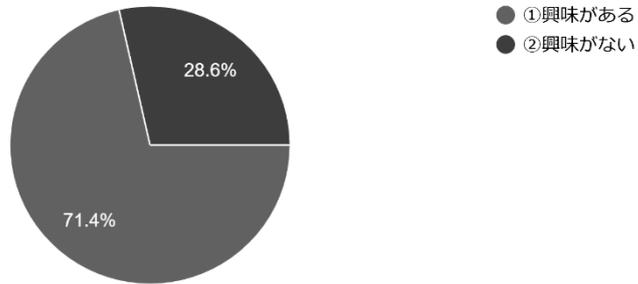
14件の回答



問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0件の回答

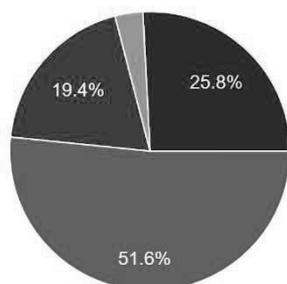
問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？
14件の回答



外出支援 事前アンケート(回答数31件)

問1：あなたは受講する研修をどのように知りましたか。

31件の回答



- ① 施設・学校
- ② チラシ
- ③ web (ホームページ・メルマガなど)
- ④ 媒体 (マイナビなど)
- ⑤ その他

問2：問1で「⑤ その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

知人の sns

法人

事務局からご連絡頂きました。

友人から

社内通知

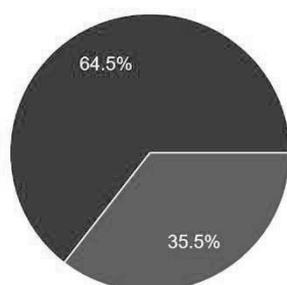
紹介

事務局のご紹介

東京都介護福祉士会

問3：性別を教えてください。

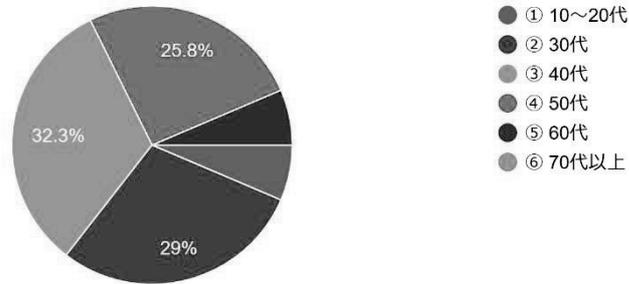
31件の回答



- ① 男性
- ② 女性
- ③ その他

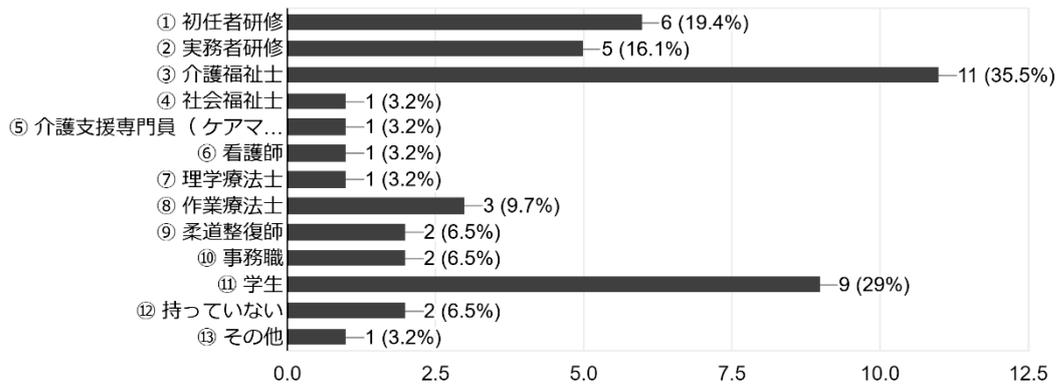
問4：あなたの年齢を教えてください。

31件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。（複数回答可）

31件の回答

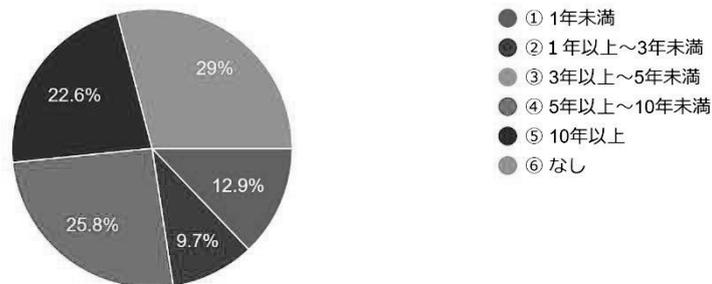


問6：問5で「⑬ その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

ヨガ講師

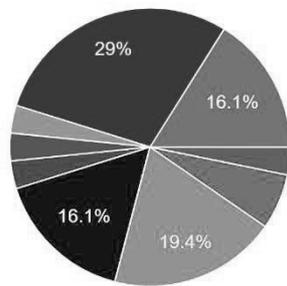
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

31件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

31件の回答



- ① 特別養護老人ホーム
- ② 介護老人保健施設
- ③ 介護医療施設 (介護医療院、療養...)
- ④ 有料老人ホーム
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥ 訪問介護事業所
- ⑦ 訪問看護事業所
- ⑧ 訪問リハビリ事業所

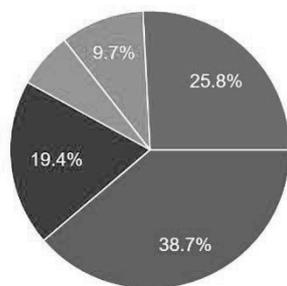
▲ 1/2 ▼

問9：問8で「⑮ その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

- 小規模多機能居宅介護
- 福祉専門学校
- 特定非営利活動法人
- 東京未来大学福祉保育専門学校
- 本社部門

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

31件の回答



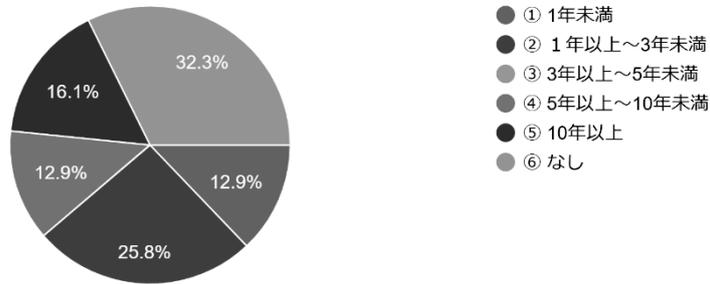
- ① 正職員
- ② パート・アルバイト
- ③ 契約社員・委託社員
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 自営業
- ⑥ 離職中
- ⑦ 学生
- ⑧ その他

問11：問10で「⑧ その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

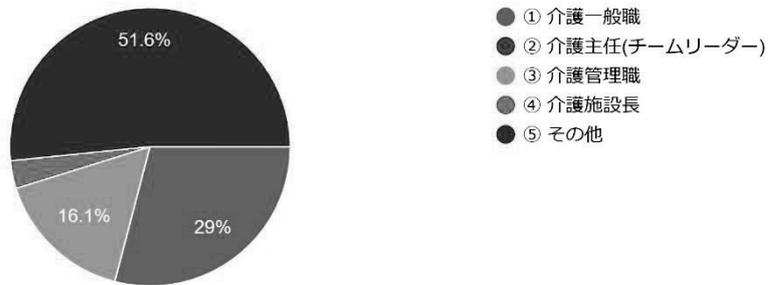
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

31件の回答



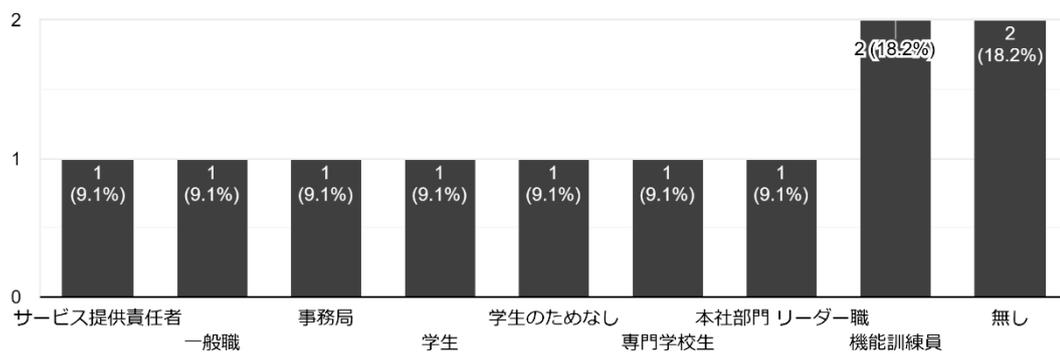
問13：あなたの役職を教えてください。

31件の回答

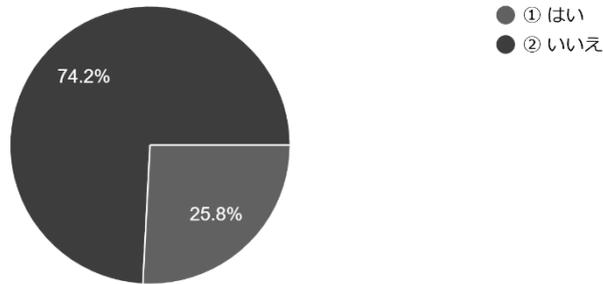


問14：問13で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

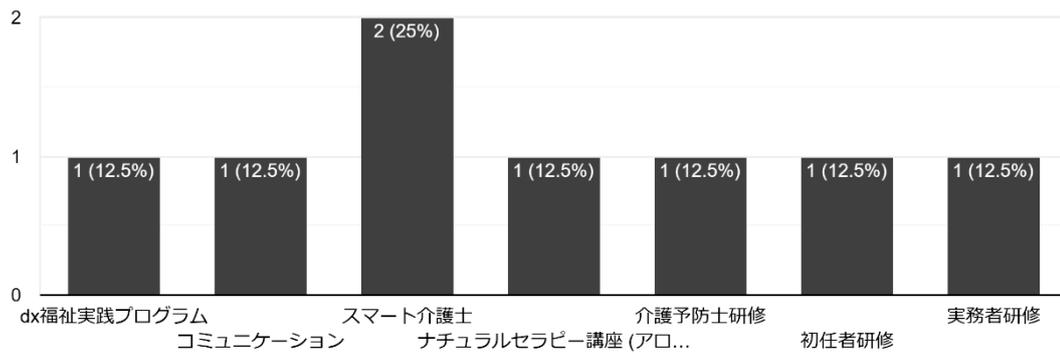
11件の回答



問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)
31件の回答



問16：問15で「① はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。
8件の回答



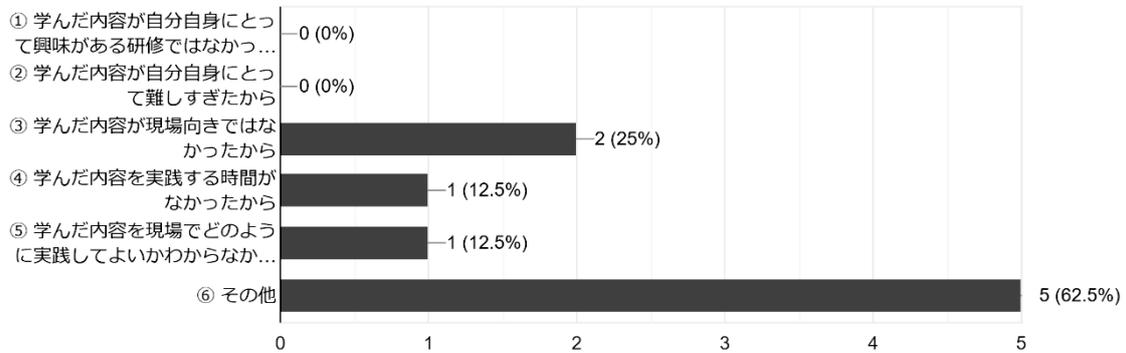
問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。
24件の回答



問18：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。「...ですか。該当するものを2つ選択してください。

8件の回答



問19：問18で「⑥ その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

解答欄が一致していないかと思えます。

研修を受けた事が無い為。

研修を受けていない

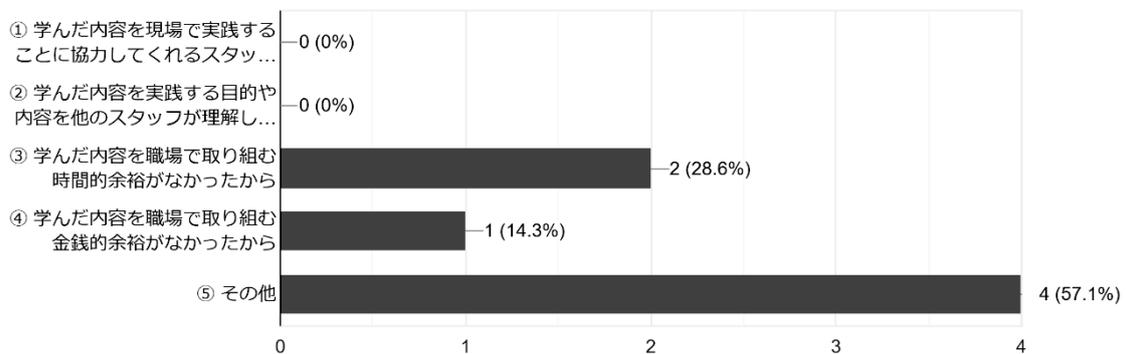
研修を受けたことがないため

現場を経験していないため

問20：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

7件の回答



問21：問20で「⑤ その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

解答欄が一致していないかと思えます。

研修を受けた事がない為。

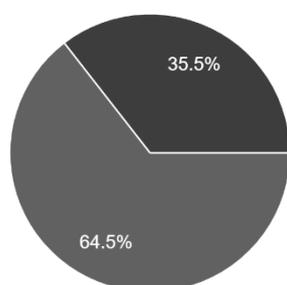
研修を受けていない

研修を受けたことがないため

現場を経験していないため

問22：これから受ける研修についての自分自身のモチベーションについてお聞かせください。

31件の回答

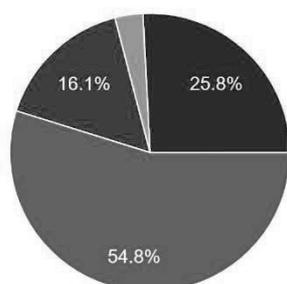


- ① とても前向きな気持ちである
- ② 少し前向きな気持ちである
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり前向きな気持ちではない
- ⑤ 全く前向きな気持ちではない

外出支援 事後アンケート(回答数31件)

問1：あなたは受講する研修をどのように知りましたか。

31件の回答

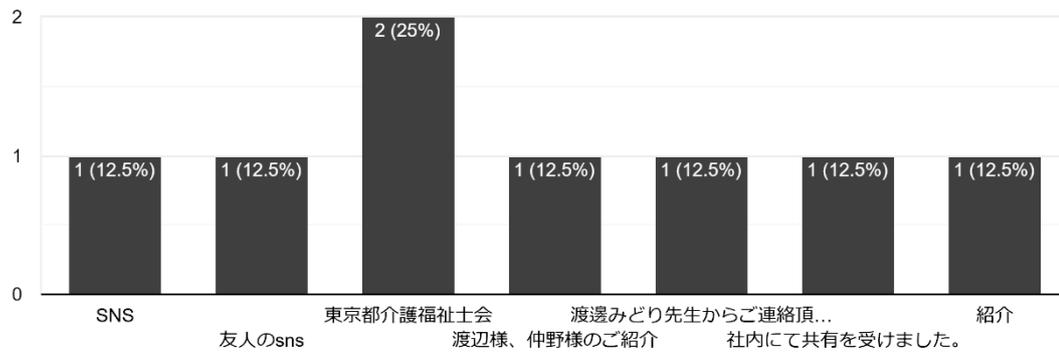


- ① 施設・学校
- ② チラシ
- ③ web (ホームページ・メルマガなど)
- ④ 媒体 (マイナビなど)
- ⑤ その他

問2：問1で「⑤

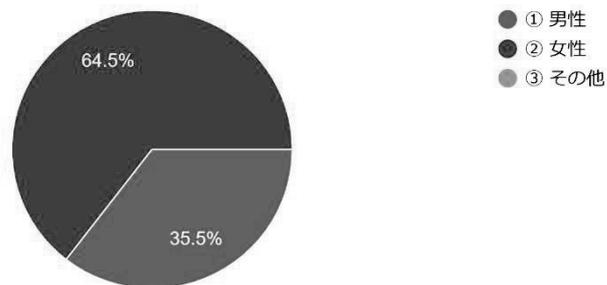
その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

8件の回答



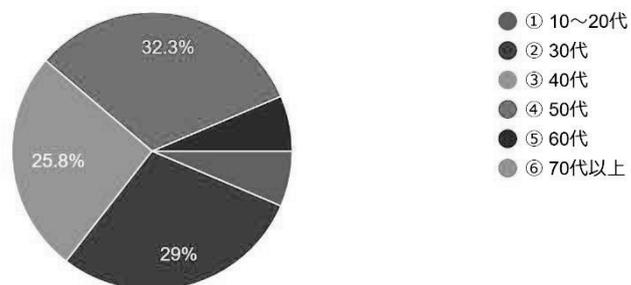
問3：性別を教えてください。

31件の回答



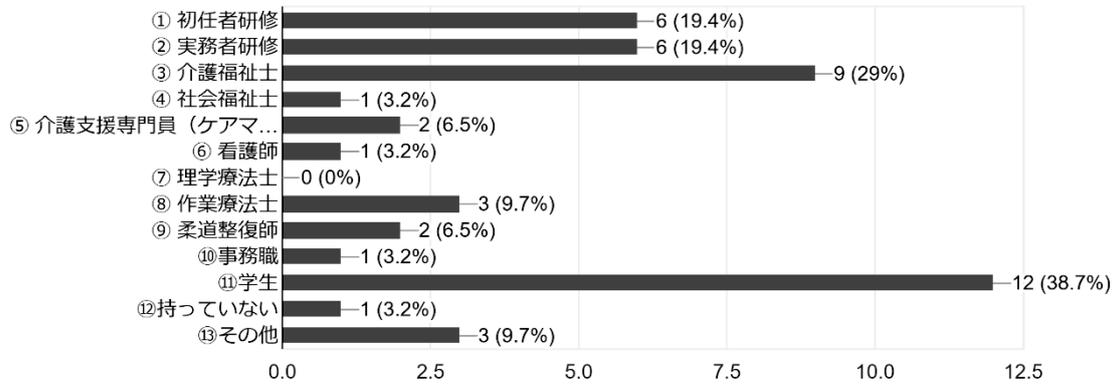
問4：あなたの年齢を教えてください。

31件の回答



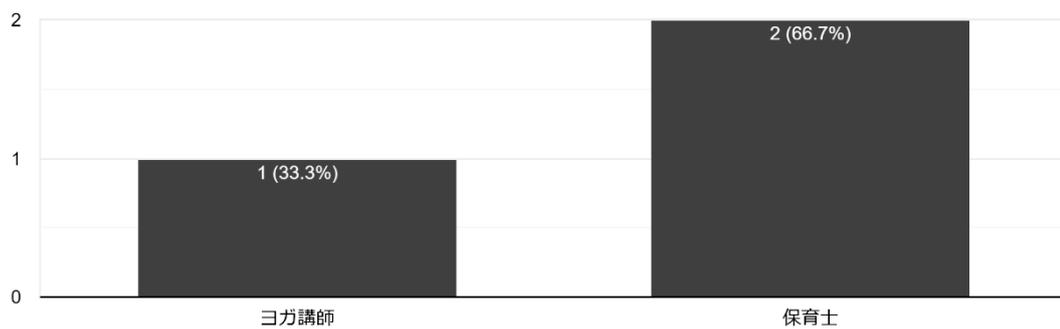
問5：あなたの資格を教えてください。

31件の回答



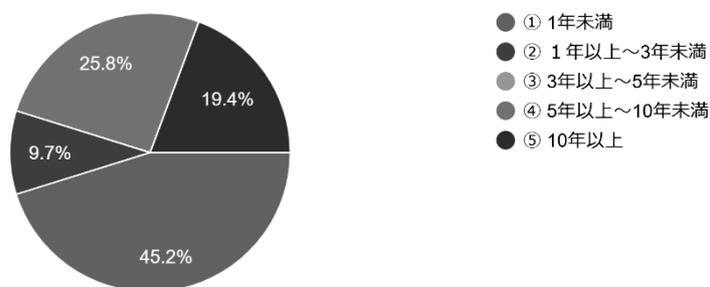
問6：問5で「⑬ その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

3件の回答



問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

31件の回答



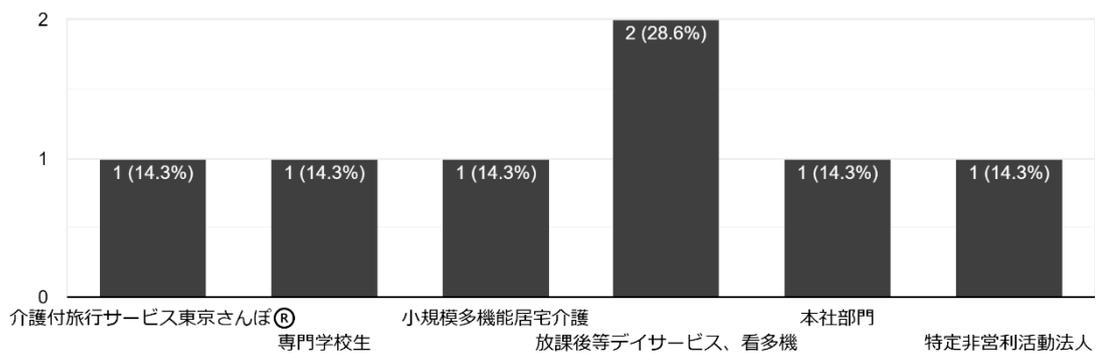
問8：あなたの所属先を教えてください。

31件の回答



問9：問8で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

7件の回答



問10：あなたの雇用形態を教えてください。

31件の回答

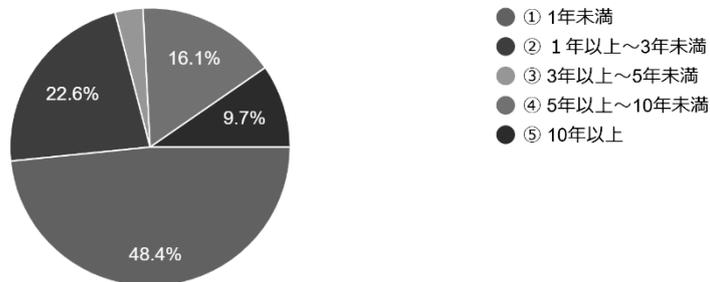


問11：問10で「⑧ その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

役員

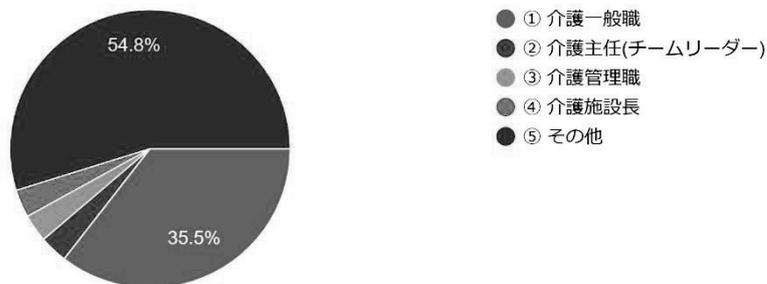
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

31件の回答



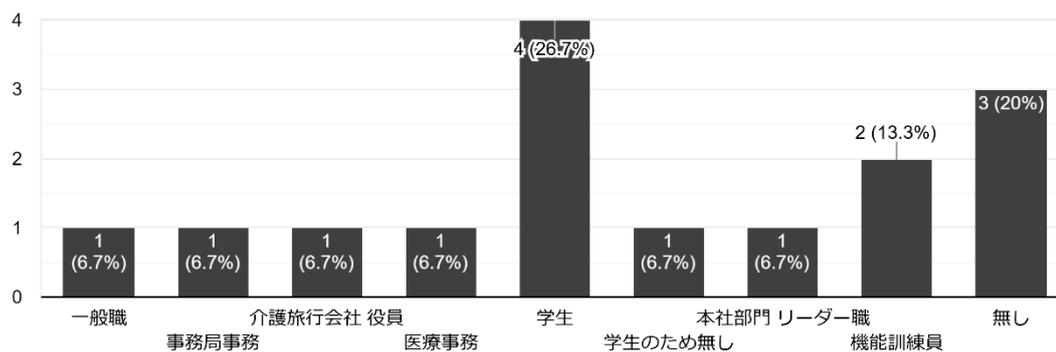
問13：あなたの役職を教えてください。

31件の回答



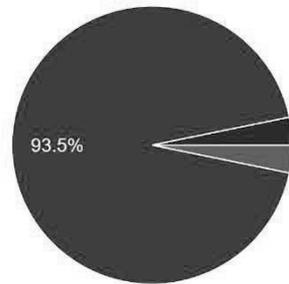
問14：問13で「⑤ その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

15件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

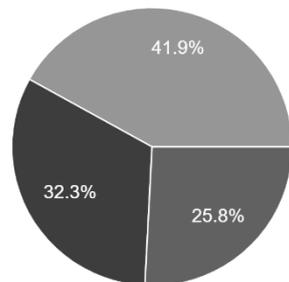
31件の回答



- ① 介護予防
- ② 外出支援
- ③ 介護ICT/DX
- ④ マネジメント
- ⑤ ナチュラルセラピー
- ⑥ 多様な人とのかかわり

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

31件の回答

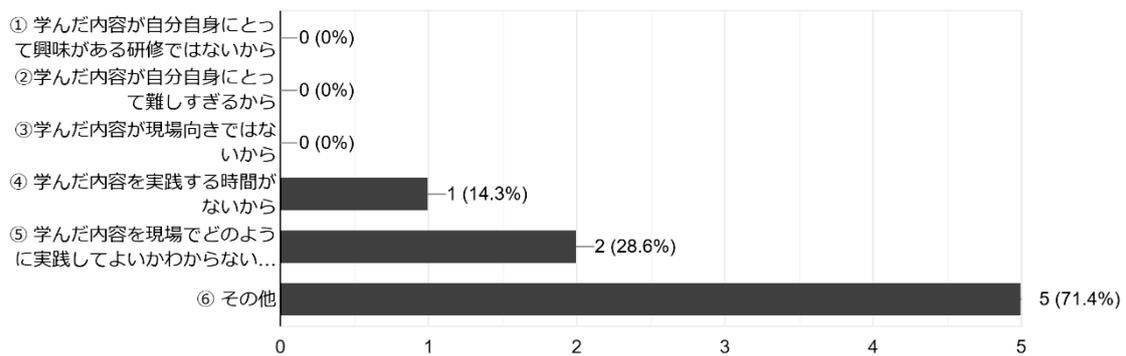


- ① 学んだ内容を現場でとても実践できると思う
- ② 学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③ どちらともいえない
- ④ 学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤ 学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問17：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

7件の回答

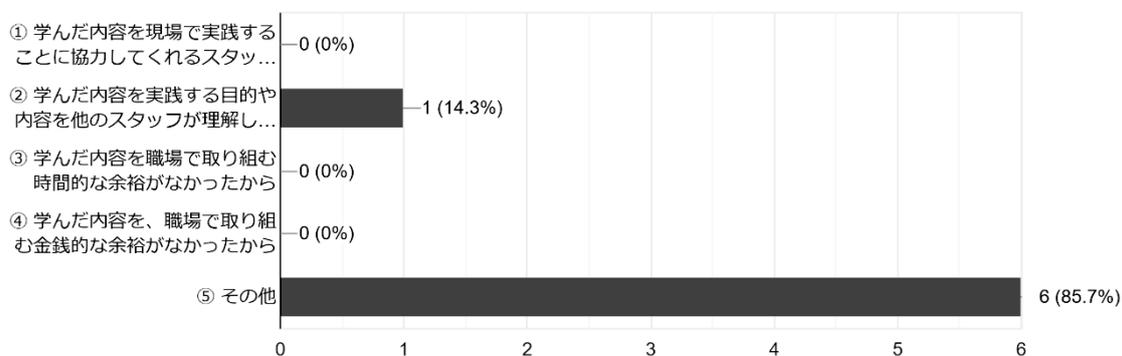


問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

就職前でまだ分からない
実践できるようにします
就職前のため分からない
実践できると思ったため。

問19：問16で「④⑤

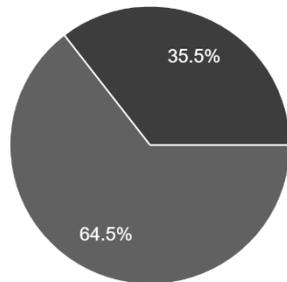
できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。
7件の回答



問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

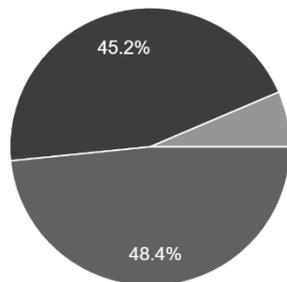
まだ就職前で状況が分からない
実践できるようにします
就職前のため分からない
実践できると思ったため。

問21：この研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションは変化はありましたか。
31件の回答



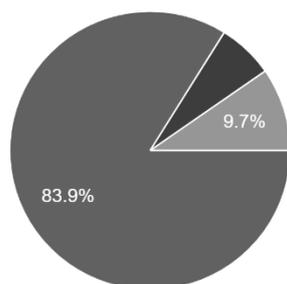
- ① とても前向きな気持ちになれた
- ② 少し前向きな気持ちになれた
- ③ 変わらない
- ④ あまり前向きになれなかった
- ⑤ 全く前向きになれなかった

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションは変化はありましたか。
31件の回答



- ① とても前向きな気持ちになれた
- ② 少し前向きな気持ちになれた
- ③ 変わらない
- ④ あまり前向きになれなかった
- ⑤ 全く前向きになれなかった

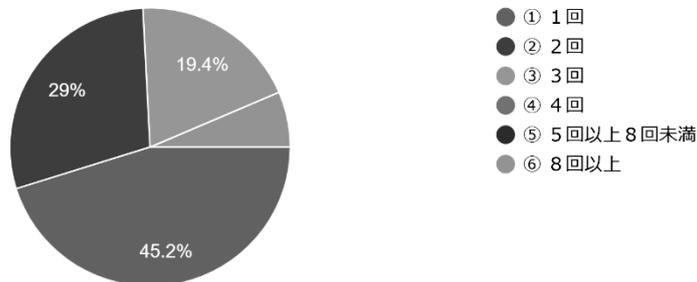
問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
31件の回答



- ① とても受けたいと思う
- ② 少し受けたいと思う
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり受けたいと思わない
- ⑤ 全く受けたいと思わない

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

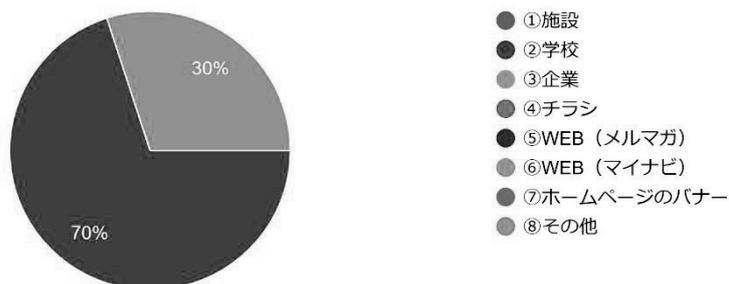
31件の回答



外出支援 1か月後アンケート(回答数20件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

20件の回答



問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

渡辺さんのからの紹介で知りました

渡邊様よりご紹介

ご紹介

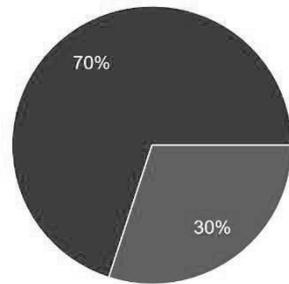
学校の教師

知人からの紹介

知人から

問3：性別を教えてください。

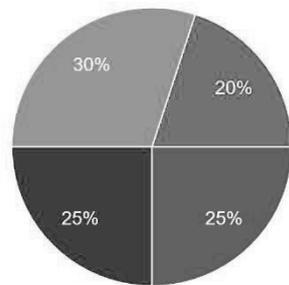
20件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問4：あなたの年齢を教えてください。

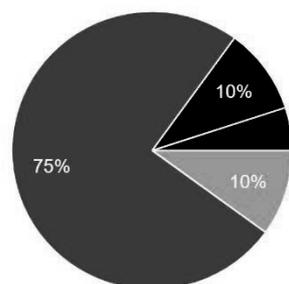
20件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

20件の回答



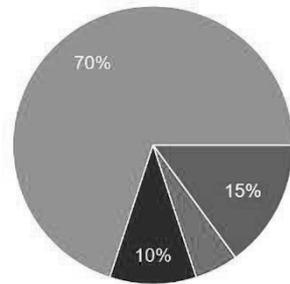
- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師

▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

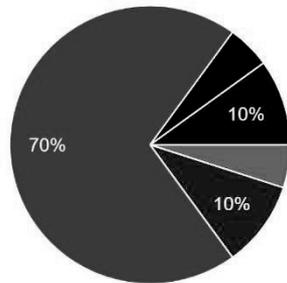
運動指導

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。
20件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

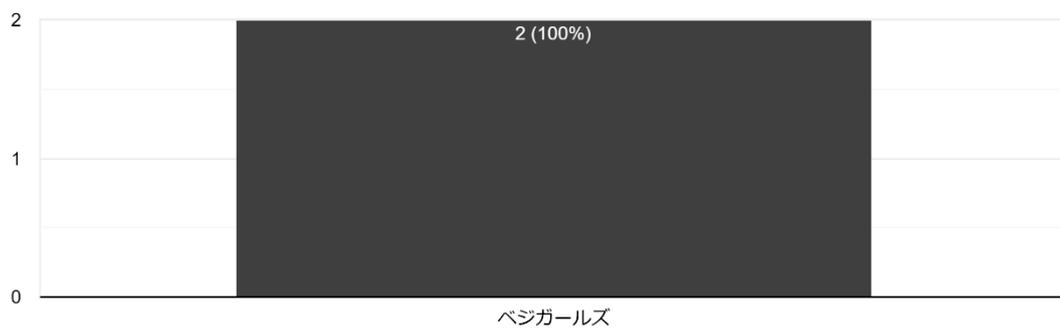
問8：あなたの所属先を教えてください。
20件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

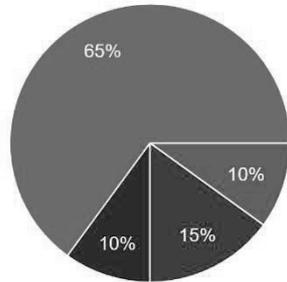
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。
2件の回答



問10：あなたの雇用形態を教えてください。

20件の回答



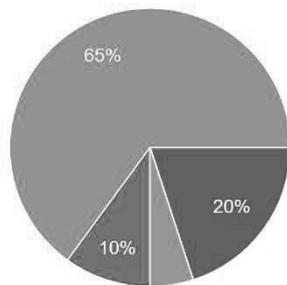
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

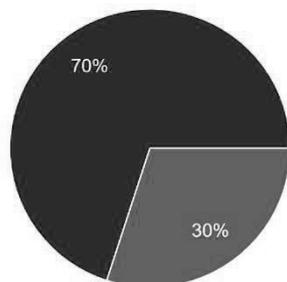
20件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

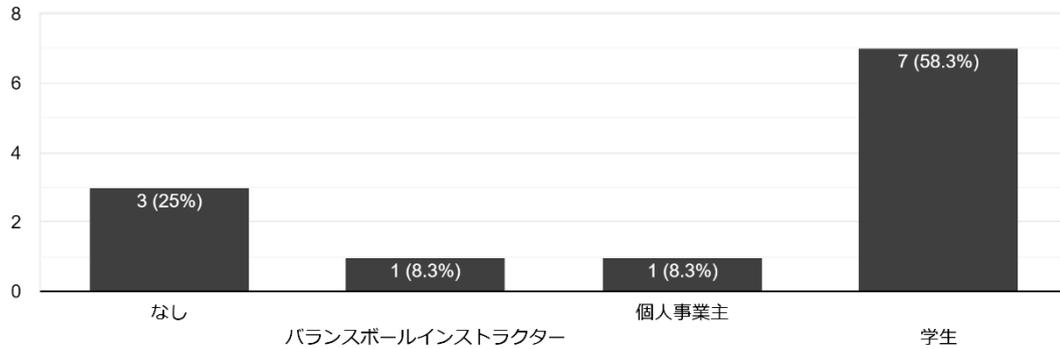
20件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

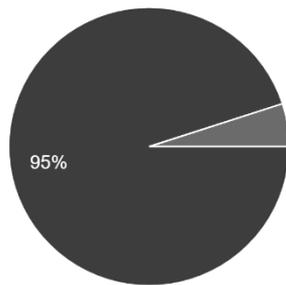
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

12件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

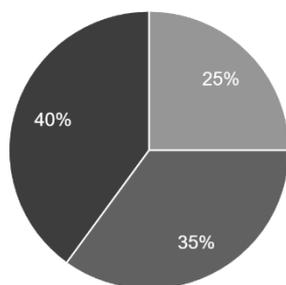
20件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

20件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問17：問16で「④⑤ できていないと思う」と回答した方に質問です。「実践できていないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

問19：問16で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

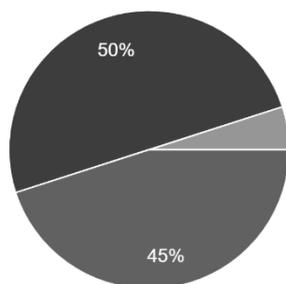
0 件の回答

問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

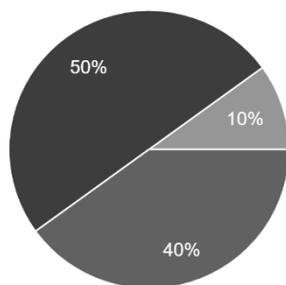
20 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

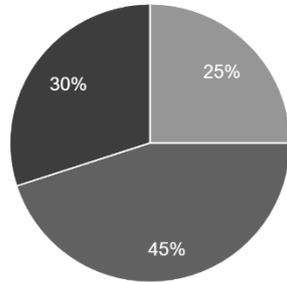
問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

20 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
20件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

介護予防運動

アロマセラピー

介護予防

今は特に思い浮かばない。

今後の業務に関連する内容や認知症支援

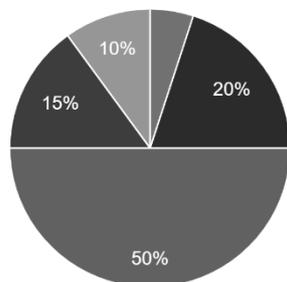
なんでも

外出支援

介護予防の研修に参加したいです。

今の仕事に活かせる資格

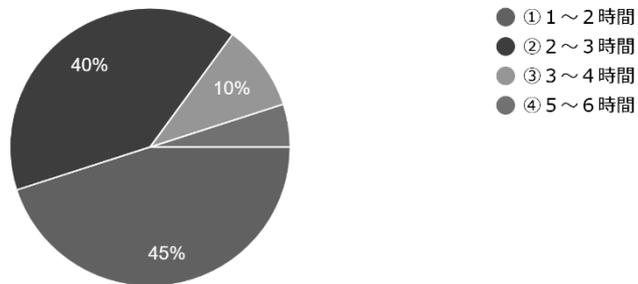
問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。
20件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

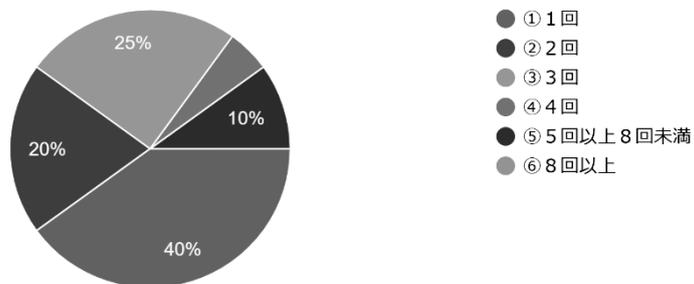
問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

20件の回答



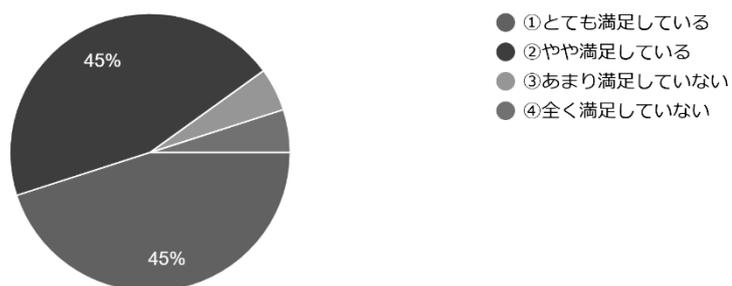
問27：受講回数何回ならば受講したいか教えてください。

20件の回答



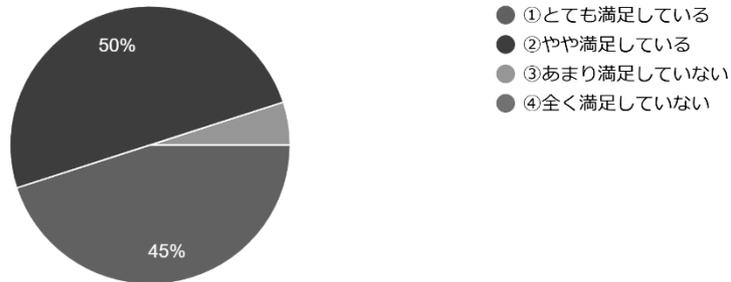
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

20件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

20件の回答

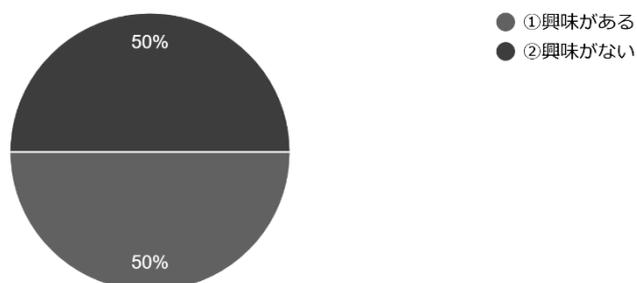


問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

プログラム内容が良かっただけに、事前のアナウンスが不明瞭な点と終了後のゴタゴタが残念でした。

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

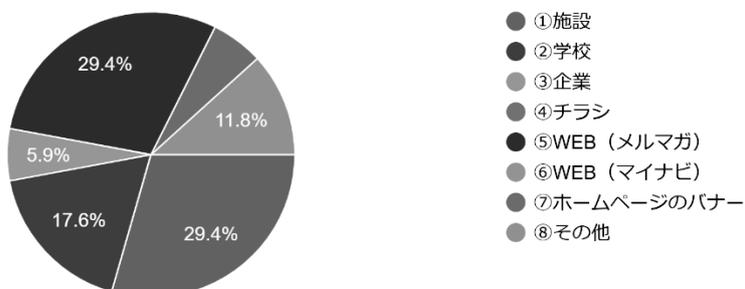
20件の回答



介護 ICT/DX 事前アンケート(回答数17件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

17件の回答



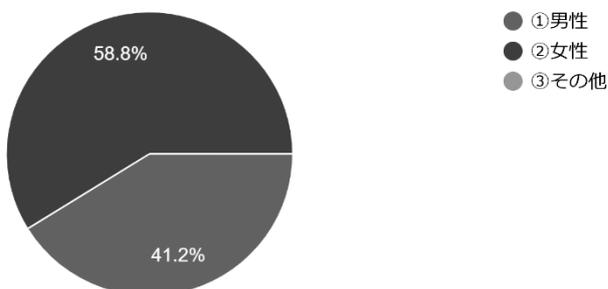
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

3件の回答

- ・ タダコニュ
- ・ NPO 法人タダカヨ講師からの案内
- ・ 会社から

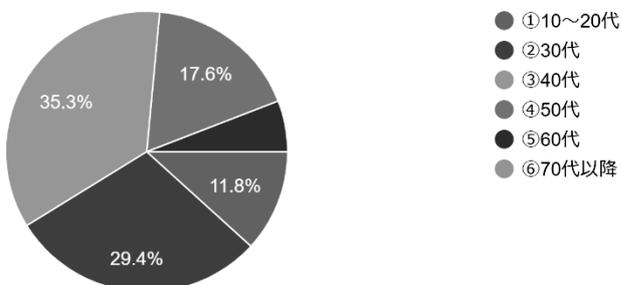
問3：性別を教えてください。

17件の回答



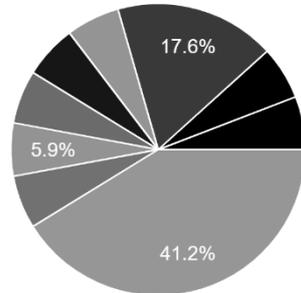
問4：あなたの年齢を教えてください。

17件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

17件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉士
- ⑥介護支援専門員(ケアマネジャー)
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師
- ⑨理学療法士
- ⑩作業療法士
- ⑪柔道整復師
- ⑫鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師
- ⑬事務職
- ⑭学生
- ⑮教員
- ⑯持っていない
- ⑰その他

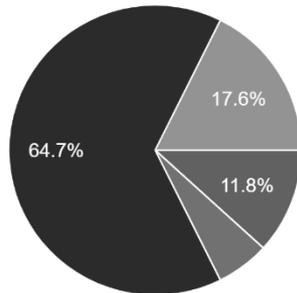
問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1件の回答

- ・ 准看護師

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

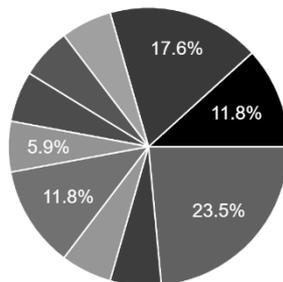
17件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

17件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設(介護医療院・療養型...)
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所
- ⑨デイサービスセンター(福祉系)
- ⑩デイケアセンター(医療系)
- ⑪グループホーム
- ⑫障害者施設
- ⑬病院
- ⑭学校(学生)
- ⑮学校(教職員)
- ⑯現在働いていない
- ⑰その他

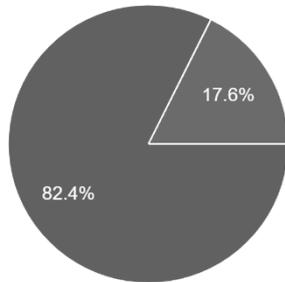
問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

2件の回答

- ・ (株)ミライト・ワン・システムズ
- ・ 事務

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

17件の回答



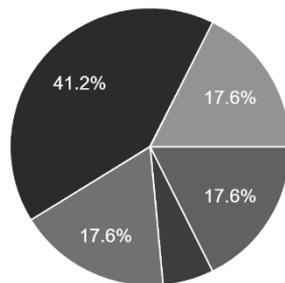
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

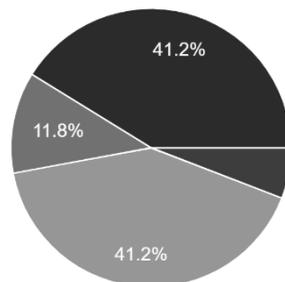
17件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

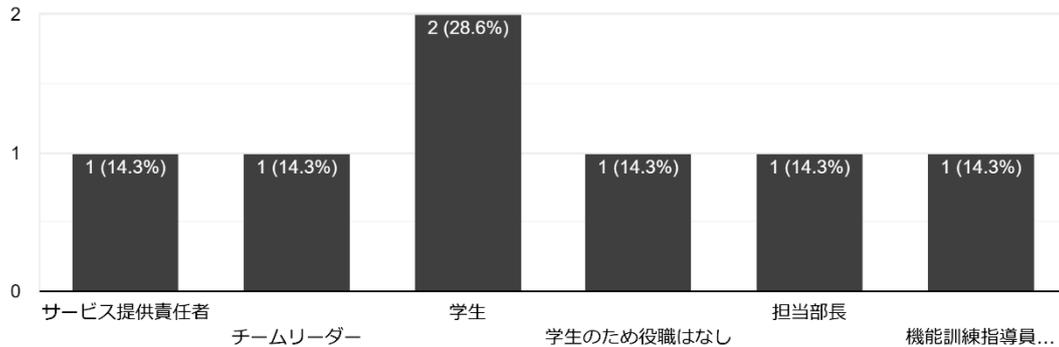
17件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

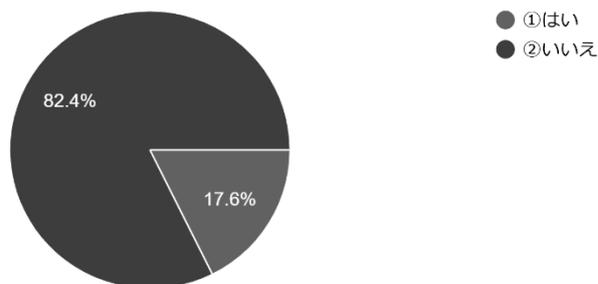
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

7件の回答



問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)

17件の回答



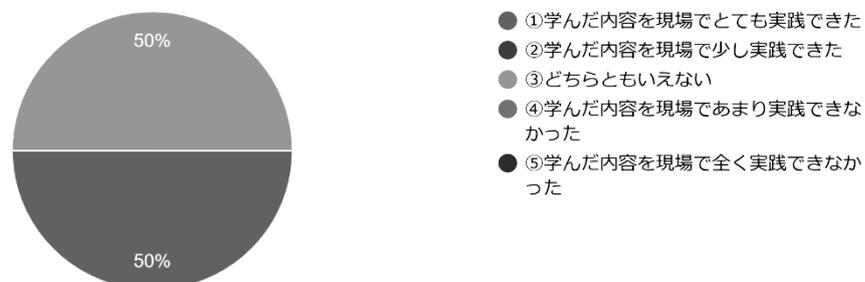
問16：問15で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

2件の回答

- ・ 現在、デジタル中核人材養成研修を受講しています。
- ・ ファーストステップ研修

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。

4件の回答



問18：問17で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。「実践できなかった」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問 19:問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

0 件の回答

問 20:問 17 で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。実践できなかった職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

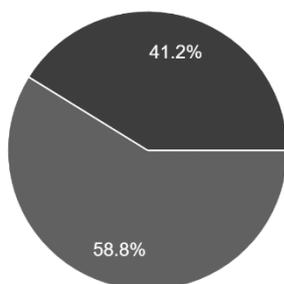
0 件の回答

問 21:問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。

17 件の回答

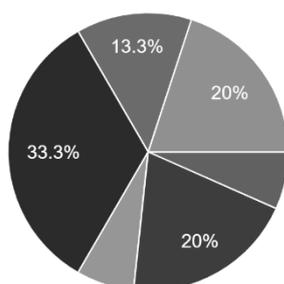


- ①とても前向きな気持ちである
- ②少し前向きな気持ちである
- ③どちらともいえない
- ④あまり前向きな気持ちではない
- ⑤全く前向きな気持ちではない

介護 ICT/DX 事後アンケート(回答数15件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

15 件の回答



- ①施設
- ②学校
- ③企業
- ④チラシ
- ⑤WEB (メルマガ)
- ⑥WEB (マイナビ)
- ⑦ホームページのバナー
- ⑧その他

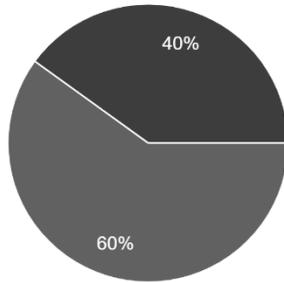
問 2:問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

3 件の回答

- ・ タダカヨ
- ・ スマート介護士資格ご案内により
- ・ NPO 法人タダカヨ講師からの案内

問3：性別を教えてください。

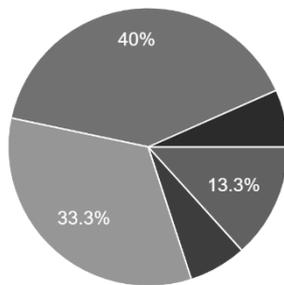
15件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問4：あなたの年齢を教えてください。

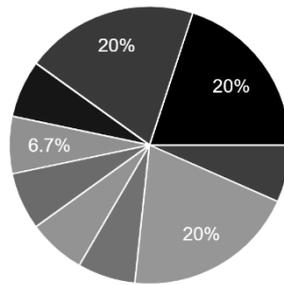
15件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

15件の回答



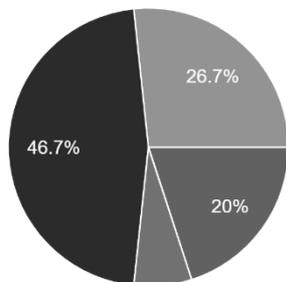
- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉士主事
- ⑥介護支援専門員 (ケアマネジャー)
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師
- ⑨理学療法士
- ⑩作業療法士
- ⑪柔道整復師
- ⑫鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師
- ⑬事務職
- ⑭学生
- ⑮教員
- ⑯持っていない
- ⑰その他

問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

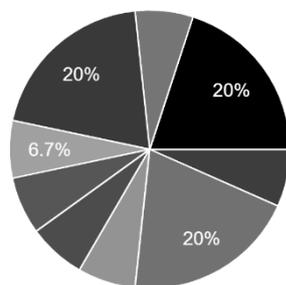
15件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

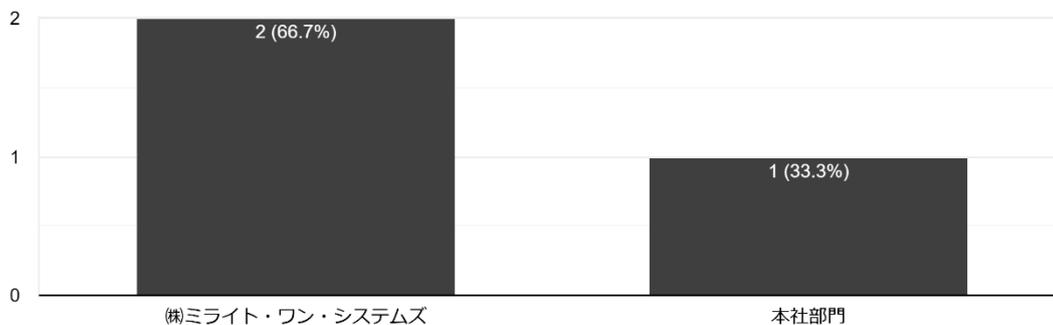
15件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所
- ⑨デイサービスセンター（福祉系）
- ⑩デイケアセンター（医療系）
- ⑪グループホーム
- ⑫障害者施設
- ⑬病院
- ⑭学校（学生）
- ⑮学校（教職員）
- ⑯現在働いていない
- ⑰その他

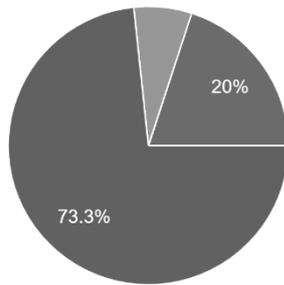
問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

3件の回答



問10：あなたの雇用形態を教えてください。

15件の回答



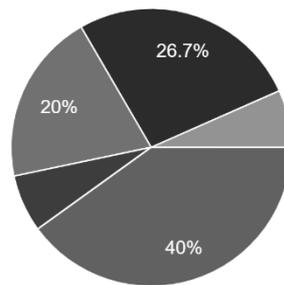
- ①正職員
- ②パート・アルバイト (非正規職員)
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

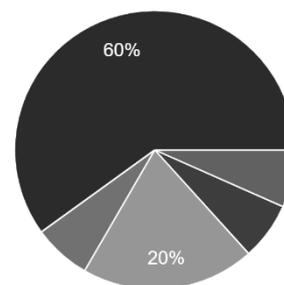
15件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

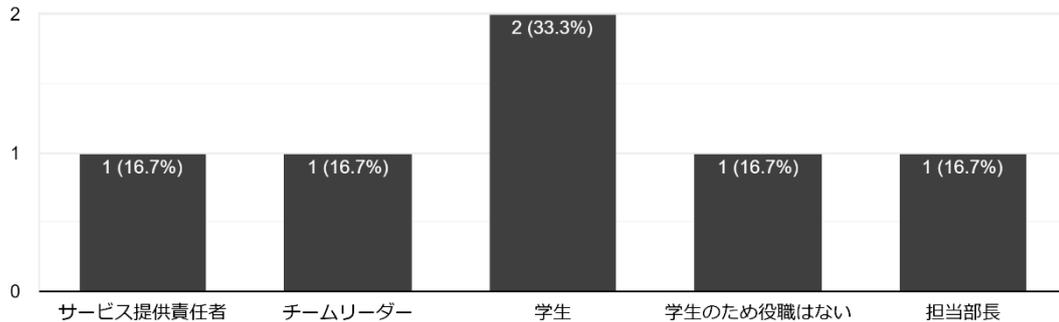
15件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任 (チームリーダー)
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

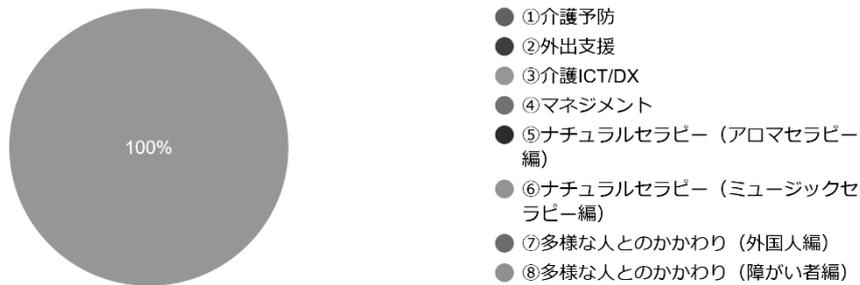
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

6件の回答



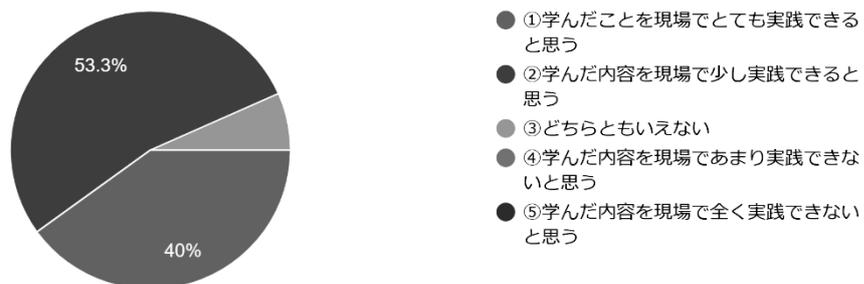
問15：あなたが受講した研修はどれですか。

15件の回答



問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

15件の回答



問17：問16で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0件の回答

問 19:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

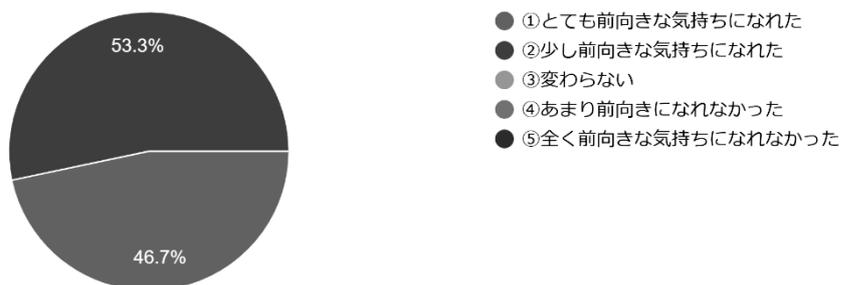
0 件の回答

問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

15 件の回答



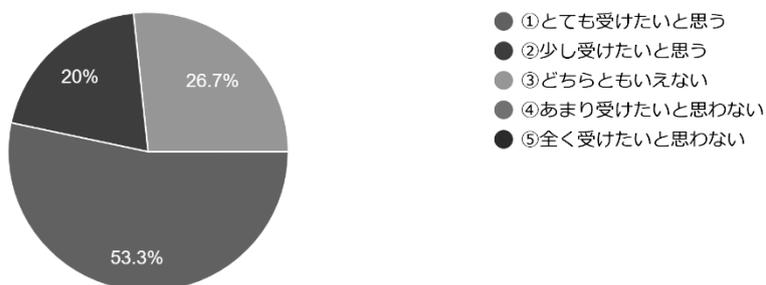
問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

15 件の回答



問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

15 件の回答



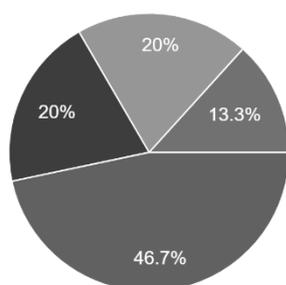
問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

9 件の回答

- ・ ICT
- ・ DX 化の推進方法
- ・ 介護保健について
- ・ 現場への ICT 導入事例について
- ・ 管理者研修、福祉経営マネジメント
- ・ 介護予防
- ・ リーダーシップ
- ・ AI 活用 管理者向け アンダーマネジメント
- ・ 認知症ケア

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

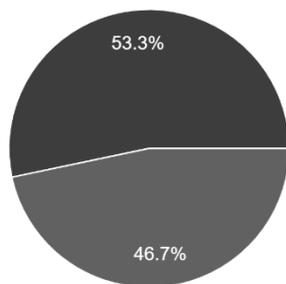
15 件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問26：あなたが 1 回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

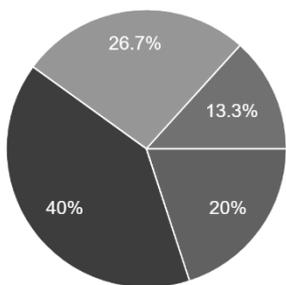
15 件の回答



- ① 1～2 時間
- ② 2～3 時間
- ③ 3～4 時間
- ④ 5～6 時間

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

15 件の回答



- ① 1 回
- ② 2 回
- ③ 3 回
- ④ 4 回
- ⑤ 5 回以上 8 回未満
- ⑥ 8 回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

15件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

15件の回答

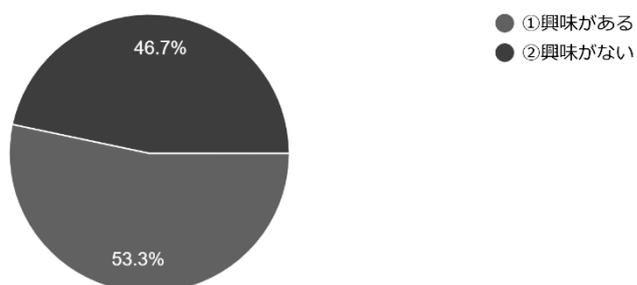


問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

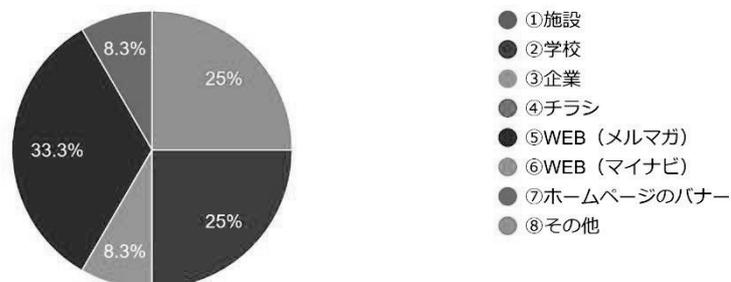
15件の回答



介護 ICT/DX 1か月後アンケート(回答数12件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

12件の回答



問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

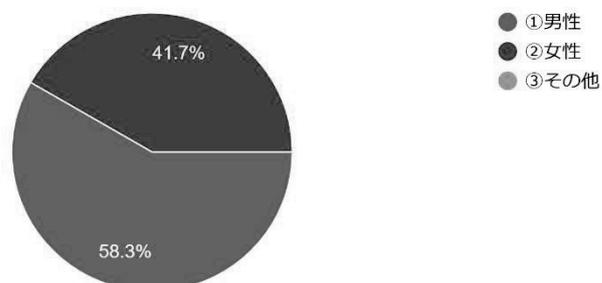
スマート介護士運営事務局様からのご案内

NPO 法人タダカヨ講師からの案内

タダカヨ

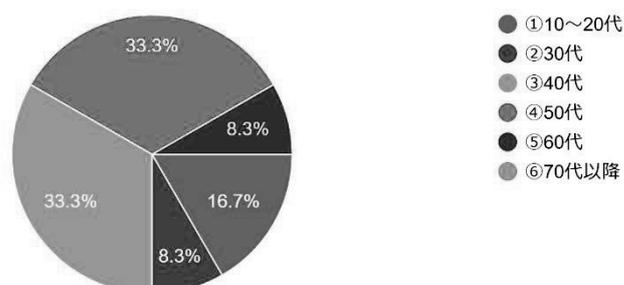
問3：性別を教えてください。

12件の回答



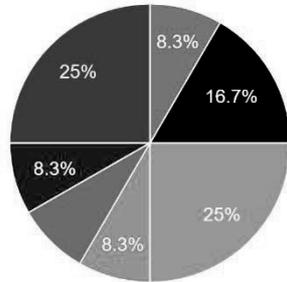
問4：あなたの年齢を教えてください。

12件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

12件の回答



- ① 初任者研修
- ② 実務者研修
- ③ 介護福祉士
- ④ 社会福祉士
- ⑤ 社会福祉主事
- ⑥ 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
- ⑦ ヘルパー 2級
- ⑧ 看護師

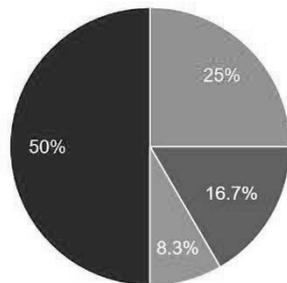
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

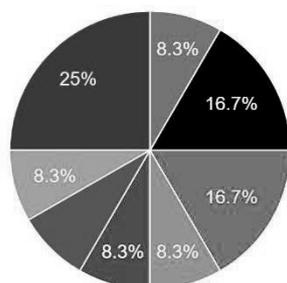
12件の回答



- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上～5年未満
- ④ 5年以上～10年未満
- ⑤ 10年以上
- ⑥ なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

12件の回答



- ① 特別養護老人ホーム
- ② 介護老人保健施設
- ③ 介護医療施設 (介護医療院・療養型...)
- ④ 有料老人ホーム
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥ 訪問介護事業所
- ⑦ 訪問看護事業所
- ⑧ 訪問リハビリ事業所

▲ 1/3 ▼

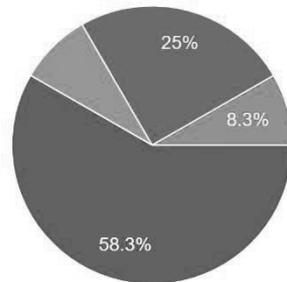
問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

システム開発会社

本社部門

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

12件の回答



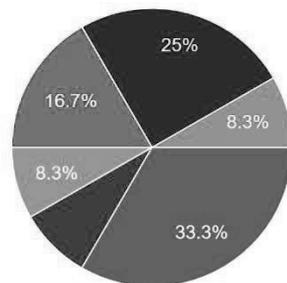
- ①正職員
- ②パート・アルバイト (非正規職員)
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

会社員

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

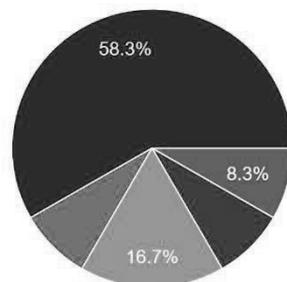
12件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

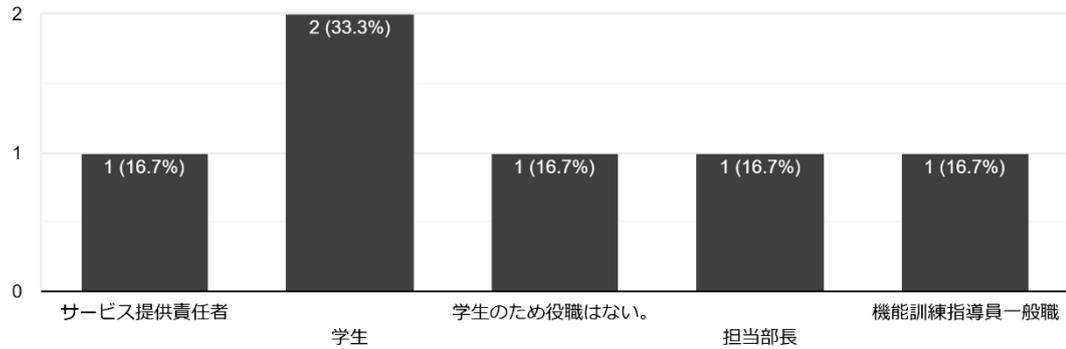
12件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任 (チームリーダー)
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

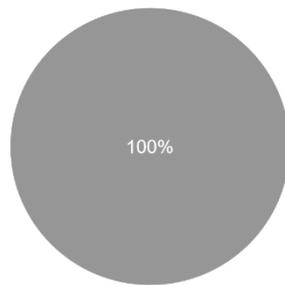
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

6件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

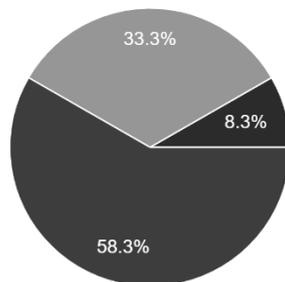
12件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

12件の回答

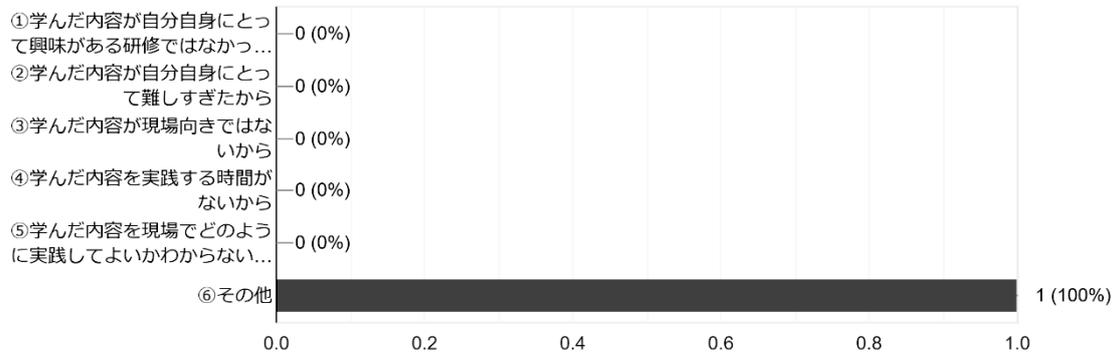


- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問17：問16で「④⑤

できていないと思う」と回答した方に質問です。...ですか。該当するものを2つ選択してください。

1件の回答



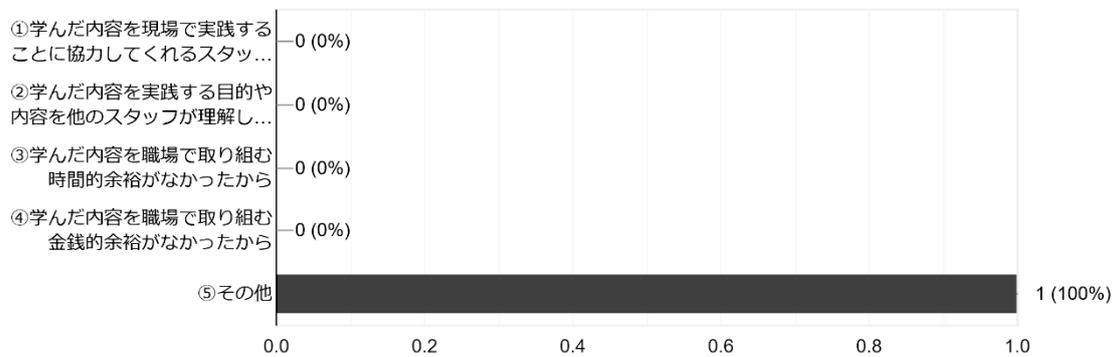
問 18:問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

学生で、まだ実践できていないから

問19：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

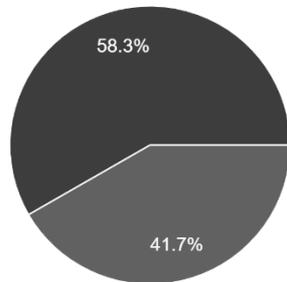
1件の回答



問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

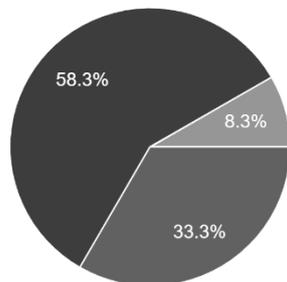
学生だから

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。
12件の回答



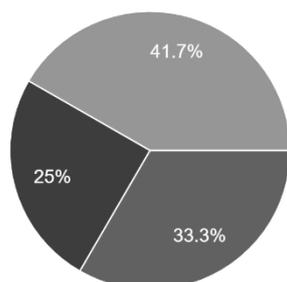
- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。
12件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
12件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

介護 ICT/DX 浸研修

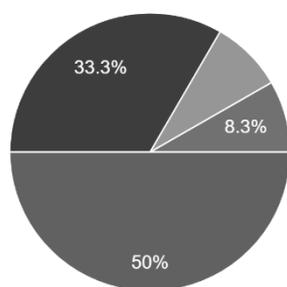
生産性向上に関する研修、科学的介護に関する研修

自己啓発 職員教育 介護施設経営論

経営マネジメント、人材育成

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

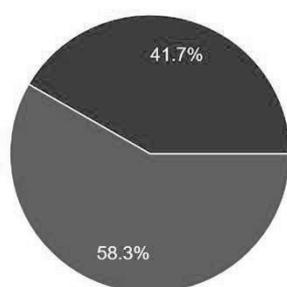
12 件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

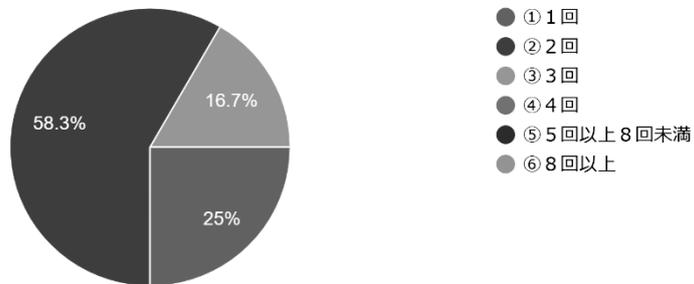
12 件の回答



- ① 1～2 時間
- ② 2～3 時間
- ③ 3～4 時間
- ④ 5～6 時間

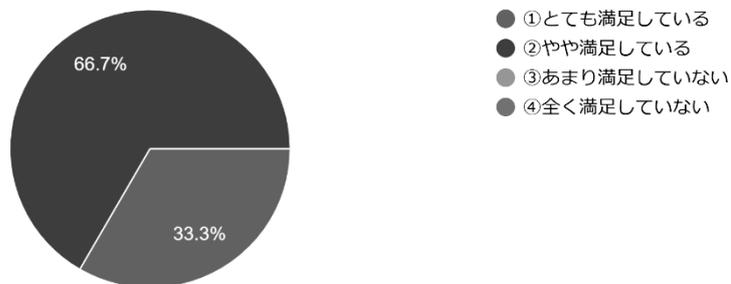
問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

12件の回答



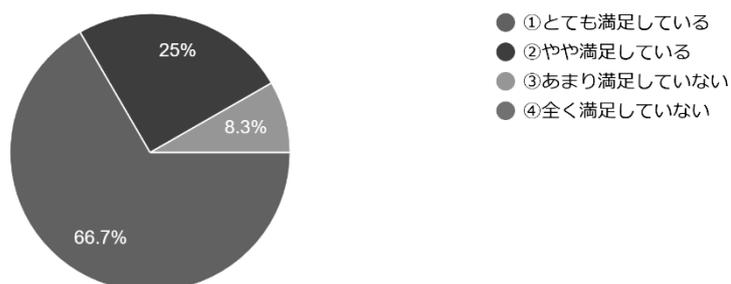
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

12件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

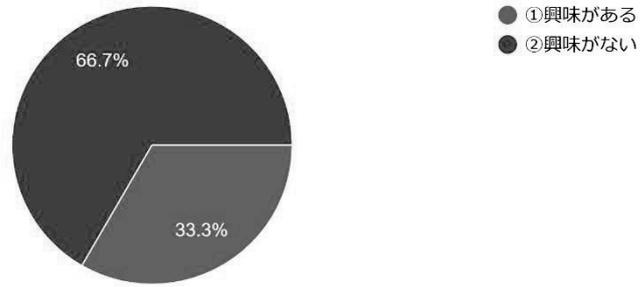
12件の回答



問 30:問 29 で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

オンライン講座の場合、わからないことがあっても講義が先に進んでしまい、不明点が解決しない。

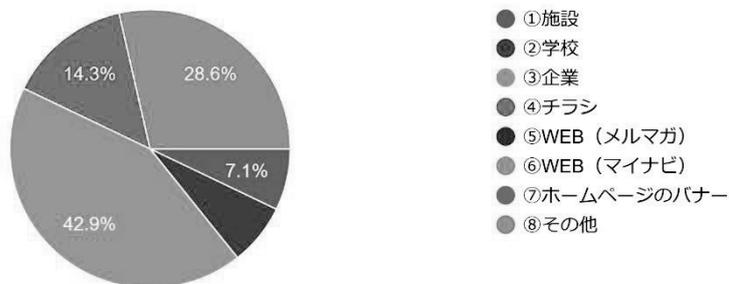
問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？
12件の回答



マネジメント 事前アンケート(回答数14件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

14件の回答



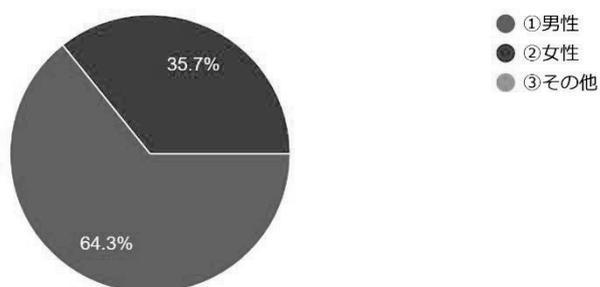
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

4件の回答

- ・ 運営の小林氏より
- ・ タダカヨ
- ・ 委員会からの紹介
- ・ タダコニュ

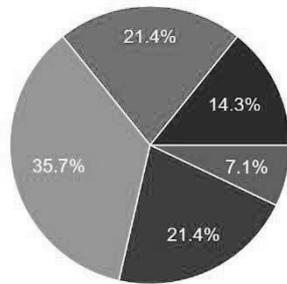
問3：性別を教えてください。

14件の回答



問4：あなたの年齢を教えてください。

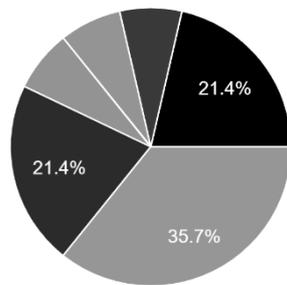
14件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

14件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師
- ⑨理学療法士
- ⑩作業療法士
- ⑪柔道整復師
- ⑫鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師
- ⑬事務職
- ⑭学生
- ⑮教員
- ⑯持っていない
- ⑰その他

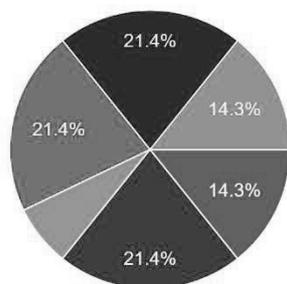
問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1件の回答

- ・ HRS1級・テーブルマナー講師(西洋)・シニアバーテンダー

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

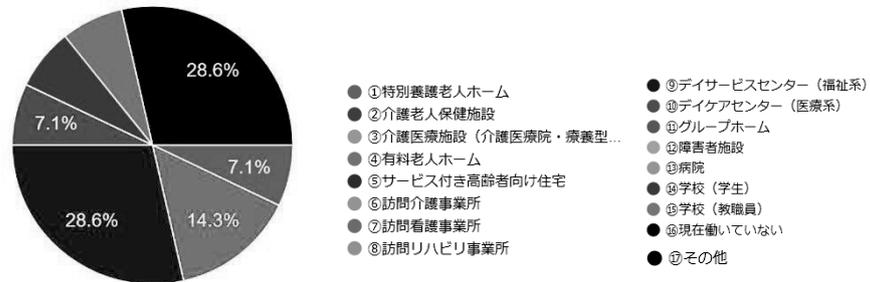
14件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

14件の回答



問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

2件の回答

- ・ 法人本部
- ・ 居宅介護支援事業所

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

14件の回答

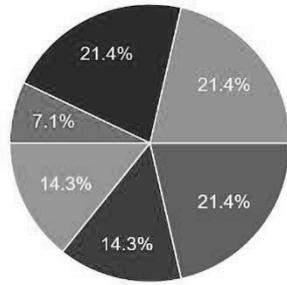


問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

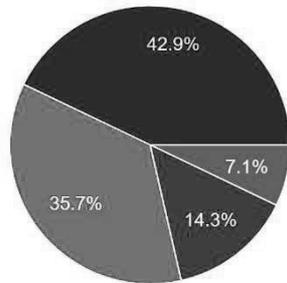
14件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

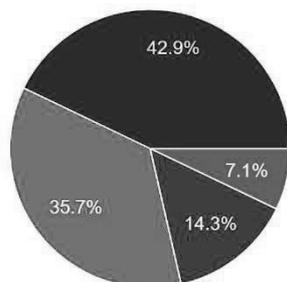
14件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問13：あなたの役職を教えてください。

14件の回答



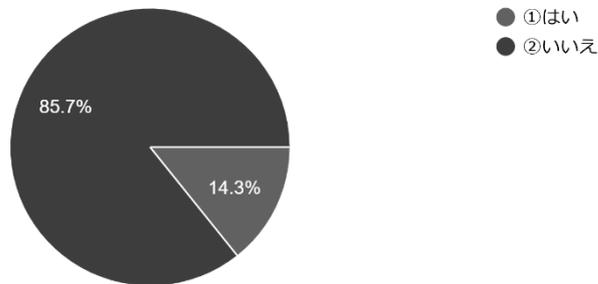
- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問 14:問 13 で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

4 件の回答

- ・ 企画開発部部长
- ・ 総務部部长
- ・ 支配人
- ・ 学生

問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)
14件の回答

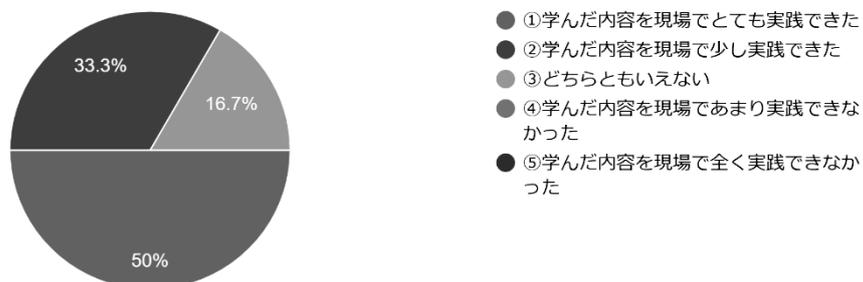


問 16:問 15 で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

2 件の回答

- ・ ICT、介護テックの導入に関わる研修
- ・ 実務者研修

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。
6 件の回答



問 18:問 17 で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。「実践できなかった」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 19:問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

0 件の回答

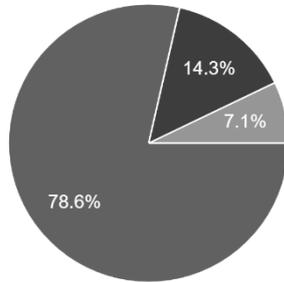
問 20:問 17 で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。実践できなかった職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 21:問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

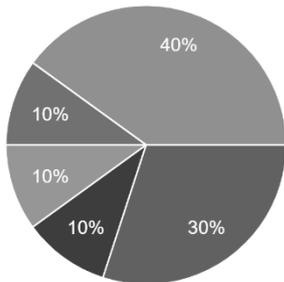
問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。
14件の回答



- ①とても前向きな気持ちである
- ②少し前向きな気持ちである
- ③どちらともいえない
- ④あまり前向きな気持ちではない
- ⑤全く前向きな気持ちではない

マネジメント 事後アンケート(回答数10件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。
10件の回答



- ①施設
- ②学校
- ③企業
- ④チラシ
- ⑤WEB (メルマガ)
- ⑥WEB (マイナビ)
- ⑦ホームページのバナー
- ⑧その他

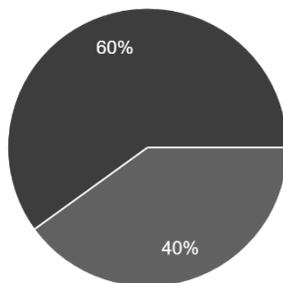
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

3件の回答

- ・ NPO 法人タダカヨ講師からの案内
- ・ タダカヨ
- ・ 運営の小林氏

問3：性別を教えてください。

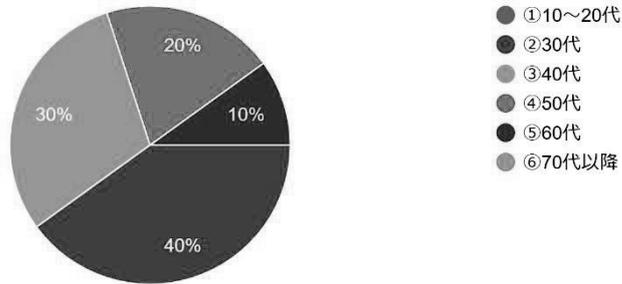
10件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

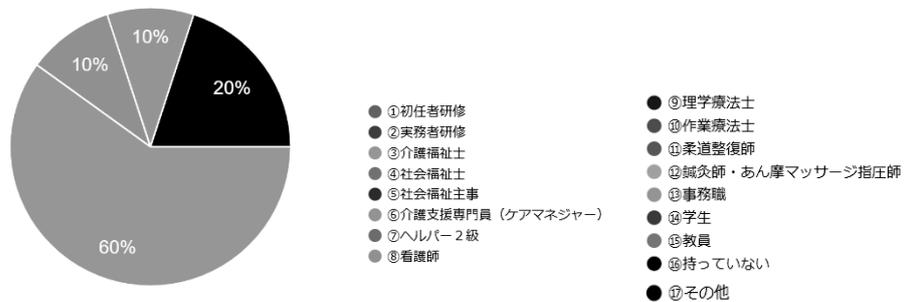
問4：あなたの年齢を教えてください。

10件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

10件の回答



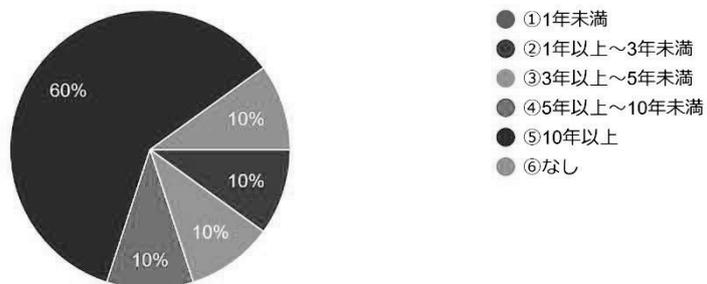
問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1件の回答

- ・ 管理栄養士

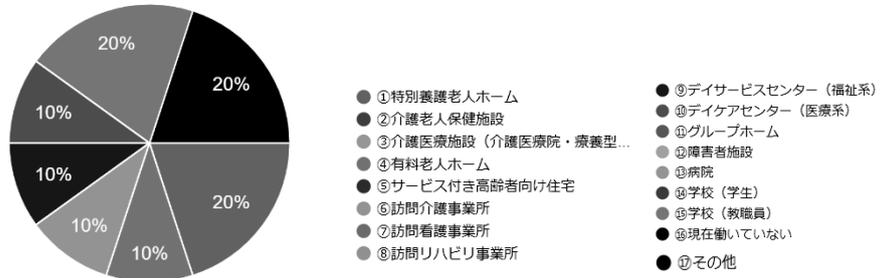
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

10件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

10件の回答



問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

1件の回答

- 法人本部

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

10件の回答

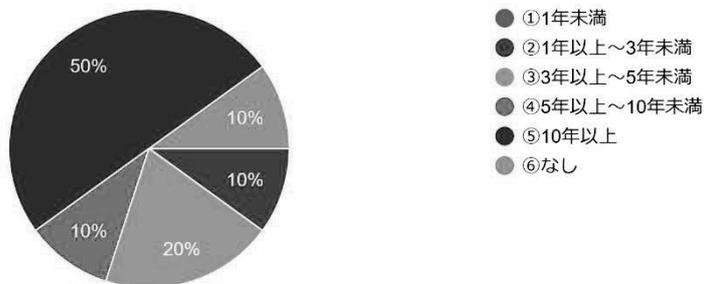


問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

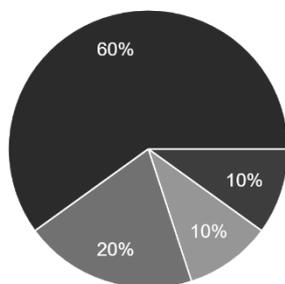
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

10件の回答



問13：あなたの役職を教えてください。

10件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

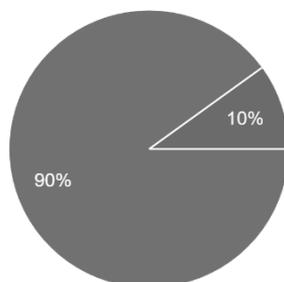
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

5件の回答

- ・ サービス提供責任者
- ・ 法人部長
- ・ 総務部長
- ・ ユニットリーダー
- ・ 国際交流特任プロジェクトリーダー

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

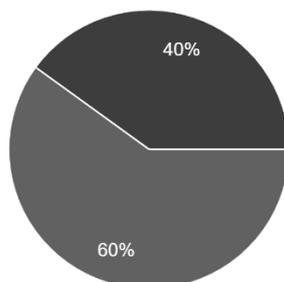
10件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

10件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問 17:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 18:問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

問 19:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

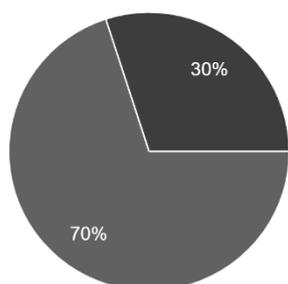
0 件の回答

問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

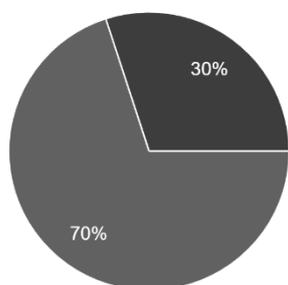
10 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

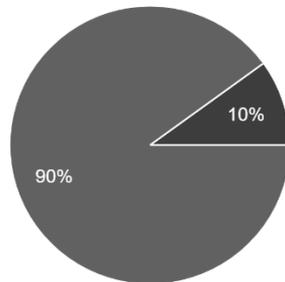
10 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

10件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

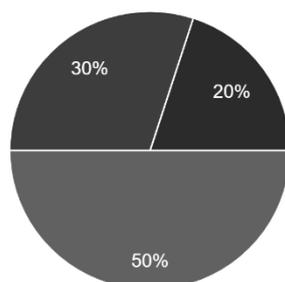
問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

6件の回答

- ・ 管理者研修
- ・ 福祉経営マネジメント、DX/ICT 活用
- ・ ICT
- ・ 組織の風土を変える方法
- ・ 利用者様との適切なコミュニケーションのとり方
- ・ コーチングやアクティブラスニングなど傾聴スキルを上げる研修

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

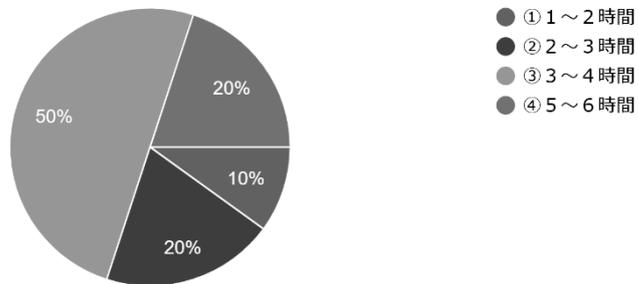
10件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

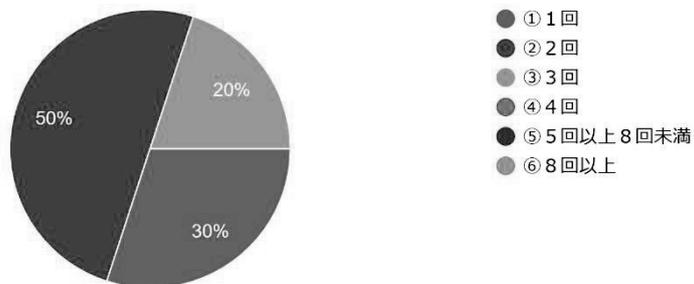
問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

10件の回答



問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

10件の回答



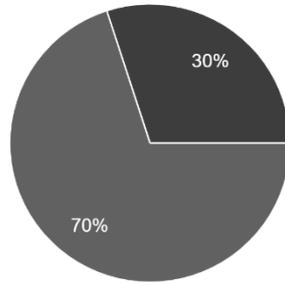
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

10件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

10件の回答



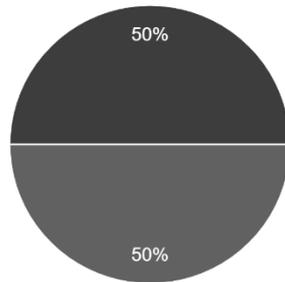
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問 30:問 29 で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0 件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス...（TA）として活動することに興味はありますか？

10 件の回答

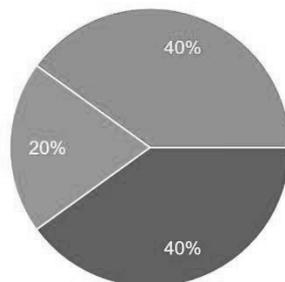


- ①興味がある
- ②興味がない

マネジメント 1 か月後アンケート(回答数5件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

5 件の回答



- ①施設
- ②学校
- ③企業
- ④チラシ
- ⑤WEB（メルマガ）
- ⑥WEB（マイナビ）
- ⑦ホームページのバナー
- ⑧その他

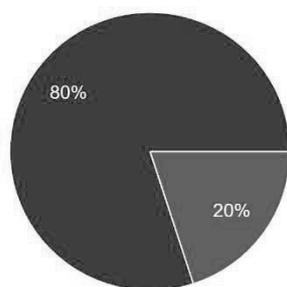
問 2:問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

NPO 法人タダカヨ

タダカヨ

問 3 : 性別を教えてください。

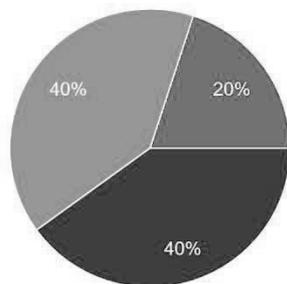
5 件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問 4 : あなたの年齢を教えてください。

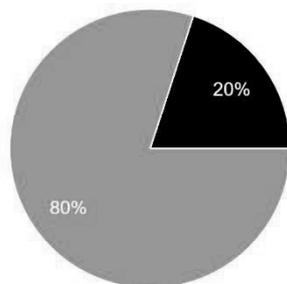
5 件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問 5 : あなたの資格を教えてください。

5 件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員 (ケアマネジャー)
- ⑦ヘルパー 2 級
- ⑧看護師

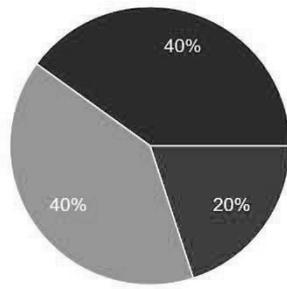
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

管理栄養士

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

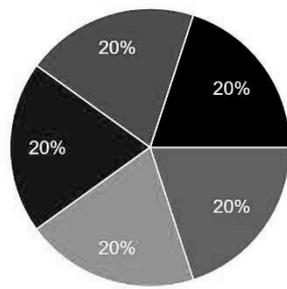
5件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

5件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

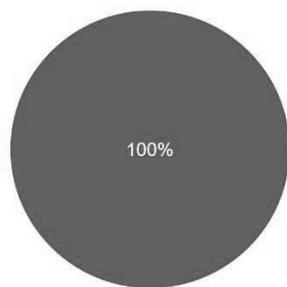
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

住宅型有料老人ホーム

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

5件の回答



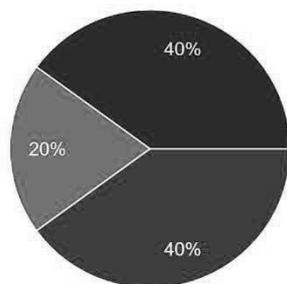
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問 11：問 10 で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0 件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

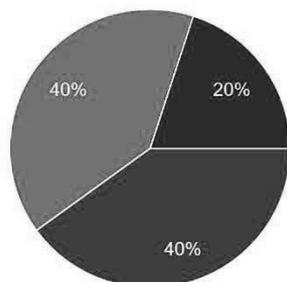
5 件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

5 件の回答



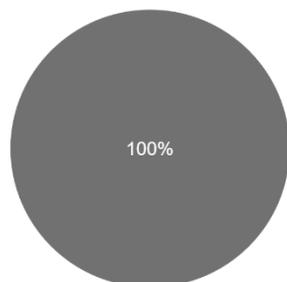
- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問 14：問 13 で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

サービス提供責任者

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

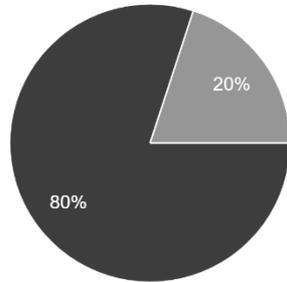
5 件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

5件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問17：問16で「④⑤ できていないと思う」と回答した方に質問です。「実践できていないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0件の回答

問19：問16で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

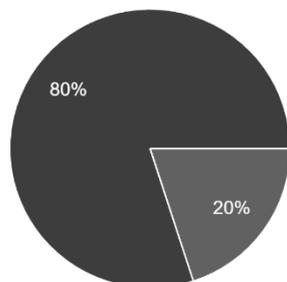
0件の回答

問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

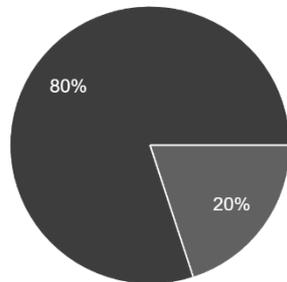
5件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

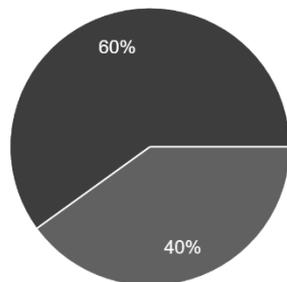
5件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

5件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

介護職員間のズレをなくすための施策など

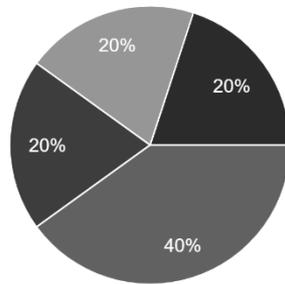
コーチング、ティーチング

コーチング、

経営マネジメント・人財育成

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

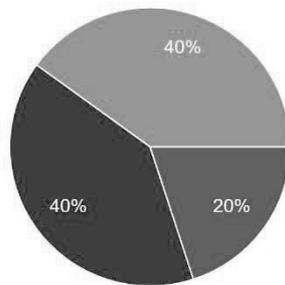
5件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

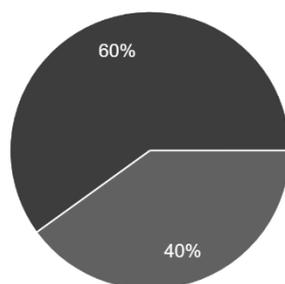
5件の回答



- ① 1～2時間
- ② 2～3時間
- ③ 3～4時間
- ④ 5～6時間

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

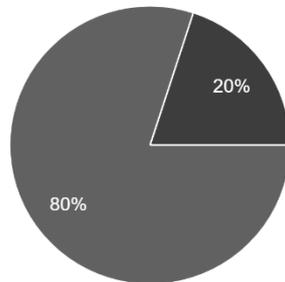
5件の回答



- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上8回未満
- ⑥ 8回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

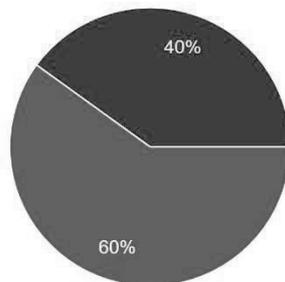
5件の回答



- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

5件の回答



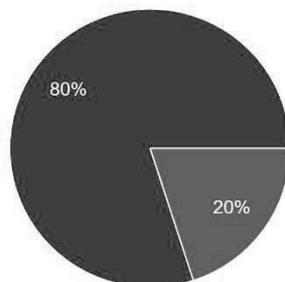
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

5件の回答

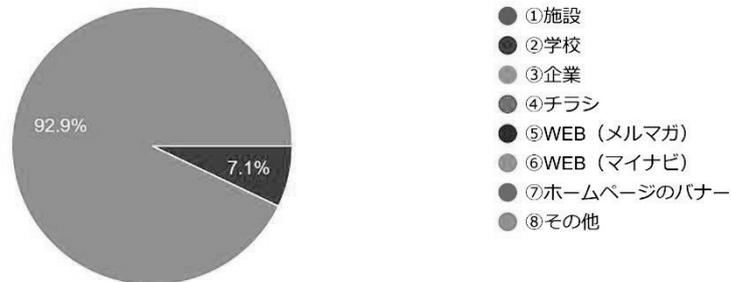


- ①興味がある
- ②興味がない

ナチュラルセラピー(アロマセラピー) 事前アンケート(回答数14件)

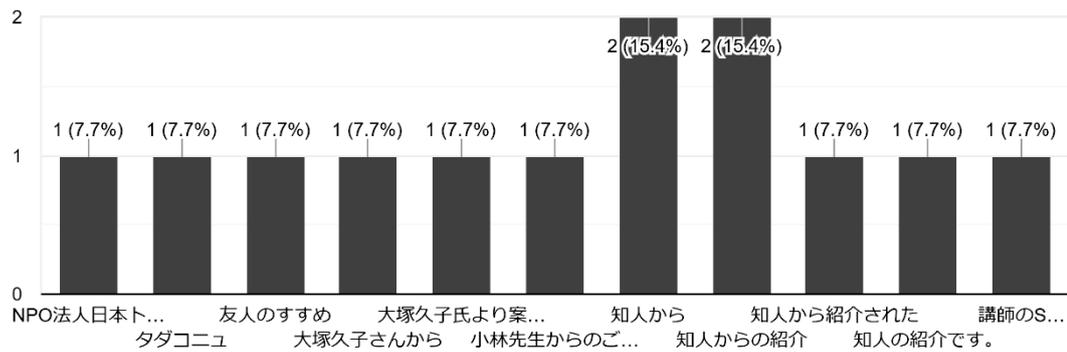
問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

14件の回答



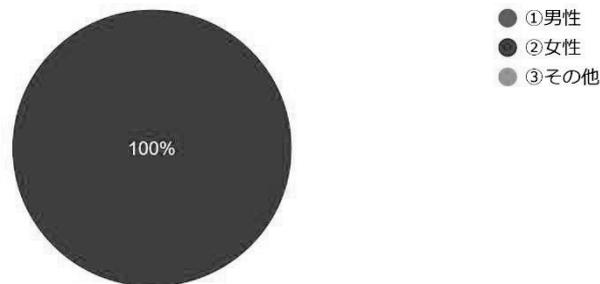
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です...あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

13件の回答



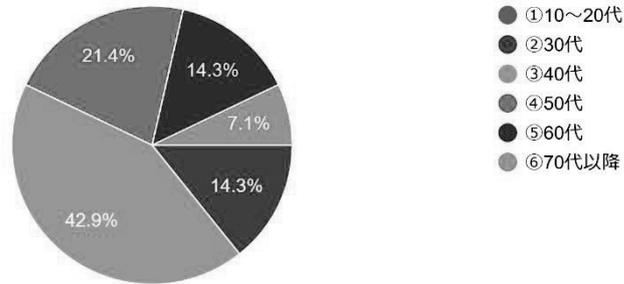
問3：性別を教えてください。

14件の回答



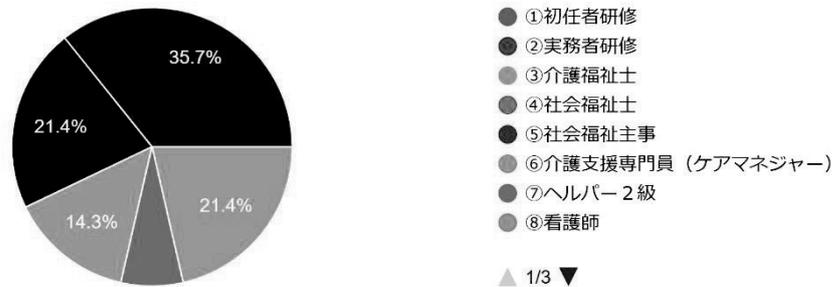
問4：あなたの年齢を教えてください。

14件の回答



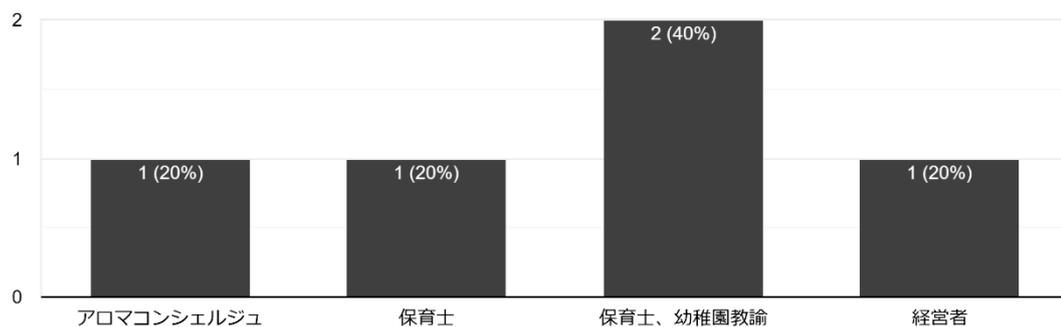
問5：あなたの資格を教えてください。

14件の回答



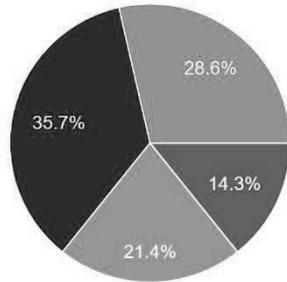
問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

5件の回答



問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

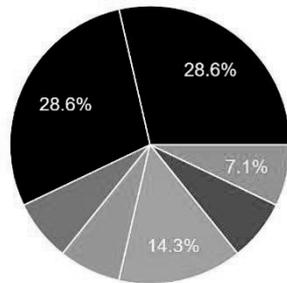
14件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

14件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

普通の事務です。

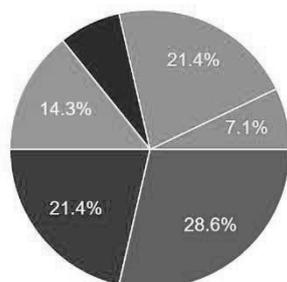
ベビーシッター

第一生命

幼稚園

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

14件の回答



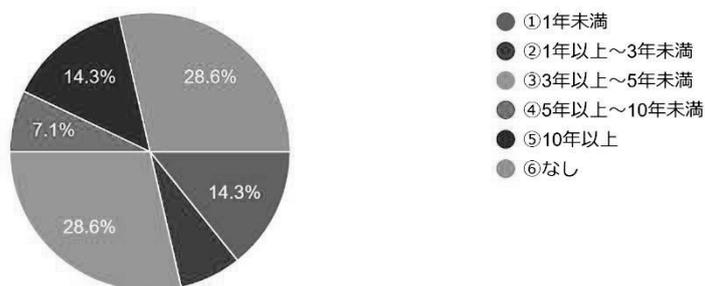
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問 11：問 10 で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

経営者

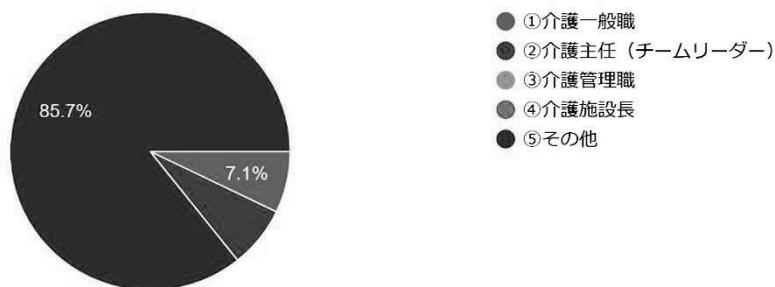
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

14 件の回答



問13：あなたの役職を教えてください。

14 件の回答



問 14：問 13 で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

経営者

現在、離職中です

特に役職ないです。

なし

介護福祉士養成校教員

特になし

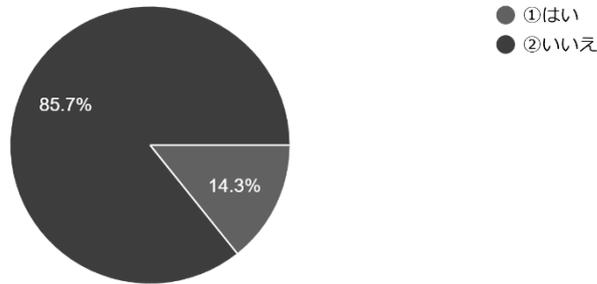
無し

法人代表

営業

保育士、幼稚園教諭

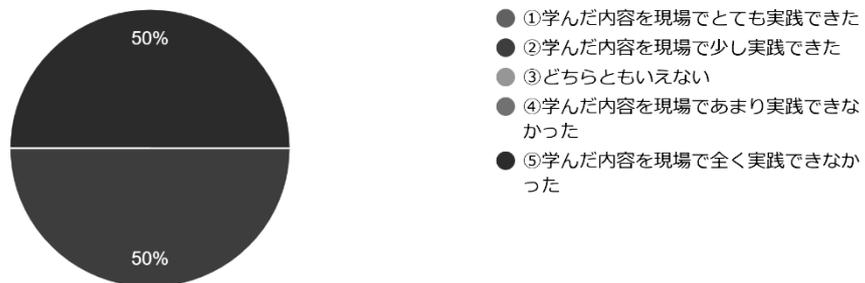
問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)
14件の回答



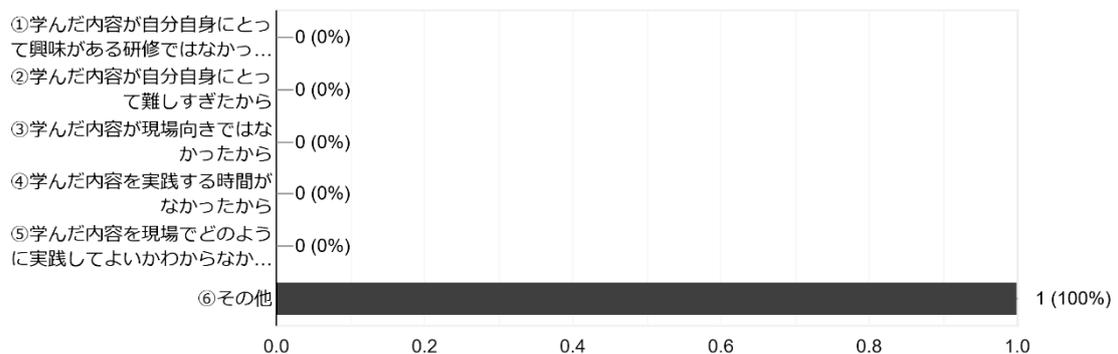
問16：問15で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

介護予防士、ナチュラルセラピー、トラベルヘルパー
介護実技

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。
2件の回答



問18：問17で「④⑤
実践できなかった」と回答した方に質問です。「...ですか。該当するものを2つ選択してください。
1件の回答



問 19：問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

現場がないため

問 20：問 17 で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。実践できなかった職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

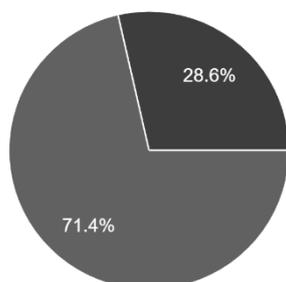
0 件の回答

問 21：問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

所属していないため

問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。

14 件の回答

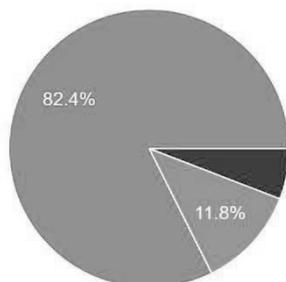


- ①とても前向きな気持ちである
- ②少し前向きな気持ちである
- ③どちらともいえない
- ④あまり前向きな気持ちではない
- ⑤全く前向きな気持ちではない

ナチュラルセラピー(アロマセラピー) 事後アンケート(回答数17件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

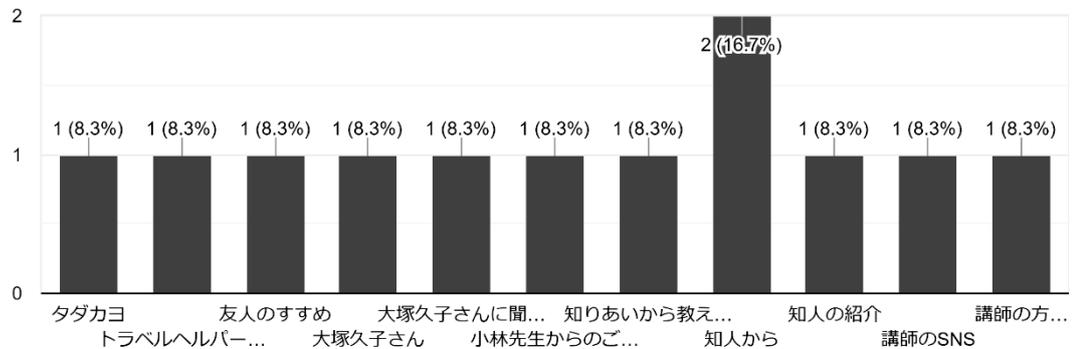
17 件の回答



- ①施設
- ②学校
- ③企業
- ④チラシ
- ⑤WEB (メルマガ)
- ⑥WEB (マイナビ)
- ⑦ホームページのバナー
- ⑧その他

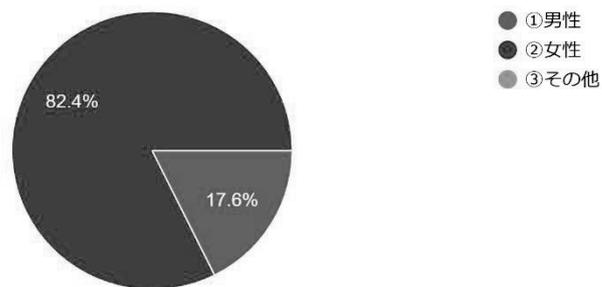
問2：問1で「⑥その他」と回答した人に質問です...あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

12件の回答



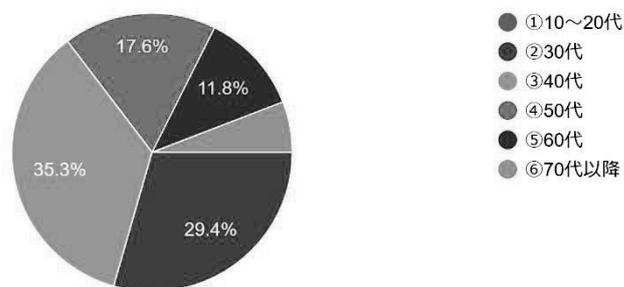
問3：性別を教えてください。

17件の回答



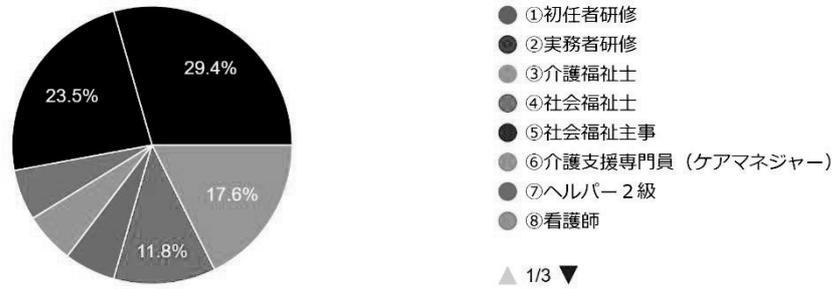
問4：あなたの年齢を教えてください。

17件の回答



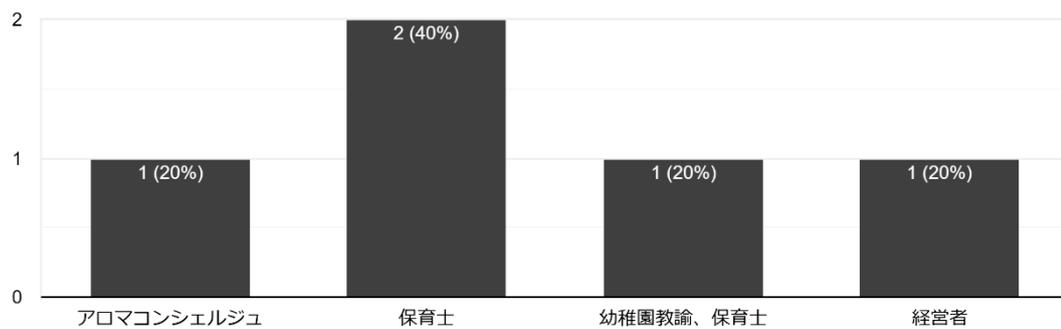
問5：あなたの資格を教えてください。

17件の回答



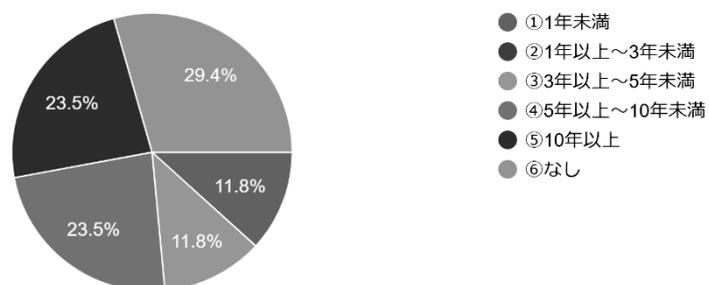
問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

5件の回答



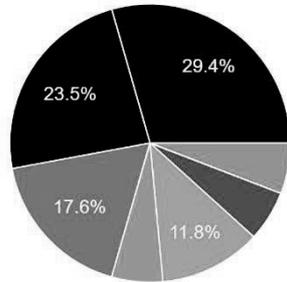
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

17件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

17件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

ベビーシッター

第一生命

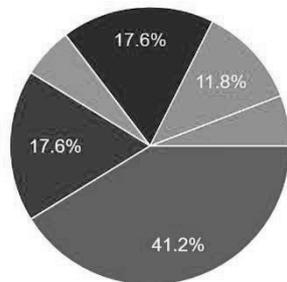
普通の会社の事務です。

介護福祉士養成校教員

幼稚園

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

17件の回答



- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

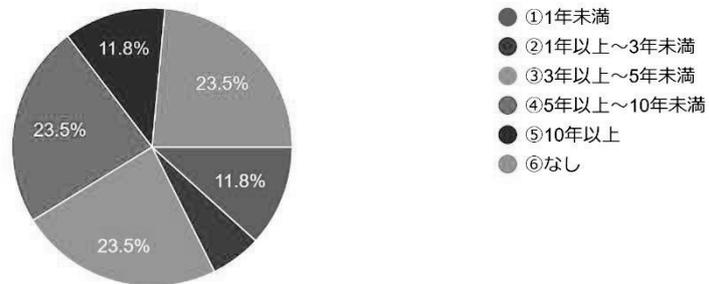
問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

経営者

契約社員

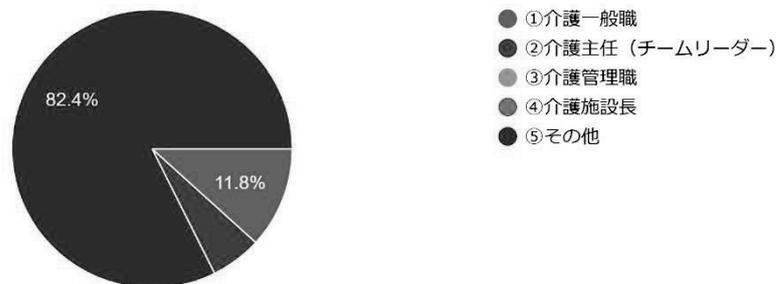
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

17件の回答



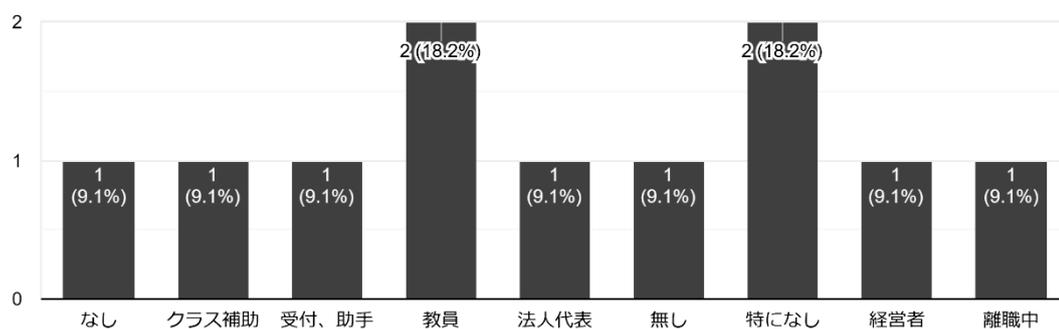
問13：あなたの役職を教えてください。

17件の回答



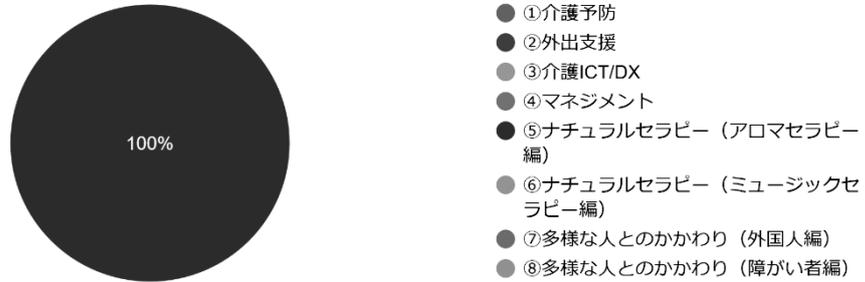
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

11件の回答



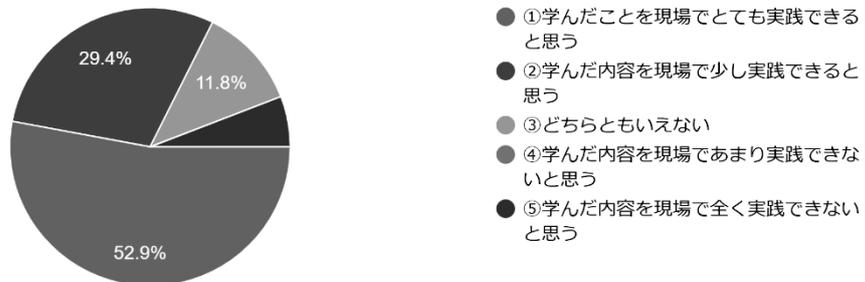
問15：あなたが受講した研修はどれですか。

17件の回答



問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

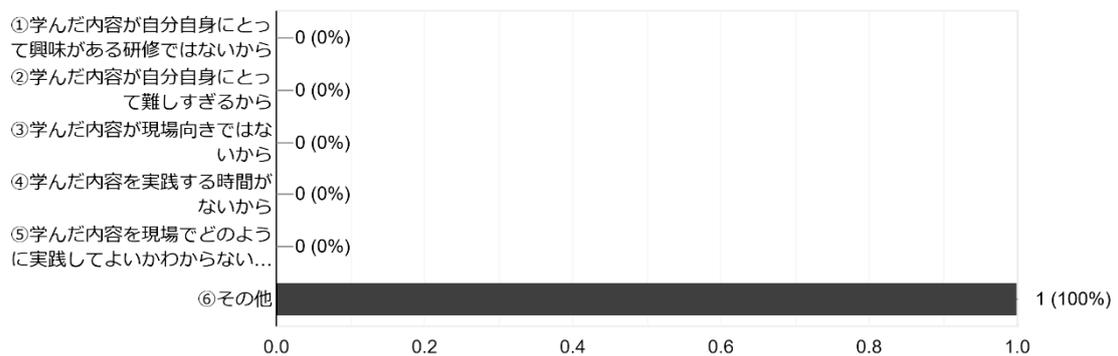
17件の回答



問17：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

1件の回答

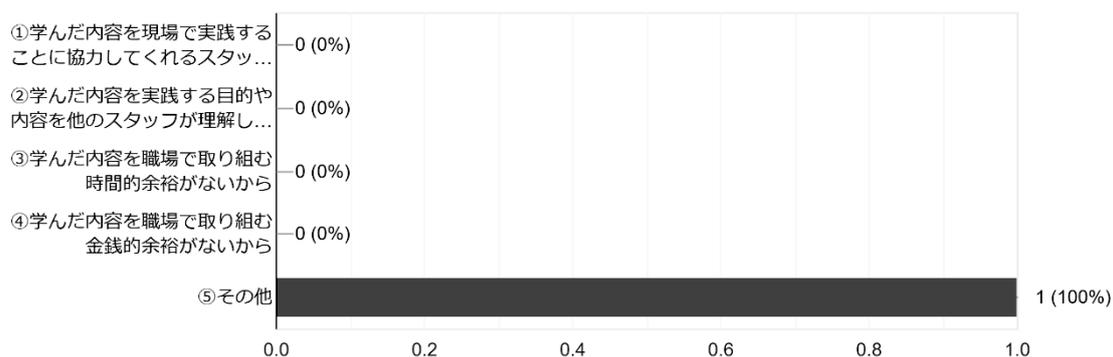


問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

職場がないため

問19：問16で「④⑤

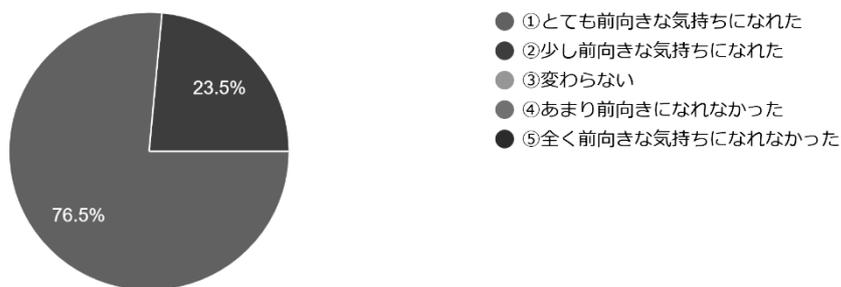
できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。
1件の回答



問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

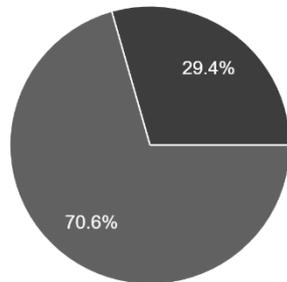
職場がないため

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。
17件の回答



問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

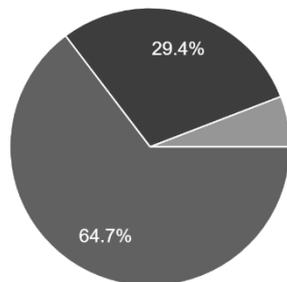
17件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

17件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

アロマセラピー

自然療法

現場に活かせる研修

現状、思い浮かぶものはありません

他のプロダクトの作成の実習。モリンガオイルの作り方

音楽セラピー

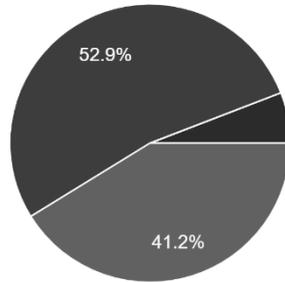
この後のステップのアロマコンシェルジュです。

アロマコンシェルジュの研修

外国人介護職員

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

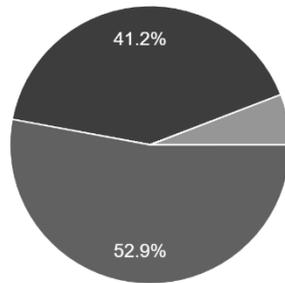
17件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

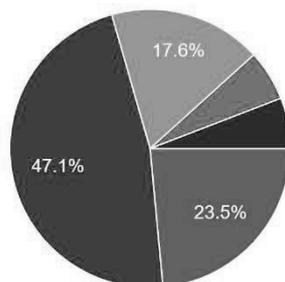
17件の回答



- ① 1～2時間
- ② 2～3時間
- ③ 3～4時間
- ④ 5～6時間

問27：受講回数何回ならば受講したいか教えてください。

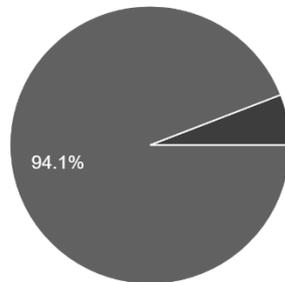
17件の回答



- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上8回未満
- ⑥ 8回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

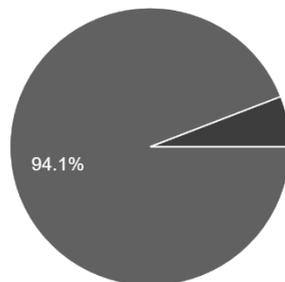
17件の回答



- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

17件の回答



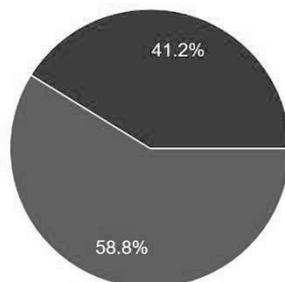
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

17件の回答

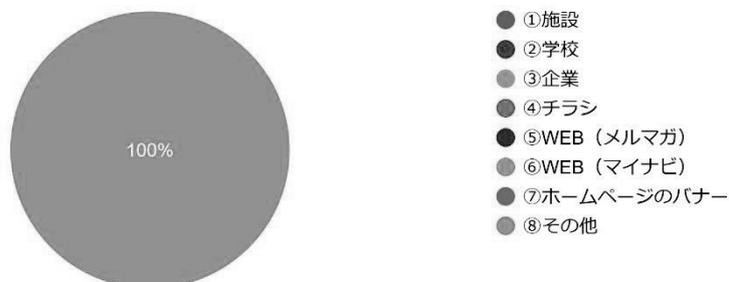


- ①興味がある
- ②興味がない

ナチュラルセラピー(アロマセラピー) 1 カ月アンケート(回答数11件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

11 件の回答



問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

知人の紹介

講師の告知をみて

大塚さんから

大塚久子先生の紹介

小林先生のご紹介

タダカヨ

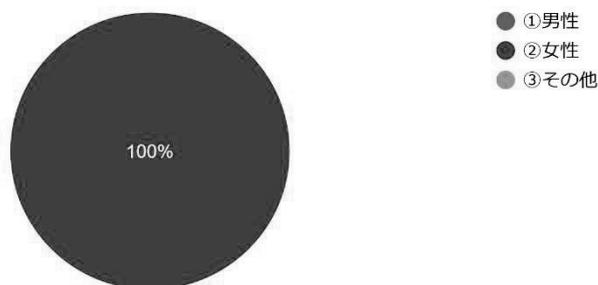
知人

大塚久子さん

友人より紹介されて。

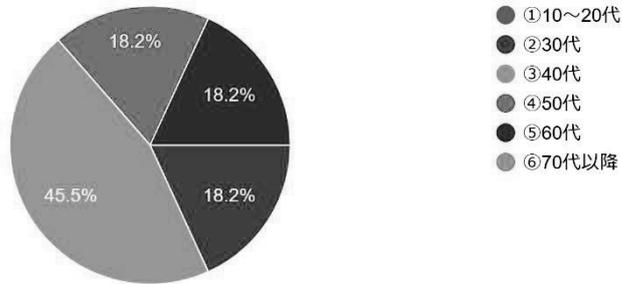
問3：性別を教えてください。

11 件の回答



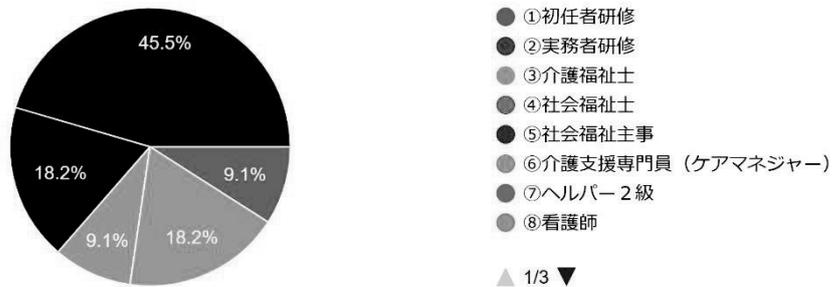
問4：あなたの年齢を教えてください。

11件の回答



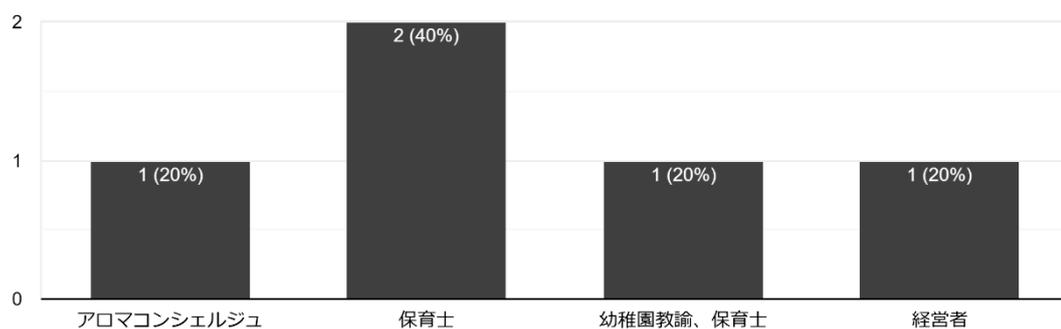
問5：あなたの資格を教えてください。

11件の回答



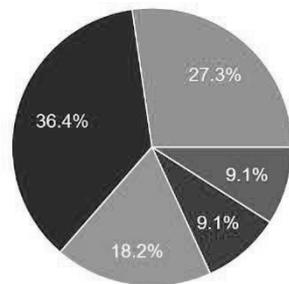
問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

5件の回答



問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

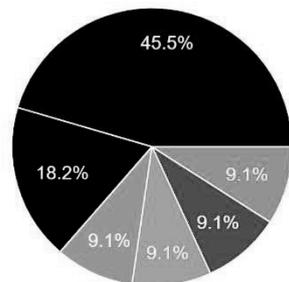
11件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

11件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設 (介護医療院・療養型...)
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

幼稚園

第一生命

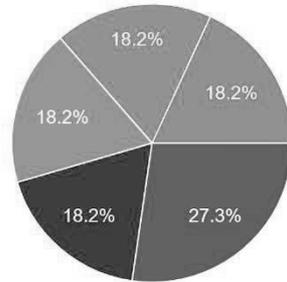
普通の企業

ベビーシッター

就労継続支援 B 型事業所

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

11件の回答



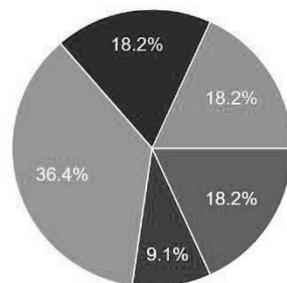
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

個人事業主
経営者

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

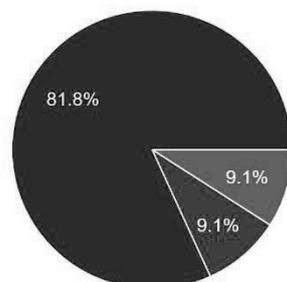
11件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

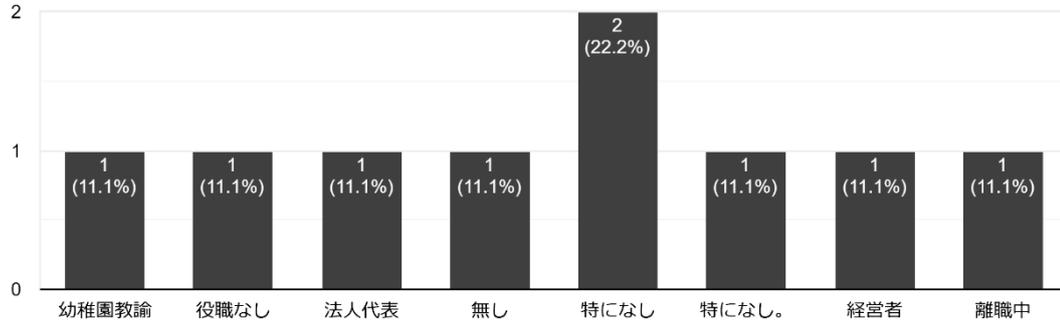
11件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

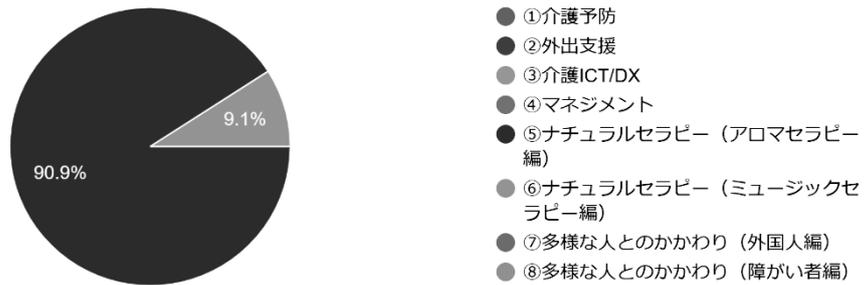
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

9件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

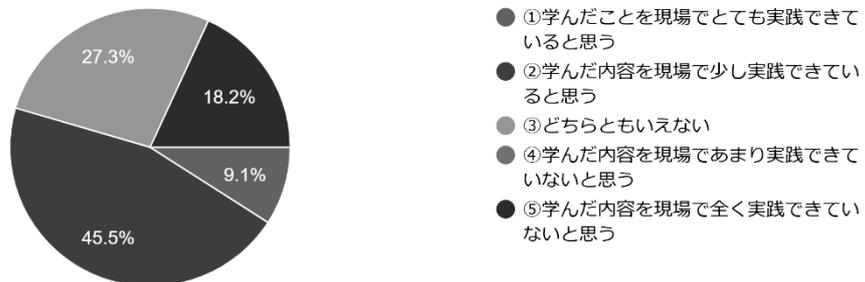
11件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

11件の回答

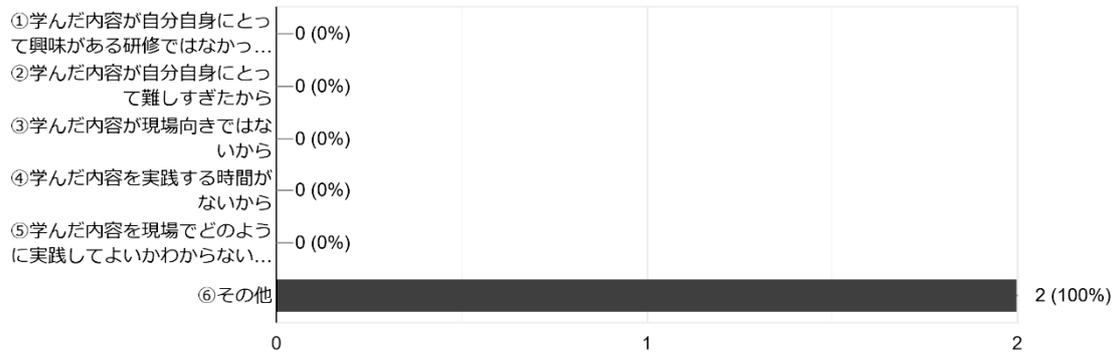


- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問17：問16で「④⑤

できていないと思う」と回答した方に質問です。...ですか。該当するものを2つ選択してください。

2件の回答



問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

いまの仕事ではなかなか機会がないと思うので

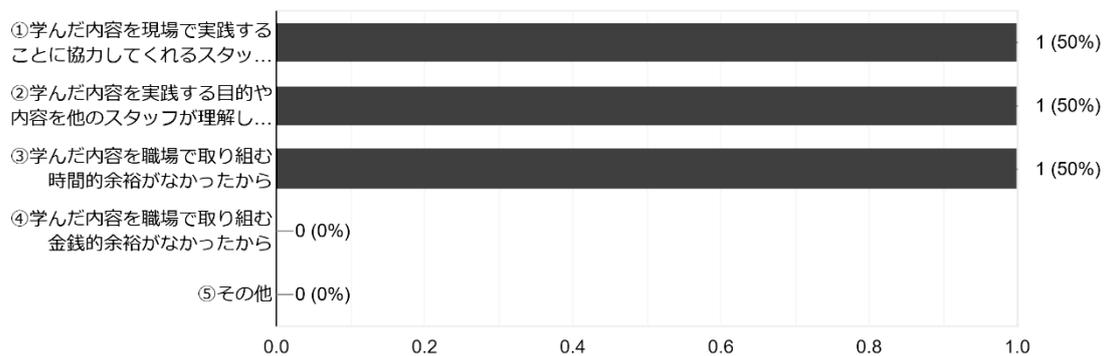
会社に過剰サービスと受けとられる恐れがある。何あったら責任を追及されるなど懸念があるから。

離職中のため、復職したら是非、実践したいです

問19：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

2件の回答



問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

11 件の回答



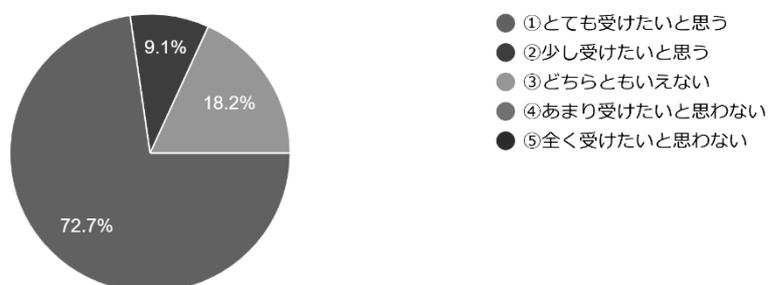
問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

11 件の回答



問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

11 件の回答



問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

施設ですぐに実践できるような内容の研修

コミュニケーションについて

予防介護

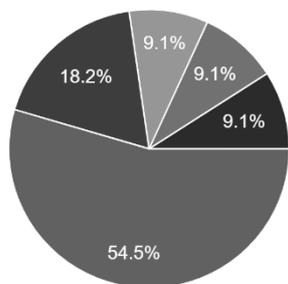
音楽セラピー

障害者との関わり方について

現在、具体的に思いつくテーマは思い浮かびませんが、その時に自分の興味関心のあるものがあれば率先して受けたいです

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

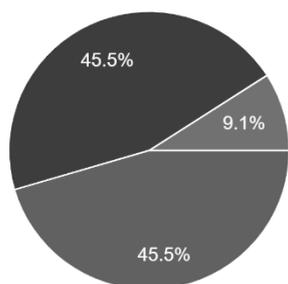
11件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

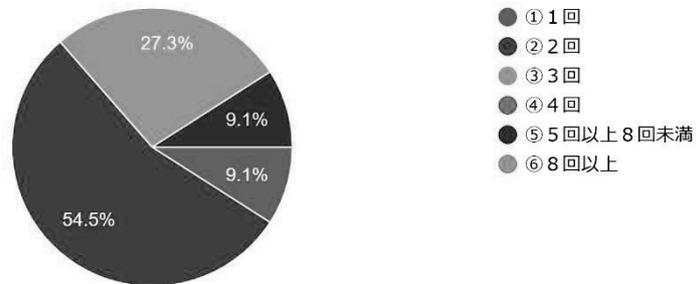
11件の回答



- ① 1～2時間
- ② 2～3時間
- ③ 3～4時間
- ④ 5～6時間

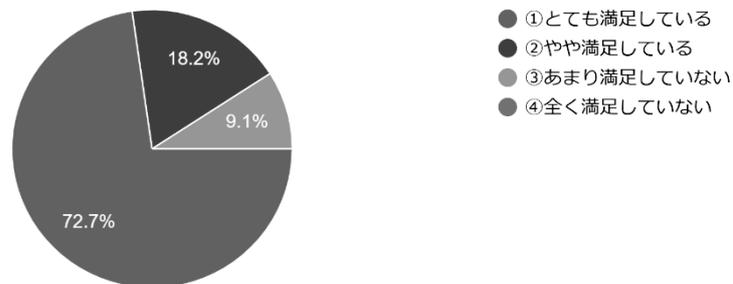
問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

11件の回答



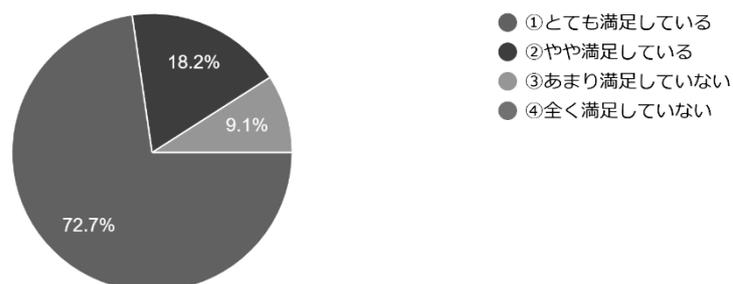
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

11件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

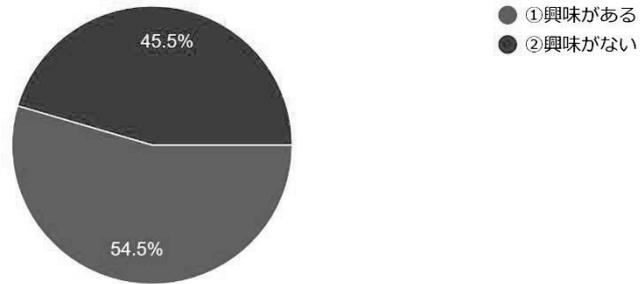
11件の回答



問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

何日かかること。

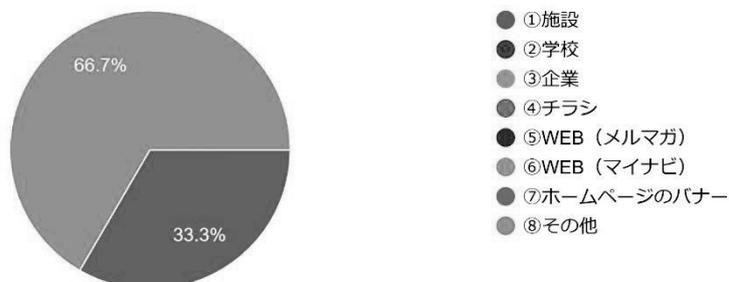
問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？
11件の回答



ナチュラルセラピー(ミュージックセラピー入門編) 事前アンケート (回答数3件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

3件の回答



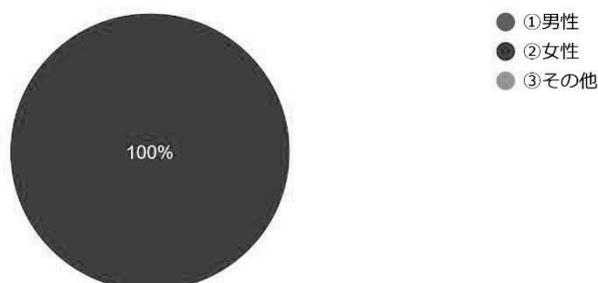
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

事務局からのご紹介

タダコニュ

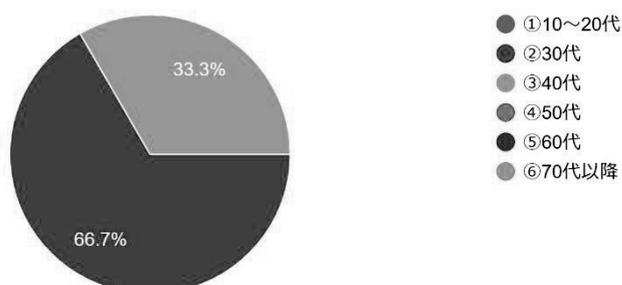
問3：性別を教えてください。

3件の回答



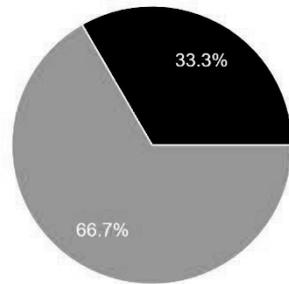
問4：あなたの年齢を教えてください。

3件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

3件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師

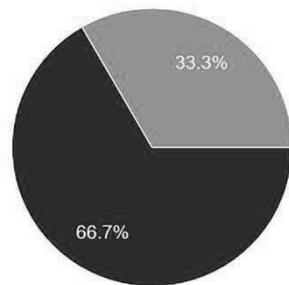
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

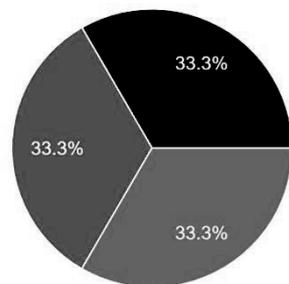
3件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

3件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

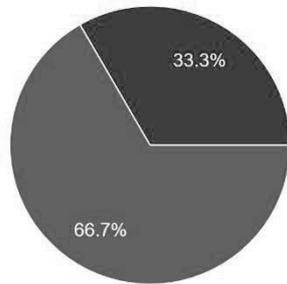
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

3件の回答



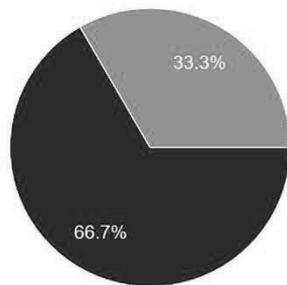
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

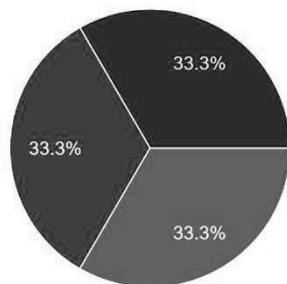
3件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

3件の回答

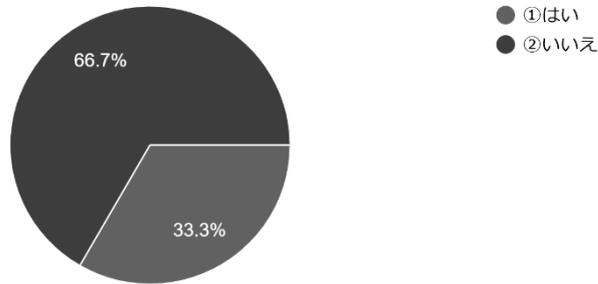


- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

無し

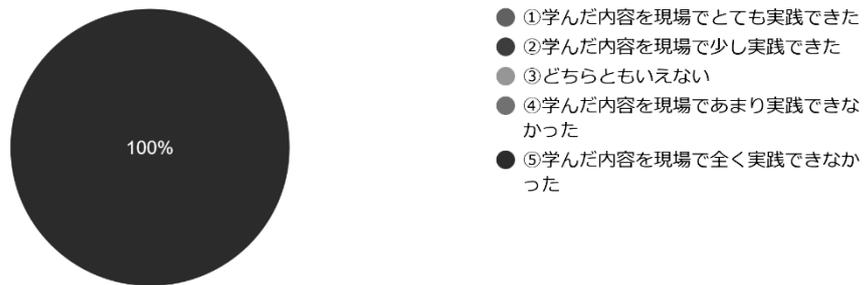
問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)
3件の回答



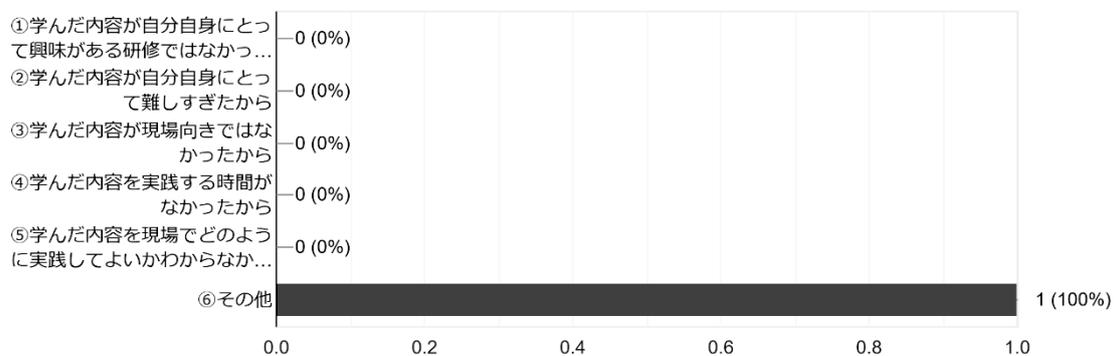
問 16：問 15 で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

介護予防士、トラベルヘルパー、ナチュラルセラピー

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。
1件の回答



問18：問17で「④⑤
実践できなかった」と回答した方に質問です。「...ですか。該当するものを2つ選択してください。
1件の回答



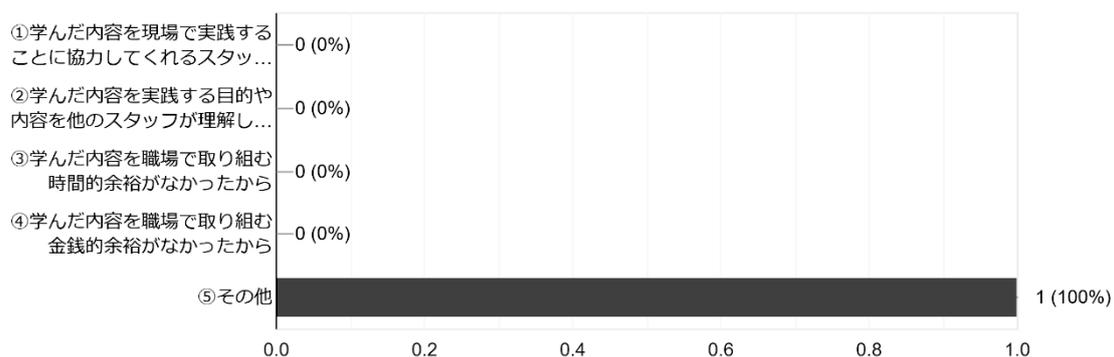
問 19：問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

実践する現場が無かったため

問20：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

1件の回答

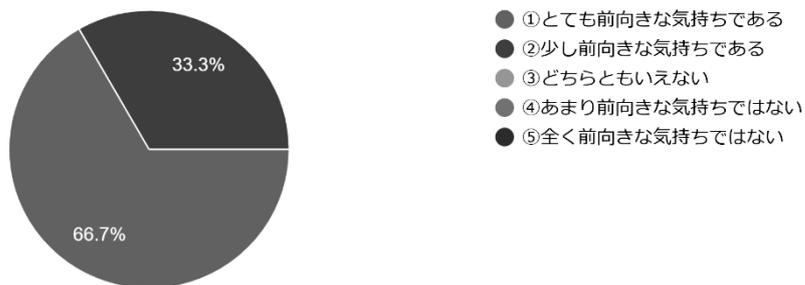


問 21：問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

職場が無いため

問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。

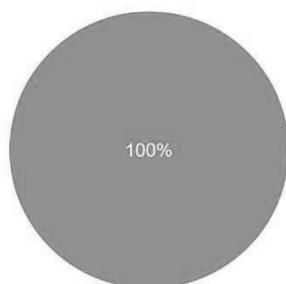
3件の回答



ナチュラルセラピー(ミュージックセラピー入門編) 事後アンケート (回答数1件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

1件の回答



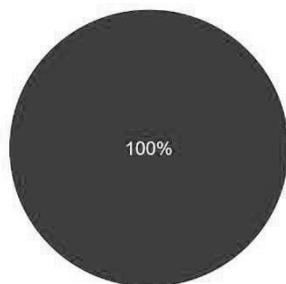
- ①施設
- ②学校
- ③企業
- ④チラシ
- ⑤WEB (メルマガ)
- ⑥WEB (マイナビ)
- ⑦ホームページのバナー
- ⑧その他

問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

タダカヨ

問3：性別を教えてください。

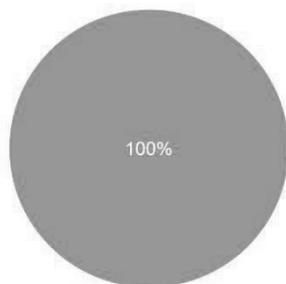
1件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問4：あなたの年齢を教えてください。

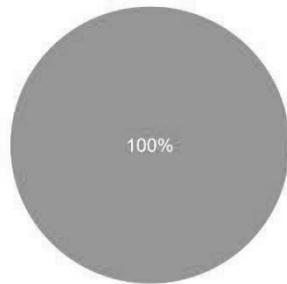
1件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

1件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師

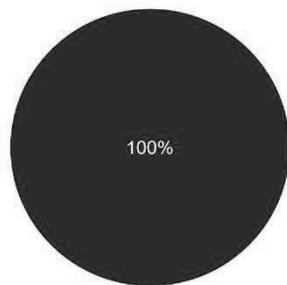
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

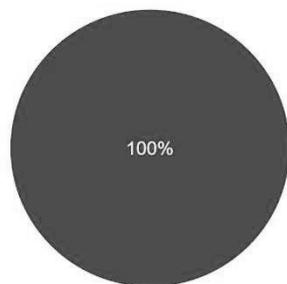
1件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

1件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

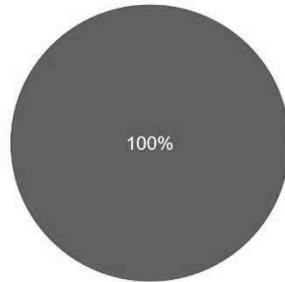
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

1件の回答



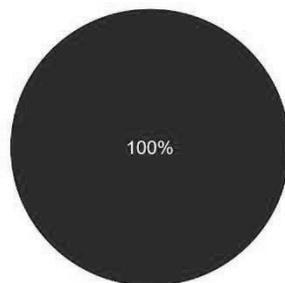
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

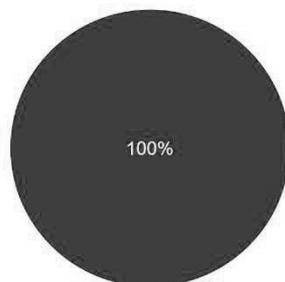
1件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

1件の回答



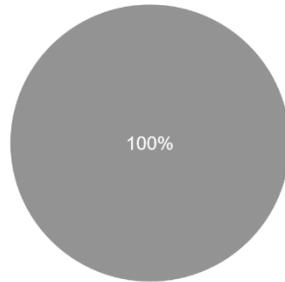
- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

0件の回答

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

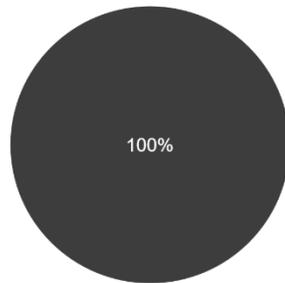
1件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

1件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問17：問16で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0件の回答

問19：問16で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

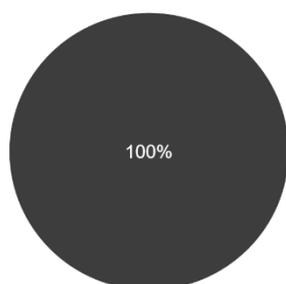
0件の回答

問20：問19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

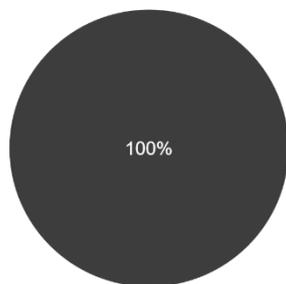
1 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

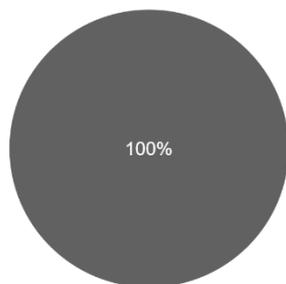
1 件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

1 件の回答



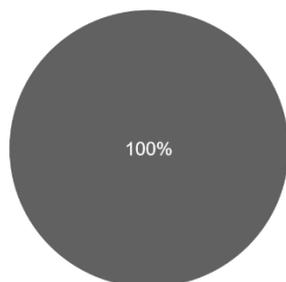
- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問24：問23で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

0 件の回答

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

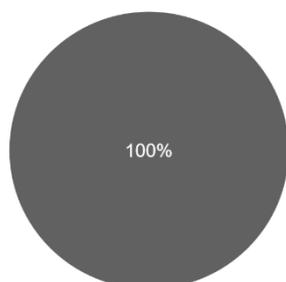
1 件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

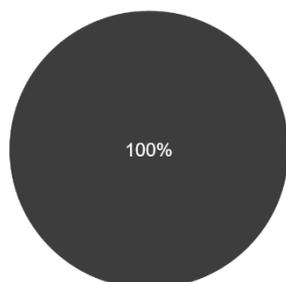
1 件の回答



- ① 1～2 時間
- ② 2～3 時間
- ③ 3～4 時間
- ④ 5～6 時間

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

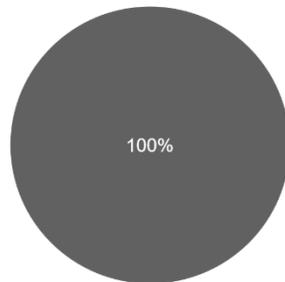
1 件の回答



- ① 1 回
- ② 2 回
- ③ 3 回
- ④ 4 回
- ⑤ 5 回以上 8 回未満
- ⑥ 8 回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

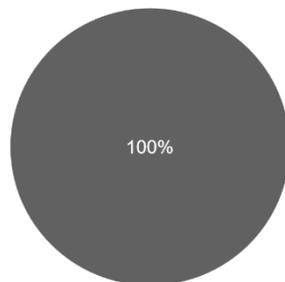
1件の回答



- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

1件の回答



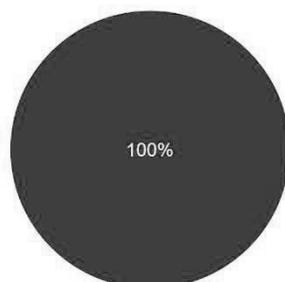
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

1件の回答

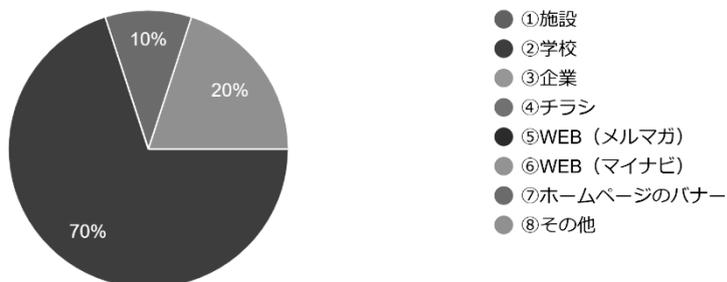


- ①興味がある
- ②興味がない

多様な人とのかかわり(外国人編) 事前アンケート(回答数10件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

10件の回答



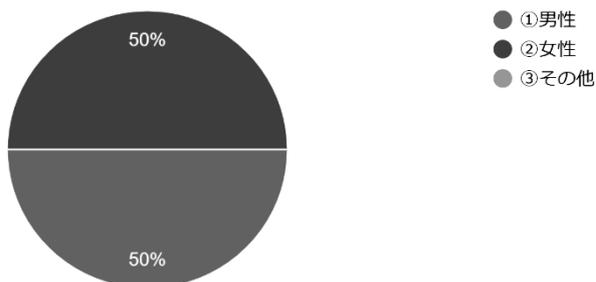
問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

2件の回答

- ・ 吉田病院あい様の紹介です
- ・ タダコニュ

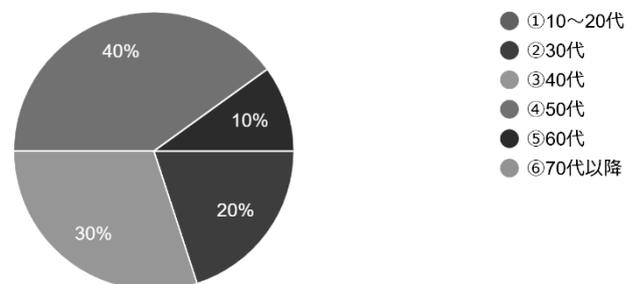
問3：性別を教えてください。

10件の回答



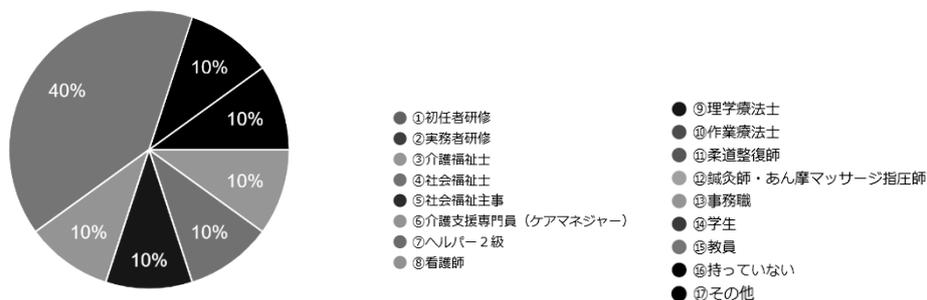
問4：あなたの年齢を教えてください。

10件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

10件の回答



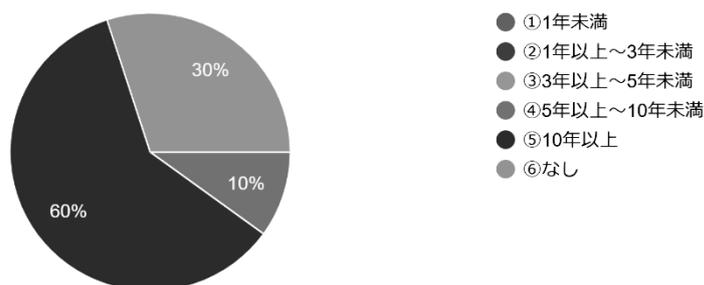
問6：問5で「⑰ その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1件の回答

- 日本語教育(大学 副専攻)

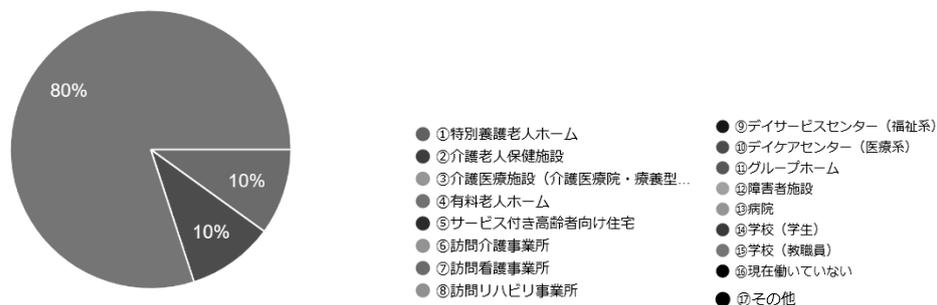
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

10件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

10件の回答

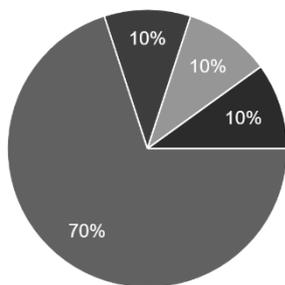


問9：問8で「⑰ その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

10件の回答



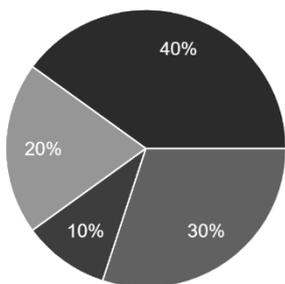
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

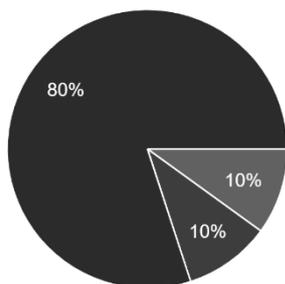
10件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

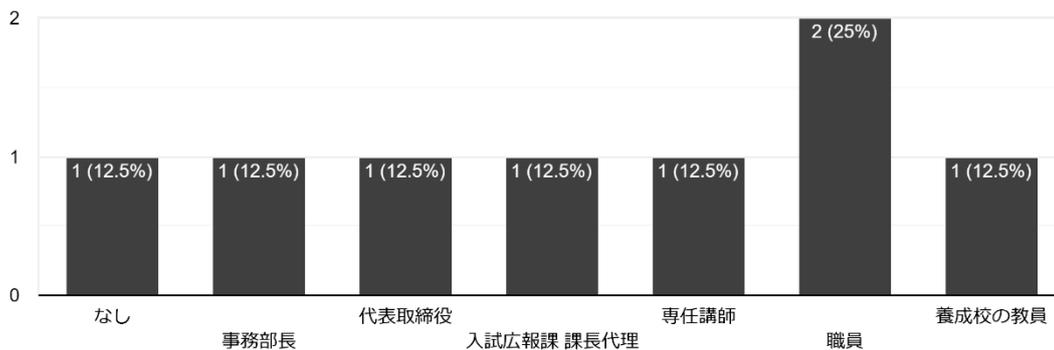
10件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

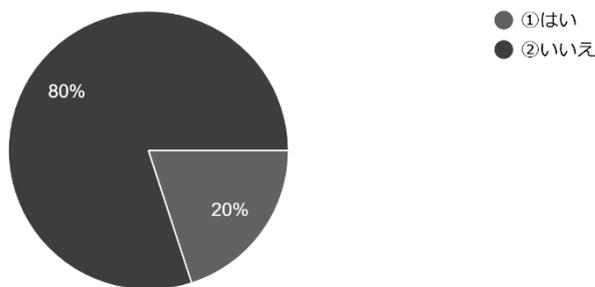
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

8件の回答



問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...とがありますか。(例えば：ICTスキル研修など)

10件の回答



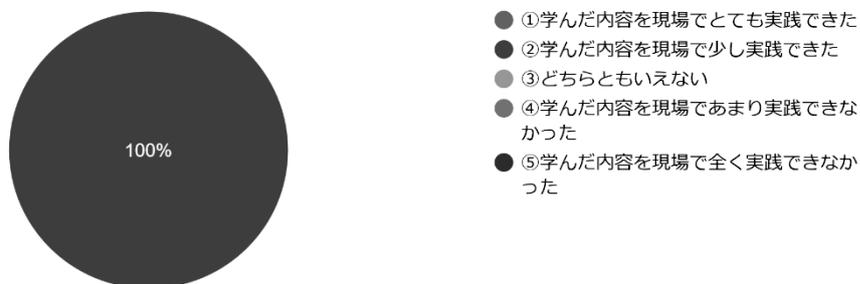
問16：問15で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

2件の回答

- ・ ICTスキル、介護技術向上勉強会など
- ・ ICTに関する研修

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。

2件の回答



問18：問17で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。「実践できなかった」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0件の回答

問 19:問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

0 件の回答

問 20:問 17 で「④⑤ 実践できなかった」と回答した方に質問です。実践できなかった職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

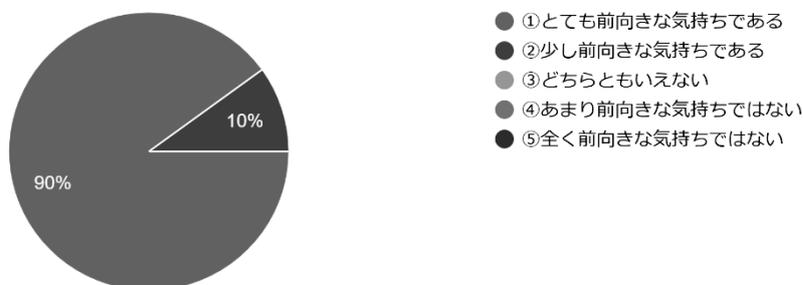
0 件の回答

問 21:問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。

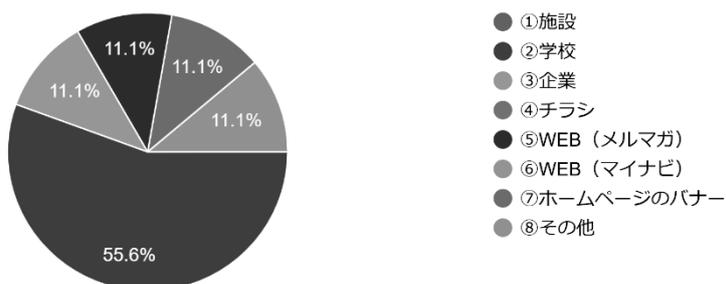
10 件の回答



多様な人とのかかわり(外国人編) 事後アンケート(回答数9件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

9 件の回答



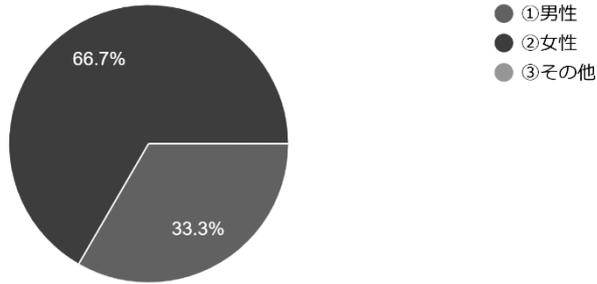
問 2:問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

1 件の回答

・ タダカヨ

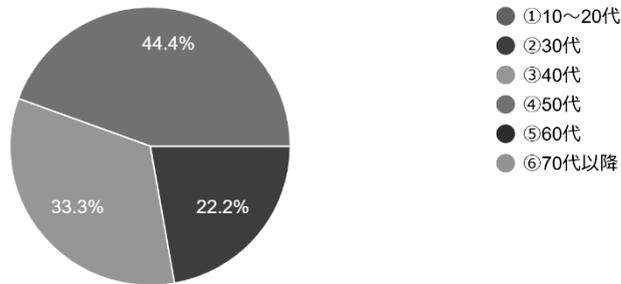
問3：性別を教えてください。

9件の回答



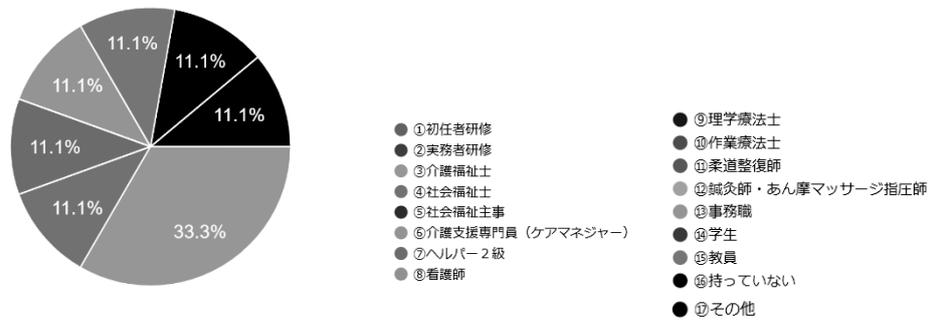
問4：あなたの年齢を教えてください。

9件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

9件の回答



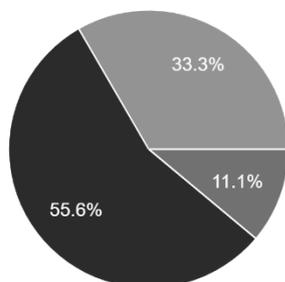
問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1件の回答

- ・ 日本語教師

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

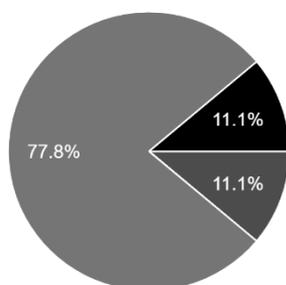
9件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

9件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所
- ⑨デイサービスセンター（福祉系）
- ⑩デイケアセンター（医療系）
- ⑪グループホーム
- ⑫障害者施設
- ⑬病院
- ⑭学校（学生）
- ⑮学校（教職員）
- ⑯現在働いていない
- ⑰その他

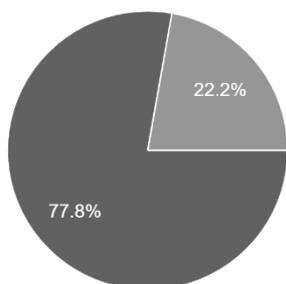
問9：問8で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

1件の回答

- ・ 管理部門

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

9件の回答



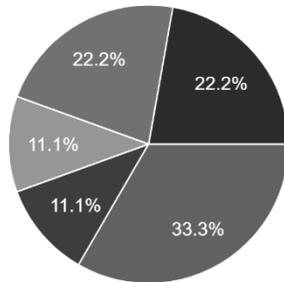
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問11：問10で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

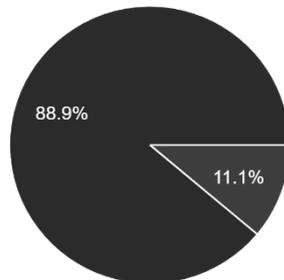
9件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

9件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

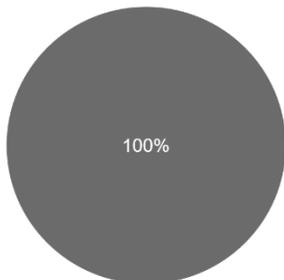
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

6件の回答

- ・ 専任教員
- ・ 入試広報課 課長代理
- ・ 一般職員
- ・ 管理部門 マネージャー
- ・ 職員
- ・ なし

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

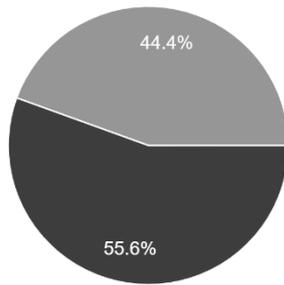
9件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

9件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問 17:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 18:問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

問 19:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

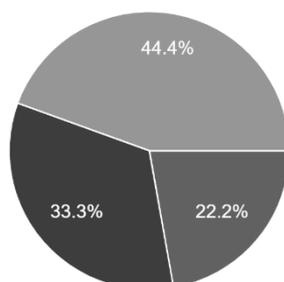
0 件の回答

問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

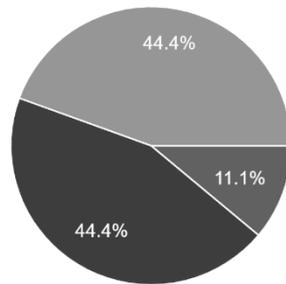
9件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

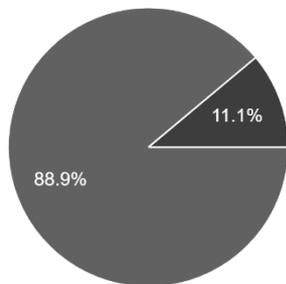
9件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれた
- ②少し前向きな気持ちになれた
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれなかった
- ⑤全く前向きな気持ちになれなかった

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

9件の回答



- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

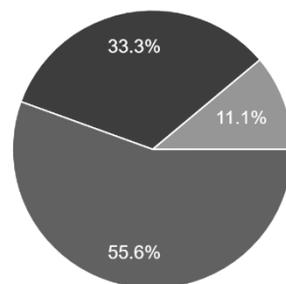
問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

6 件の回答

- ・ 教育と福祉の業界が初めてなので、業界のことを広く学べる内容がありがたいです。
- ・ 介護の外国人人材に関して
- ・ 制度的なことではなく、実際の外国人とのかかわり方、職員のマインドセットの仕方を学びたい
- ・ インストラクションスキル
- ・ 具体的な外国人留学生やスタッフのトラブルを解決した事例等
- ・ 介護の外国人人材に関する研修

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えて下さい。

9件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

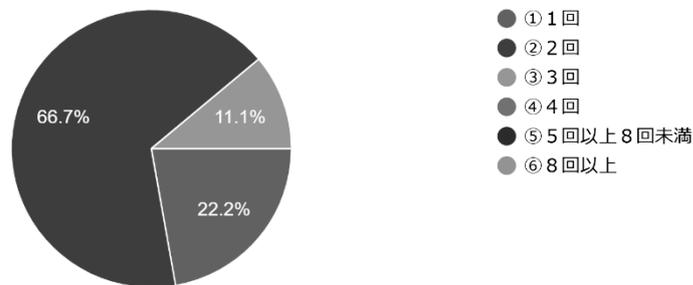
問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えて下さい。

9件の回答



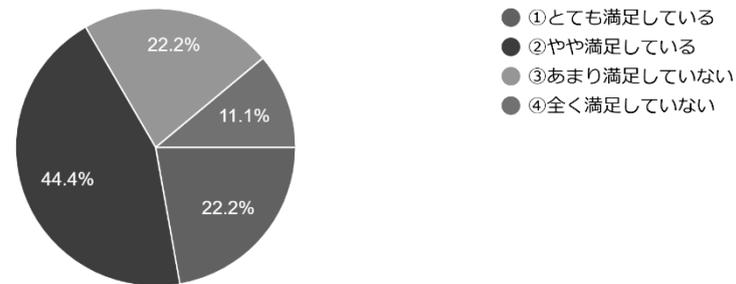
問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

9件の回答



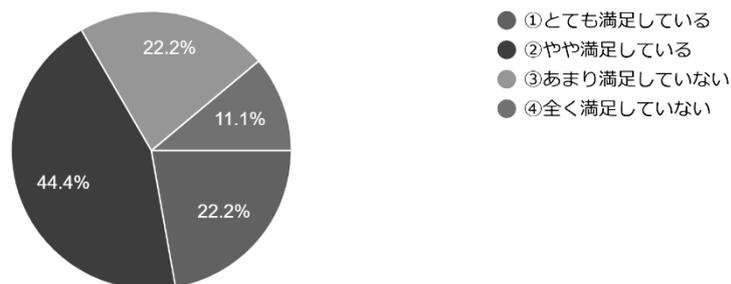
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

9件の回答



問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

9件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

9件の回答



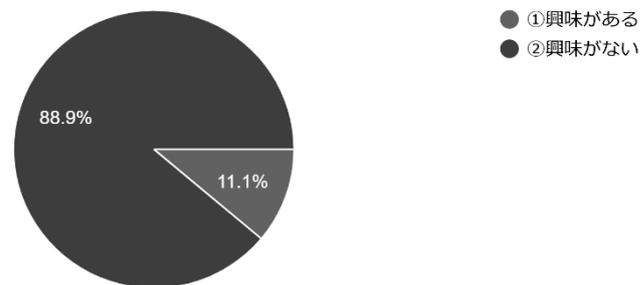
問30：問29で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

1件の回答

- ・あまり自分にとって新しい情報がなかった

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

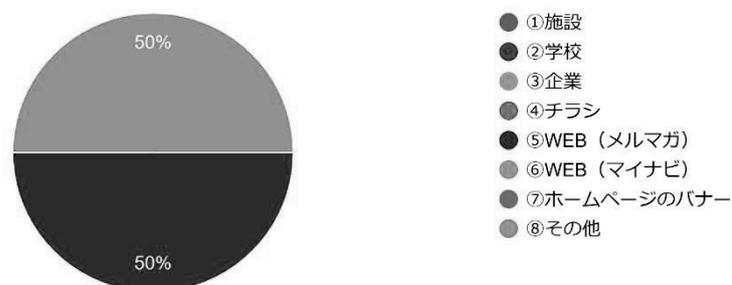
9件の回答



多様な人とのかかわり(外国人編) 1か月後アンケート(回答数2件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

2件の回答

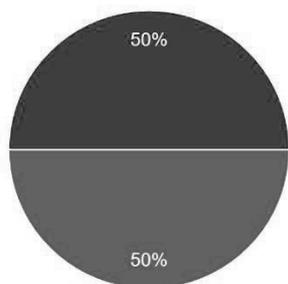


問 2:問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

タダカヨ

問 3 : 性別を教えてください。

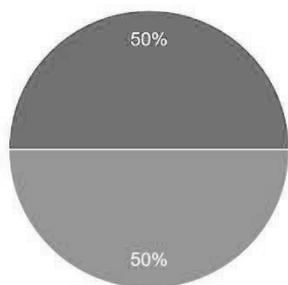
2 件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問 4 : あなたの年齢を教えてください。

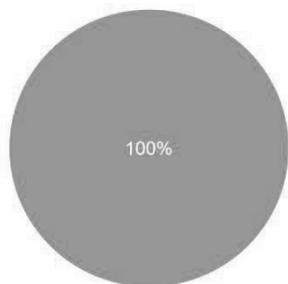
2 件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5 : あなたの資格を教えてください。

2 件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員 (ケアマネジャー)
- ⑦ヘルパー 2 級
- ⑧看護師

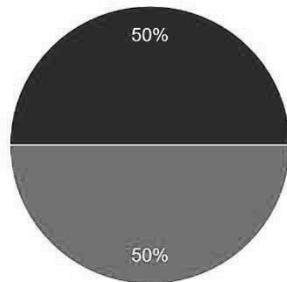
▲ 1/3 ▼

問 6:問 5 で「⑦その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0 件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

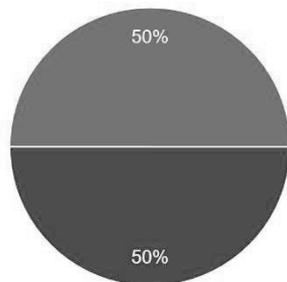
2件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

2件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

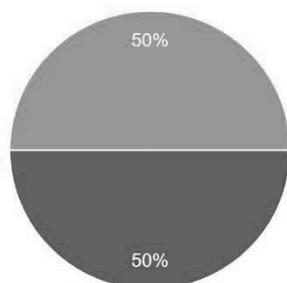
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑦その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

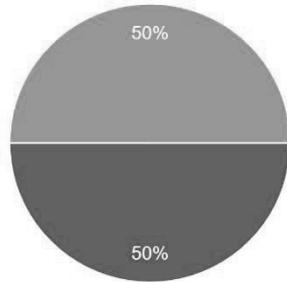
2件の回答



- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

2件の回答



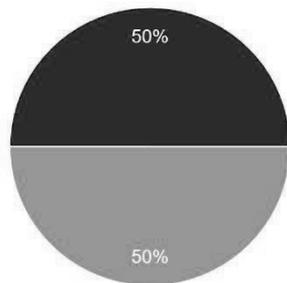
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問 11:問 10 で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0 件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

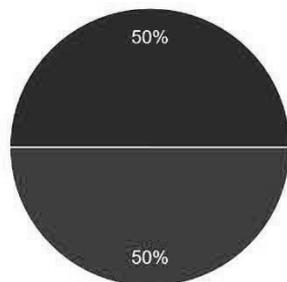
2件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

2件の回答



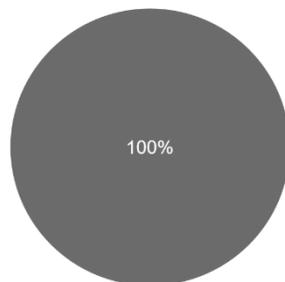
- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問 14:問 13 で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

教員

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

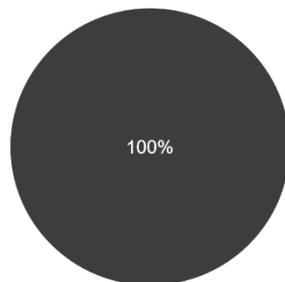
2件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

2件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問 17:問 16 で「④⑤ できていないと思う」と回答した方に質問です。「実践できていないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 18:問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

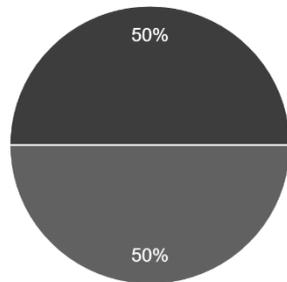
問 19:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

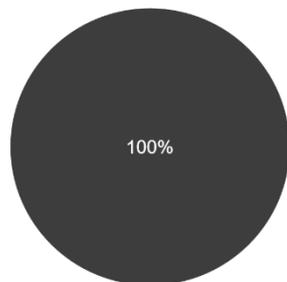
0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。
2件の回答



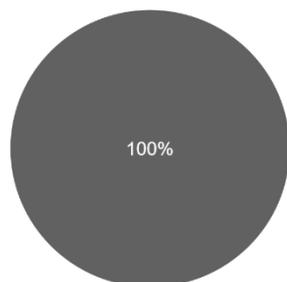
- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。
2件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。
2件の回答



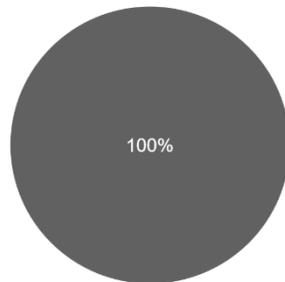
- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

0 件の回答

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えてください。

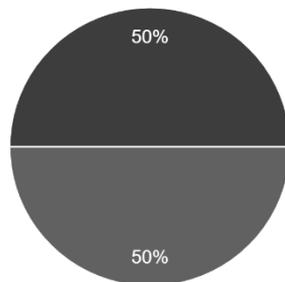
2件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的
に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

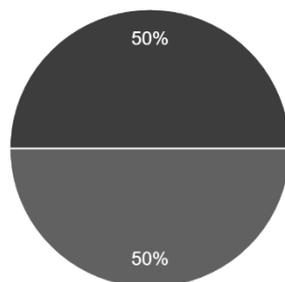
2件の回答



- ① 1～2 時間
- ② 2～3 時間
- ③ 3～4 時間
- ④ 5～6 時間

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

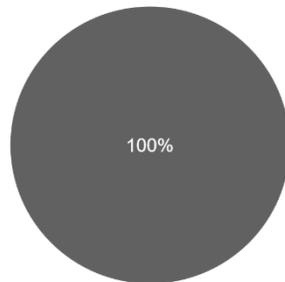
2件の回答



- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上8回未満
- ⑥ 8回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

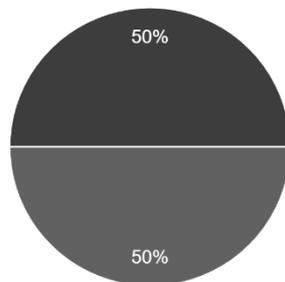
2件の回答



- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

2件の回答



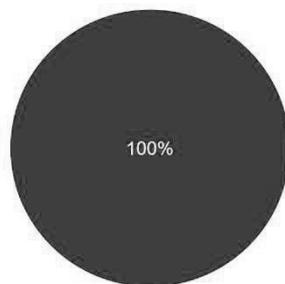
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問 30:問 29 で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0 件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス... (TA) として活動することに興味はありますか？

2件の回答



- ①興味がある
- ②興味がない

多様な人とのかかわり(障がい者編) 事前アンケート(回答数68件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

68件の回答

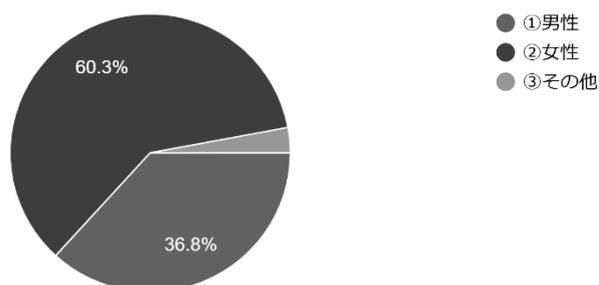


問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

0件の回答

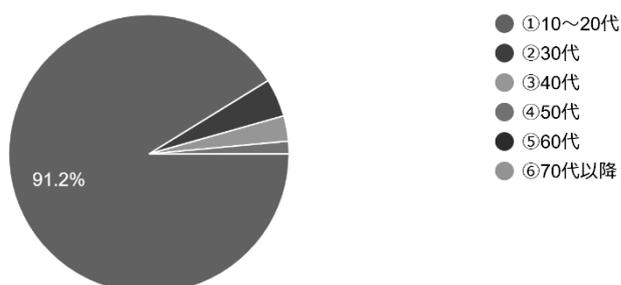
問3：性別を教えてください。

68件の回答



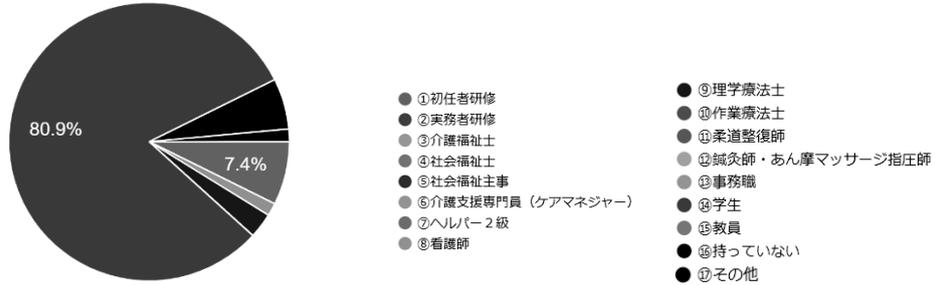
問4：あなたの年齢を教えてください。

68件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

68 件の回答



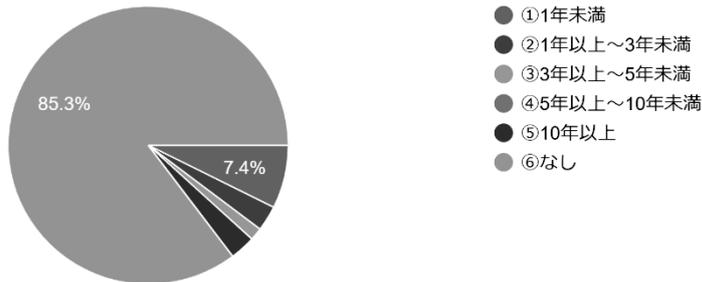
問6：問5で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1 件の回答

- ・ 日商簿記検定 2 級、全商簿記検定 1 級、全商情報処理検定 1 級

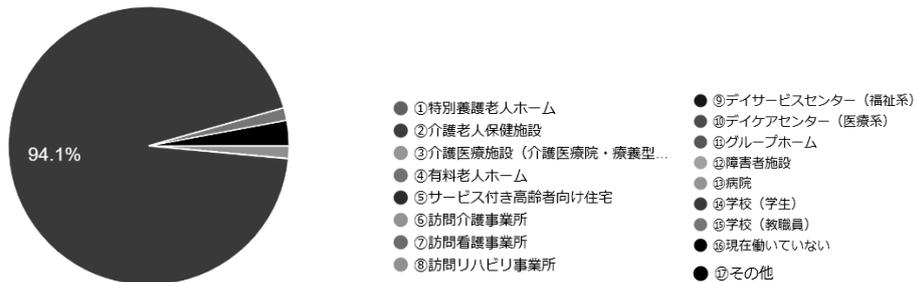
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

68 件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

68 件の回答

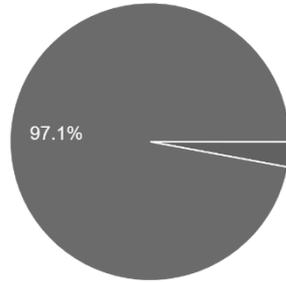


問9：問8で「⑩その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0 件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

68 件の回答



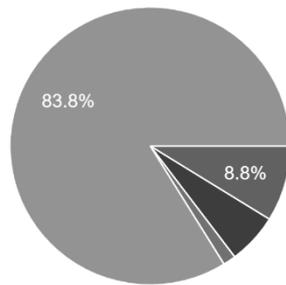
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問 11:問 10 で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0 件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

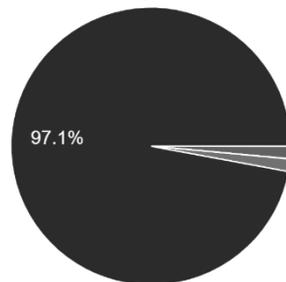
68 件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

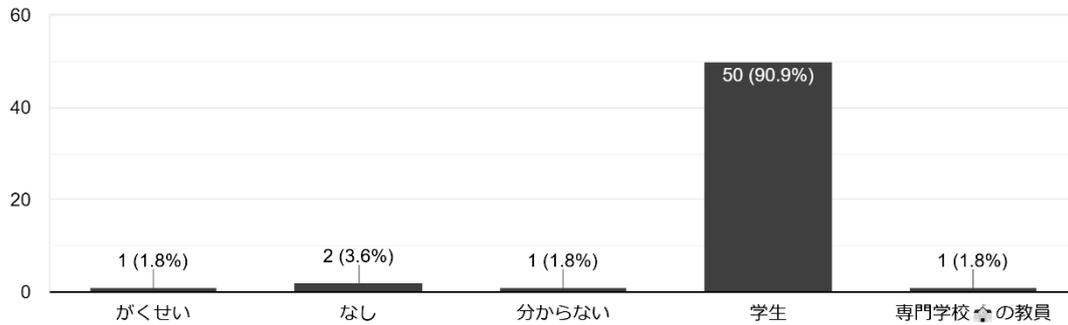
68 件の回答



- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

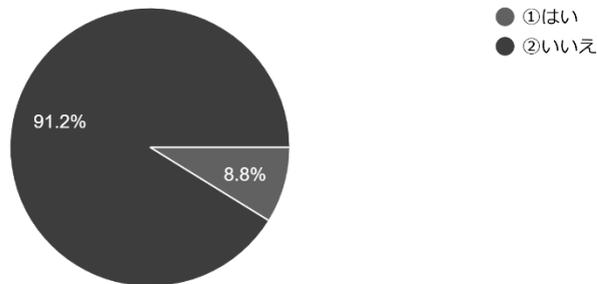
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

55件の回答



問15：過去に、介護スキル向上に関する研修(初任者...と)がありますか。(例えば：ICTスキル研修など)

68件の回答



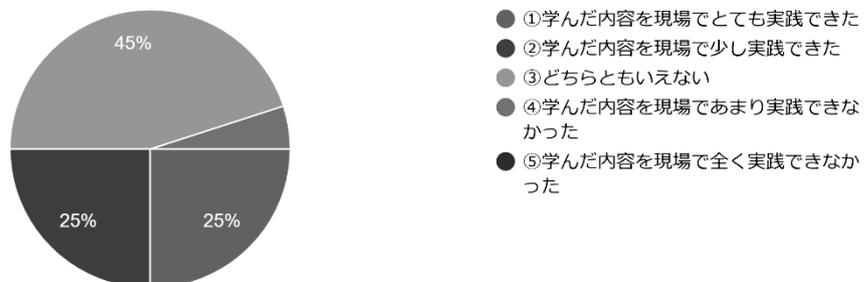
問16：問15で「①はい」を回答した方に質問です。受講した研修内容を教えてください。

5件の回答

- ・ 福祉
- ・ ict 研修
- ・ 認知症の高齢者に対する講義

問17：問16の研修の内容を、現場で実践できましたか。

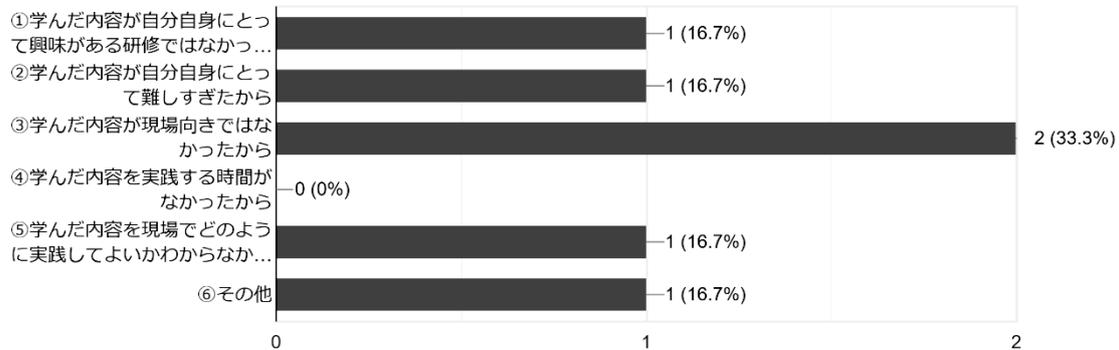
20件の回答



問18：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。「...ですか。該当するものを2つ選択してください。

6件の回答



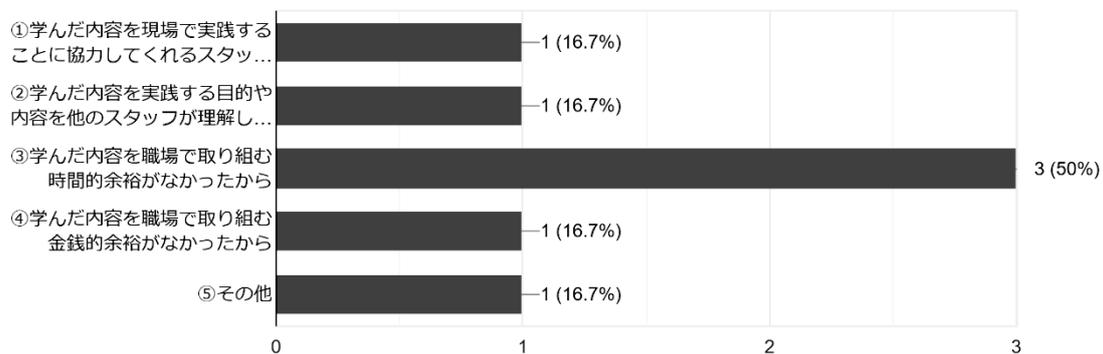
問 19:問 18 で「⑥その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」理由を教えてください。

0件の回答

問20：問17で「④⑤

実践できなかった」と回答した方に質問です。実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

6件の回答

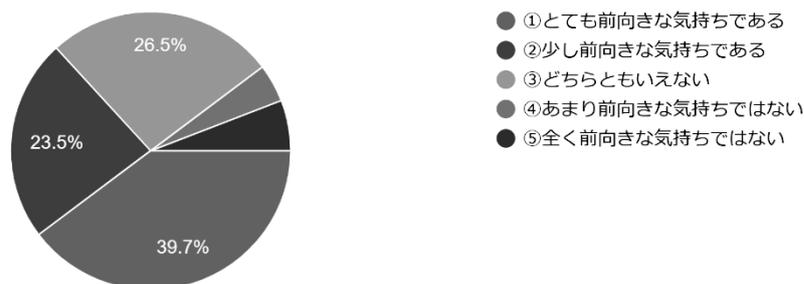


問 21:問 20 で「⑤その他」を回答した方に質問です。「実践できなかった」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問22：これから受ける研修についてのご自身のモチベーションについてお聞かせください。

68件の回答



多様な人とのかかわり(障がい者編) 事後アンケート(回答数63件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

63件の回答

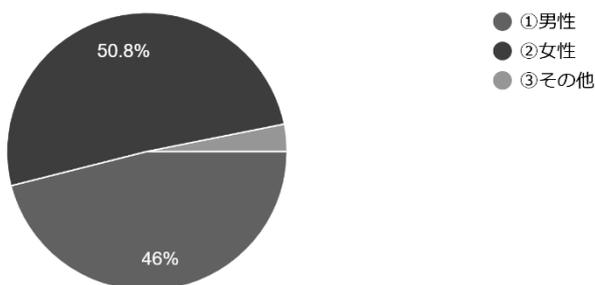


問2：問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

0件の回答

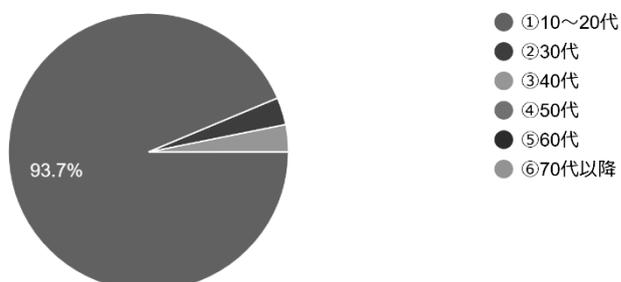
問3：性別を教えてください。

63件の回答



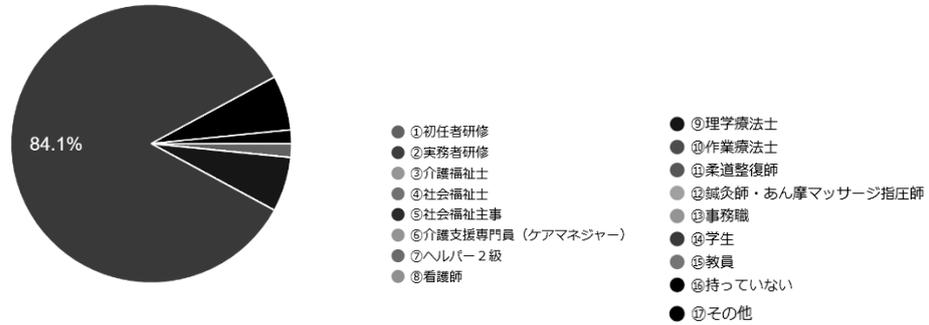
問4：あなたの年齢を教えてください。

63件の回答



問5：あなたの資格を教えてください。

63 件の回答



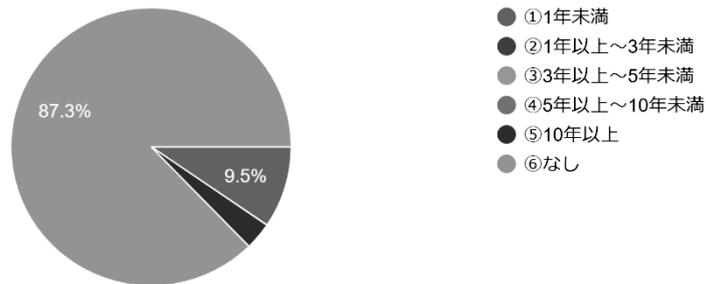
問 6:問 5 で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

1 件の回答

・ 日商簿記 2 級、全商簿記検定 1 級、全商情報処理検定 1 級

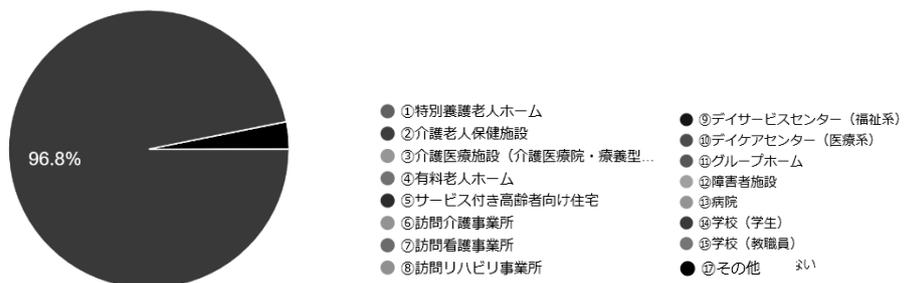
問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

63 件の回答



問8：あなたの所属先を教えてください。

63 件の回答

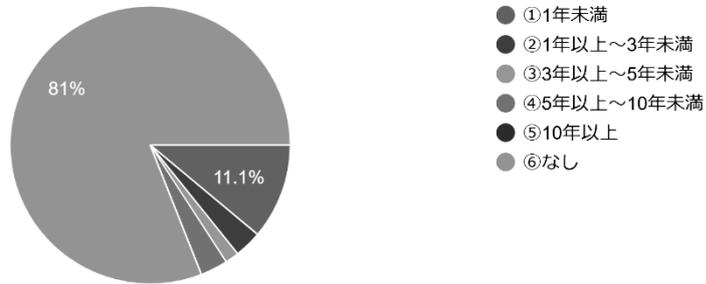


問 9:問 8 で「⑰その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0 件の回答

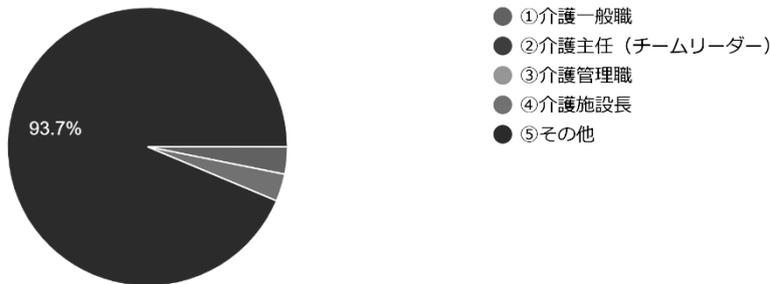
問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

63件の回答



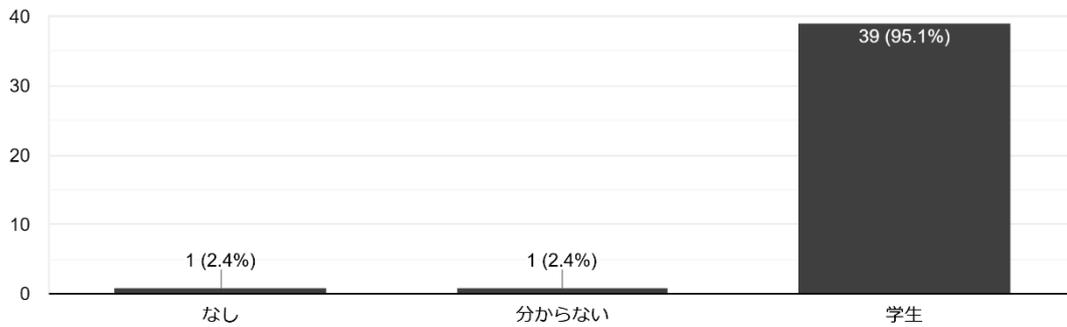
問13：あなたの役職を教えてください。

63件の回答



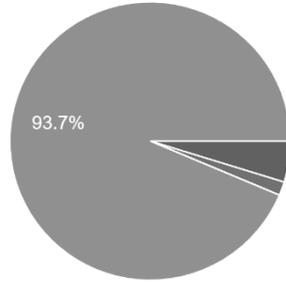
問14：問13で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

41件の回答



問15：あなたが受講した研修はどれですか。

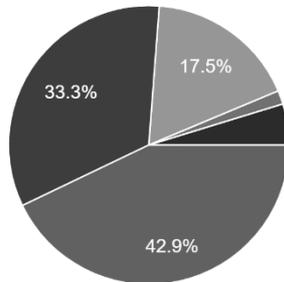
63件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー (アロマセラピー編)
- ⑥ナチュラルセラピー (ミュージックセラピー編)
- ⑦多様な人とのかかわり (外国人編)
- ⑧多様な人とのかかわり (障がい者編)

問16：今回の研修の内容は、現場で実践できると思いますか。

63件の回答

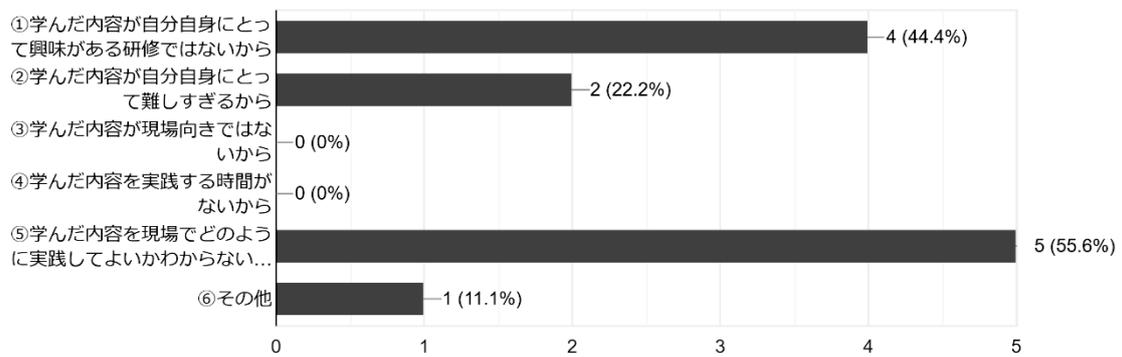


- ①学んだことを現場でとても実践できると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できないと思う

問17：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。

9件の回答

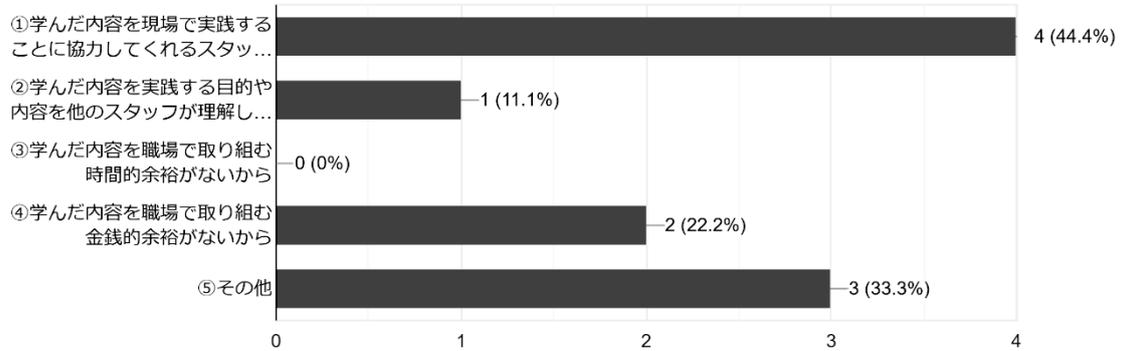


問18：問17で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0件の回答

問19：問16で「④⑤

できないと思う」と回答した方に質問です。「実...ですか。該当するものを2つ選択してください。
9件の回答



問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

2 件の回答

- ・ 学んだ内容が全く理解できなかったから
- ・ よく分からない

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

63 件の回答



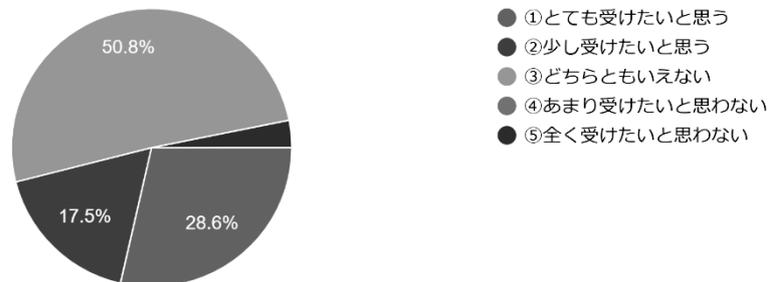
問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

63 件の回答



問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

63件の回答



問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

8 件の回答

- ・ 介護技術の研修
- ・ 障害者に関する研修を受けたいと思う。
- ・ 分からない
- ・ 障がい者との関わり方の具体例
- ・ 障がい者が行動しやすくなるような効果的なアプローチ方法
- ・ 障がいのある方の理解をどう学ぶか
- ・ 精神疾患のある患者との接し方について
- ・ 無い

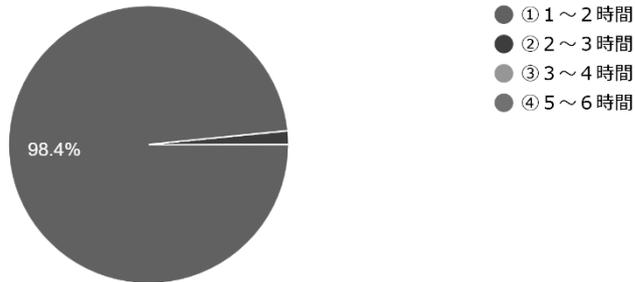
問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えて下さい。

63件の回答



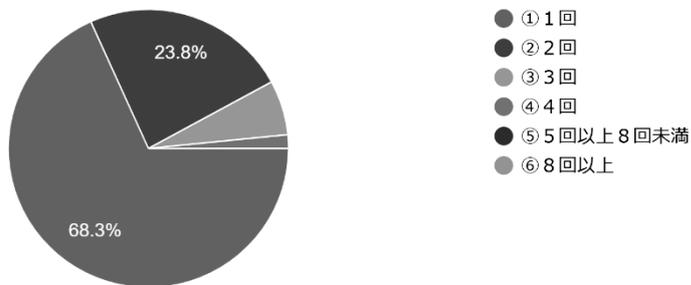
問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

63件の回答



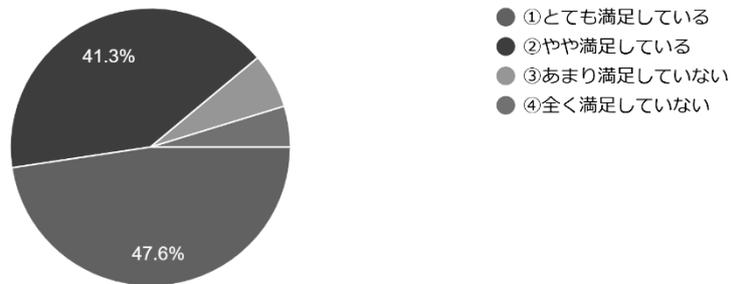
問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

63件の回答



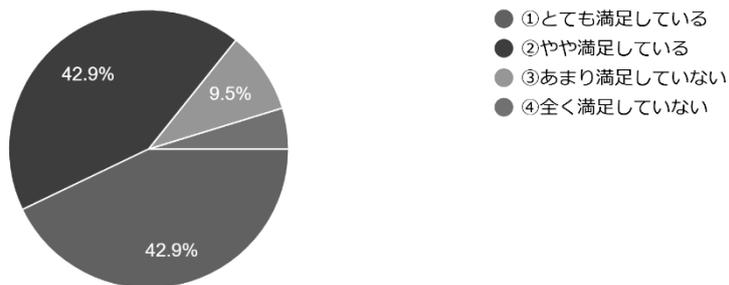
問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

63件の回答



問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

63件の回答



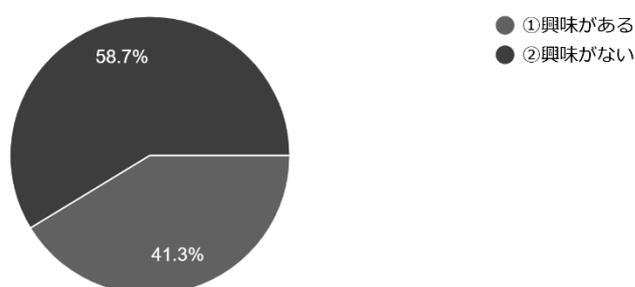
問 30:問 29 で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

3 件の回答

- ・ 意図が分からない。学校の授業に組込まれてしまった以上、受けなければならないが、何か収穫があったかは疑問である。
- ・ 触りだけなので、自分に関わる事がどういった効果があるのか？出来ることはないか？が分からない。
- ・ 内容が全く理解できない

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス...（TA）として活動することに興味はありますか？

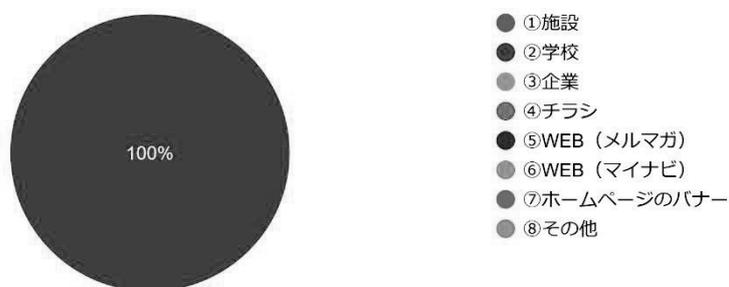
63 件の回答



多様な人とのかかわり(障がい者編) 1 か月後アンケート(回答数2件)

問1：あなたは今回受講する研修をどのように知りましたか。

2 件の回答

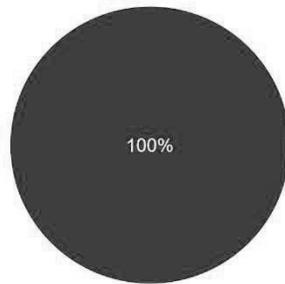


問 2:問1で「⑧その他」と回答した人に質問です。あなたは今回の研修をどのように知りましたか。

0 件の回答

問3：性別を教えてください。

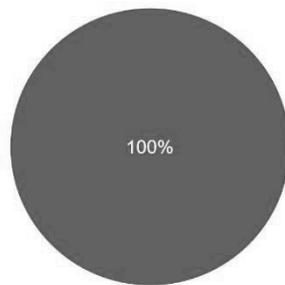
2件の回答



- ①男性
- ②女性
- ③その他

問4：あなたの年齢を教えてください。

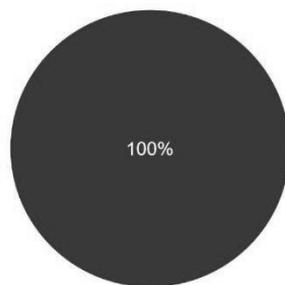
2件の回答



- ①10～20代
- ②30代
- ③40代
- ④50代
- ⑤60代
- ⑥70代以降

問5：あなたの資格を教えてください。

2件の回答



- ①初任者研修
- ②実務者研修
- ③介護福祉士
- ④社会福祉士
- ⑤社会福祉主事
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）
- ⑦ヘルパー2級
- ⑧看護師

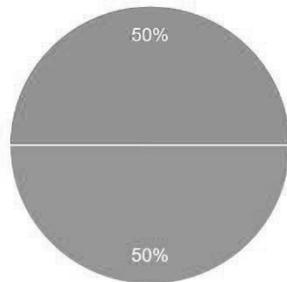
▲ 1/3 ▼

問6：問5で「⑦その他」と回答した方に質問です。あなたの資格を教えてください。

0件の回答

問7：あなたの専門職としての経験年数を教えてください。

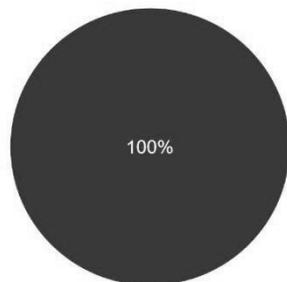
2件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問8：あなたの所属先を教えてください。

2件の回答



- ①特別養護老人ホーム
- ②介護老人保健施設
- ③介護医療施設（介護医療院・療養型...）
- ④有料老人ホーム
- ⑤サービス付き高齢者向け住宅
- ⑥訪問介護事業所
- ⑦訪問看護事業所
- ⑧訪問リハビリ事業所

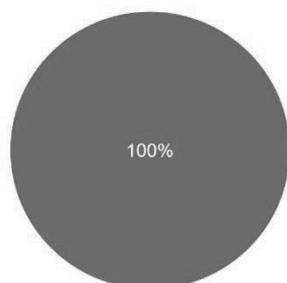
▲ 1/3 ▼

問9：問8で「⑦その他」と回答した方に質問です。あなたの所属先を教えてください。

0件の回答

問10：あなたの雇用形態を教えてください。

2件の回答



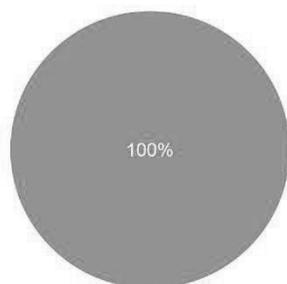
- ①正職員
- ②パート・アルバイト（非正規職員）
- ③契約社員・委託社員
- ④労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤自営業
- ⑥離職中
- ⑦学生
- ⑧その他

問 11:問 10 で「⑧その他」と回答した方に質問です。あなたの雇用形態を教えてください。

0 件の回答

問12：あなたが勤務されている施設・事業所の勤務年数を教えてください。

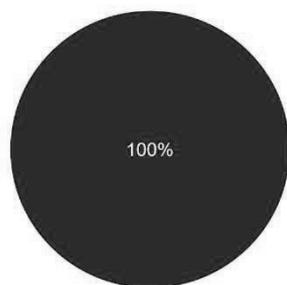
2 件の回答



- ①1年未満
- ②1年以上～3年未満
- ③3年以上～5年未満
- ④5年以上～10年未満
- ⑤10年以上
- ⑥なし

問13：あなたの役職を教えてください。

2 件の回答



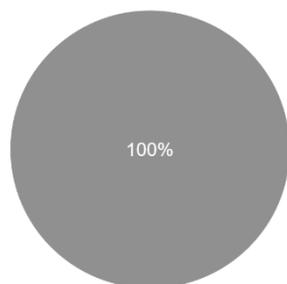
- ①介護一般職
- ②介護主任（チームリーダー）
- ③介護管理職
- ④介護施設長
- ⑤その他

問 14:問 13 で「⑤その他」と回答した方に質問です。あなたの役職を教えてください。

学生

問15：あなたが受講した研修はどれですか。

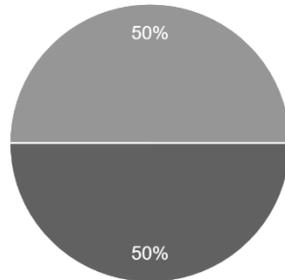
2 件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問16：今回の研修の内容を、現場で実践できると思いますか。

2件の回答



- ①学んだことを現場でとても実践できていると思う
- ②学んだ内容を現場で少し実践できていると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容を現場であまり実践できていないと思う
- ⑤学んだ内容を現場で全く実践できていないと思う

問 17:問 16 で「④⑤ できていないと思う」と回答した方に質問です。「実践できていないと思う」理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

0 件の回答

問 18:問 17 で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

問 19:問 16 で「④⑤ できないと思う」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由は何ですか。該当するものを2つ選択してください。

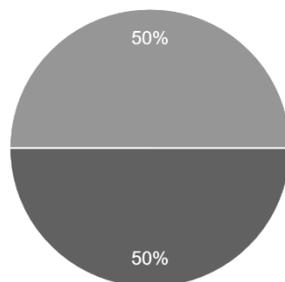
0 件の回答

問 20:問 19「⑤ その他」と回答した方に質問です。「実践できないと思う」職場の理由を教えてください。

0 件の回答

問21：今回の研修を受けて、あなたのスキル向上へのモチベーションに変化はありましたか。

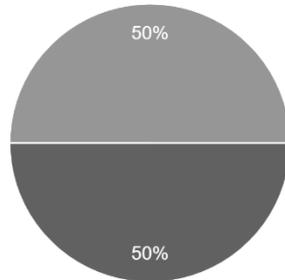
2件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問22：今回の研修を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

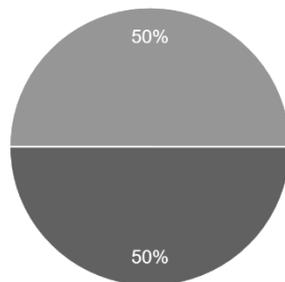
2件の回答



- ①とても前向きな気持ちになれている
- ②少し前向きな気持ちになれている
- ③変わらない
- ④あまり前向きになれていない
- ⑤全く前向きな気持ちになれていない

問23：今後も、自分のスキルアップになる研修があれば、率先して受けたいと思いますか。

2件の回答



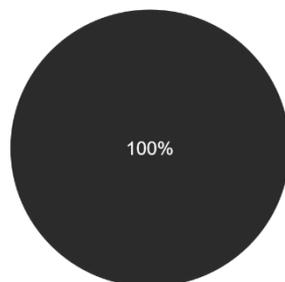
- ①とても受けたいと思う
- ②少し受けたいと思う
- ③どちらともいえない
- ④あまり受けたいと思わない
- ⑤全く受けたいと思わない

問 24:問 23 で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思う研修とはどんな研修ですか。

0 件 の 回 答

問25：あなたが受講しやすい受講形態について教えて下さい。

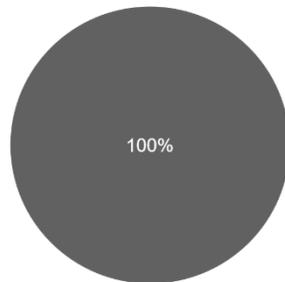
2件の回答



- ①オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ②オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③オンデマンドのみの講座
- ④オンラインのみの講座
- ⑤対面のみの講座

問26：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えてください。

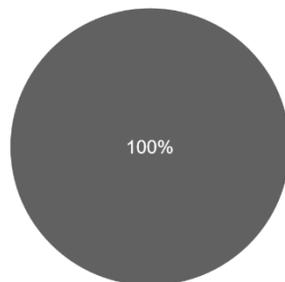
2件の回答



- ① 1～2時間
- ② 2～3時間
- ③ 3～4時間
- ④ 5～6時間

問27：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

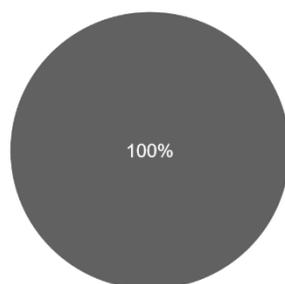
2件の回答



- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上8回未満
- ⑥ 8回以上

問28：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

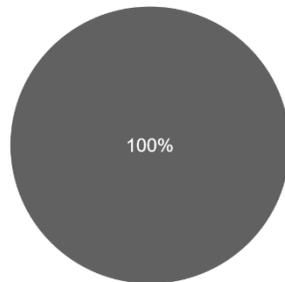
2件の回答



- ① とても満足している
- ② やや満足している
- ③ あまり満足していない
- ④ 全く満足していない

問29：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

2件の回答



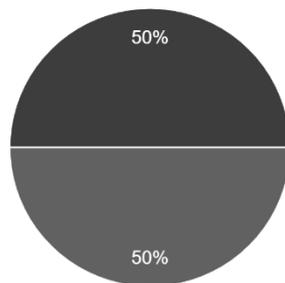
- ①とても満足している
- ②やや満足している
- ③あまり満足していない
- ④全く満足していない

問 30:問 29 で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0 件の回答

問31：今後、受講したプログラムを広めるアシス...（TA）として活動することに興味はありますか？

2 件の回答

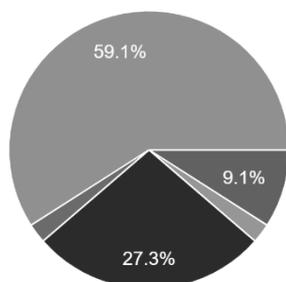


- ①興味がある
- ②興味がない

専門学校生受講後アンケート（回答数44件）

問1：どの講座を受講されましたか。

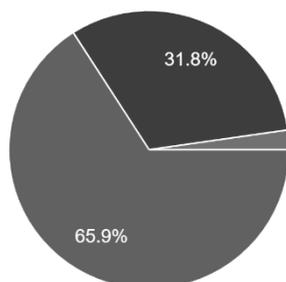
44件の回答



- ①介護予防
- ②外出支援
- ③介護ICT/DX
- ④マネジメント
- ⑤ナチュラルセラピー（アロマセラピー編）
- ⑥ナチュラルセラピー（ミュージックセラピー編）
- ⑦多様な人とのかかわり（外国人編）
- ⑧多様な人とのかかわり（障がい者編）

問2：今回の講座の内容は、就職先など現場で活用できると思いますか。

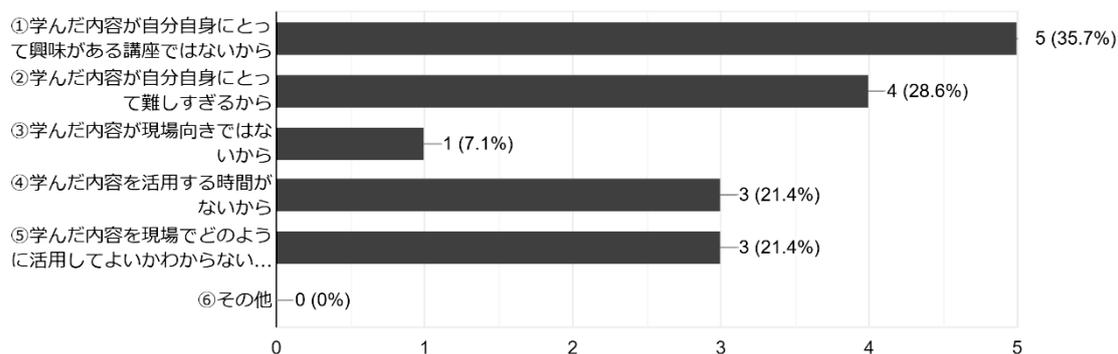
44件の回答



- ①学んだことをとても活用できると思う
- ②学んだ内容を少し活用できると思う
- ③どちらともいえない
- ④学んだ内容をあまり活用できないと思う
- ⑤学んだ内容を全く活用できないと思う

問3：問2で「④⑤できないと思う」と回答した方...何ですか。該当するものを2つ選択してください。

14件の回答

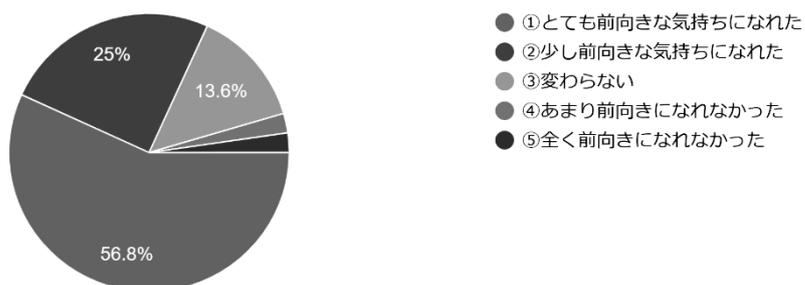


問4：問3で「⑥ その他」と回答した方に質問です。「活用できないと思う」理由を教えてください。

0 件の回答

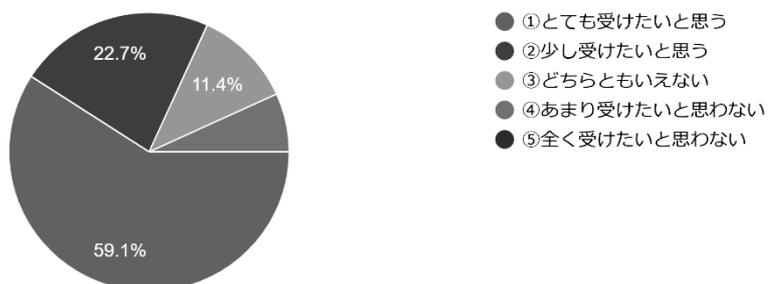
問5：今回の講座を受けて、あなたの仕事へのモチベーションに変化はありましたか。

44 件の回答



問6：今後も、自分のスキルアップになる講座があれば、率先して受けたいと思いますか。

44 件の回答



問7：問6で「①②受けたいと思う」を回答した方に質問です。率先して受けたいと思うスキルアップ講座はどんな講座ですか。

コミュニケーション

ミュージックセラピー

その人の個性、楽しみを伸ばす介護過程、考え方についてなどの講座

ナチュラルセラピー

介護

高齢者に親しみやすい趣味に関する講座

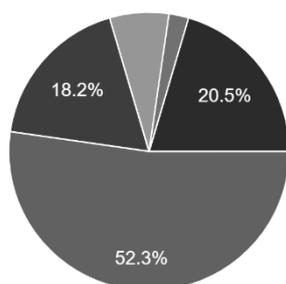
トラベルヘルパー

トラベルヘルパー等、興味があるもの

興味があればなんでも

問8：あなたが受講しやすい受講形態について教えて下さい。

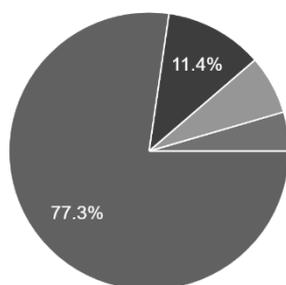
44件の回答



- ① オンデマンド（見たいときに見られる）と対面による講座
- ② オンライン（インターネットで同時的に見られる）と対面による講座
- ③ オンデマンドのみの講座
- ④ オンラインのみの講座
- ⑤ 対面のみの講座

問9：あなたが1回の研修で受講しやすい時間を教えて下さい。

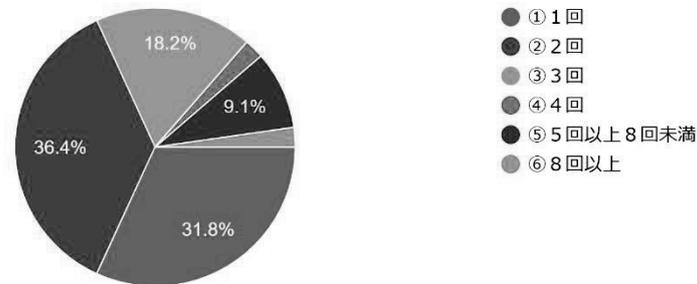
44件の回答



- ① 1～2時間
- ② 2～3時間
- ③ 3～4時間
- ④ 5～6時間

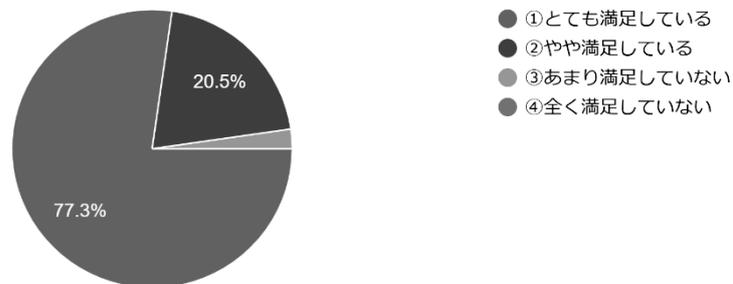
問10：受講回数が何回ならば受講したいか教えてください。

44 件の回答



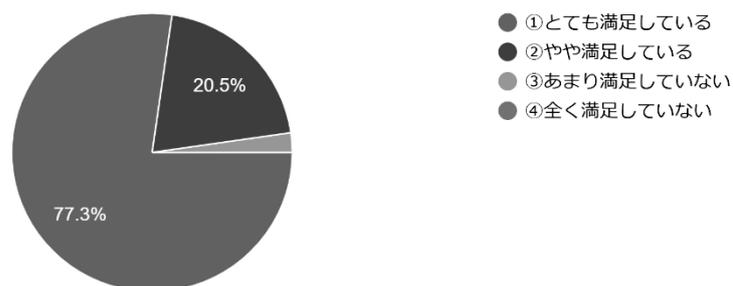
問11：本プログラムの内容について満足度についての教えてください。

44 件の回答



問12：本プログラムの受講形態についての満足度について教えてください。

44 件の回答



問13：問12で「③④満足していない」を回答した方に質問です。どんなところに満足していないか、ご記入ください。

0 件の回答

令和6年度

専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業
これからの高齢社会に対応できる人材育成に必要な介護・医療分野の現場で利活用できる
最新技能アップデートのための実践プログラム開発事業及びその有効性を確認する実証研究事業

発行年月日 令和7年3月14日

発行 小川 全夫（事業代表者）

編集 小林 英一（事業責任者）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-6 宇田川ビル 6階

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター

Tel: 03-3200-9074 Fax: 03-3200-9088

印刷・製本 名鉄局印刷株式会社 東京営業所

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1丁目 6番7号九段 NIビル 2F

Tel: 03-3263-0141 Fax: 03-5276-7709